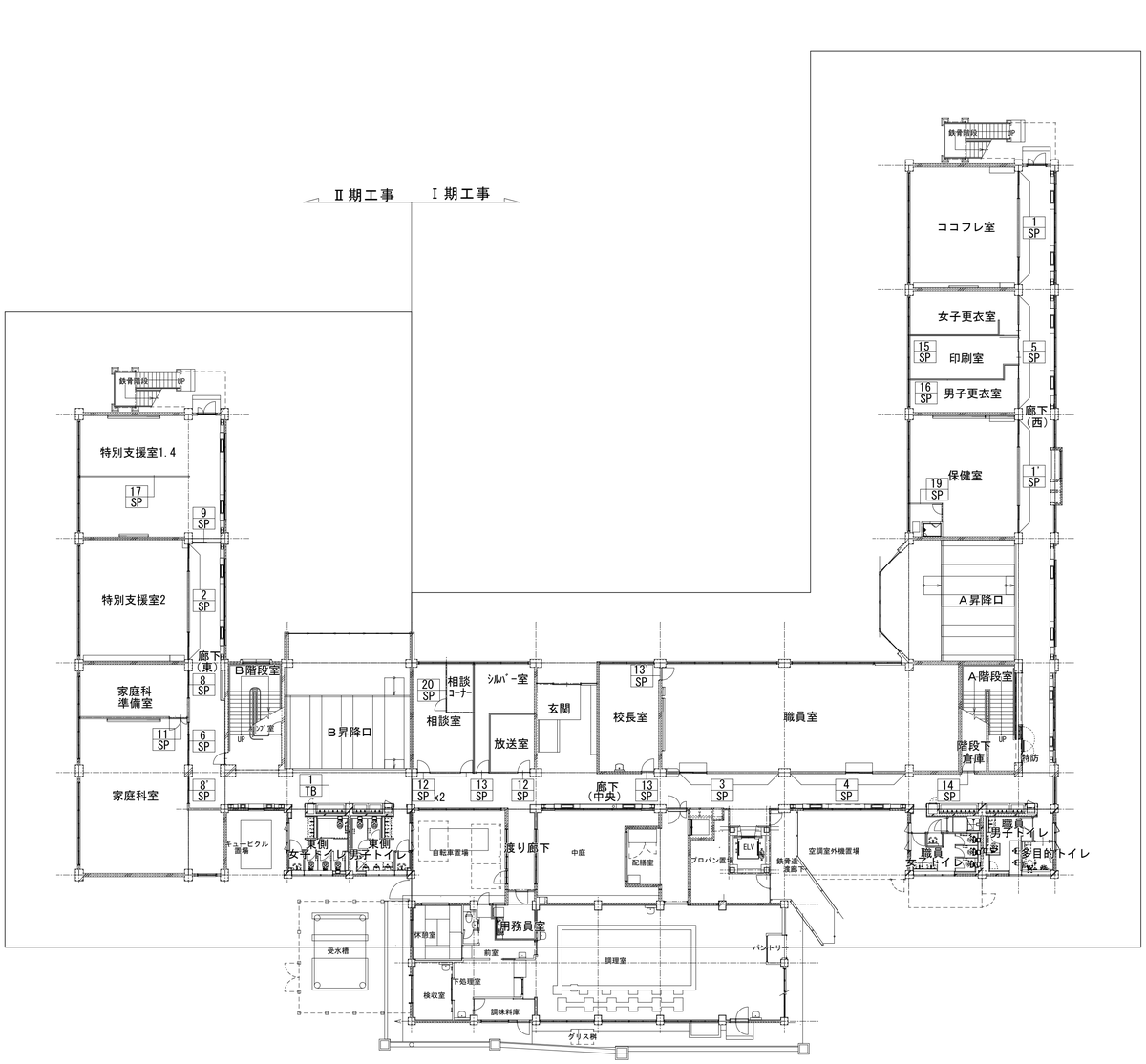
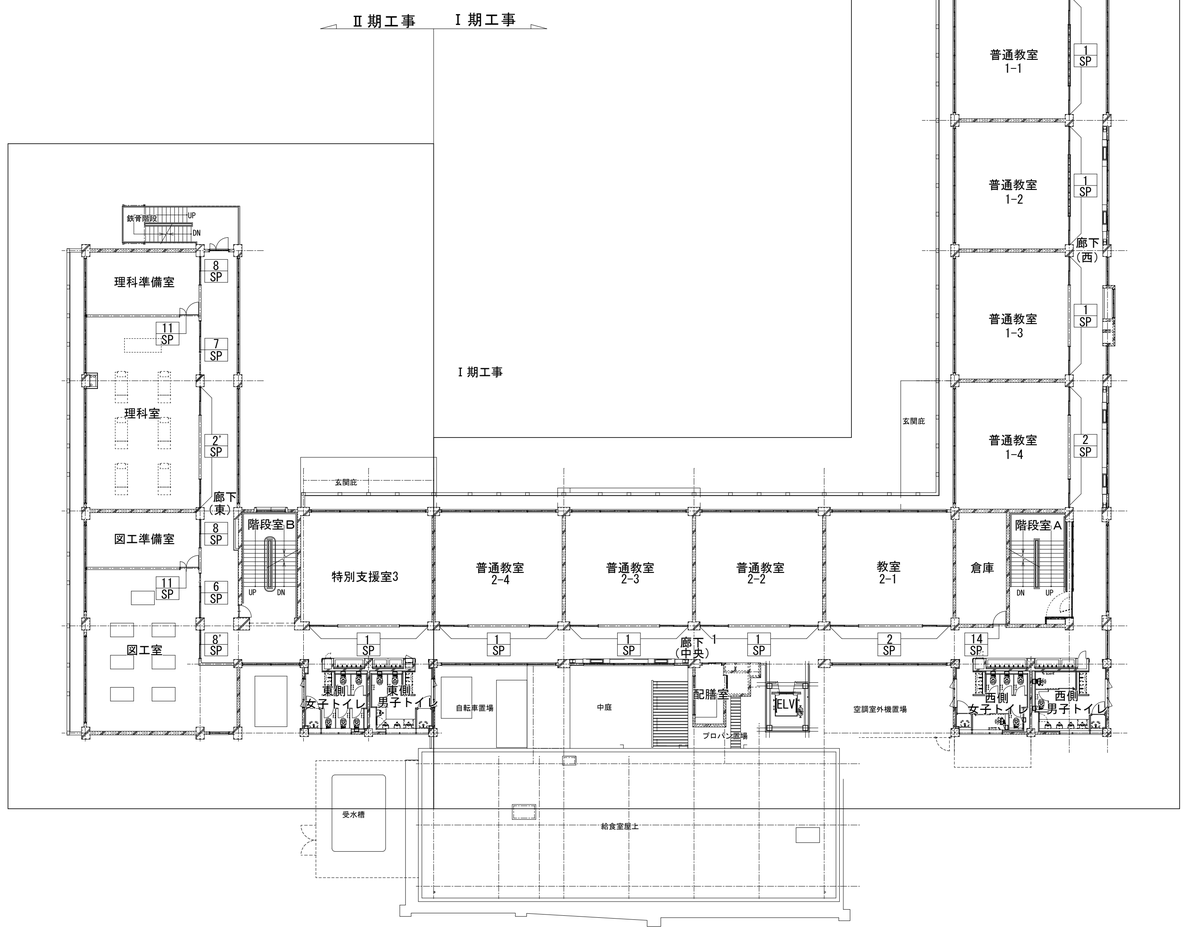
改修



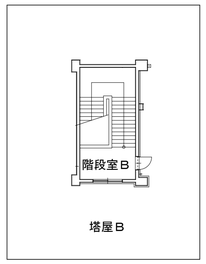
１階パーティションキープラン（改修）　S=1/200



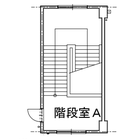
２階パーティションキープラン（改修）　S=1/200

	設計番号	工事名称	縮尺	図面名称	図番 A-098
	年 月 日 令和8年1月	新座市立東北小学校校舎長寿命化改修工事	A1:1/200 A3:1/400	パーティション　キープラン１（改修）	承認 / 製図

改修

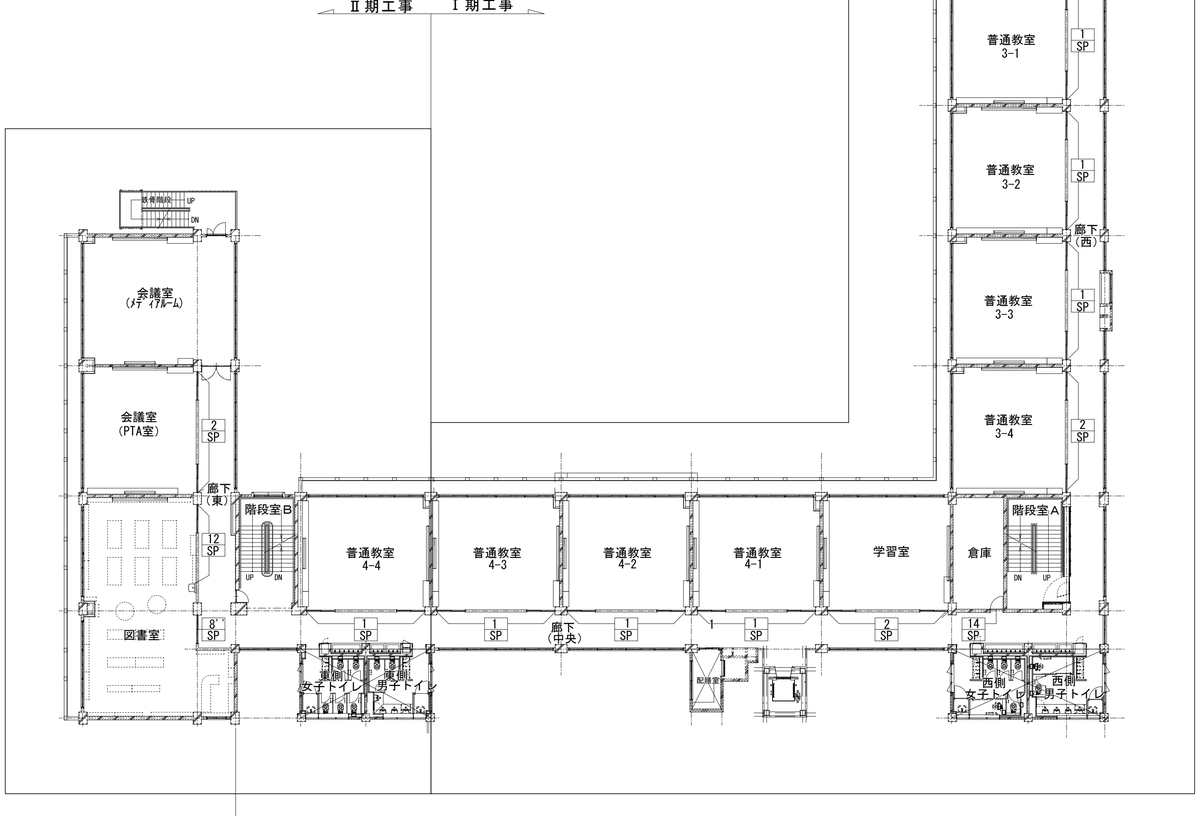


塔屋B

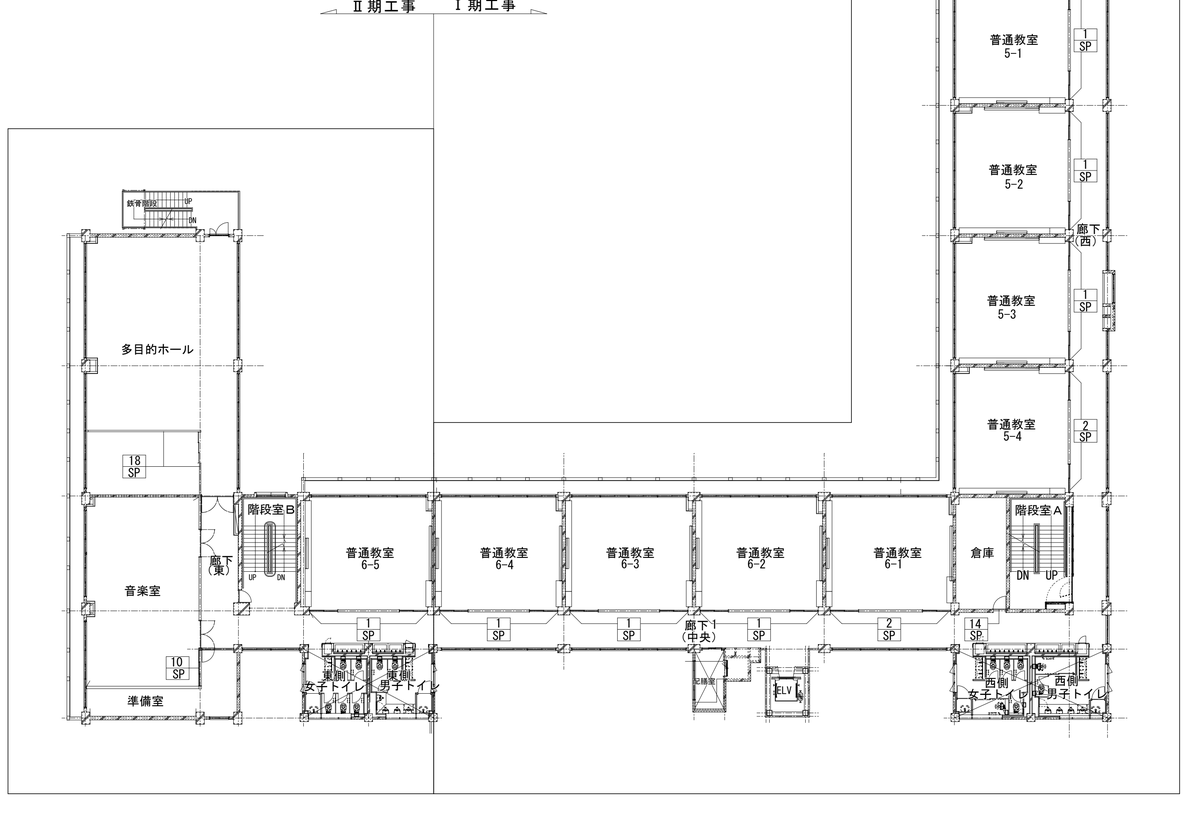


塔屋A

R階建具キープラン（新設）　S=1/200

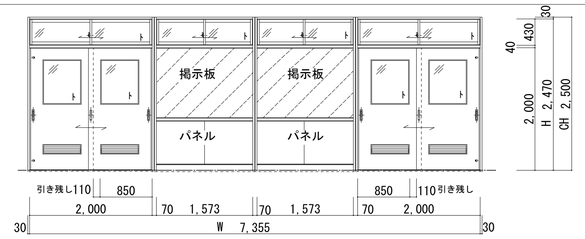
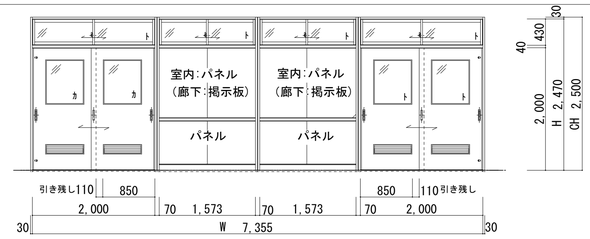
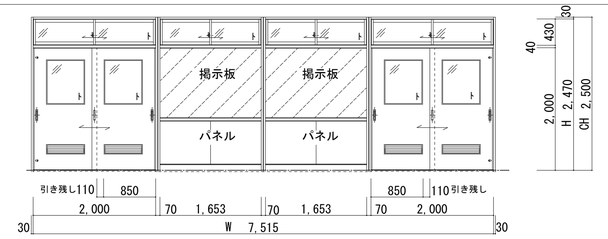


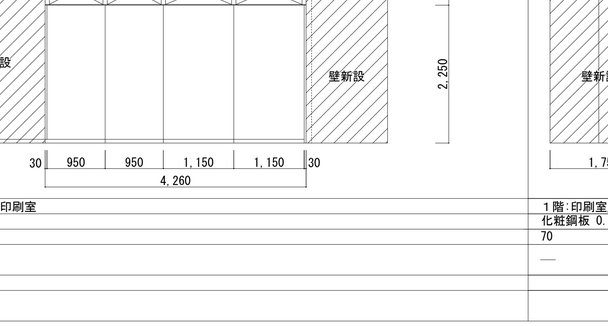
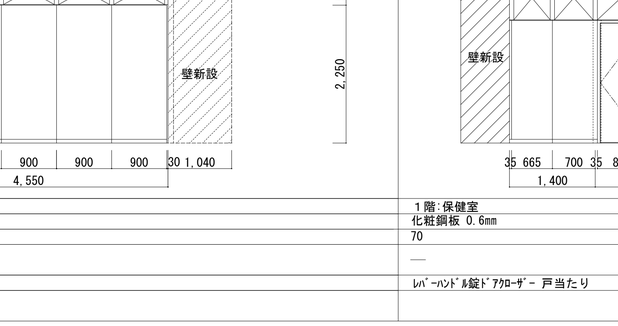
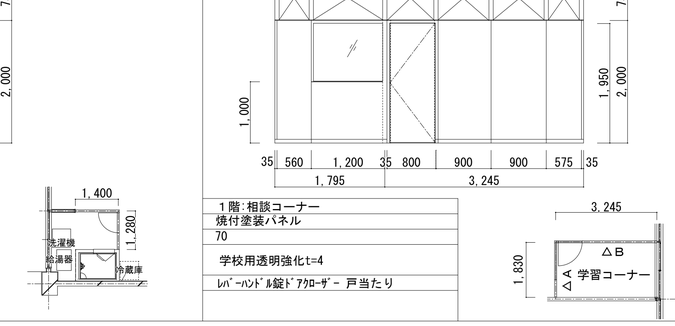
３階パーティションキープラン（改修）　S=1/200

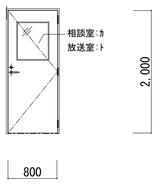
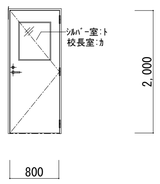
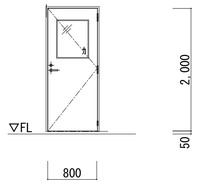
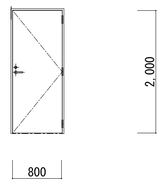


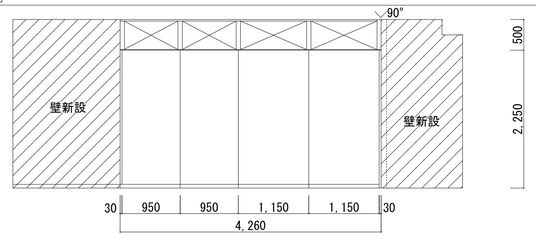
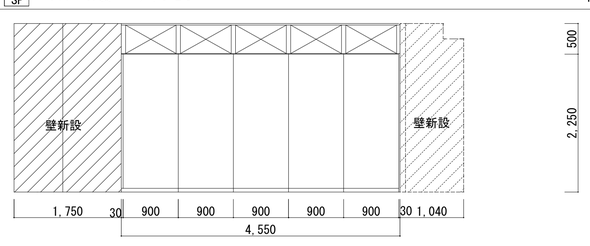
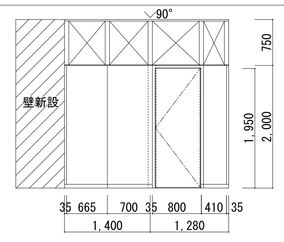
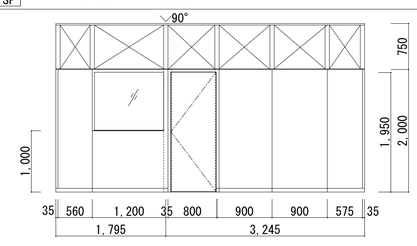
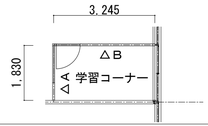
４階パーティションキープラン（新設）　S=1/200

		設計番号	工事名称	縮尺	図面名称	図番
		年 月 日	新座市立東北小学校校舎長寿命化改修工事	A1:1/200 A3:1/400	パーティション　キープラン２（改修）	A-099
		令和8年1月				承認 / 製図

記号・型式・数量	1 SP スチール製学校間仕切り 19ヶ所	1' SP スチール製学校間仕切り 1ヶ所	2 SP スチール製学校間仕切り 6ヶ所
形状・寸法			
場　所	1階:ココフレ室　2階:普通教室x6　3階:普通教室x6　4階:普通教室x6	1階:保健室	2階:普通教室1-4,2-1　3階:普通教室3-4,学習室　4階:普通教室5-4,6-1
材質・仕上	溶融亜鉛めっき鋼板 1.2㎜　扉・パネル:化粧鋼板 0.6㎜	溶融亜鉛めっき鋼板 1.2㎜　扉・パネル:化粧鋼板 0.6㎜	溶融亜鉛めっき鋼板 1.2㎜　扉・パネル:化粧鋼板 0.6㎜
見　込	枠:130　扉:30　パネル:36	枠:130　扉:30　パネル:36	枠:130　扉:30　パネル:36
ガラス	扉・ランマ:学校用透明強化t=4	扉:学校用型板・透明強化t=4　ランマ:学校用透明強化t=4	扉・ランマ:学校用透明強化t=4
金　物	クレセント　引手　引違戸錠	クレセント　引手　引違戸錠	クレセント　引手　引違戸錠
備　考	掲示板	掲示板	掲示板

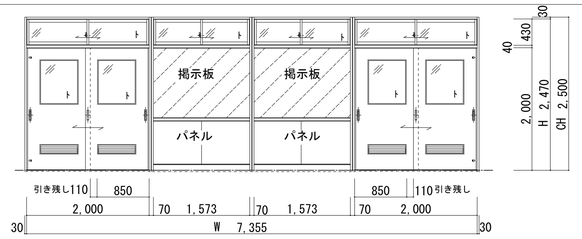
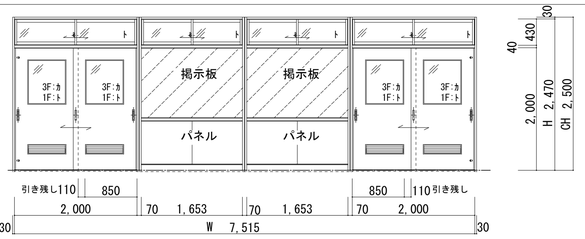
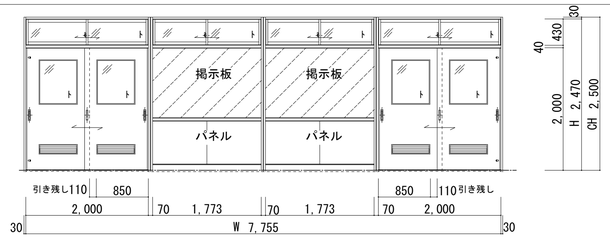
記号・型式・数量	3 SP スチール製学校間仕切り 1ヶ所	4 SP スチール製学校間仕切り 1ヶ所	5 SP スチール製学校間仕切り 1ヶ所
形状・寸法			
場　所	1階:職員室	1階:職員室	1階:女子更衣室/印刷室/男子更衣室
材質・仕上	溶融亜鉛めっき鋼板 1.2㎜　扉・パネル:化粧鋼板 0.6㎜	溶融亜鉛めっき鋼板 1.2㎜　扉・パネル:化粧鋼板 0.6㎜	溶融亜鉛めっき鋼板 1.2㎜　扉・パネル:化粧鋼板 0.6㎜
見　込	枠:130　扉:30　パネル:36	枠:130　扉:30　パネル:36	枠:130　扉:30　パネル:36
ガラス	扉・ランマ:学校用透明強化t=4	扉・ランマ:学校用透明強化t=4	扉:学校用型板強化t=4(更衣室)　扉:学校用透明強化t=4(印刷室)　ランマ:学校用透明強化t=4
金　物	クレセント　引手　引違戸錠	クレセント　引手　引違戸錠	クレセント　引手　引違戸錠
備　考	掲示板	掲示板	

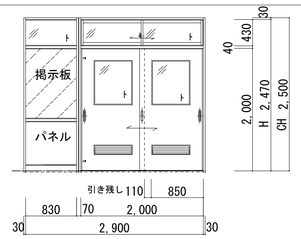
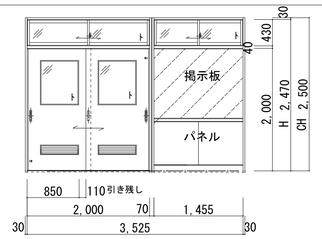
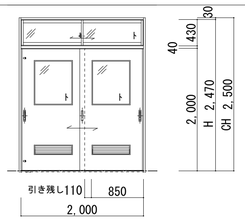
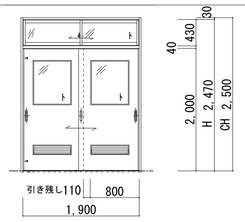
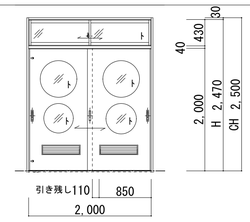
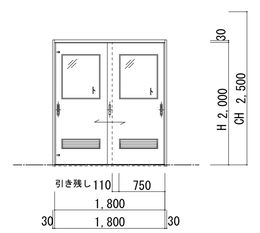
記号・型式・数量	12 SP 片開き軽量スチールドア（AT） 3ヶ所	13 SP 片開き軽量スチールドア 2ヶ所	13' SP 片開き軽量スチールドア 1ヶ所	14 SP 片開き軽量スチールドア 4ヶ所	
形状・寸法	※相談室１ヶ所勝手違い 				
場　所	1階:相談室x2、放送室	1階:シルバー室 校長室	1階:校長室/職員室	1階～4階:倉庫x各1	
材質・仕上	溶融亜鉛めっき鋼板 1.2㎜　扉・パネル:化粧鋼板 0.6㎜	溶融亜鉛めっき鋼板 1.2㎜　扉・パネル:化粧鋼板 0.6㎜	溶融亜鉛めっき鋼板 1.2㎜　扉・パネル:化粧鋼板 0.6㎜	溶融亜鉛めっき鋼板 1.2㎜　扉・パネル:化粧鋼板 0.6㎜	
見　込	枠:130　扉:40	枠:130　扉:40	枠:130　扉:40	枠:130　扉:40	
ガラス	相談室:学校用型板強化t=4 放送室:学校用透明強化t=4	シルバー室:学校用透明強化t=4 校長室:学校用型板強化t=4	学校用型板強化t=4	——	
金　物	レバーハンドル錠、丁番、ピッボットヒンジ、沓摺	レバーハンドル錠、丁番、ピッボットヒンジ、沓摺	レバーハンドル錠、丁番、ピッボットヒンジ、沓摺	レバーハンドル錠、丁番、ピッボットヒンジ、沓摺	
備　考					

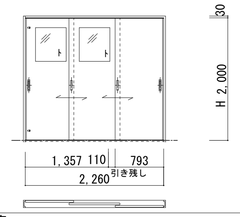
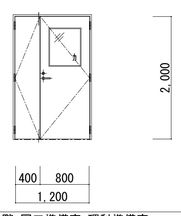
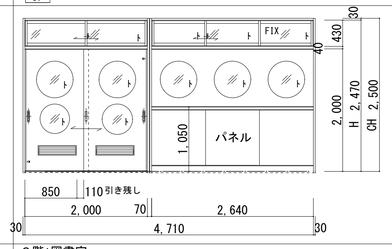
記号・型式・数量	15 SP スチール製パーティション 1ヶ所	16 SP スチール製パーティション 1ヶ所	19 SP スチール製パーティション 1ヶ所	20 SP スチール製パーティション 1ヶ所
形状・寸法				
場　所	1階:女子更衣室/印刷室	1階:印刷室/男子更衣室	1階:保健室	1階:相談コーナー
材質・仕上	化粧鋼板 0.6㎜	化粧鋼板 0.6㎜	化粧鋼板 0.6㎜	焼付塗装パネル
見　込	70	70	70	70
ガラス	—	—	—	学校用透明強化t=4
金　物			レバーハンドル錠ドアクローザー 戸当たり	レバーハンドル錠ドアクローザー 戸当たり
備　考				

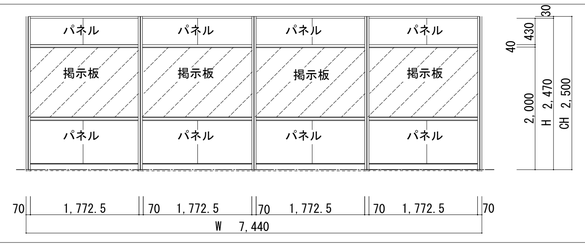
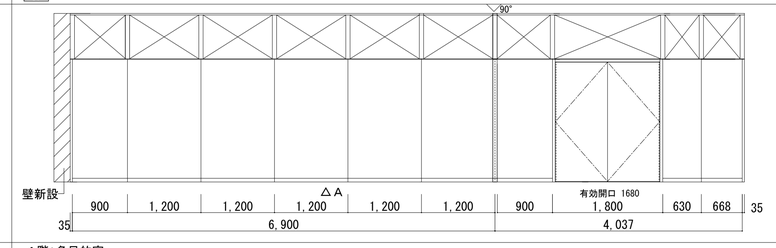
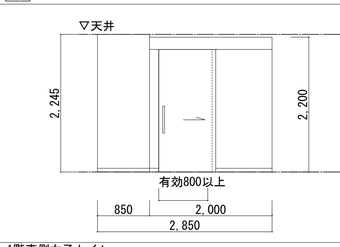
I 期工事

		設計番号	工事名称	縮尺	図面名称	図番
		年 月 日 令和8年1月	新座市立東北小学校校舎長寿命化改修工事	A1:1/50 A3:1/100	パーティション　建具表１（改修）	A-100
						承認 / 製図

記号・型式・数量	1 SP スチール製学校間仕切り 3ヶ所	2 SP スチール製学校間仕切り 2ヶ所	2' SP スチール製学校間仕切り 1ヶ所
形状・寸法			
場　所	2階:特別支援室3　3階:普通教室4-4　4階:普通教室6-5	1階:特別支援室2　3階:会議室(PTA室)	2階:理科室
材質・仕上	溶融亜鉛めっき鋼板 1.2㎜　扉・パネル:化粧鋼板 0.6㎜	溶融亜鉛めっき鋼板 1.2㎜　扉・パネル:化粧鋼板 0.6㎜	溶融亜鉛めっき鋼板 1.2㎜　扉・パネル:化粧鋼板 0.6㎜
見　込	枠:130　扉:30　パネル:36	枠:130　扉:30　パネル:36	枠:130　扉:30　パネル:36
ガラス	扉・ランマ:学校用透明強化t=4	1階扉:学校用透明強化t=4　3階扉:学校用型板強化t=4　ﾗﾝﾏ:学校用透明強化t=4	扉・ランマ:学校用透明強化t=4
金　物	クレセント　引手　引違戸錠	クレセント　引手　引違戸錠	クレセント　引手　引違戸錠
備　考	掲示板	掲示板	掲示板

記号・型式・数量	6 SP スチール製学校間仕切り 2ヶ所	7 SP スチール製学校間仕切り 1ヶ所	8 SP スチール製学校間仕切り 3ヶ所	8' SP スチール製学校間仕切り 2ヶ所	8'' SP スチール製学校間仕切り 1ヶ所	9 SP スチール製学校間仕切り 1ヶ所
形状・寸法						
場　所	1階:家庭科室　2階:図工室	2階:理科室	1階:家庭科準備室 2階:理科準備室 図工準備室	1階:家庭科室 2階:図工室		1階:特別支援室1.4
材質・仕上	溶融亜鉛めっき鋼板 1.2㎜　扉・パネル:化粧鋼板 0.6㎜	溶融亜鉛めっき鋼板 1.2㎜　扉・パネル:化粧鋼板 0.6㎜	同左	同左	同左	溶融亜鉛めっき鋼板 1.2㎜　扉・パネル:化粧鋼板 0.6㎜
見　込	枠:130　扉:30　パネル:36	枠:130　扉:30　パネル:36	枠:130　扉:30　パネル:36	枠:130　扉:30　パネル:36	枠:130　扉:30　パネル:36　扉・パネル:木目印刷鋼板 0.6㎜	枠:130　扉:30　パネル:36
ガラス	扉・ランマ:学校用透明強化t=4	扉・ランマ:学校用透明強化t=4	扉・ランマ:学校用透明強化t=4	扉・ランマ:学校用透明強化t=4	扉・ランマ:学校用透明強化t=4	学校用透明強化t=4
金　物	クレセント　引手　引違戸錠	クレセント　引手　引違戸錠	クレセント　引手　引違戸錠	クレセント　引手　引違戸錠	クレセント　引手　引違戸錠	クレセント　引手　引違戸錠
備　考	掲示板	掲示板				

記号・型式・数量	10 SP スチール製学校間仕切り 1ヶ所	11 SP 両開き親子軽量ｽﾁｰﾙﾄﾞｱ 3ヶ所	12 SP スチール製学校間仕切り 1ヶ所
形状・寸法			
場　所	4階:音楽準備室	1階:家庭科準備室　2階:図工準備室 理科準備室	3階:図書室
材質・仕上	溶融亜鉛めっき鋼板 1.2㎜　扉・パネル:化粧鋼板 0.6㎜	溶融亜鉛めっき鋼板 1.2㎜　扉・パネル:化粧鋼板 0.6㎜	溶融亜鉛めっき鋼板 1.2㎜　扉・パネル:化粧鋼板 0.6㎜
見　込	枠:120　扉:30	枠:130　扉:40	枠:130　扉:30　パネル:36　扉・パネル:木目印刷鋼板 0.6㎜
ガラス	学校用透明強化t=4	学校用型板強化t=4	扉・ランマ:学校用透明強化t=4
金　物	引手　引違戸錠	レバーハンドル錠、丁番、ピッポットヒンジ、沓摺	クレセント　引手　引違戸錠
備　考			

記号・型式・数量	17 SP スチール製パーティション 1ヶ所	18 SP スチール製パーティション 1ヶ所	1 TB トイレブース 1ヶ所
形状・寸法			
場　所	1階:特別支援室1.4	4階:多目的室	1階東側女子トイレ
材質・仕上	溶融亜鉛めっき鋼板 1.2㎜　パネル:化粧鋼板 0.6㎜	焼付塗装パネル	トイレブース（アルミアールエッジ）　メラミン樹脂化粧板
見　込	枠:130　パネル:36	70	芯材：ペーパーコア　パネルt40
ガラス		—	
金　物		ドアクローザー　レバーハンドル　戸当たり	表示付ﾛｯｸ(車ｲｽ仕様)、中心吊ｸﾞﾗﾋﾞﾃｨﾋﾝｼﾞ、SUS巾木ﾀｲﾌﾟ、戸当り、引手、レール、ガイドローラー、ガイドローラー受、付属金物一式 非常開錠装置付き(非常時外開き仕様)
備　考	掲示板		

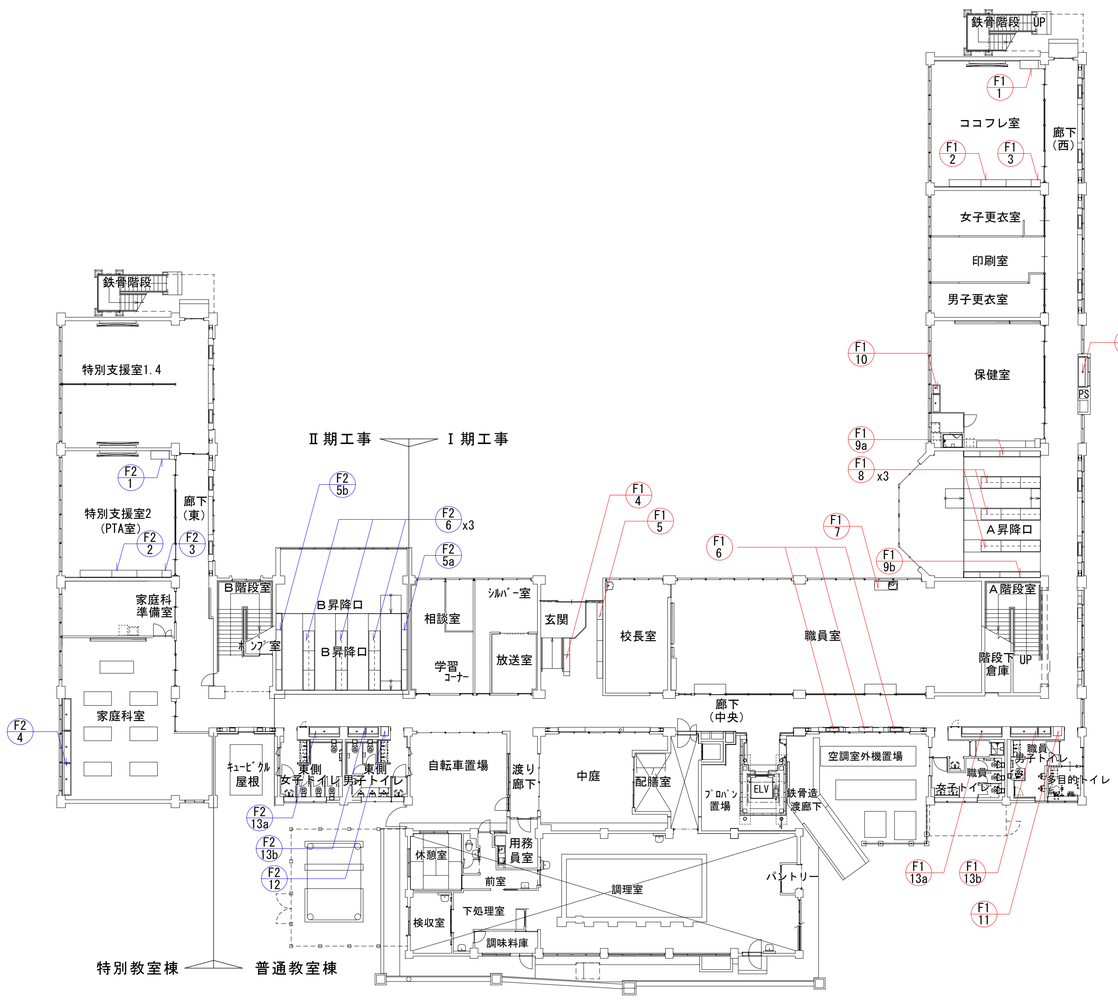
Ⅱ期工事

		設計番号	工事名称	縮尺	図面名称	図番 A-101
		年 月 日 令和8年1月	新座市立東北小学校校舎長寿命化改修工事	A1:1/50 A3:1/100	パーティション　建具表２（改修）	承認 / 製図

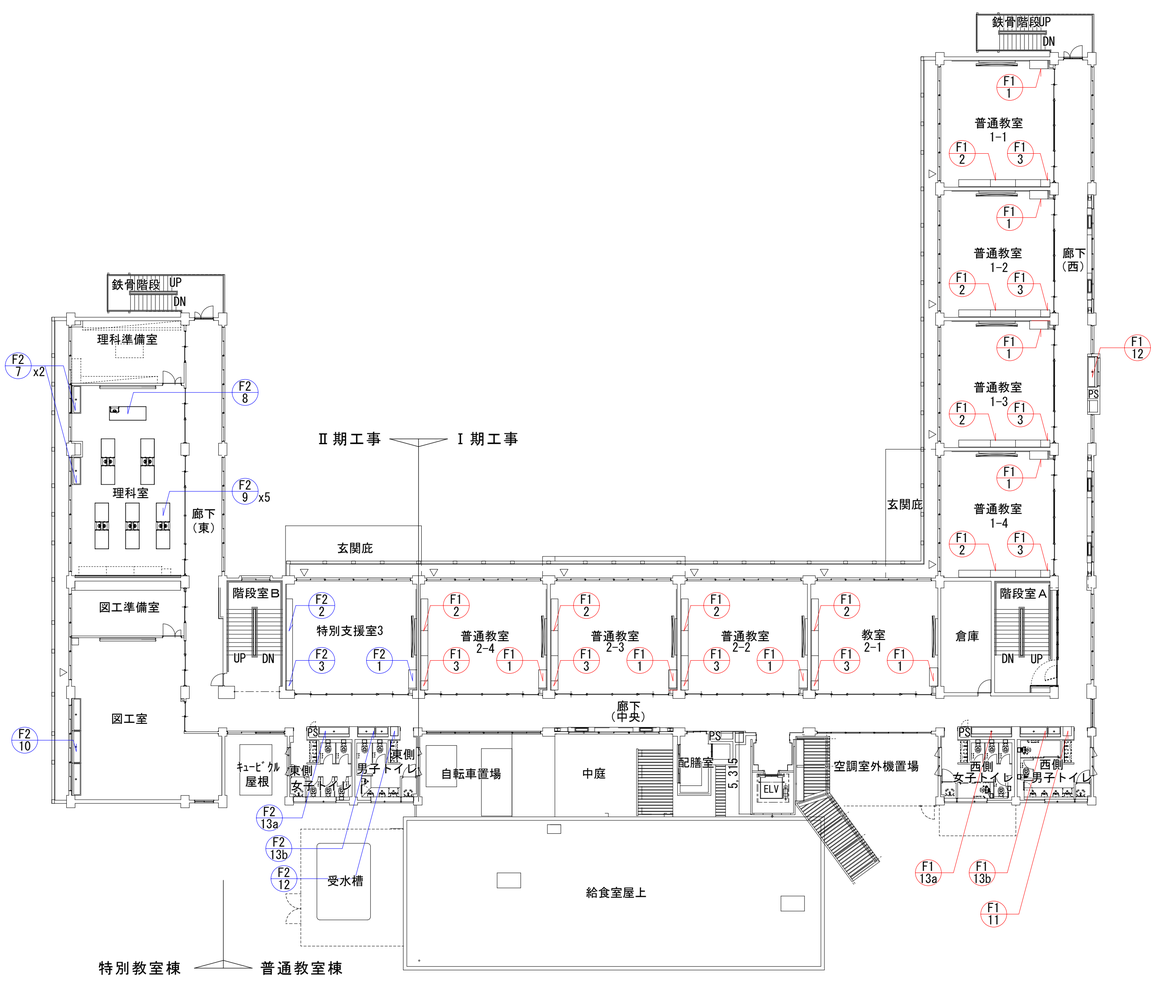
F1 * 家具新設（１期）

F2 * 家具新設（２期）

*家具番号を示す



１階家具キープラン（改修）S-1/200



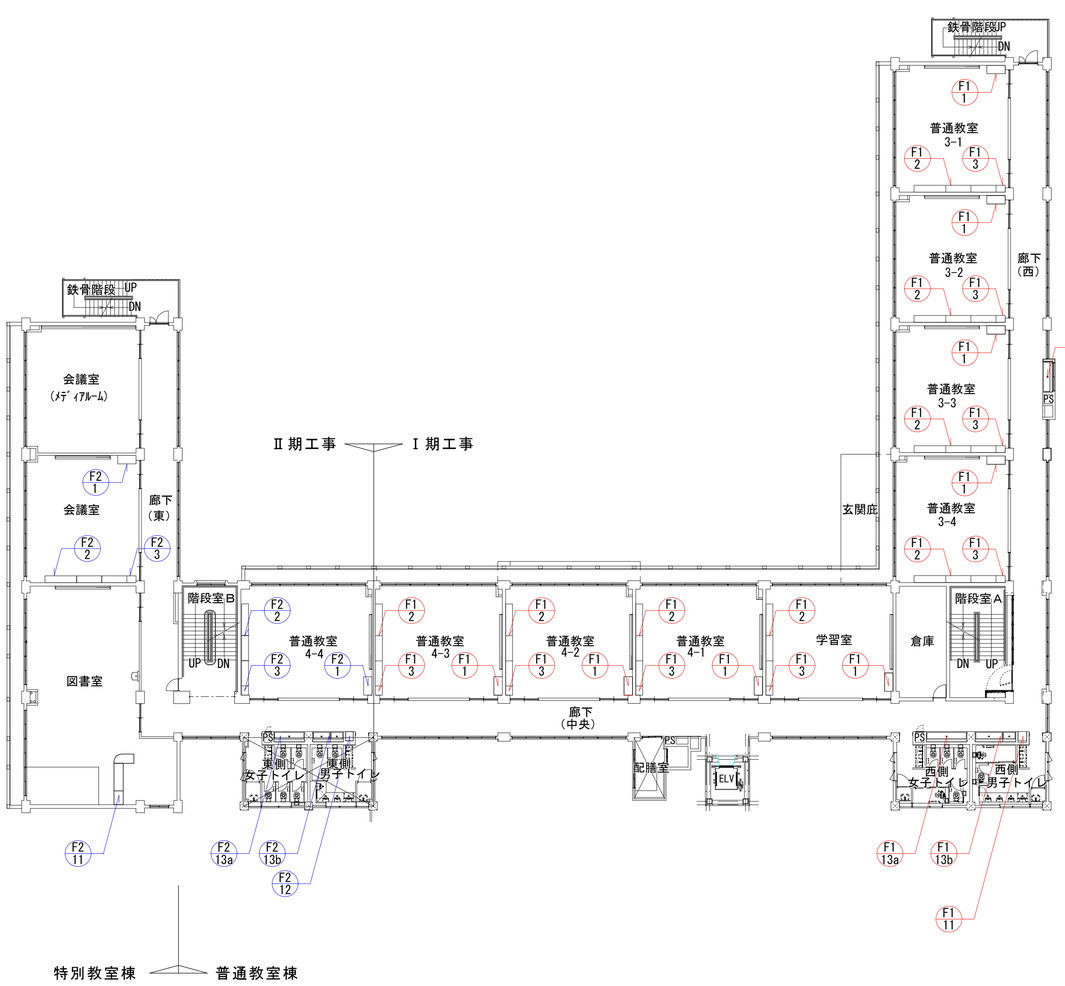
２階家具キープラン（改修）S-1/200

		設計番号	工事名称	縮尺	図面名称	図番 A-102
		年 月 日 令和8年1月	新座市立東北小学校校舎長寿命化改修工事	A1:1/200 A3:1/400	家具キープラン１（改修）	承認 / 製図

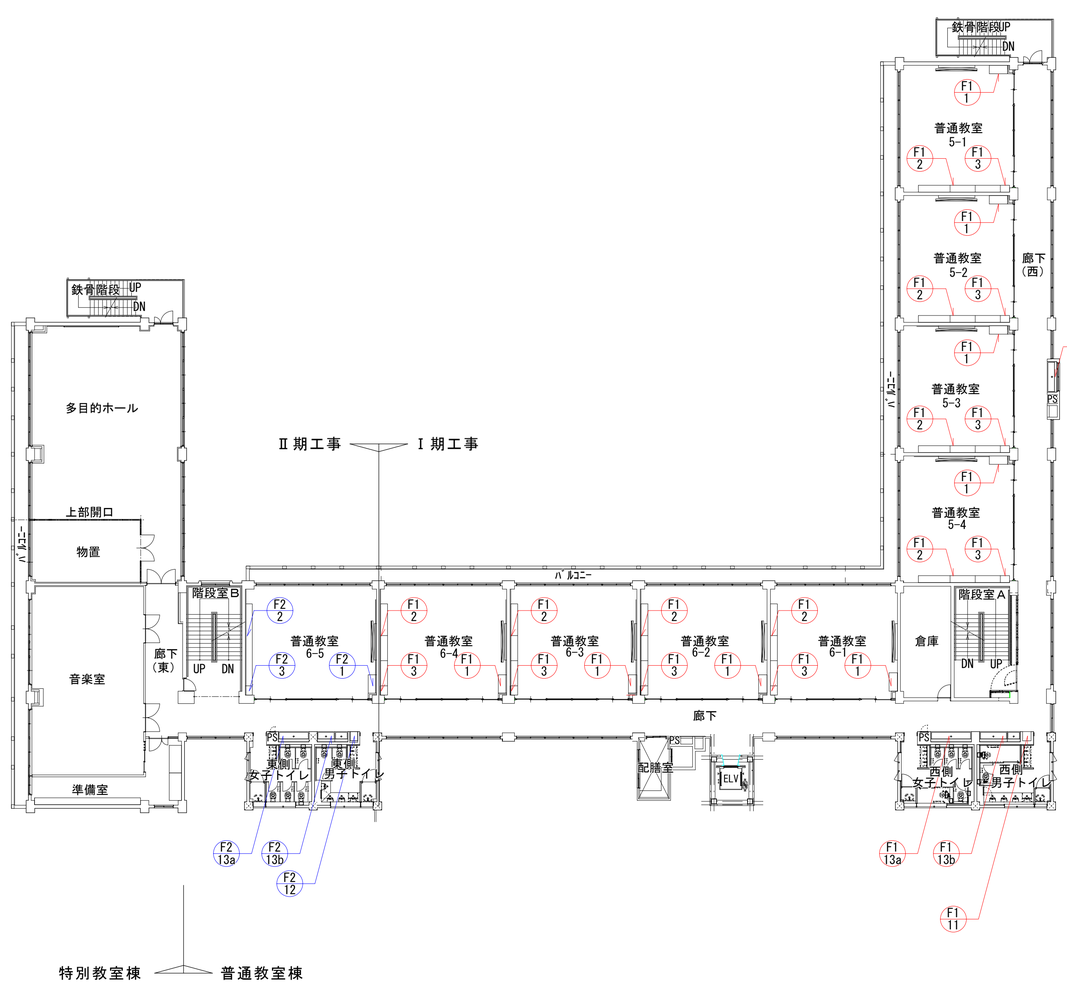
F1 * 家具新設（１期）

F2 * 家具新設（２期）

*家具番号を示す



３階家具キープラン（改修）S-1/200



４階家具キープラン（改修）S-1/200

		設計番号	工事名称	縮尺	図面名称	図番 A-103
		年 月 日 令和8年1月	新座市立東北小学校校舎長寿命化改修工事	A1:1/200 A3:1/400	家具キープラン２（改修）	承認 / 製図

家具共通仕様　「 図面中に特記なき所は下記の仕様とする。」

1 本体・棚板　室内ＶＯＣ（ ホルムアルデヒド等 ）の低減効果と抗菌機能を持った可視光増感型触媒を工業的に配合した
両面メラミン化粧パーティクルボード（ ユニボードピュアＨｉ ）厚さ２０mm、Ｆ☆☆☆を使用する。
上記材料は、ＪＩＳ－Ａ５９０８適合、１８タイプ（ 曲げ強さ１８Ｎ／平方ミリメートル以上 ）とし、
ＪＩＳマーク認定の国内工場での生産品、且つグリーン購入法適合品とする。
基材は、埼玉県産材を含む国産材混合（ 配合率２０％ ）とし、合法性木材認定事業者取り扱い品を使用する。

2 木口処理　躯体からの水分浸入を防ぐために、本体は背面も含めてフラットエッジ（ ＡＢＳ製樹脂をホットメルト練付 ）加工とする。
開き扉はセフティーエッジ（ ＡＢＳ製　厚さ3mm　ホットメルト練付 ）加工とする。

3 表面処理　本体・棚板・建具等は使用時の擦り傷の発生を抑制するために鉛筆硬度　９Ｈ　以上の表面材を使用する。
本体色については色見本帳（ ４５色以上 ）を提出の上決定する。

4 裏板　ポリエステル化粧合板　Ｆ☆☆☆　厚さ４mmを使用し、
片面フラッシュ（ ４５０mm　ピッチ以内に格子状桟組構造 ）とする。

5 本体組立て　組立ては、製作工場での木製ダボ組接合とし、接合部のノックダウン金物は使用不可とする。

6 巾木・台輪　ポリエステル化粧合板仕上げ　Ｆ☆☆☆（ 塗装不要 ）とする。

7 建具　板戸・戸枠は、くるいやホゾ抜け防止のため、かまち組み等は不可とし１枚物とする。
引違戸の鴨居側には耐震外れ止めスライドガイド、敷居側には上下調整戸車を使用する。
戸枠付きガラス戸は、安全性のため透明強化の刻印入り　厚さ４mmを使用し
メンテナンスが容易な樹脂成型（ ＡＢＳ製 ）の押縁で固定する。

8 把手・蝶番　樹脂成型品（ ＡＢＳ製 ）の把手・引手を使用する。
蝶番は、メンテナンスが容易なキャッチ機構付１１０°開きぜンシスヒンジ（ ソフトクローズ機構付 ）を使用する。
［ 掃除用具入れの吊元側板への蝶番固定は、５点吊中３ヶ所のみ貫通ボルト止めとする。］

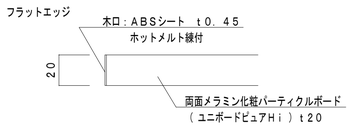
9 鴨居・敷居　メンテナンス性が容易な樹脂成型レール（ ＡＢＳ製 ）を埋め込んだ鴨居と面付けの敷居（ ＡＢＳ製 ）とする。

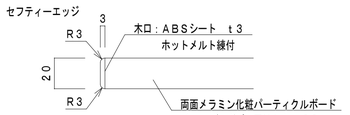
10 棚板受け　安全で外れにくいネジ込み式で、錆びにくいステンレス製ダボ　φ８－Ｍ６を使用する。
棚板は外れ止めシャクリ加工を施す。

11 特記事項　環境配慮及び品質確保のため、取り扱いは ＩＳＯ １４００１、製作は ＩＳＯ ９００１ 取得企業とする。
製作にあたり、事前に製品の品質証明書及び材料と接着剤の安全データシートを提出し、素材・塗物の承認を受ける。
室内空気清浄保持のために、学校環境衛生基準に対して参考となる類似製品のＶＯＣ測定データを提出する。

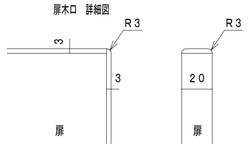
12 施工　家具取付は、安全のため壁や床に耐震固定を施す。

［ 木口詳細 ］

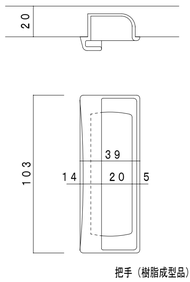




［ 開き扉詳細 ］

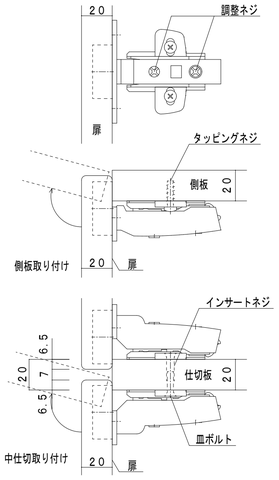


※ 扉木口：セフティーエッジ

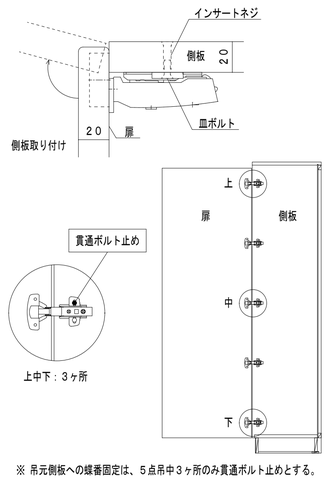


把手（樹脂成型品）　詳細図

キャッチ機構付ぜンシスヒンジ１１０°開き用蝶番（ソフトクローズ機構付）

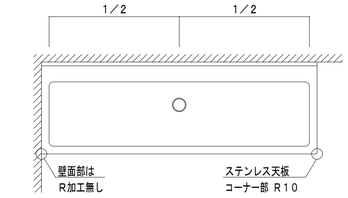


掃除用具入れの場合



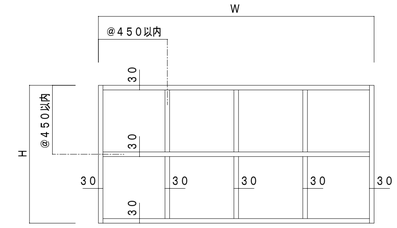
※ 吊元側板への蝶番固定は、５点吊中３ヶ所のみ貫通ボルト止めとする。

［ ステンレス納まり詳細 ］

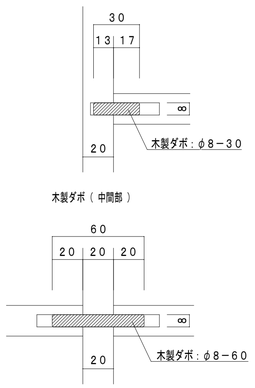


※ ステンレスシンクには結露防止処理を施す事とする。

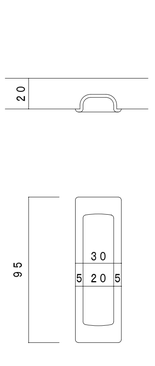
［ 裏板枠詳細 ］

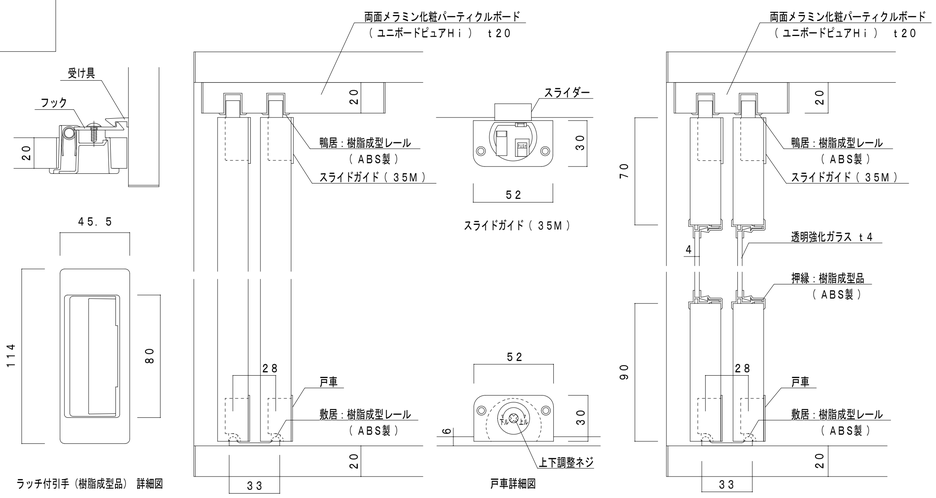


［ 接合部詳細 ］



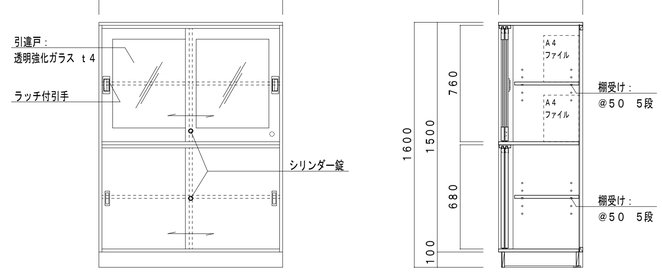
［ 引違戸詳細 ］





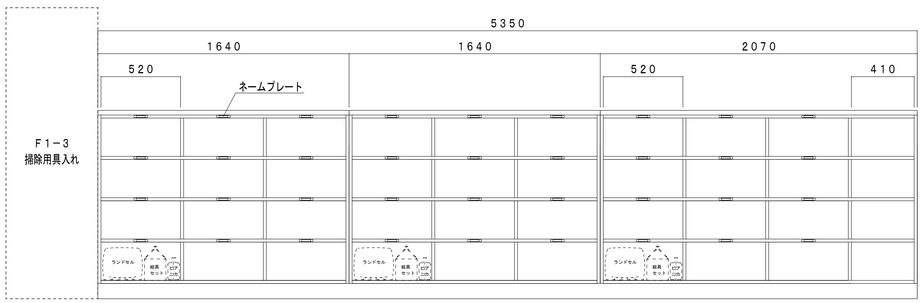
Ｆ１－１	教師用戸棚	各室　／　計２５ヶ所

室名	
1階　ココフレ室	1ヶ所
2階　普通教室1－1～4	4ヶ所
2階　普通教室2－1～4	4ヶ所
3階　普通教室3－1～4	4ヶ所
3階　普通教室4－1～3	3ヶ所
3階　学習室	1ヶ所
4階　普通教室5－1～4	4ヶ所
4階　普通教室6－1～4	4ヶ所



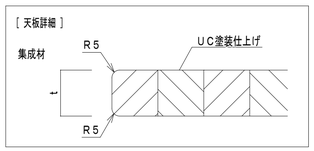
Ｆ１－２	児童用ロッカー（３６人分）	各室　／　計２５ヶ所

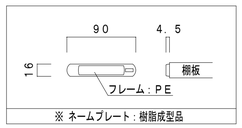
木目調



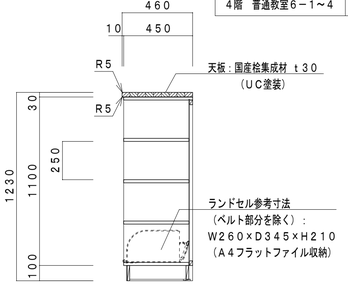
36人分

［ 天板詳細 ］





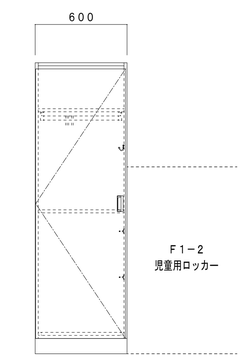
※ ネームプレート：樹脂成型品



室名	
1階　ココフレ室	1ヶ所
2階　普通教室1－1～4	4ヶ所
2階　普通教室2－1～4	4ヶ所
3階　普通教室3－1～4	4ヶ所
3階　普通教室4－1～3	3ヶ所
3階　学習室	1ヶ所
4階　普通教室5－1～4	4ヶ所
4階　普通教室6－1～4	4ヶ所

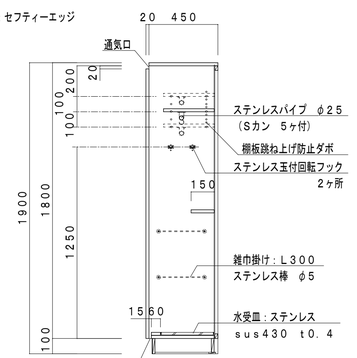
Ｆ１－３	掃除用具入れ	各室　／　計２５ヶ所

木目調



※ 扉吊元については、配置確認の上製作すること。

※ 扉木口：セフティーエッジ

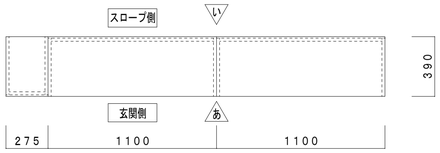


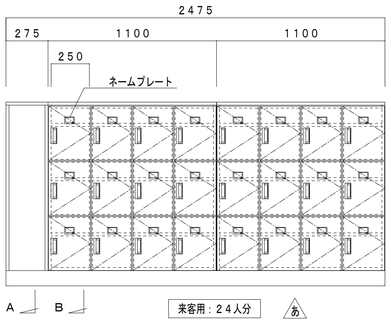
室名	
1階　ココフレ室	1ヶ所
2階　普通教室1－1～4	4ヶ所
2階　普通教室2－1～4	4ヶ所
3階　普通教室3－1～4	4ヶ所
3階　普通教室4－1～3	3ヶ所
3階　学習室	1ヶ所
4階　普通教室5－1～4	4ヶ所
4階　普通教室6－1～4	4ヶ所

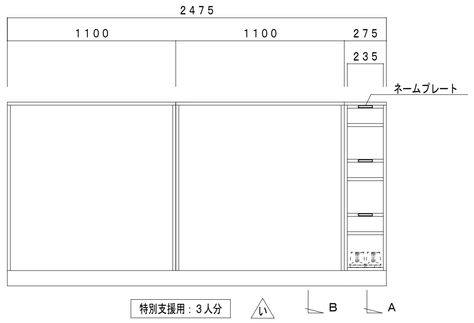
		設計番号	工事名称	縮尺	図面名称
		年 月 日	新座市立東北小学校校舎長寿命化改修工事	A1:1/20 A3:1/40	Ｉ期　家具詳細図１
		令和8年1月			図番 A-104
					承認 / 製図

Ｆ１－４　来客用（２４人分）・特別支援用（３人分）両面下足入れ　１階　玄関　／　１ヶ所

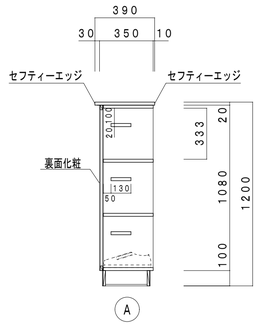
木目調

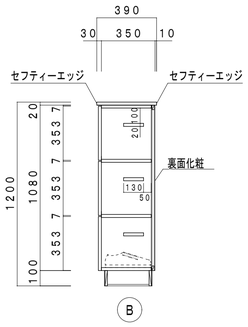


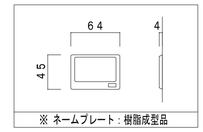




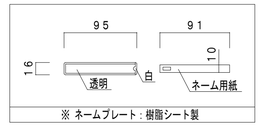
※ 扉木口：セフティーエッジ







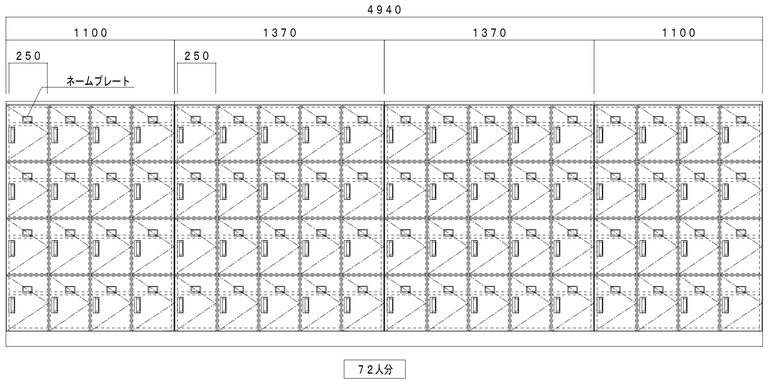
※ ネームプレート：樹脂成型品



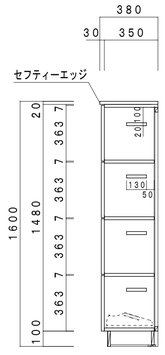
※ ネームプレート：樹脂シート製

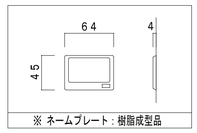
Ｆ１－５　教師用下足入れ（７２人分）　１階　玄関　／　１ヶ所

木目調



※ 扉木口：セフティーエッジ

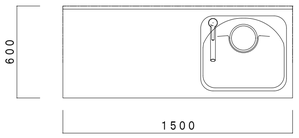


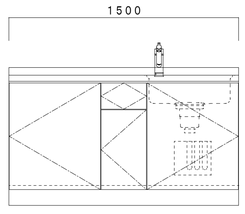


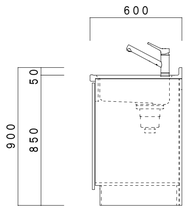
※ ネームプレート：樹脂成型品

Ｆ１－７　キッチン　１階　職員室　／　１ヶ所

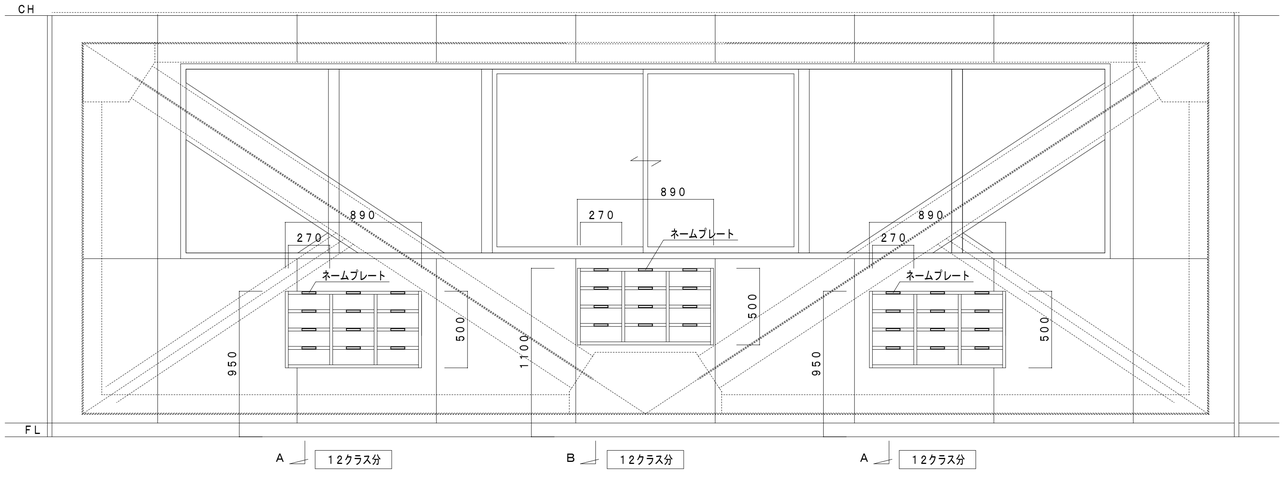
※ＬＩＸＩＬ　Ｔｉｏ（W1500、ベーシック、加熱機器無し）同等品

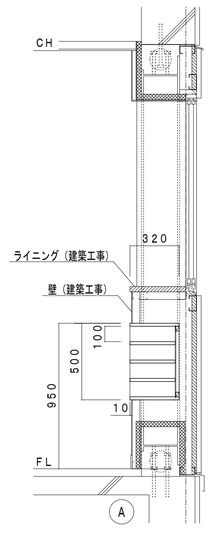


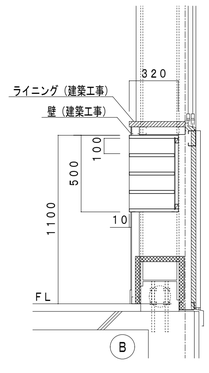


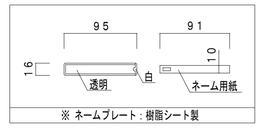


Ｆ１－６　クラス配布棚　１階　廊下（中央）　／　計１ヶ所







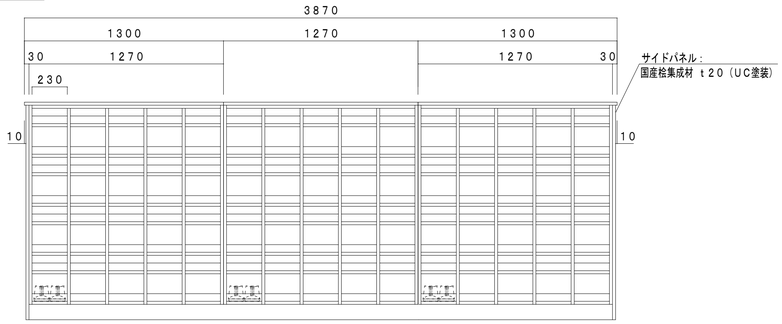


※ ネームプレート：樹脂シート製

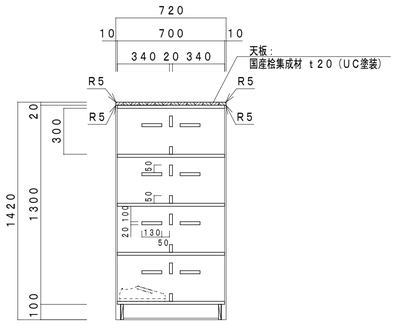
		設計番号	工事名称	縮尺	図面名称	図番
		年 月 日 令和8年1月	新座市立東北小学校校舎長寿命化改修工事	A1:1/20 A3:1/40	Ｉ期　家具詳細図２	A-105
						承認 / 製図

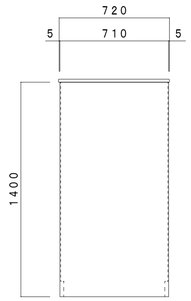
Ｆ１－８　児童用両面下足入れ（計３６０人分）　１階　Ａ昇降口　／　計３ヶ所

木目調

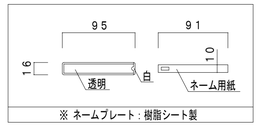


両面：１２０人分

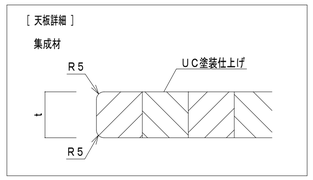




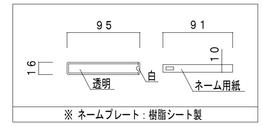
サイドパネル



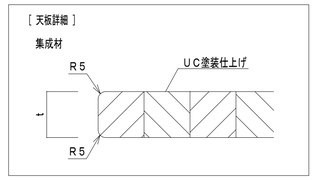
※ ネームプレート：樹脂シート製



	L	
a	5023	1ヶ所
b	5023	1ヶ所

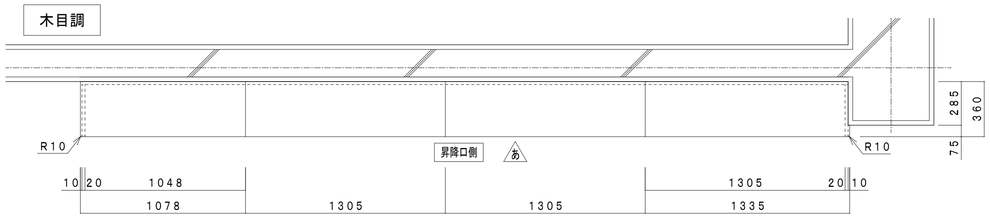


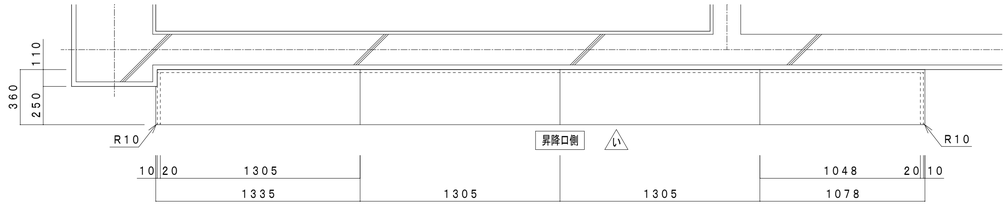
※ ネームプレート：樹脂シート製

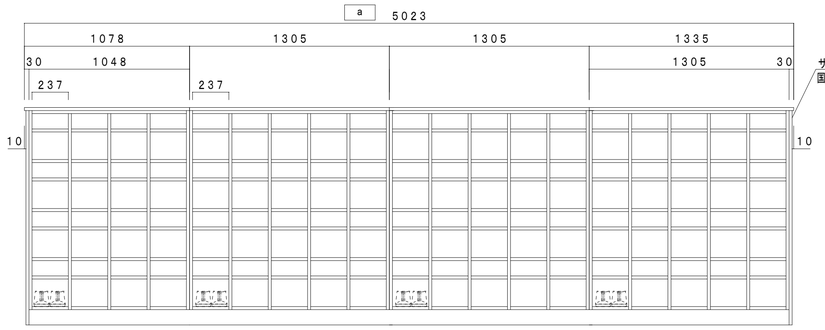


Ｆ１－９　児童用下足入れ（計１５２人分）　１階　Ａ昇降口　／　計２ヶ所

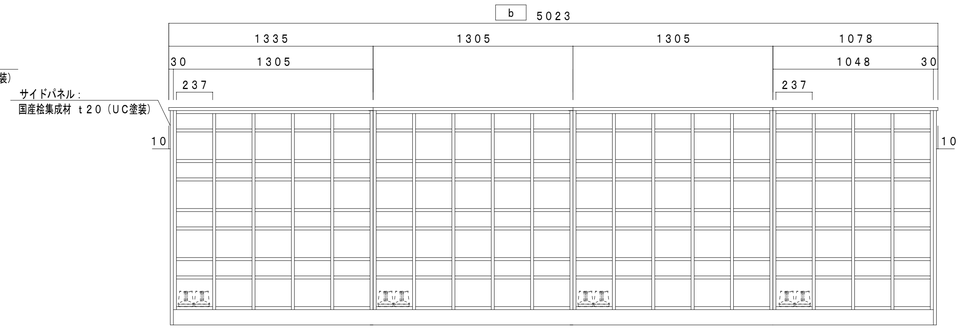
木目調



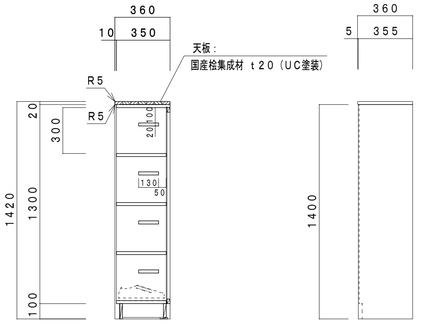




７６人分　あ

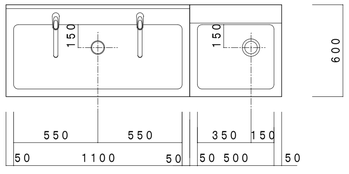


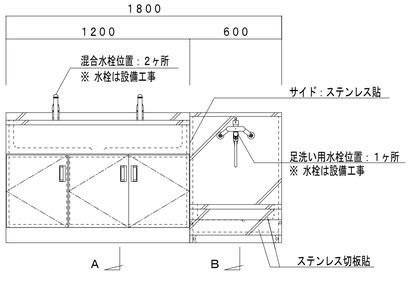
７６人分　い



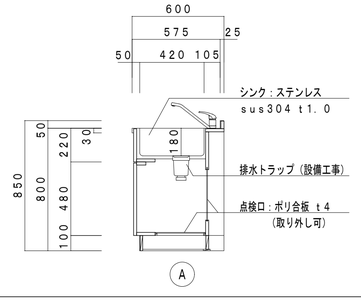
サイドパネル

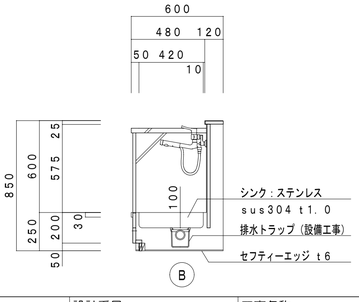
Ｆ１－１０　流し台・足洗流し　１階　保健室　／　１ヶ所





※ 扉木口：セフティーエッジ

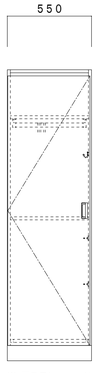


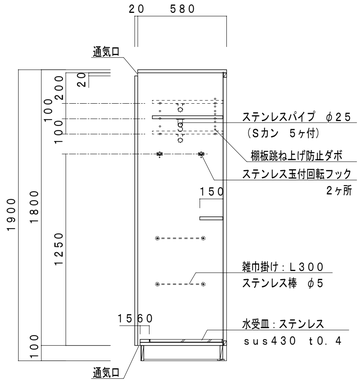


Ｆ１－１１　掃除用具入れ　各室　／　計４ヶ所

室名	
1階　廊下（中央）	1ヶ所
2階　廊下（中央）	1ヶ所
3階　廊下（中央）	1ヶ所
4階　廊下（中央）	1ヶ所

※ 扉木口：セフティーエッジ





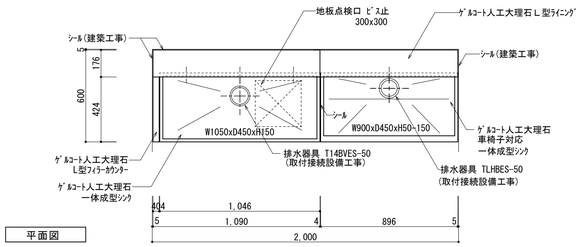
※ 扉吊元については、配置確認の上製作すること。

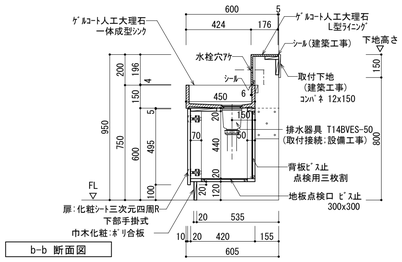
		設計番号	工事名称	縮尺	図面名称	図番
		年 月 日 令和8年1月	新座市立東北小学校校舎長寿命化改修工事	A1:1/20 A3:1/40	Ｉ期　家具詳細図３	A-106
						承認 / 製図

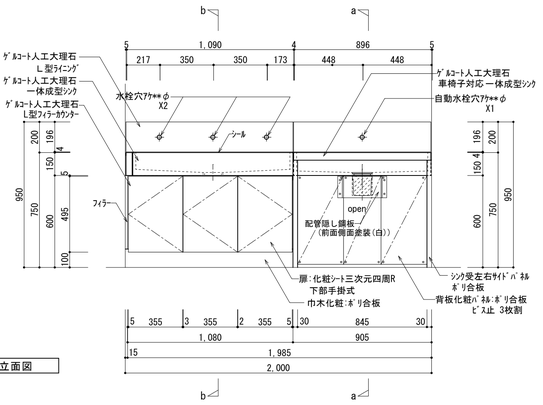
Ｆ１－１２　流し台　各室 ／ 計４ヶ所

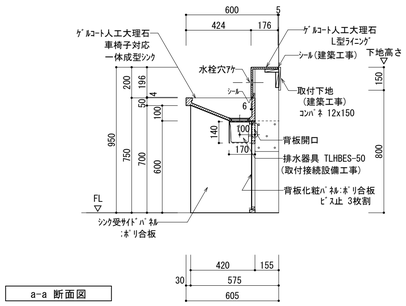
仕　様		
ﾗｲﾆﾝｸﾞ/ｶｳﾝﾀｰ	ｹﾞﾙｺｰﾄ人工大理石	
ｼﾝｸ	ｹﾞﾙｺｰﾄ人工大理石	CHECL904515 ECL 1054515
ｷｬﾋﾞﾈｯﾄ　扉	化粧ｼｰﾄ三次元四周R(共和ﾗｲﾌﾃｸﾉ) 下部手掛式	
ｷｬﾋﾞﾈｯﾄ本体	ｶﾞﾘ合板	5414色(白)
巾木	ｶﾞﾘ合板	5414色(白)
ｻｲﾄﾞﾊﾟﾈﾙ/背板	ｶﾞﾘ合板	5414色(白)

室名	
1階　廊下（西）	1ヶ所
2階　廊下（西）	1ヶ所
3階　廊下（西）	1ヶ所
4階　廊下（西）	1ヶ所





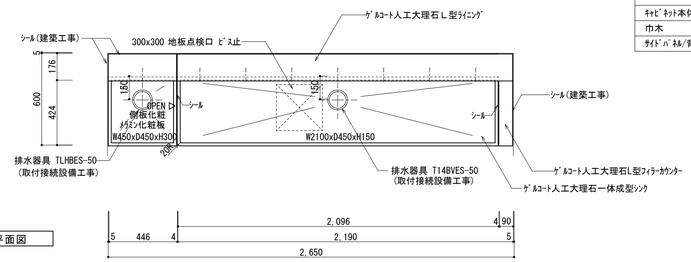


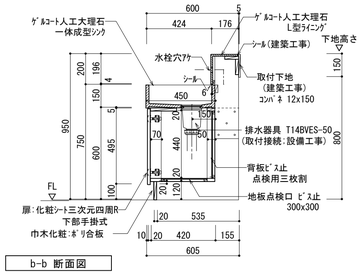


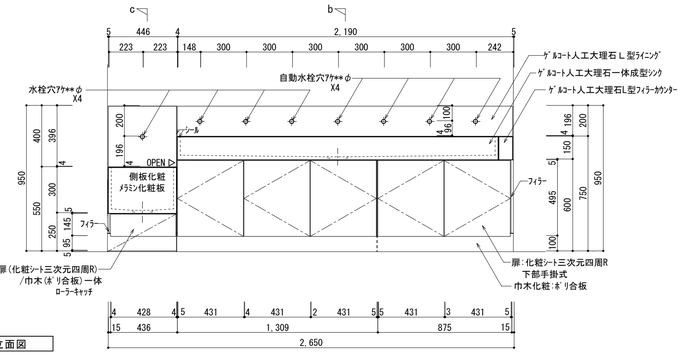
Ｆ１－１３ａ　流し台　各室 ／ 計４ヶ所

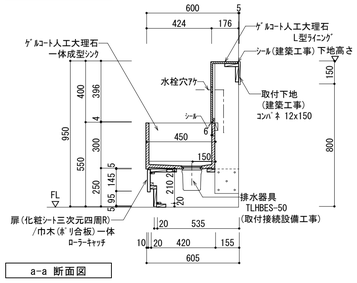
仕　様		
ﾗｲﾆﾝｸﾞ/ｶｳﾝﾀｰ	ｹﾞﾙｺｰﾄ人工大理石	
ｼﾝｸ	ｹﾞﾙｺｰﾄ人工大理石	CHECL904515 ECL 1054515
ｷｬﾋﾞﾈｯﾄ　扉	化粧ｼｰﾄ三次元四周R(共和ﾗｲﾌﾃｸﾉ) 下部手掛式	
ｷｬﾋﾞﾈｯﾄ本体	ｶﾞﾘ合板	5414色(白)
巾木	ｶﾞﾘ合板	5414色(白)
ｻｲﾄﾞﾊﾟﾈﾙ/背板	ｶﾞﾘ合板	5414色(白)

室名	
1階　廊下（中央西）	1ヶ所
2階　廊下（中央西）	1ヶ所
3階　廊下（中央西）	1ヶ所
4階　廊下（中央西）	1ヶ所





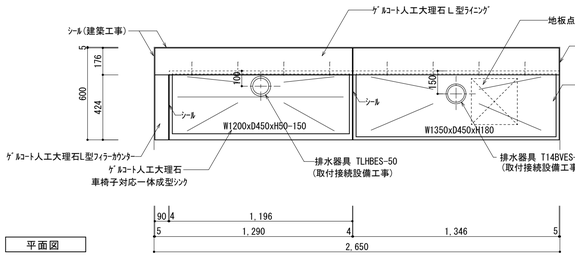


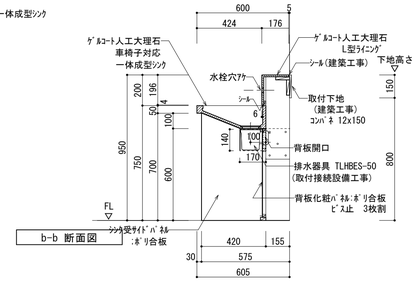


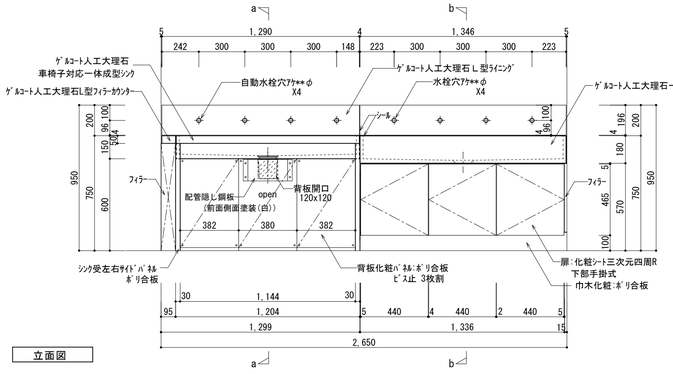
Ｆ１－１３ｂ　流し台　各室 ／ 計４ヶ所

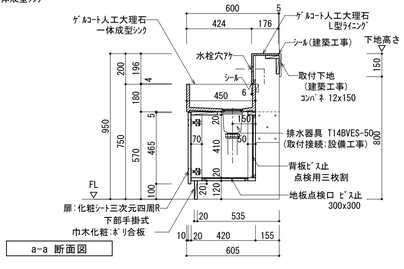
仕　様		
ﾗｲﾆﾝｸﾞ/ｶｳﾝﾀｰ	ｹﾞﾙｺｰﾄ人工大理石	
ｼﾝｸ	ｹﾞﾙｺｰﾄ人工大理石	CHEGL904515 EGL 1054515
ｷｬﾋﾞﾈｯﾄ　扉	化粧ｼｰﾄ三次元四周R(共和ﾗｲﾌﾃｸﾉ) 下部手掛式	
ｷｬﾋﾞﾈｯﾄ本体	ｶﾞﾘ合板	5414色(白)
巾木	ｶﾞﾘ合板	5414色(白)
ｻｲﾄﾞﾊﾟﾈﾙ/背板	ｶﾞﾘ合板	5414色(白)

室名	
1階　廊下（中央西）	1ヶ所
2階　廊下（中央西）	1ヶ所
3階　廊下（中央西）	1ヶ所
4階　廊下（中央西）	1ヶ所







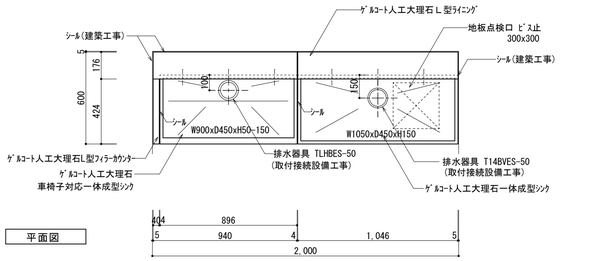


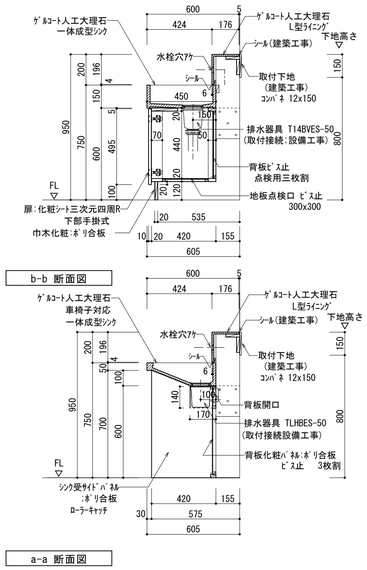
		設計番号		縮尺	A1:1/20 A3:1/40	図番	A-107
		年 月 日	令和8年1月	図面名称	（Ｉ期）　家具詳細図４	承認	製図
		工事名称	新座市立東北小学校校舎長寿命化改修工事				

F２－１３ａ	流し台	各室 ／ 計４ヶ所

仕　様		
ﾗｲﾆﾝｸﾞ/ｶｳﾝﾀｰ	ｹﾞﾙｺｰﾄ人工大理石	
ｼﾝｸ	ｹﾞﾙｺｰﾄ人工大理石　CHECL904515 ECL　1054515	
ｷｬﾋﾞﾈｯﾄ　扉	化粧ｼｰﾄ三次元四周R（共和ﾗｲﾌﾃｸﾉ） 下部手掛式	
ｷｬﾋﾞﾈｯﾄ本体	ﾎﾟﾘ合板	5414色（白）
巾木	ﾎﾟﾘ合板	5414色（白）
ｻｲﾄﾞﾊﾟﾈﾙ/背板	ﾎﾟﾘ合板	5414色（白）

室名	
1階　廊下（中央東）	1ヶ所
2階　廊下（中央東）	1ヶ所
3階　廊下（中央東）	1ヶ所
4階　廊下（中央東）	1ヶ所

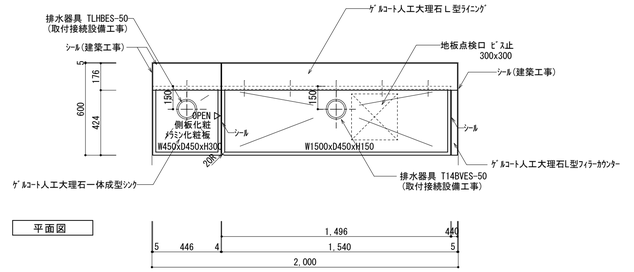


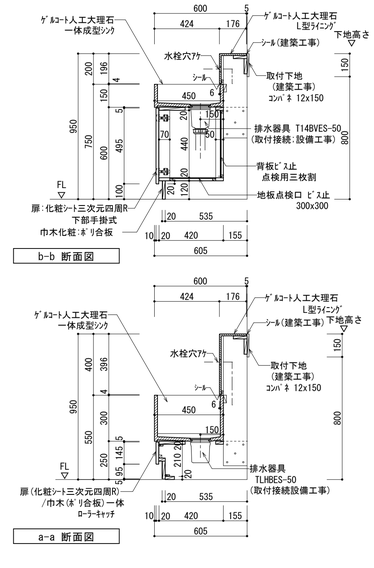


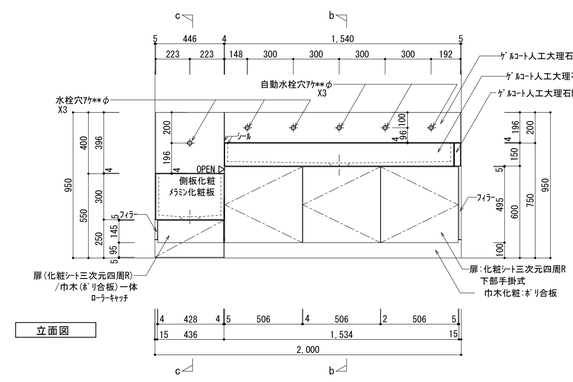
F２－１３ｂ	流し台	各室 ／ 計４ヶ所

仕　様		
ﾗｲﾆﾝｸﾞ/ｶｳﾝﾀｰ	ｹﾞﾙｺｰﾄ人工大理石	
ｼﾝｸ	ｹﾞﾙｺｰﾄ人工大理石　CHECL904515 ECL　1054515	
ｷｬﾋﾞﾈｯﾄ　扉	化粧ｼｰﾄ三次元四周R（共和ﾗｲﾌﾃｸﾉ） 下部手掛式	
ｷｬﾋﾞﾈｯﾄ本体	ﾎﾟﾘ合板	5414色（白）
巾木	ﾎﾟﾘ合板	5414色（白）
ｻｲﾄﾞﾊﾟﾈﾙ/背板	ﾎﾟﾘ合板	5414色（白）

室名	
1階　廊下（中央東）	1ヶ所
2階　廊下（中央東）	1ヶ所
3階　廊下（中央東）	1ヶ所
4階　廊下（中央東）	1ヶ所







		設計番号	工事名称	縮尺	図面名称	図番	A-108
		年 月 日 令和8年1月	新座市立東北小学校校舎長寿命化改修工事	A1:1/20 A3:1/40	（Ⅱ期）　家具詳細図５	承認	製図

家具共通仕様　「 図面中に特記なき所は下記の仕様とする。」

1 本体・棚板　室内ＶＯＣ（ ホルムアルデヒド等 ）の低減効果と抗菌機能を持った可視光増感型触媒を工業的に配合した
両面メラミン化粧パーティクルボード（ ユニボードピュアＨｉ ）厚さ２０mm、Ｆ☆☆☆を使用する。
上記材料は、ＪＩＳ－Ａ５９０８適合、１８タイプ（ 曲げ強さ１８Ｎ／平方ミリメートル以上 ）とし、
ＪＩＳマーク認定の国内工場での生産品、且つグリーン購入法適合品とする。
基材は、埼玉県産材を含む国産材混合（ 配合率２０％ ）とし、合法性木材認定事業者取り扱い品を使用する。

2 木口処理　躯体からの水分浸入を防ぐために、本体は背面も含めてフラットエッジ（ ＡＢＳ製樹脂をホットメルト練付 ）加工とする。
開き扉はセフティーエッジ（ ＡＢＳ製　厚さ3mm　ホットメルト練付 ）加工とする。

3 表面処理　本体・棚板・建具等は使用時の擦り傷の発生を抑制するために鉛筆硬度　９Ｈ　以上の表面材を使用する。
本体色については色見本帳（ ４５色以上 ）を提出の上決定する。

4 裏板　ポリエステル化粧合板　Ｆ☆☆☆　厚さ４mmを使用し、
片面フラッシュ（ ４５０mm　ピッチ以内に格子状桟組構造 ）とする。

5 本体組立て　組立ては、製作工場での木製ダボ組接合とし、接合部のノックダウン金物は使用不可とする。

6 巾木・台輪　ポリエステル化粧合板仕上げ　Ｆ☆☆☆（ 塗装不要 ）とする。

7 建具　板戸・戸枠は、くるいやホゾ抜け防止のため、かまち組み等は不可とし１枚物とする。
引違戸の鴨居側には耐震外れ止めスライドガイド、敷居側には上下調整戸車を使用する。
戸枠付きガラス戸は、安全性のため透明強化の刻印入り　厚さ４mmを使用し
メンテナンスが容易な樹脂成型（ ＡＢＳ製 ）の押縁で固定する。

8 把手・蝶番　樹脂成型品（ ＡＢＳ製 ）の把手・引手を使用する。
蝶番は、メンテナンスが容易なキャッチ機構付１１０°開きゼンシスヒンジ（ ソフトクローズ機構付 ）を使用する。
［ 掃除用具入れの吊元側板への蝶番固定は、５点吊中３ヶ所のみ貫通ボルト止めとする。］

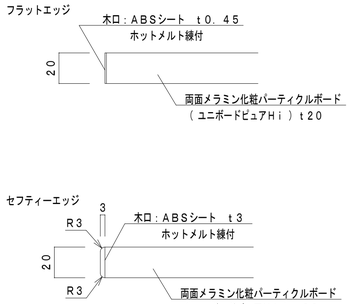
9 鴨居・敷居　メンテナンス性が容易な樹脂成型レール（ ＡＢＳ製 ）を埋め込んだ鴨居と面付けの敷居（ ＡＢＳ製 ）とする。

10 棚板受け　安全で外れにくいネジ込み式で、錆びにくいステンレス製ダボ　φ８－Ｍ６を使用する。
棚板は外れ止めシャクリ加工を施す。

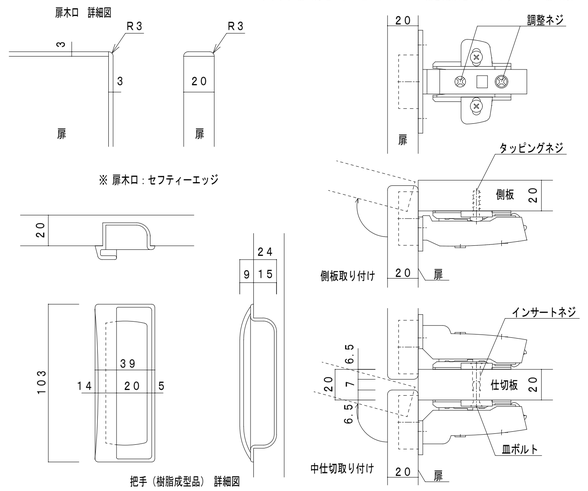
11 特記事項　環境配慮及び品質確保のため、取り扱いは ＩＳＯ １４００１、製作は ＩＳＯ ９００１ 取得企業とする。
製作にあたり、事前に製品の品質証明書及び材料と接着剤の安全データシートを提出し、素材・塗物の承認を受ける。
室内空気清浄保持のために、学校環境衛生基準に対して参考となる類似製品のＶＯＣ測定データを提出する。

12 施工　家具取付は、安全のため壁や床に耐震固定を施す。

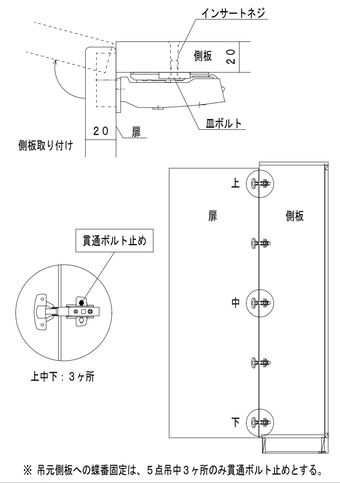
［ 木口詳細 ］



［ 開き扉詳細 ］

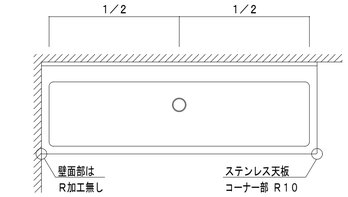


掃除用具入れの場合



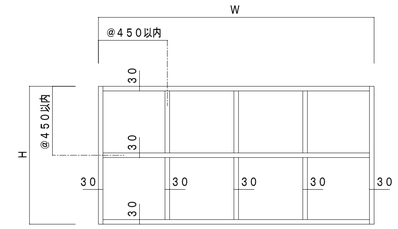
※ 吊元側板への蝶番固定は、５点吊中３ヶ所のみ貫通ボルト止めとする。

［ ステンレス納まり詳細 ］

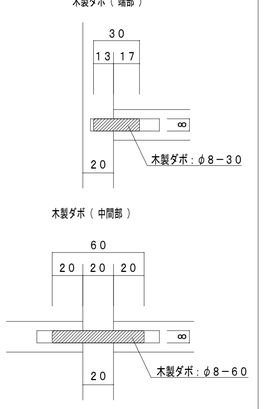


※ ステンレスシンクには結露防止処理を施す事とする。

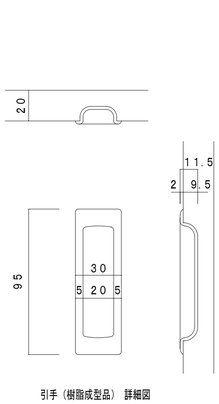
［ 裏板枠詳細 ］

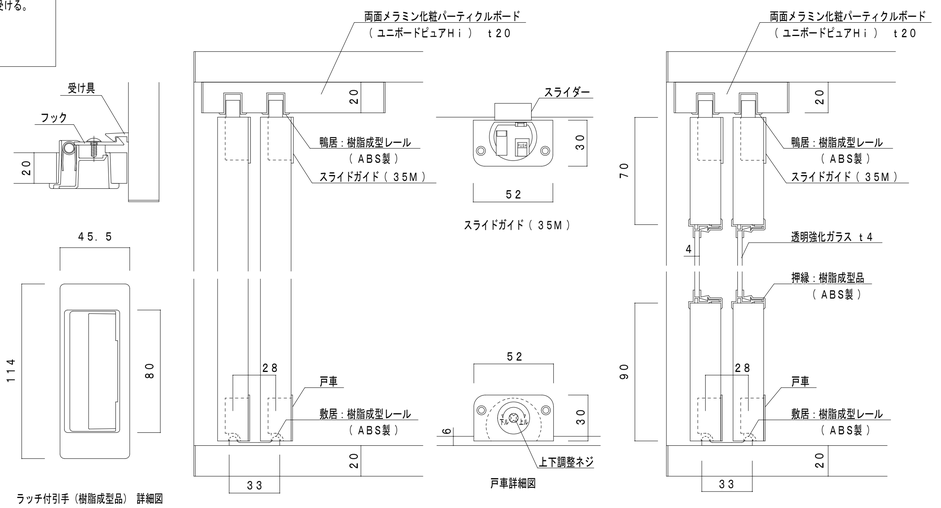


［ 接合部詳細 ］



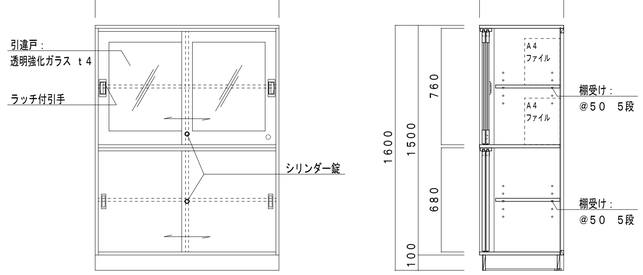
［ 引違戸詳細 ］





Ｆ２－１　教師用戸棚　／　各室　／　計５ヶ所

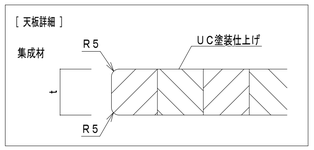
室名	
1階　特別支援室２	1ヶ所
2階　特別支援室３	1ヶ所
3階　会議室	1ヶ所
3階　普通教室４－４	1ヶ所
4階　普通教室６－５	1ヶ所

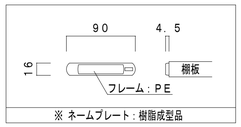


Ｆ２－２　児童用ロッカー（３６人分）　／　各室　／　計５ヶ所

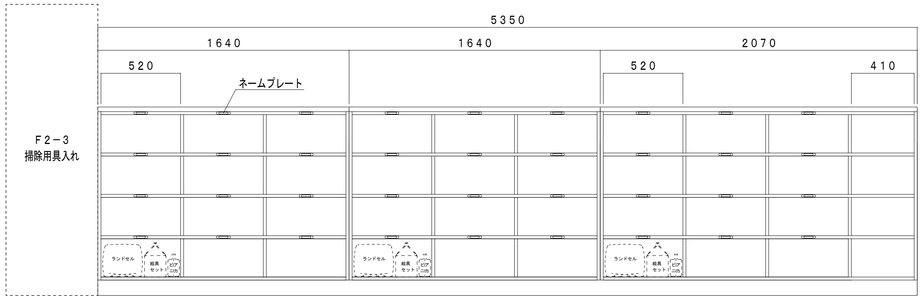
木目調

［ 天板詳細 ］

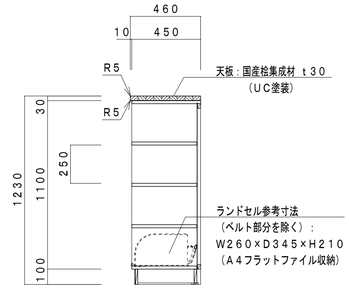




室名	
1階　特別支援室２	1ヶ所
2階　特別支援室３	1ヶ所
3階　会議室	1ヶ所
3階　普通教室４－４	1ヶ所
4階　普通教室６－５	1ヶ所



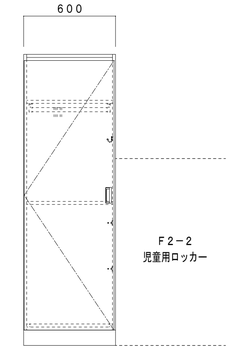
36人分



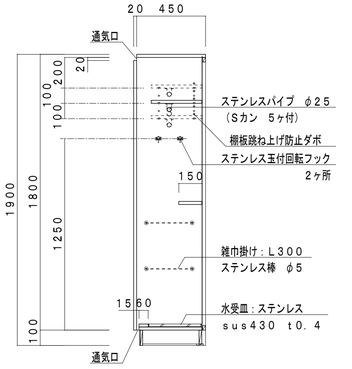
Ｆ２－３　掃除用具入れ　／　各室　／　計５ヶ所

木目調

※ 扉木口：セフティーエッジ



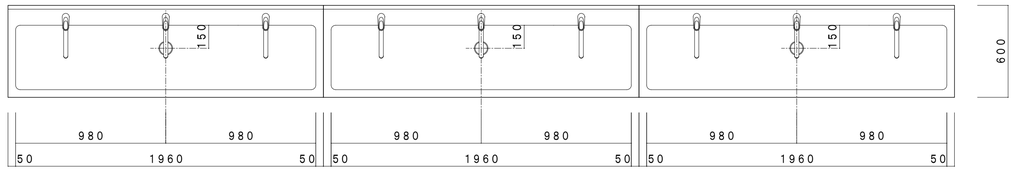
※ 扉吊元については、配置確認の上製作すること。



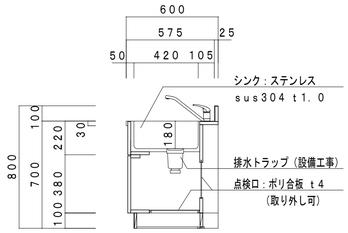
室名	
1階　特別支援室２	1ヶ所
2階　特別支援室３	1ヶ所
3階　会議室	1ヶ所
3階　普通教室４－４	1ヶ所
4階　普通教室６－５	1ヶ所

		設計番号	工事名称	縮尺	図面名称	図番
		年 月 日 令和8年1月	新座市立東北小学校校舎長寿命化改修工事	A1:1/20 A3:1/40	（Ⅱ期）　家具詳細図１	A－109
						承認 / 製図

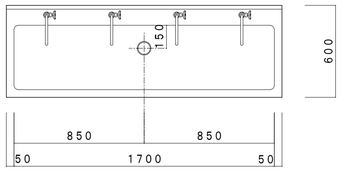
Ｆ２－４　流し台　／　１階　家庭科室　／　１ヶ所



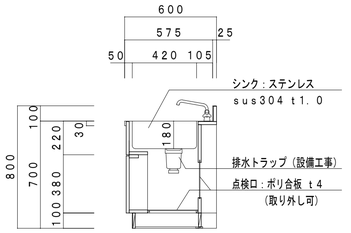
※ 扉木口：セフティーエッジ



Ｆ２－７　流し台　／　２階　理科室　／　計２ヶ所

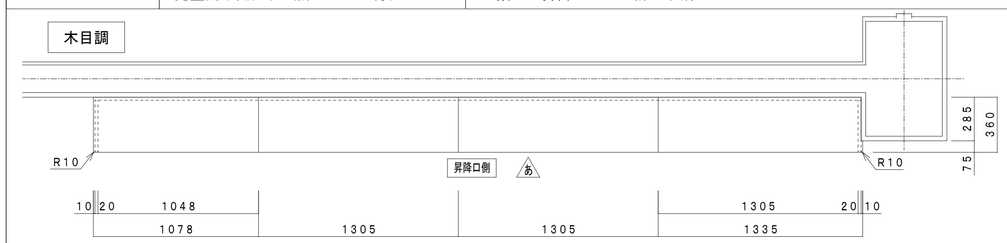


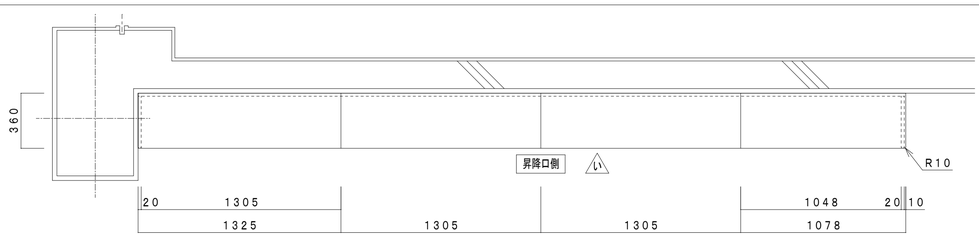
※ 扉木口：セフティーエッジ



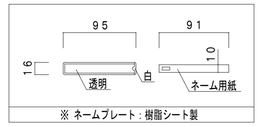
Ｆ２－５　児童用下足入れ（計１５２人分）　／　１階　Ｂ昇降口　／　計２ヶ所

木目調

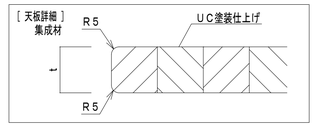




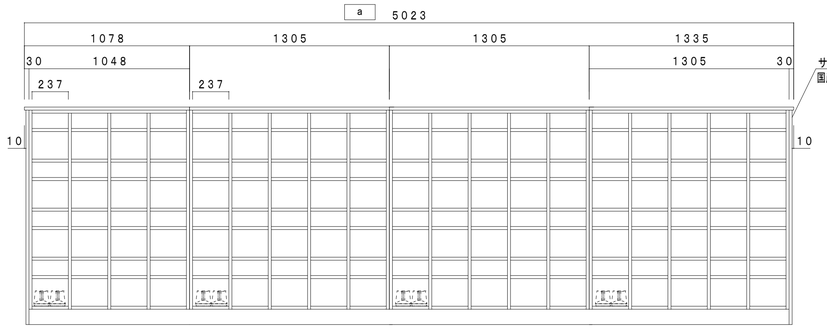
	L	
a	5023	1ヶ所
b	5013	1ヶ所



※ ネームプレート：樹脂シート製

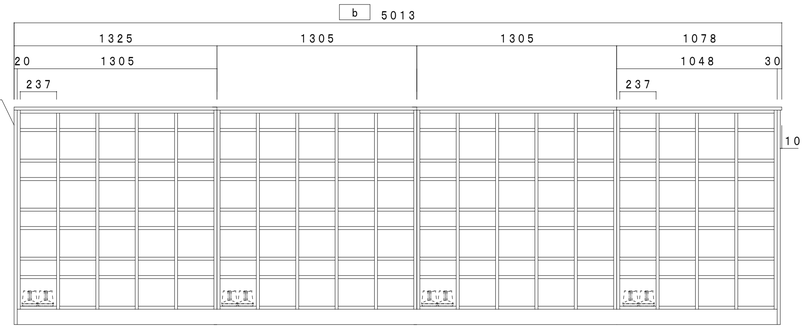


a　5023

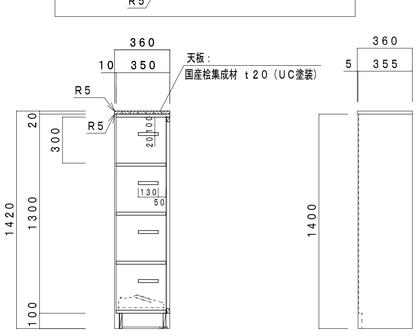


76人分　あ

b　5013

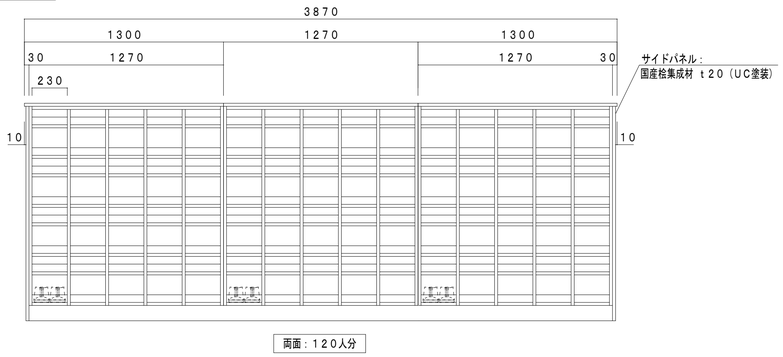


76人分　い

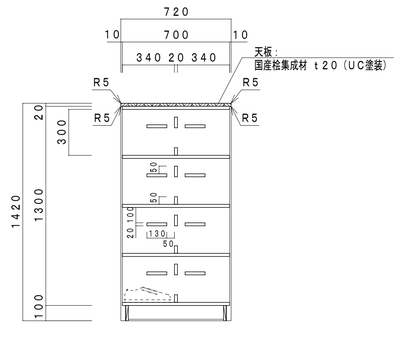


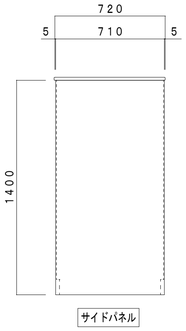
Ｆ２－６　児童用両面下足入れ（計３６０人分）　／　１階　Ｂ昇降口　／　計３ヶ所

木目調

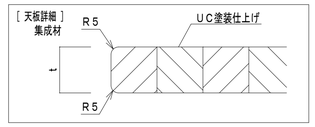


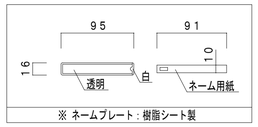
両面：１２０人分





サイドパネル

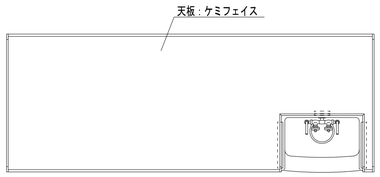


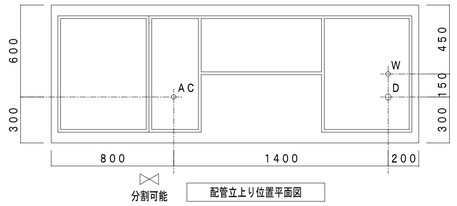


※ ネームプレート：樹脂シート製

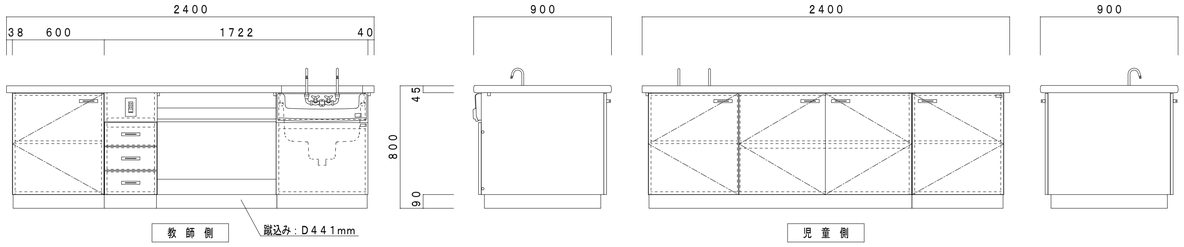
		設計番号	工事名称	縮尺	図面名称	図番
		年 月 日	新座市立東北小学校校舎長寿命化改修工事	A1:1/20 A3:1/40	（Ⅱ期）　家具詳細図２	A-110
		令和8年1月				承認 / 製図

Ｆ２－８　教師用実験台　／　２階　理科室　／　１ヶ所



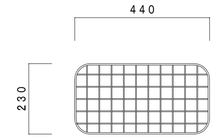


配管（床上９０mm以内）	
W	１５A型
D	４０VP／５０VP
AC	１５A－１００V



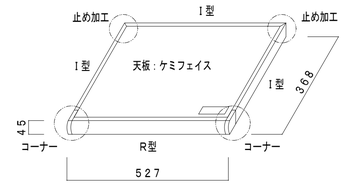
陶器流し（B－１３／B－１９）用　水切りアミ	
寸法	W４４０×D２３０×H３０mm
色	白
仕上げ	ポリエチレン樹脂

陶器流し（B－１３／B－１９）用　水切りアミ



流しフタ　STF－1－C	
寸法	W５２７×D３６８×H４５mm
色	ブラック
天板	ケミフェイス
エッジ、コーナー	樹脂成型エッジ（L面R形状）、樹脂成型コーナー
厚さ	ｔ４５mm

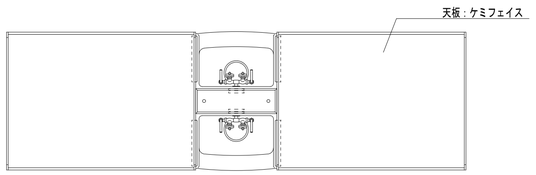
流しフタ＜ＳＴＦ－１－Ｃ（規）＞

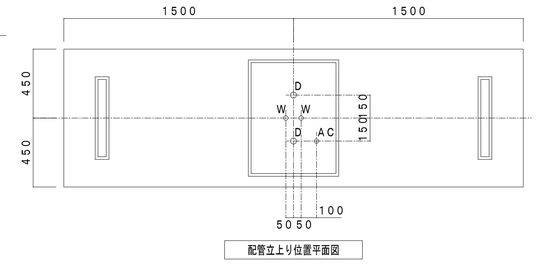


教師用実験台　ST－５００RZ－CF－H（改）		
寸法	W２４００×D９００×H８００mm	
天板	ケミフェイス　ブラック	
エッジ、コーナー	樹脂成型エッジ（L面R形状）、樹脂成型コーナー	
厚さ	ｔ４５mm	
本体	ユニボード ピュアHi ｔ１８mm　F☆☆☆☆	
	（パウダーグレー：U－１６０）	
エッジ	樹脂シート　ｔ０.４５mm　ホットメルト接着　F☆☆☆☆	
建具類	ユニボード ピュアHi ｔ１８mm　F☆☆☆☆（１０色より選択可）	
エッジ	セフティーエッジ　ｔ３mm　ホットメルト接着	
抽斗箱	シュブラーゼ　ｔ１５mm　（MSスライドレール使用）	
台輪	ウレタン塗装（水性）　F☆☆☆☆　　U－２００色	
蝶番	ゼンシスヒンジ１１０°開き（ソフトクローズ機構）	
把手	樹脂成型品　B－２	
水栓	折りたたみ化学水栓　２口　B－１４（逆止弁付／寒冷地用）	1
陶器流し	B－１３	1
コンセント	AC：１００V ２口アースターミナル付	1
床固定アングル	樹脂成型品　B－１	2

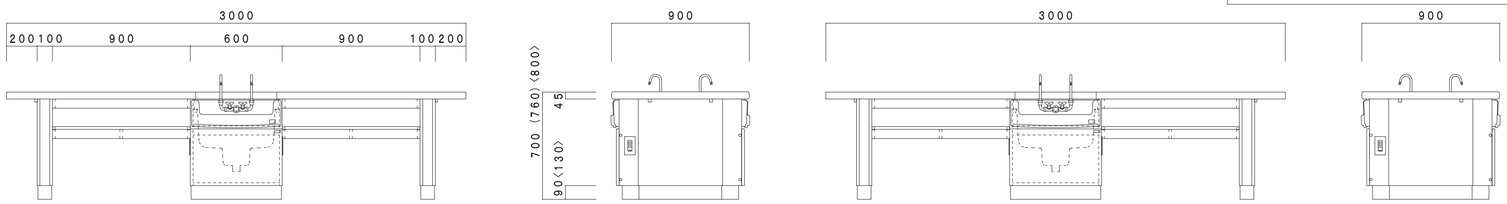
※ユニボード ピュアHi：VOC低減・抗菌機能付

Ｆ２－９　児童用実験台　／　２階　理科室　／　計５ヶ所





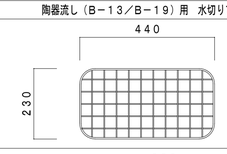
配管（床上９０mm以内）	
W	２×１５A型
D	２×４０VP／５０VP
AC	１５A－１００V



※Ｈ寸法は現場確認の上、製作すること。

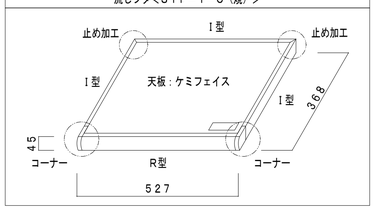
陶器流し（B－１３／B－１９）用　水切りアミ	
寸法	W４４０×D２３０×H３０mm
色	白
仕上げ	ポリエチレン樹脂

陶器流し（B－１３／B－１９）用　水切りアミ



流しフタ　STF－1－C	
寸法	W５２７×D３６８×H４５mm
色	ブラック
天板	ケミフェイス
エッジ、コーナー	樹脂成型エッジ（L面R形状）、樹脂成型コーナー
厚さ	ｔ４５mm

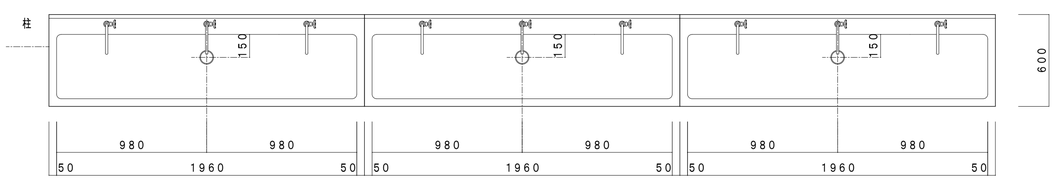
流しフタ＜ＳＴＦ－１－Ｃ（規）＞

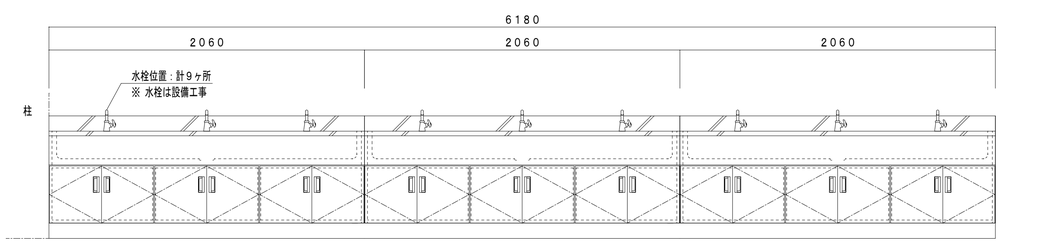


児童用実験台　ST－５３４ZZ－CF－S／M／H（改）		
寸法	W３０００×D９００×H７００（７６０）＜８００＞mm	
天板	ケミフェイス　ブラック	
エッジ、コーナー	樹脂成型エッジ（L面R形状）、樹脂成型コーナー	
厚さ	ｔ４５mm	
本体	ユニボード ピュアHi ｔ１８mm　F☆☆☆☆	
	（パウダーグレー：U－１６０）	
エッジ	樹脂シート　ｔ０.４５mm　ホットメルト接着　F☆☆☆☆	
脚見付・ＦＩＸ	ユニボード ピュアHi ｔ１８mm　F☆☆☆☆（１０色より選択可）	
エッジ	セフティーエッジ　ｔ３mm　ホットメルト接着	
台輪	ウレタン塗装（水性）　F☆☆☆☆　　U－２００色	
水栓	折りたたみ化学水栓　２口　B－１４（逆止弁付／寒冷地用）	2
陶器流し	B－１３	2
コンセント	AC：１００V ２口アースターミナル付	2
床固定アングル	樹脂成型品　B－１	2

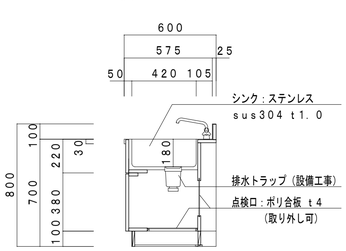
※ユニボード ピュアHi：VOC低減・抗菌機能付

Ｆ２－１０　流し台　／　２階　図工室　／　１ヶ所



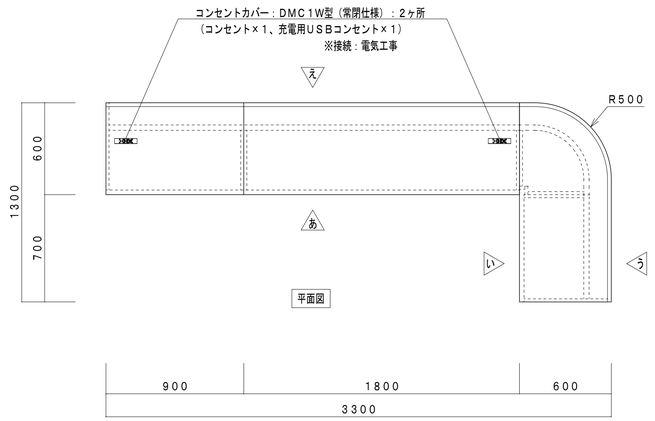


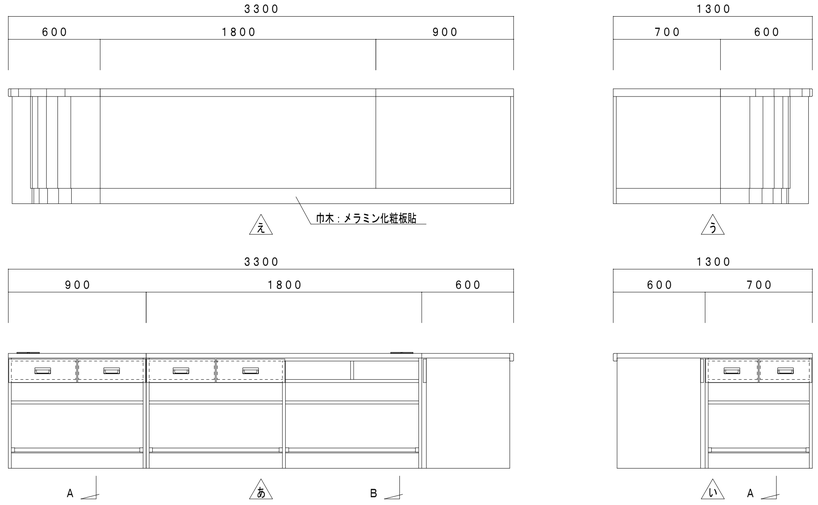
※ 扉木口：セフティーエッジ



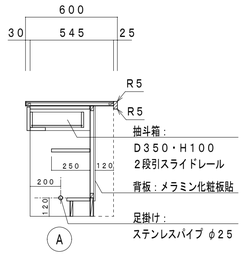
		設計番号	工事名称	縮尺	図面名称	図番	
		年 月 日	新座市立東北小学校校舎長寿命化改修工事	A1:1/20 A3:1/40	（Ⅱ期）　家具詳細図３	A－111	
		令和8年1月				承認	製図

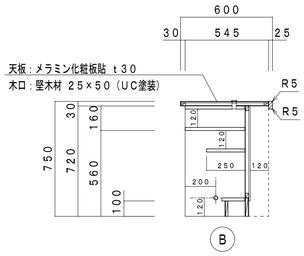
Ｆ２－１１　カウンター　／　３階　図書室　／　１ヶ所





※ 本体見付木口：セフティーエッジ
※ 抽斗前板木口：セフティーエッジ

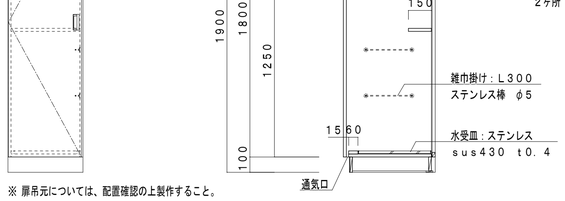




Ｆ２－１２　掃除用具入れ　／　各室　／　計４ヶ所

室名	
1階　廊下（中央）	1ヶ所
2階　廊下（中央）	1ヶ所
3階　廊下（中央）	1ヶ所
4階　廊下（中央）	1ヶ所

※ 扉木口：セフティーエッジ



※ 扉吊元については、配置確認の上製作すること。

		設計番号	工事名称	縮尺	図面名称	図番 A-112
		年 月 日 令和8年1月	新座市立東北小学校校舎長寿命化改修工事	A1:1/20 A3:1/40	（Ⅱ期）　家具詳細図４	承認 / 製図

B1 ＊ 白板新設（１期）

B2 ＊ 白板新設（２期）

＊新設番号を示す

番号	形状・形式	ｻｲｽﾞ	箇所
B1 1	ｱﾙﾐ枠ｽﾗｲﾀﾞｰ曲面白板	2700x1200	25
B1 2	ｱﾙﾐ枠平面白板	2700x1200	1
B2 1	ｱﾙﾐ枠ｽﾗｲﾀﾞｰ曲面白板	2700x1200	7
B2 2	ｱﾙﾐ枠上下白板	3600x1800	3
B2 4	木枠平面白板（ﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾀｰ対応）	6020x1500	1
B2 5	木枠平面白板（ﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾀｰ対応）	6240x1500	1
B2 6	木枠曲面白板	2700x1200	1
B2 7	木枠曲面白板	3600x1200	1
B2 8	木枠上下白板（一部五線入）	3600x1800	1
B2 9	ｽｸﾘｰﾝ（天井内ｽｸﾘｰﾝBOX取付）	150型（設備）	1

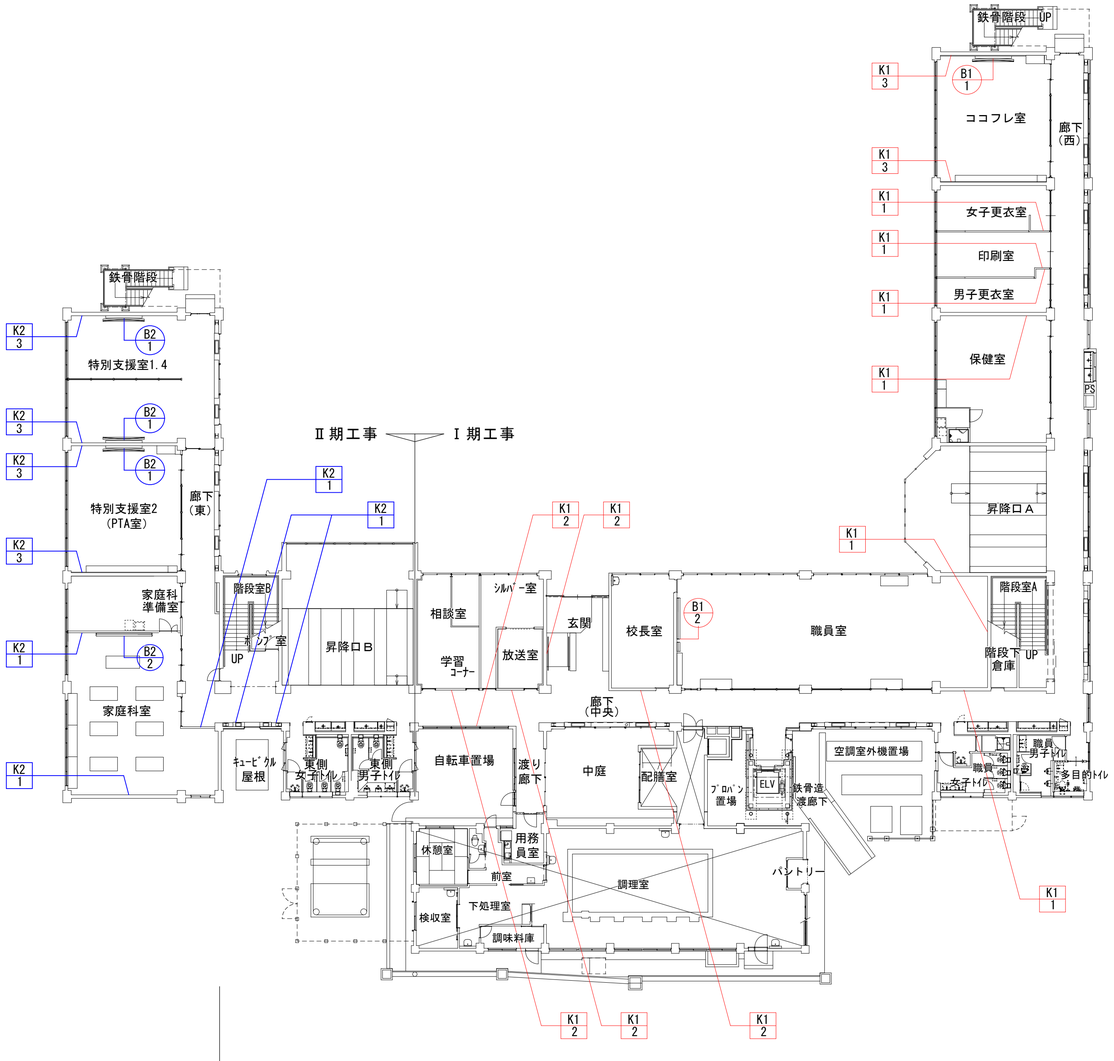
K1 ＊ 掲示板新設（１期）

K2 ＊ 掲示板新設（２期）

＊新設番号を示す

＊寸法は平面詳細図・展開図による

番号	形状・形式	箇所
K1 1	アルミ枠掲示板	9
K1 2	木枠掲示板（造作以外）	5
K1 3	木枠掲示板（造作）	50
K2 1	アルミ枠掲示板	11
K2 3	木枠掲示板（造作）	14



１階 白板キープラン（改修）S-1/200

２階 白板キープラン（改修）S-1/200

		設計番号	工事名称	縮尺	図面名称	図番	A-113
		年 月 日 令和8年1月	新座市立東北小学校校舎長寿命化改修工事	A1:1/150 A3:1/300	白板・掲示板キープラン１（改修）	承認	製図

B1 ＊ 白板新設（１期）

B2 ＊ 白板新設（２期）

＊新設番号を示す

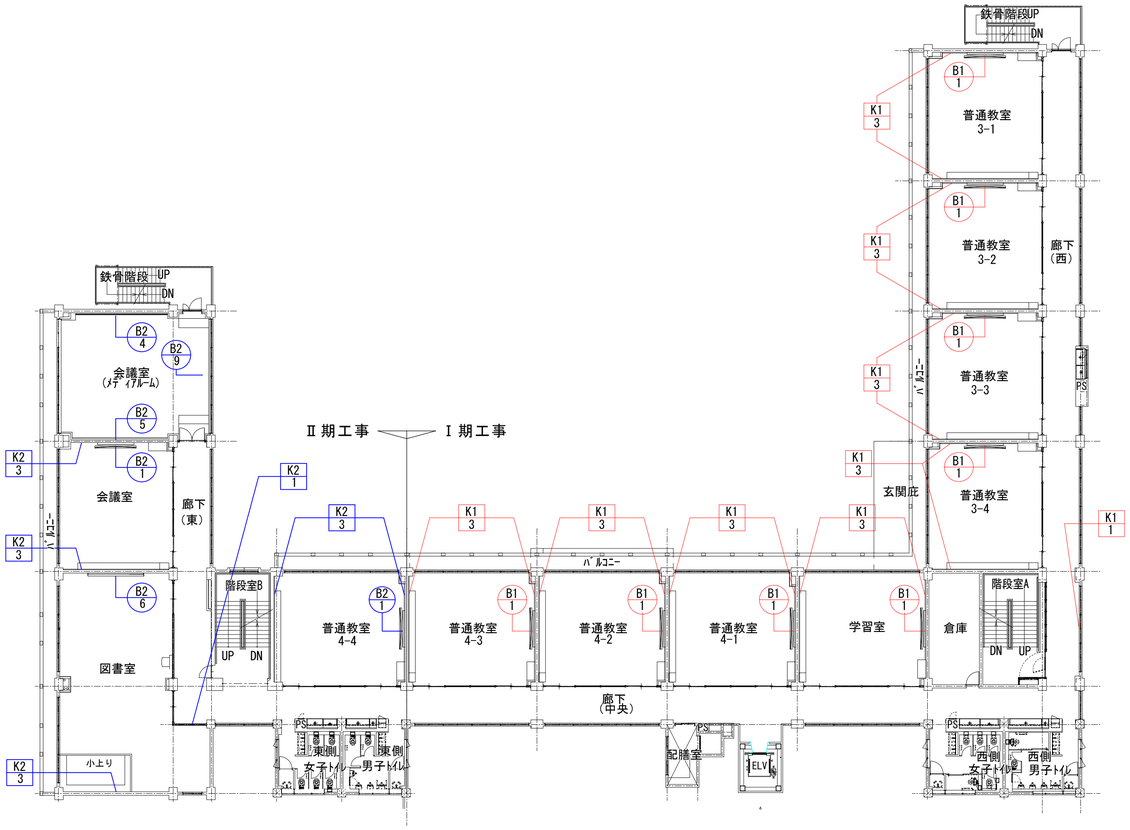
番号	形状・形式	ｻｲｽﾞ	箇所
B1 1	ｱﾙﾐ枠ｽﾗｲﾀﾞｰ曲面白板	2700x1200	25
B1 2	ｱﾙﾐ枠平面白板	2700x1200	1
B2 1	ｱﾙﾐ枠ｽﾗｲﾀﾞｰ曲面白板	2700x1200	7
B2 2	ｱﾙﾐ枠上下白板	3600x1800	3
B2 4	木枠平面白板（ﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾀｰ対応）	6020x1500	1
B2 5	木枠平面白板（ﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾀｰ対応）	6240x1500	1
B2 6	木枠曲面白板	2700x1200	1
B2 7	木枠曲面白板	3600x1200	1
B2 8	木枠上下白板（一部五線入）	3600x1800	1
B2 9	ｽｸﾘｰﾝ（天井内ｽｸﾘｰﾝBOX取付）	150型（設備）	1

K1 ＊ 掲示板新設（１期）

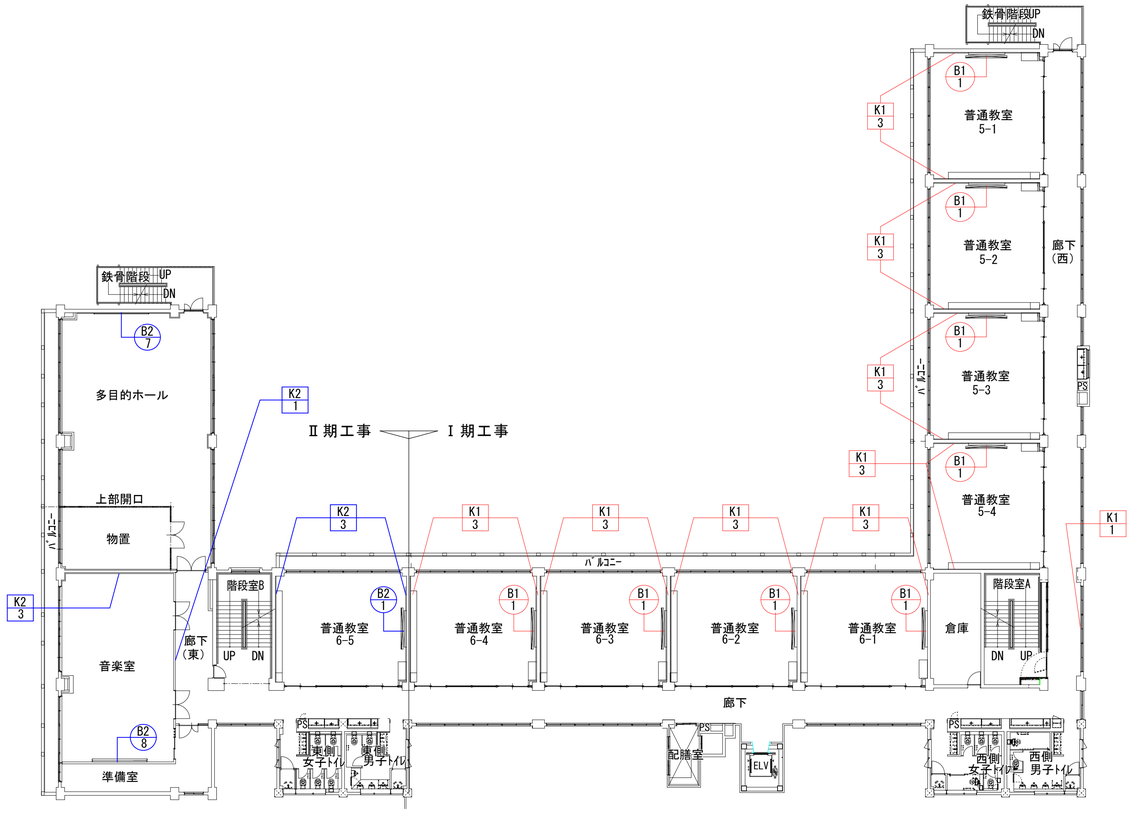
K2 ＊ 掲示板新設（２期）

＊新設番号を示す
＊寸法は平面詳細図・展開図による

番号	形状・形式	箇所
K1 1	アルミ枠掲示板	9
K1 2	木枠掲示板（造作以外）	5
K1 3	木枠掲示板（造作）	50
K2 1	アルミ枠掲示板	11
K2 3	木枠掲示板（造作）	14



３階 白板キープラン（改修） S-1/200



４階 白板キープラン（改修） S-1/200

		設計番号	工事名称	縮尺	図面名称	図番 A-114
		年 月 日 令和8年1月	新座市立東北小学校校舎長寿命化改修工事	A1:1/150 A3:1/300	白板・掲示板キープラン２（改修）	承認 / 製図

サインキープラン凡例

S1 * サイン新設（１期）

S2 * サイン新設（２期）

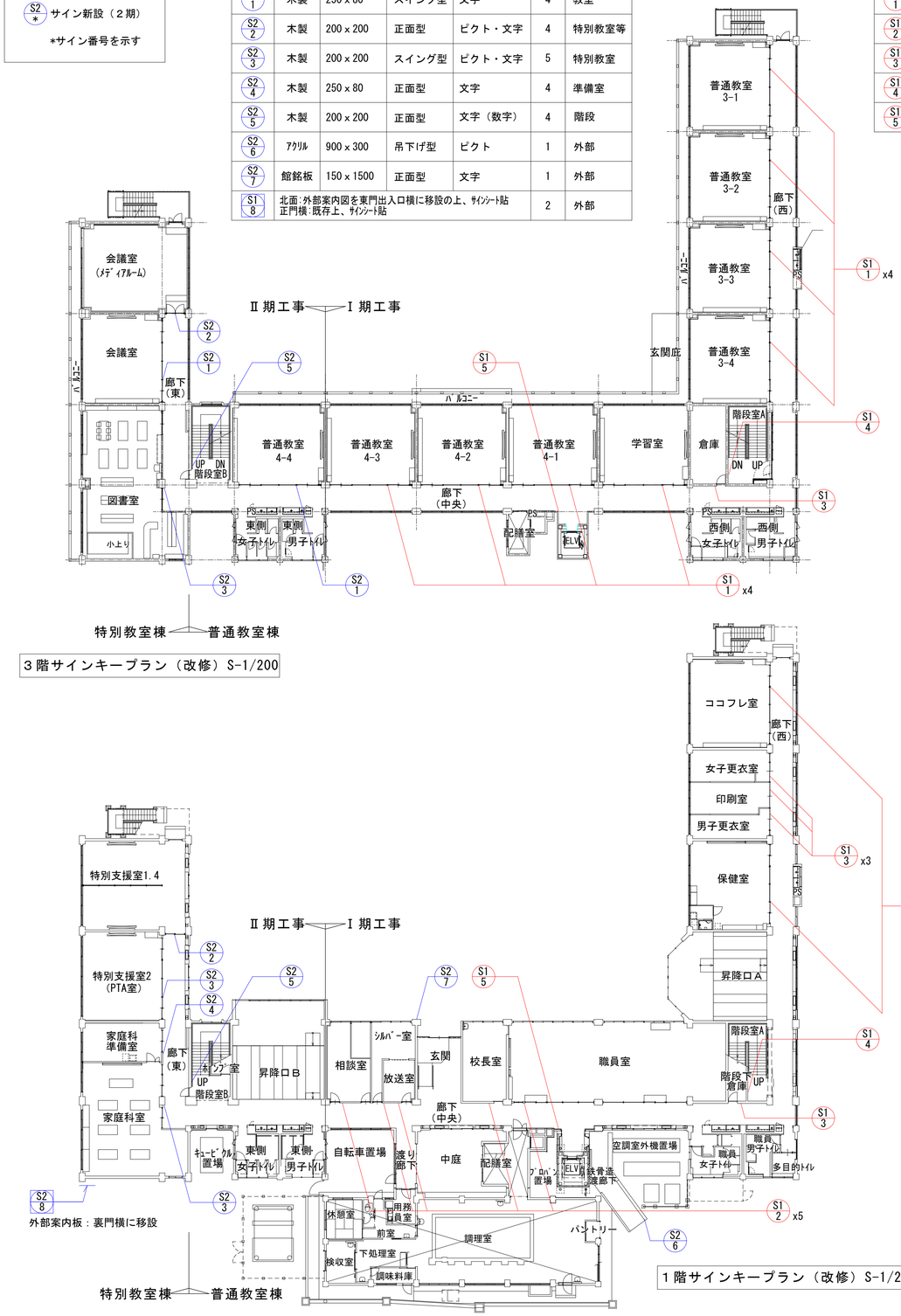
*サイン番号を示す

Ⅰ Ⅰ期サインキープラン凡例

Ⅰ期	材質	文字盤サイズ	形状	文字	箇所	場所
S2 1	木製	250 x 80	スイング型	文字	4	教室
S2 2	木製	200 x 200	正面型	ピクト・文字	4	特別教室等
S2 3	木製	200 x 200	スイング型	ピクト・文字	5	特別教室
S2 4	木製	250 x 80	正面型	文字	4	準備室
S2 5	木製	200 x 200	正面型	文字（数字）	4	階段
S2 6	ｱｸﾘﾙ	900 x 300	吊下げ型	ピクト	1	外部
S2 7	館銘板	150 x 1500	正面型	文字	1	外部
S1 8	北面:外部案内図を東門出入口横に移設の上、ｻｲﾝｼｰﾄ貼 正門横:既存上、ｻｲﾝｼｰﾄ貼				2	外部

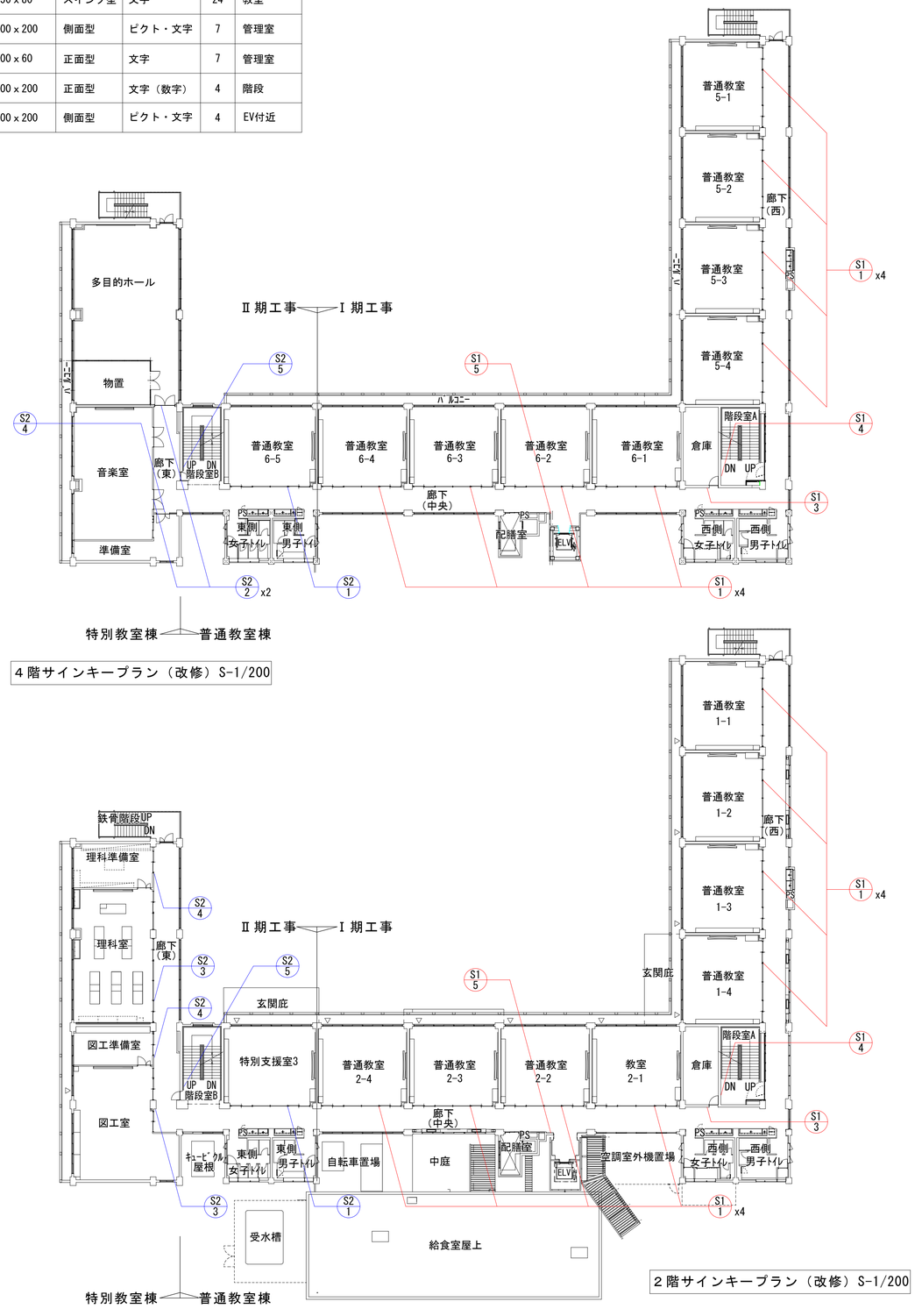
Ⅰ期サインキープラン凡例

II期	材質	文字盤サイズ	形状	文字	箇所	場所
S1 1	木製	250 x 80	スイング型	文字	24	教室
S1 2	木製	200 x 200	側面型	ピクト・文字	7	管理室
S1 3	ｱｸﾘﾙ製	300 x 60	正面型	文字	7	管理室
S1 4	木製	200 x 200	正面型	文字（数字）	4	階段
S1 5	木製	200 x 200	側面型	ピクト・文字	4	EV付近



３階サインキープラン（改修）S-1/200

１階サインキープラン（改修）S-1/200

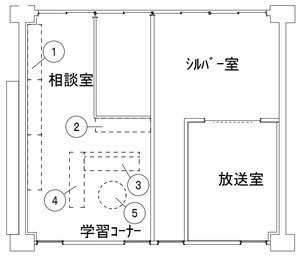


４階サインキープラン（改修）S-1/200

２階サインキープラン（改修）S-1/200

	設計番号	工事名称	縮尺	図面名称	図番
	年 月 日 令和8年1月	新座市立東北小学校校舎長寿命化改修工事	A1:1/150 A3:1/300	サインキープラン(改修)	A-115
					承認 / 製図

１階　相談室　　Ｓ＝１／１００



1

品名	システム戸棚
数量	3ヶ所
サイズ	W1800xD450xH1900
型番	6−722−102□

2

品名	窓下戸棚
数量	1ヶ所
サイズ	W1800xD450xH800
型番	6−722−201□（改）

3

品名	ロビーチェア（3人用　背付）
数量	1ヶ所
サイズ	W1800xD600xH700
型番	6−223−164□

4

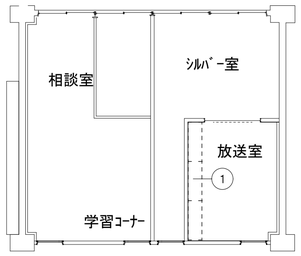
品名	ロビーチェア（3人用　背無）
数量	1ヶ所
サイズ	W1800xD480xH400
型番	6−223−154□

5

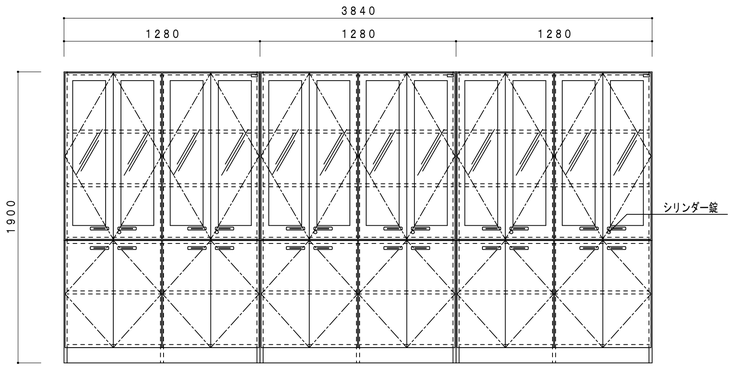
品名	ミーティングテーブル
数量	1ヶ所
サイズ	φ900×H500
型番	6−155−53□□

		設計番号	工事名称	縮尺	図面名称	図番	A-116
		年 月 日 令和8年1月	新座市立東北小学校校舎長寿命化改修工事	A1:1/20 A3:1/40	I期　備品レイアウト図１	承認	製図

１階　放送室　　Ｓ＝１／１００



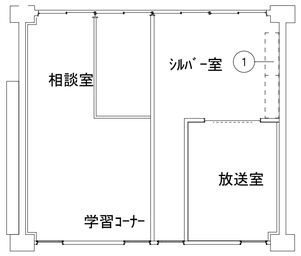
1



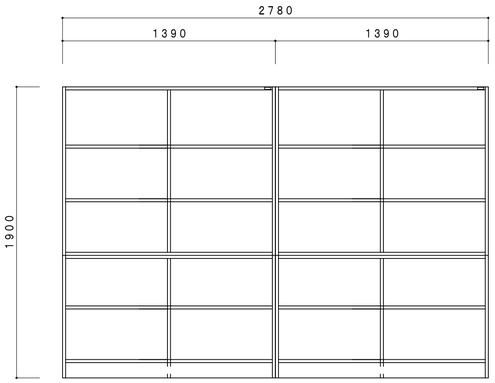
品名	システム戸棚
数量	1ヶ所
サイズ	W3840xD450xH1900
型番	6−722−102□（改）

		設計番号	工事名称	縮尺	図面名称	図番
		年 月 日 令和8年1月	新座市立東北小学校校舎長寿命化改修工事	A1:1/20 A3:1/40	I期　備品レイアウト図２	Ａ−117
						承認 / 製図

１階　シルバー室　　Ｓ＝１／１００



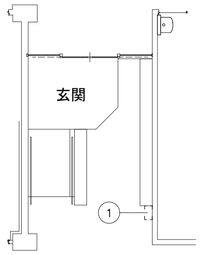
1



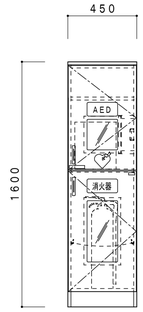
品名	システム戸棚
数量	１ヶ所
サイズ	W２７８０xD４５０xH１９００
型番	６−７２２−１１４１（改）

		設計番号	工事名称	縮尺	図面名称	図番
		年 月 日 令和8年1月	新座市立東北小学校校舎長寿命化改修工事	A1:1/20 A3:1/40	I期　備品レイアウト図３	Ａ−118
						承認 / 製図

１階　玄関　　Ｓ＝１／１００



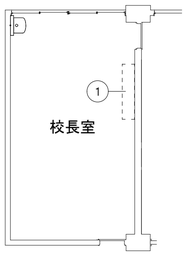
1



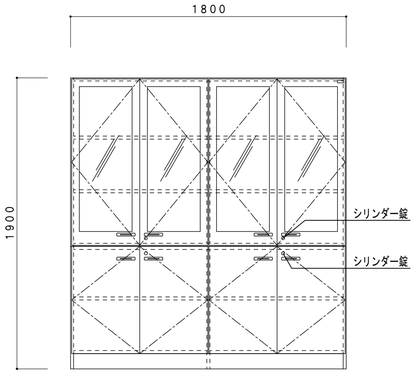
品名	ＡＥＤ収納
数量	１ヶ所
サイズ	Ｗ４５０ｘＤ２５０ｘＨ１６００
型番	６－７２３－３３０□（改）

		設計番号	工事名称	縮尺	図面名称	図番	Ａ－119
		年 月 日 令和8年1月	新座市立東北小学校校舎長寿命化改修工事	A1:1/20 A3:1/40	Ⅰ期　備品レイアウト図４	承認	製図

１階　校長室　　Ｓ＝１／１００



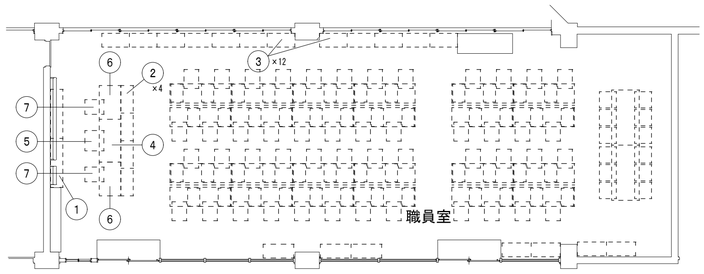
1



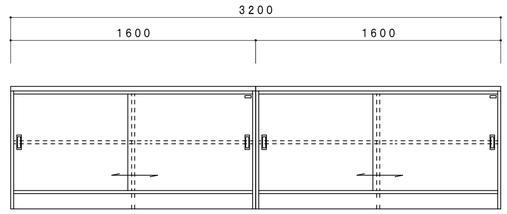
品名	飾り棚
数量	１ヶ所
サイズ	W１８００xD４００xH１８００
型番	６−７２３−３２４□（改）

		設計番号	工事名称	縮尺	図面名称	図番
		年 月 日 令和8年1月	新座市立東北小学校校舎長寿命化改修工事	A1:1/20 A3:1/40	I期　備品レイアウト図５	Ａ−120
						承認 / 製図

1階　職員室　　S＝1／100

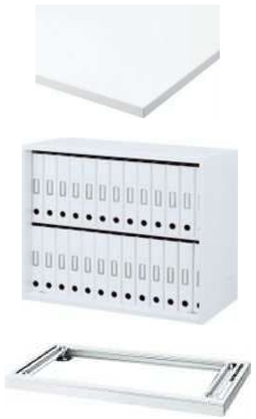


1



品名	窓下戸棚
数量	1ヶ所
サイズ	W3200xD400xH800
型番	6−722−205□（改）

2



品名	HS収納　天板	HS収納　オープン	HS収納　標準ベースダブル
数量	4ヶ所	4ヶ所	4ヶ所
サイズ	W900xD400xH20	W900xD400xH700	W900×D400×H50～70
型番	5−858−6020	5−823−0072	5−823−9014

3

品名	窓下戸棚
数量	12ヶ所
サイズ	W900xD450xH800
型番	6−722−221□（改）

4

品名	両袖デスク
数量	1ヶ所
サイズ	W1400xD700xH720
型番	5−110−112□

5

品名	事務用チェア（アジャスタブル肘付）
数量	1ヶ所
サイズ	W662xD643xH889～979
型番	5−373−185□

6

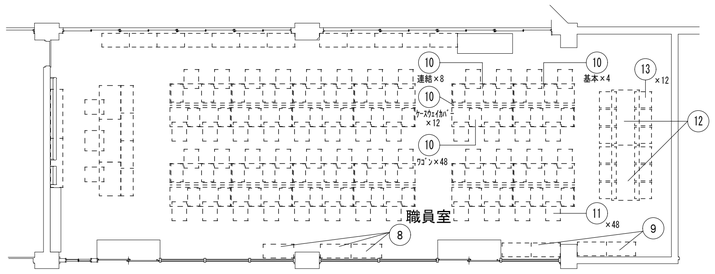
品名	片袖デスク
数量	2ヶ所
サイズ	W1100xD700xH720
型番	5−110−226□

7

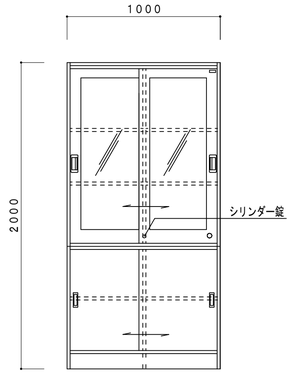
品名	事務用チェア（肘無）
数量	2ヶ所
サイズ	W661xD643xH889～979
型番	5−373−155□

	設計番号	工事名称	縮尺	図面名称	図番	A−121
	年 月 日 令和8年1月	新座市立東北小学校校舎長寿命化改修工事	A1:1/20 A3:1/40	I期　備品レイアウト図６	承認	製図

1階　職員室　　S＝1／100

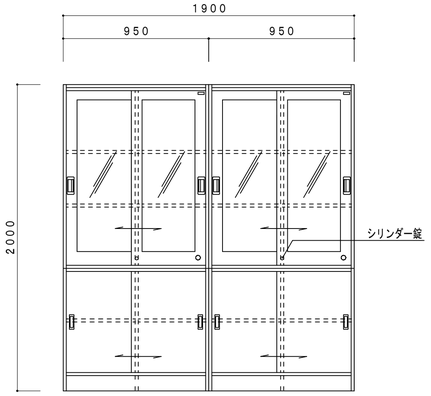


8



品名	システム戸棚
数量	3ヶ所
サイズ	W1000xD450xH2000
型番	6−722−108□（改）

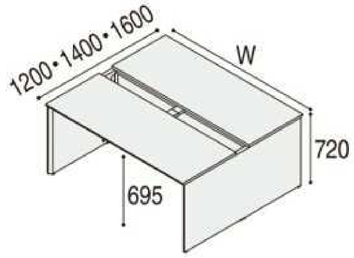
9

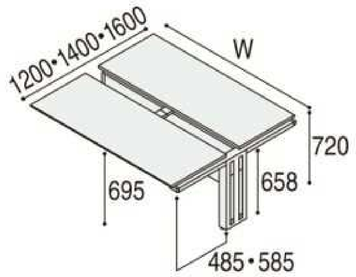


品名	システム戸棚
数量	2ヶ所
サイズ	W1900xD450xH2000
型番	6−722−108□（改）

10

※イメージ写真





品名	デスクシステム（基本）	デスクシステム（連結）	ケースウェイカバー	ワゴン
数量	4ヶ所	8ヶ所	12ヶ所	48ヶ所
サイズ	W2000xD1400xH720	W2000xD1400xH720	W2000xD150xH25	W396xD585xH650
型番	5−158−16□□	5−158−46□□	5−155−275□	5−118−5310

11

品名	事務用チェア（肘無）
数量	48ヶ所
サイズ	W661xD643xH889〜979
型番	5−373−155□

12

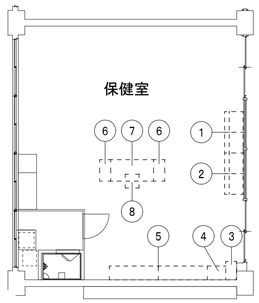
品名	ミーティングテーブル
数量	2ヶ所
サイズ	W1800xD900xH720
型番	6−156−31□□

13

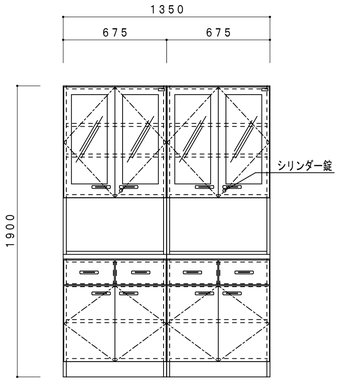
品名	ミーティングチェア（肘無）
数量	12ヶ所
サイズ	
型番	6−125−52□□

	設計番号	工事名称	縮尺	図面名称	図番 A−122
	年 月 日 令和8年1月	新座市立東北小学校校舎長寿命化改修工事	A1:1/20 A3:1/40	I期　備品レイアウト図７	承認 / 製図

１階　保健室　　Ｓ＝１／１００

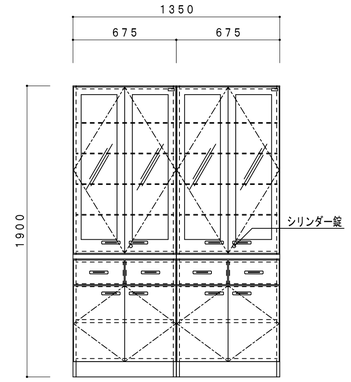


1



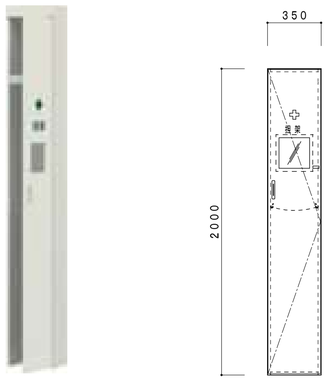
品名	くすり戸棚
数量	１ヶ所
サイズ	W1350xD600xH1900
型番	6−723−4225（改）

2



品名	器械戸棚
数量	１ヶ所
サイズ	W1350xD600xH1900
型番	6−723−4235（改）

3

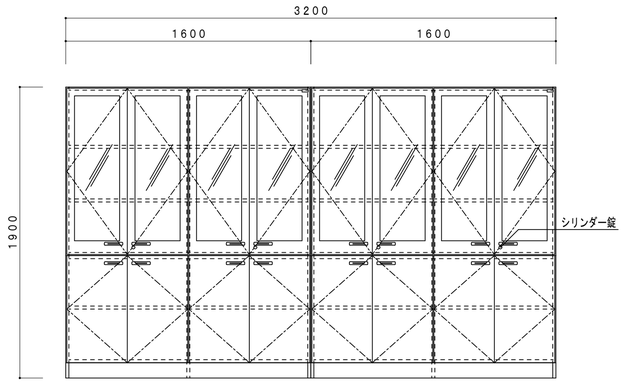


品名	担架収納
数量	１ヶ所
サイズ	W350xD550xH2000
型番	6−723−329□（改）

4

品名	掃除用具入れ
数量	１ヶ所
サイズ	W600xD450xH1900
型番	6−722−288□

5



品名	システム戸棚
数量	１ヶ所
サイズ	W3200xD450xH1900
型番	6−722−102□（改）

6

品名	脇デスク
数量	２ヶ所
サイズ	W400xD700xH720
型番	5−110−181□

7

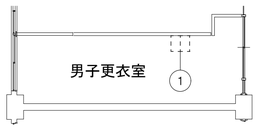
品名	平デスク
数量	１ヶ所
サイズ	W1400xD700xH720
型番	5−110−359□

8

品名	事務用チェア（肘無）
数量	１ヶ所
サイズ	W661xD643xH889〜979
型番	5−373−155□

	設計番号	工事名称	縮尺	図面名称	図番	A−123
	年 月 日 令和8年1月	新座市立東北小学校校舎長寿命化改修工事	A1:1/20 A3:1/40	I期　備品レイアウト図８	承認	製図

１階　男子更衣室　　Ｓ＝１／１００

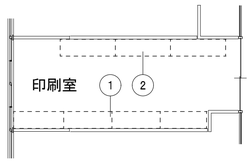


１

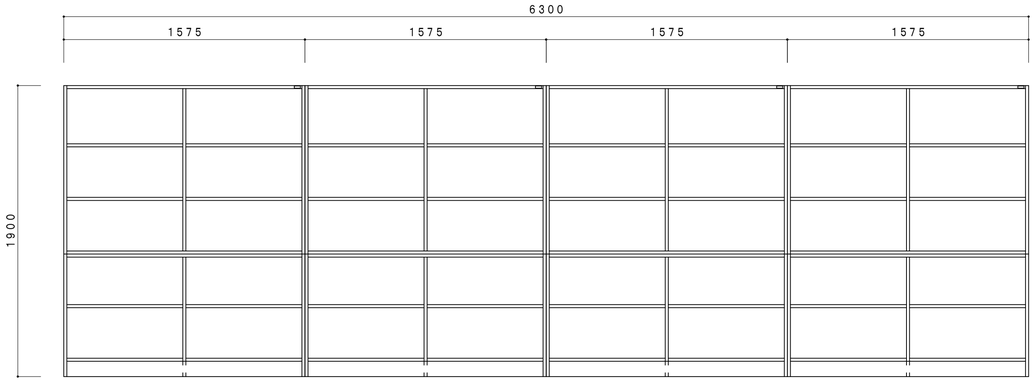
品名	システムロッカー
数量	１ヶ所
サイズ	W６０８xD５１５xH１７９０
型番	５−８６０−００２１

		設計番号	工事名称	縮尺	図面名称	図番	
		年 月 日 令和8年1月	新座市立東北小学校校舎長寿命化改修工事	A1:1/20 A3:1/40	I期　備品レイアウト図９	Ａ−124	
						承認	製図

１階　印刷室　　Ｓ＝１／１００



1



品名	システム戸棚
数量	１ヶ所
サイズ	W6300xD550xH1900
型番	6−722−1141（改）

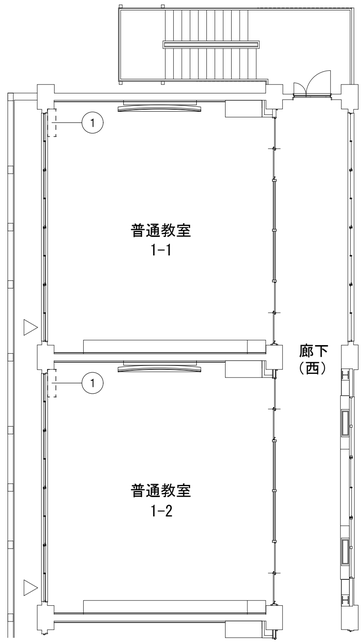
2

品名	システム戸棚
数量	３ヶ所
サイズ	W1800xD550xH1900
型番	6−722−1141（改）

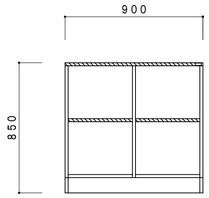
設計番号	工事名称	縮尺	図面名称	図番	
年 月 日 令和8年1月	新座市立東北小学校校舎長寿命化改修工事	A1:1/20 A3:1/40	I期　備品レイアウト図１０	A-125	
				承認	製図

１～４階　普通教室（３階　学習室含む）　Ｓ＝１／１００

１



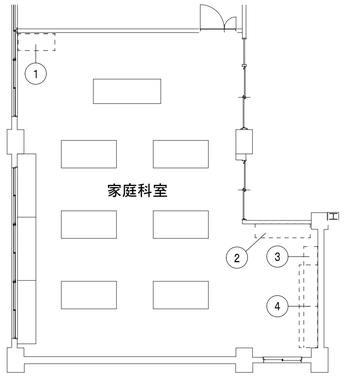
室名			室名			室名		
１階	ココフレ	１ヶ所	３階	普通教室３－１	１ヶ所	４階	普通教室５－１	１ヶ所
２階	普通教室１－１	１ヶ所		普通教室３－２	１ヶ所		普通教室５－２	１ヶ所
	普通教室１－２	１ヶ所		普通教室３－３	１ヶ所		普通教室５－３	１ヶ所
	普通教室１－３	１ヶ所		普通教室３－４	１ヶ所		普通教室５－４	１ヶ所
	普通教室１－４	１ヶ所		学習室	１ヶ所		普通教室６－１	１ヶ所
	普通教室２－１	１ヶ所		普通教室４－１	１ヶ所		普通教室６－２	１ヶ所
	普通教室２－２	１ヶ所		普通教室４－２	１ヶ所		普通教室６－３	１ヶ所
	普通教室２－３	１ヶ所		普通教室４－３	１ヶ所		普通教室６－４	１ヶ所
	普通教室２－４	１ヶ所						



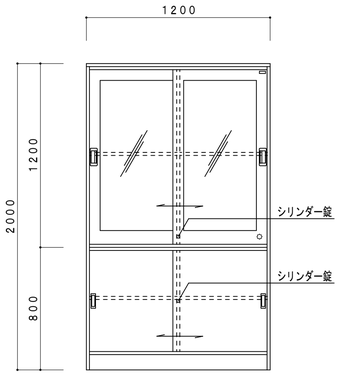
品名	本棚
数量	計２５ヶ所
サイズ	Ｗ９００ｘＤ２７０ｘＨ８５０
型番	６－７１６－３３３□（改）

		設計番号	工事名称	縮尺	図面名称	図番
		年 月 日 令和8年1月	新座市立東北小学校校舎長寿命化改修工事	A1:1/20 A3:1/40	I期　備品レイアウト図１１	A-126
						承認 / 製図

1階　家庭科室　　S＝1／100



1



品名	教師用戸棚
数量	1ヶ所
サイズ	W1200xD550xH2000
型番	6−722−353□（改）

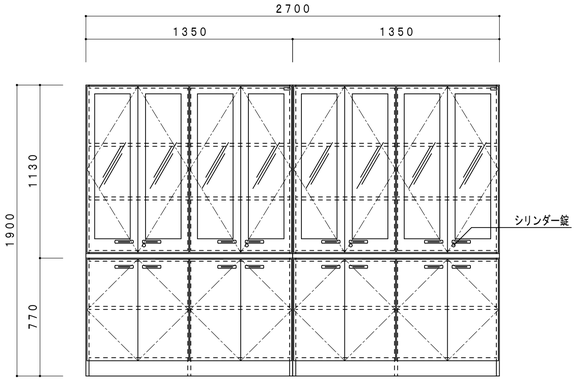
2

品名	システム戸棚
数量	1ヶ所
サイズ	W1800xD450xH1900
型番	6−722−108□

3

品名	掃除用具入れ
数量	1ヶ所
サイズ	W600xD450xH1900
型番	6−722−288□

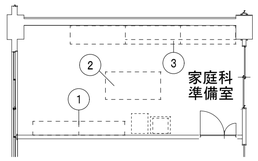
4



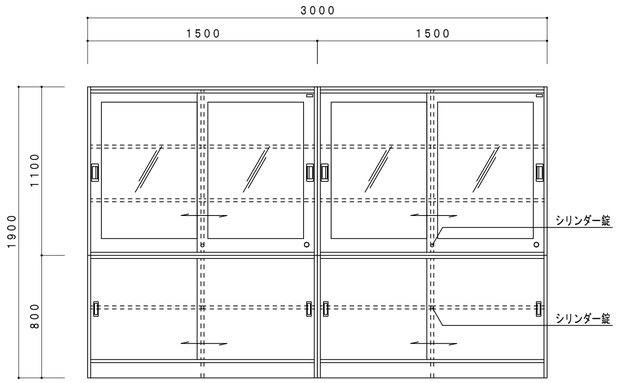
品名	システム戸棚
数量	1ヶ所
サイズ	W2700xD600xH1900
型番	6−722−101□（改）

		設計番号	工事名称	縮尺	図面名称	図番	A−127
		年 月 日 令和8年1月	新座市立東北小学校校舎長寿命化改修工事	A1:1/20 A3:1/40	Ⅱ期　備品レイアウト図１	承認	製図

1階　家庭科準備室　　S＝1／100



1

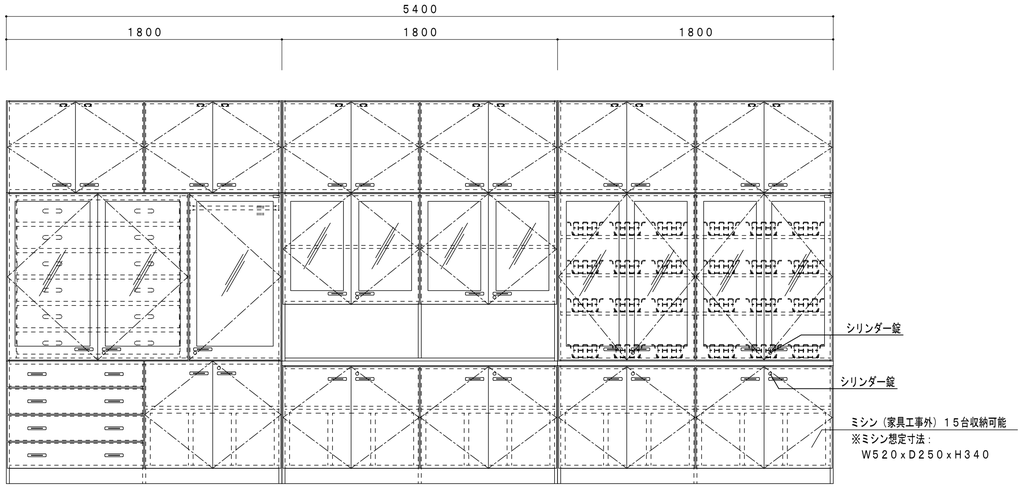


品名	システム戸棚
数量	1ヶ所
サイズ	W3000xD450xH1900
型番	6−722−108□（改）

2

品名	実習用テーブル
数量	1ヶ所
サイズ	W1800xD900xH760
型番	6−703−9011

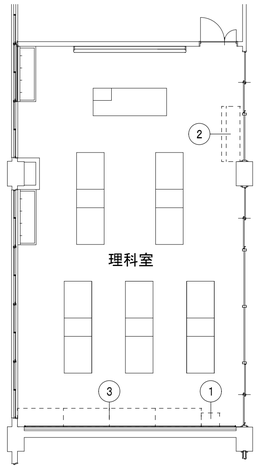
3



品名	システム戸棚
数量	1ヶ所
サイズ	W5400xD600xH2500
型番	6−722−038□（改）

		設計番号	工事名称	縮尺	図面名称	図番	A−128
		年 月 日 令和8年1月	新座市立東北小学校校舎長寿命化改修工事	A1:1/20 A3:1/40	Ⅱ期　備品レイアウト図２	承認	製図

２階　理科室　　Ｓ＝１／１００



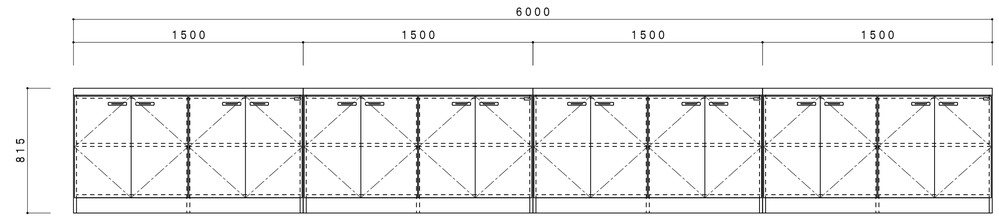
1

品名	掃除用具入れ
数量	１ヶ所
サイズ	W６００xD４５０xH１９００
型番	６−７２２−２８８□

2

品名	システム戸棚
数量	１ヶ所
サイズ	W１８００xD６００xH１９００
型番	６−７２２−１０１□

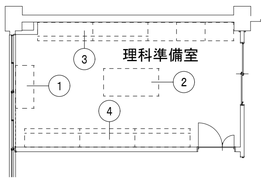
3



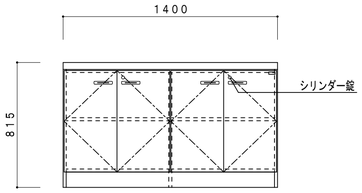
品名	窓下戸棚
数量	１ヶ所
サイズ	W６０００xD６００xH８１５
型番	６−７２２−２０２□（改）

	設計番号	工事名称	縮尺	図面名称	図番
	年 月 日 令和8年1月	新座市立東北小学校校舎長寿命化改修工事	A1:1/20 A3:1/40	Ⅱ期　備品レイアウト図３	A−129
					承認 / 製図

２階　理科準備室　　Ｓ＝１／１００



1

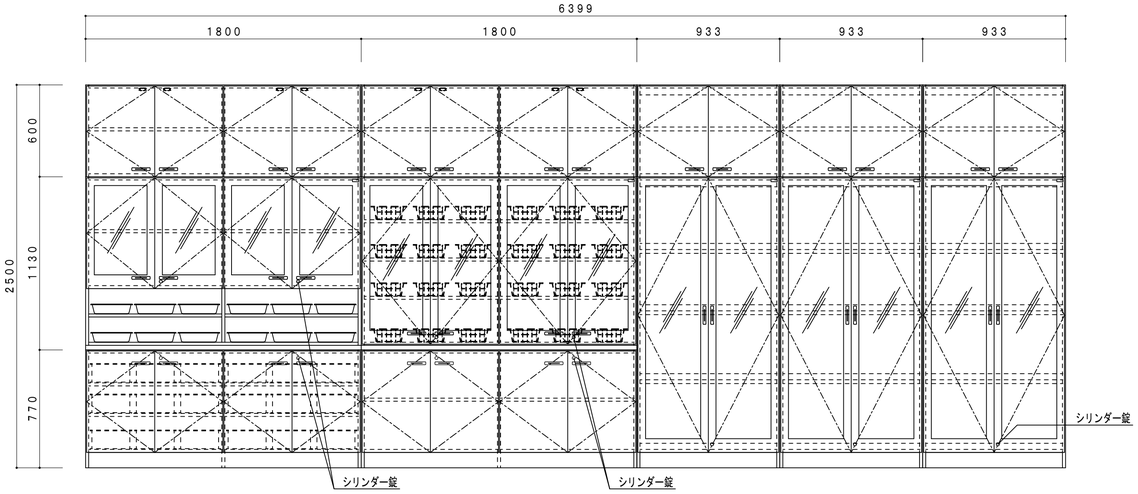


品名	窓下戸棚
数量	１ヶ所
サイズ	Ｗ１４００ｘＤ６００ｘＨ８１５
型番	６－７２２－２０２口（改）

2

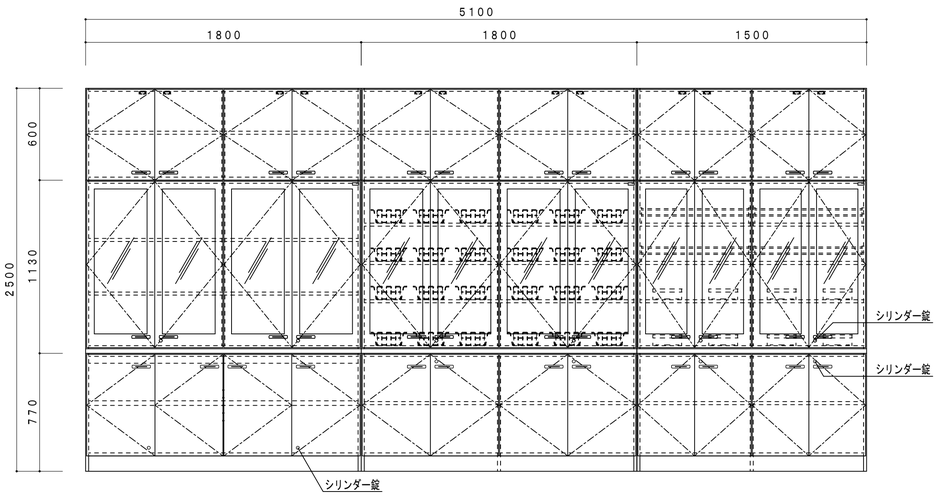
品名	実習用テーブル
数量	１ヶ所
サイズ	Ｗ１８００ｘＤ９００ｘＨ７６０
型番	６－７０１－２３３５

3



品名	システム戸棚
数量	１ヶ所
サイズ	Ｗ６３９９ｘＤ６００ｘＨ２５００
型番	６－７２２－０３６口（改）

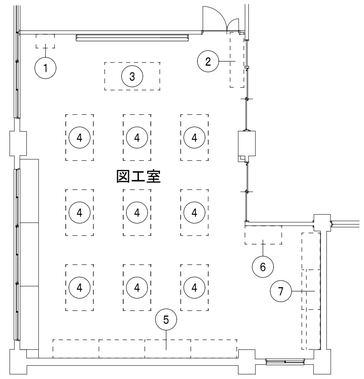
4



品名	システム戸棚
数量	１ヶ所
サイズ	Ｗ５１００ｘＤ６００ｘＨ２５００
型番	６－７２２－０３２口（改）

	設計番号	工事名称	縮尺	図面名称	図番
	年 月 日 令和8年1月	新座市立東北小学校校舎長寿命化改修工事	A1:1/20 A3:1/40	Ⅱ期　備品レイアウト図４	Ａ-130
					承認 / 製図

２階　図工室　　Ｓ＝１／１００



1

品名	掃除用具入れ
数量	１ヶ所
サイズ	W６００ｘD４５０ｘH１９００
型番	６−７２２−２８８□

2

品名	システム戸棚
数量	１ヶ所
サイズ	W１８００ｘD４５０ｘH１９００
型番	６−７２２−１０８□

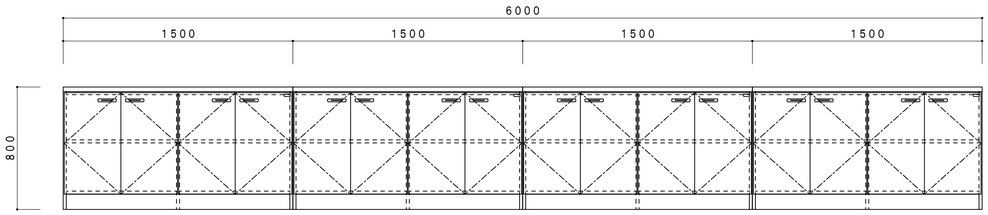
3

品名	教師用美術机
数量	１ヶ所
サイズ	W１８００ｘD９００ｘH８００
型番	２−５４３−０１１１

4

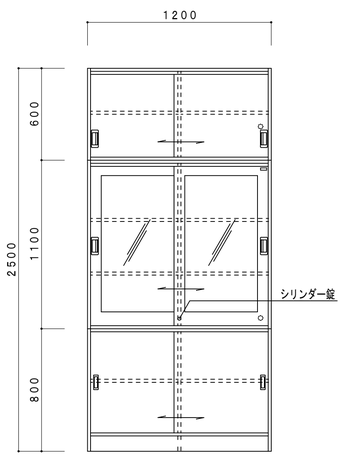
品名	生徒用美術机
数量	９ヶ所
サイズ	W１５００ｘD９００ｘH７００
型番	２−５４３−１６１３（改）

5



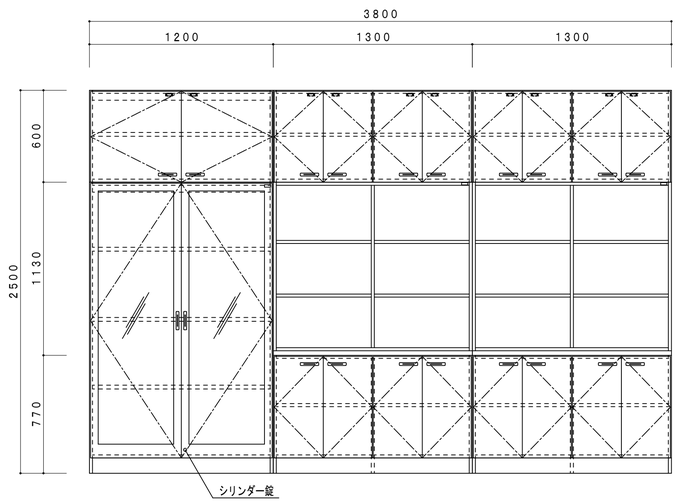
品名	窓下戸棚
数量	１ヶ所
サイズ	W６０００ｘD６００ｘH８００
型番	６−７２２−２０３□（改）

6



品名	戸棚　天袋付
数量	１ヶ所
サイズ	W１２００ｘD５５０ｘH２５００
型番	６−７２２−４０８□（改）

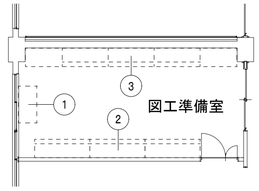
7



品名	システム戸棚
数量	１ヶ所
サイズ	W３８００ｘD６００ｘH２５００
型番	６−７２２−０４５□（改）

	設計番号	工事名称	縮尺	図面名称	図番
	年 月 日	新座市立東北小学校校舎長寿命化改修工事	A1:1/20 A3:1/40	Ⅱ期　備品レイアウト図５	A−131
	令和8年1月				承認 / 製図

２階　図工準備室　　Ｓ＝１／１００



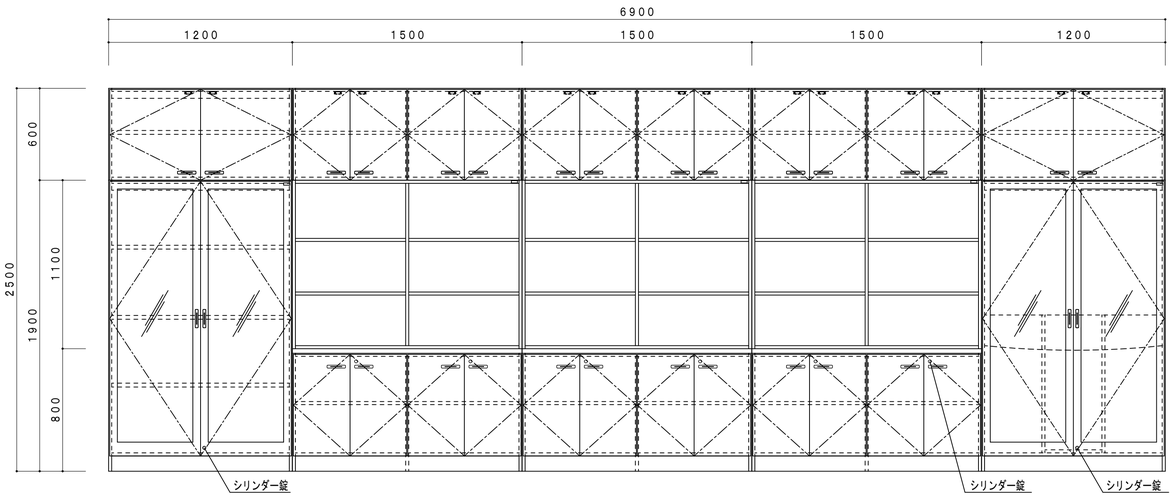
1

品名	窓下戸棚
数量	1ヶ所
サイズ	W1200xD600xH800
型番	6−722−211口（改）

2

品名	戸棚　天袋付
数量	3ヶ所
サイズ	W1800xD600xH2500
型番	6−722−513口（改）

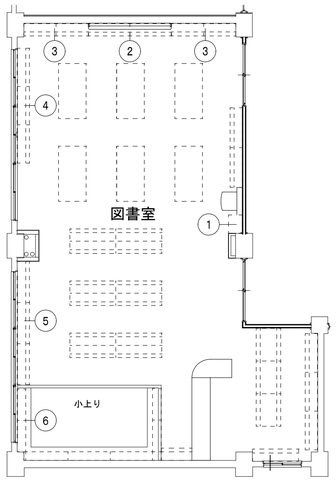
3



品名	システム戸棚
数量	1ヶ所
サイズ	W6900xD600xH2500
型番	6−722−045口（改）

		設計番号	工事名称	縮尺	図面名称	図番
		年 月 日 令和8年1月	新座市立東北小学校校舎長寿命化改修工事	A1:1/20 A3:1/40	Ⅱ期　備品レイアウト図６	A−132
						承認 / 製図

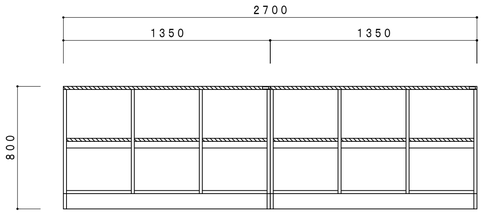
3階　図書室　　S＝1／100



1

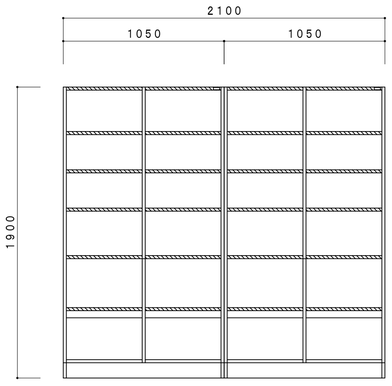
品名	掃除用具入れ
数量	1ヶ所
サイズ	W600xD450xH1900
型番	6−722−288□

2



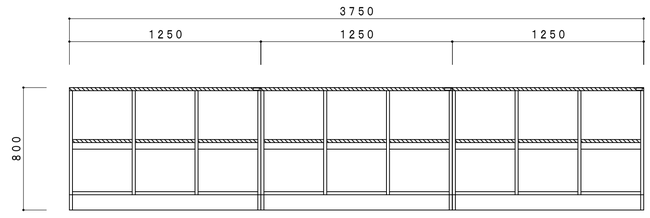
品名	書架
数量	1ヶ所
サイズ	W2700xD400xH800
型番	6−716−333□（改）

3



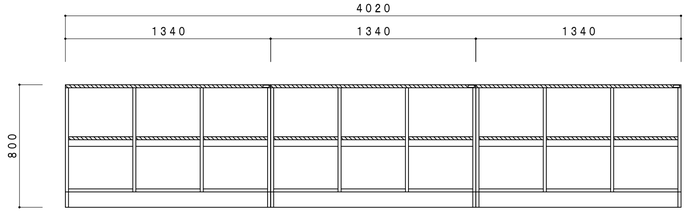
品名	書架
数量	2ヶ所
サイズ	W2100xD400xH1900
型番	6−716−331□（改）

4



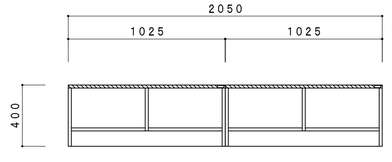
品名	書架
数量	1ヶ所
サイズ	W3750xD400xH800
型番	6−716−333□（改）

5



品名	書架
数量	1ヶ所
サイズ	W4020xD400xH800
型番	6−716−333□（改）

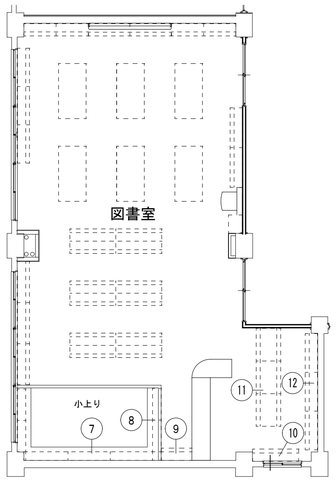
6



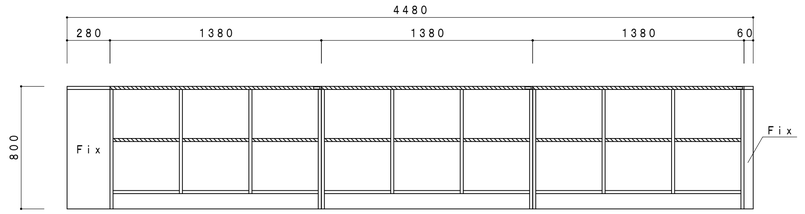
品名	直立書架
数量	1ヶ所
サイズ	W2050xD280xH400
型番	6−716−333□（改）

	設計番号	工事名称	縮尺	図面名称	図番	A−133
	年 月 日 令和8年1月	新座市立東北小学校校舎長寿命化改修工事	A1:1/20 A3:1/40	Ⅱ期　備品レイアウト7	承認	製図

3階　図書室　　S＝1／100

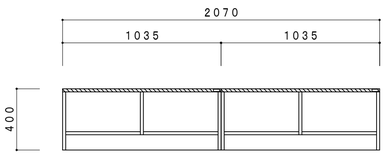


7



品名	直立書架
数量	1ヶ所
サイズ	W4480xD280xH800
型番	6−716−333□（改）

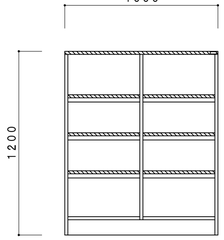
8



※背面化粧仕上げ

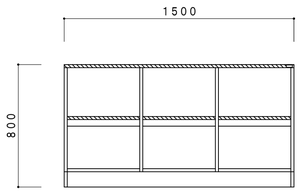
品名	直立書架
数量	1ヶ所
サイズ	W2070xD280xH400
型番	6−716−333□（改）

9



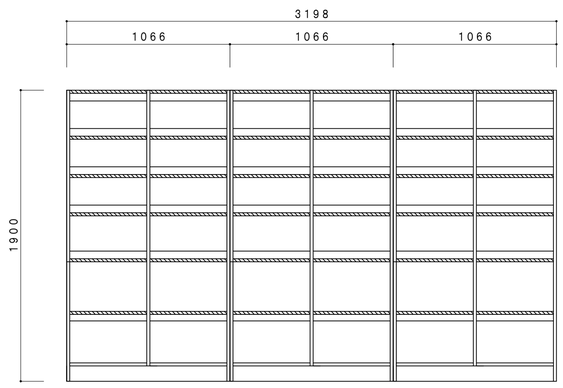
品名	書架
数量	1ヶ所
サイズ	W1000xD400xH1200
型番	6−716−332□（改）

10



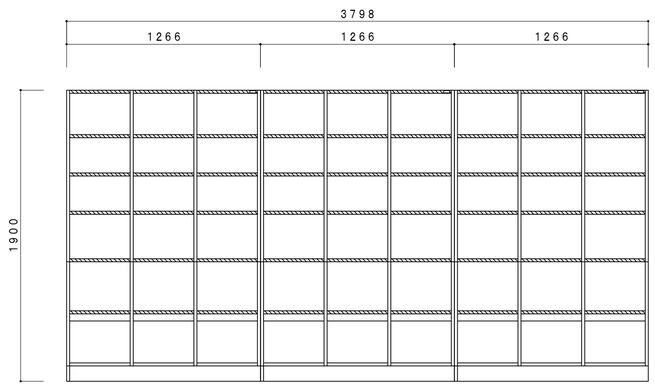
品名	書架
数量	1ヶ所
サイズ	W1500xD400xH800
型番	6−716−333□（改）

11



品名	書架
数量	1ヶ所
サイズ	W3198xD800xH1900
型番	6−716−364□（改）

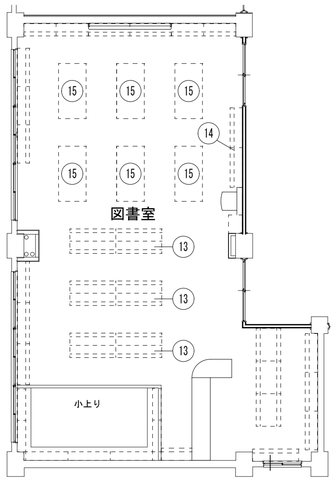
12



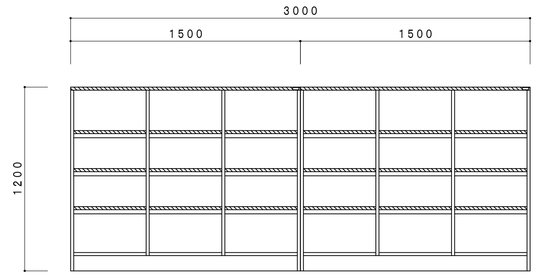
品名	書架
数量	1ヶ所
サイズ	W3798xD400xH1900
型番	6−716−331□（改）

	設計番号	工事名称	縮尺	図面名称	図番	A−134
	年 月 日 令和8年1月	新座市立東北小学校校舎長寿命化改修工事	A1:1/20 A3:1/40	Ⅱ期　備品レイアウト８	承認	製図

３階　図書室　　Ｓ＝１／１００

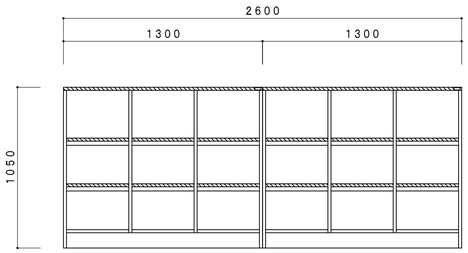


13



品名	書架
数量	６ヶ所
サイズ	W３０００xD４００xH１２００
型番	６−７１６−３３２□（改）

14



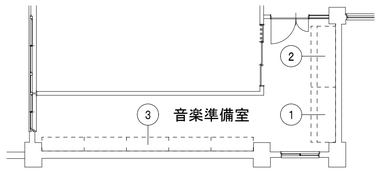
品名	書架
数量	１ヶ所
サイズ	W２６００xD４００xH１０５０
型番	６−７１６−３３２□（改）

15

品名	閲覧テーブル
数量	６ヶ所
サイズ	W１８００xD９００xH７００
型番	６−７１３−０３０２

		設計番号	工事名称	縮尺	図面名称	図番
		年 月 日 令和8年1月	新座市立東北小学校校舎長寿命化改修工事	A1:1/20 A3:1/40	Ⅱ期　備品レイアウト９	A−135
						承認 / 製図

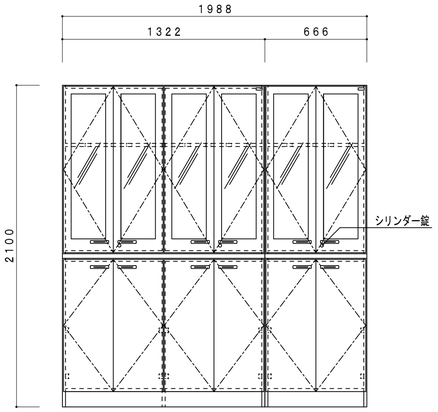
４階　音楽準備室　　Ｓ＝１／１００



1

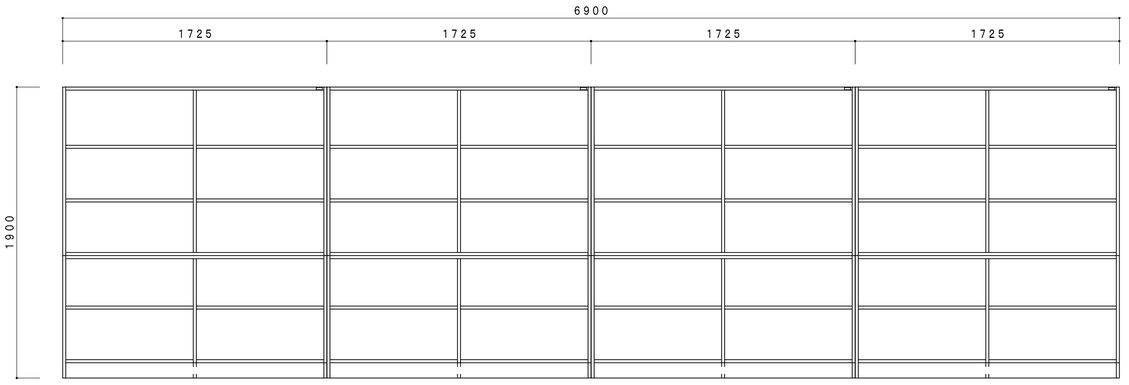
品名	システム戸棚
数量	1ヶ所
サイズ	W1800xD800xH2100
型番	6−722−1521

2



品名	システム戸棚
数量	1ヶ所
サイズ	W1988xD800xH2100
型番	6−722−151□（改）

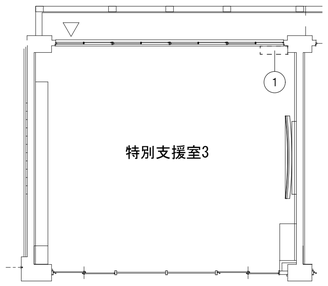
3



品名	システム戸棚
数量	1ヶ所
サイズ	W6900xD450xH1900
型番	6−722−1141（改）

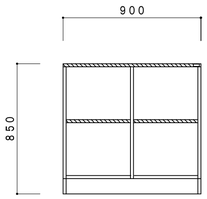
		設計番号	工事名称	縮尺	図面名称	図番
		年 月 日 令和8年1月	新座市立東北小学校校舎長寿命化改修工事	A1:1/20 A3:1/40	Ⅱ期　備品レイアウト１０	Ａ-136
						承認 / 製図

１階　特別支援室２／２階　会議室・特別支援室３
３・４階　普通教室　　Ｓ＝１／１００



1

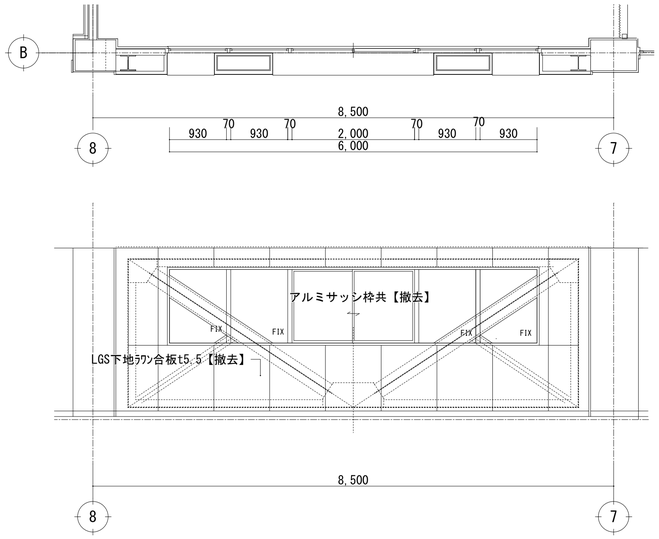
室名		
1階	特別支援室２	１ヶ所
2階	会議室	１ヶ所
2階	特別支援室３	１ヶ所
3階	普通教室４－４	１ヶ所
4階	普通教室６－５	１ヶ所

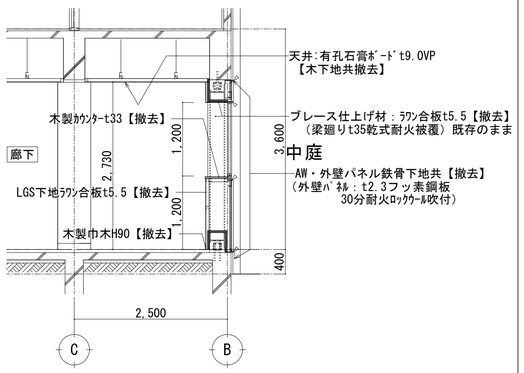


品名	本棚
数量	計５ヶ所
サイズ	Ｗ９００ｘＤ２７０ｘＨ８５０
型番	６－７１６－３３３□（改）

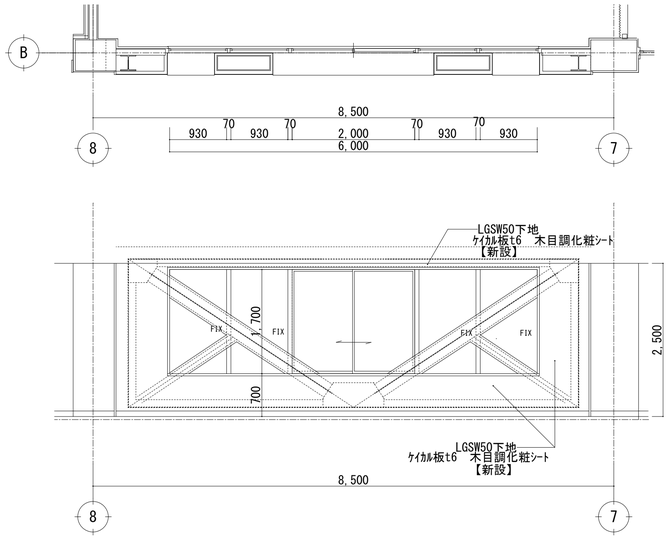
		設計番号	工事名称	縮尺	図面名称	図番
		年 月 日	新座市立東北小学校校舎長寿命化改修工事	A1:1/20 A3:1/40	Ⅱ期　備品レイアウト１１	Ａ－137
		令和8年1月				承認 / 製図

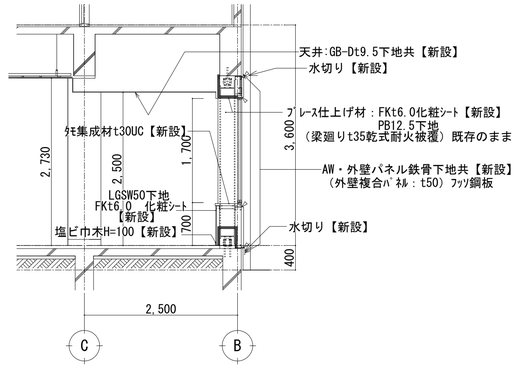
１Ｆ廊下（玄関前ﾌﾞﾚｰｽ）　既存　1/50



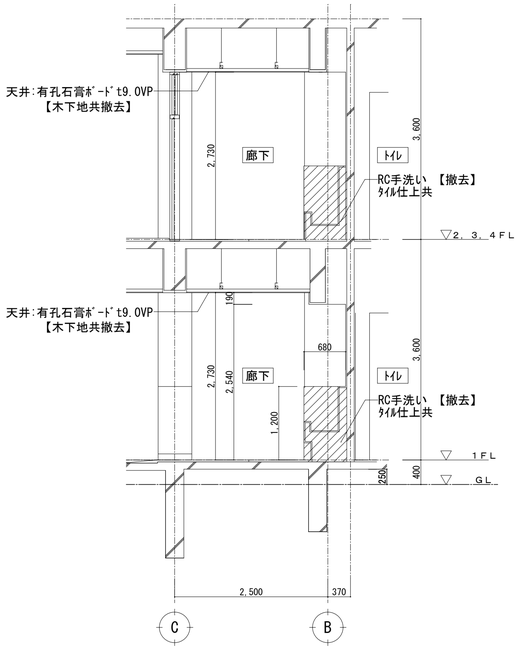


１Ｆ廊下（玄関前ﾌﾞﾚｰｽ）　改修　1/50

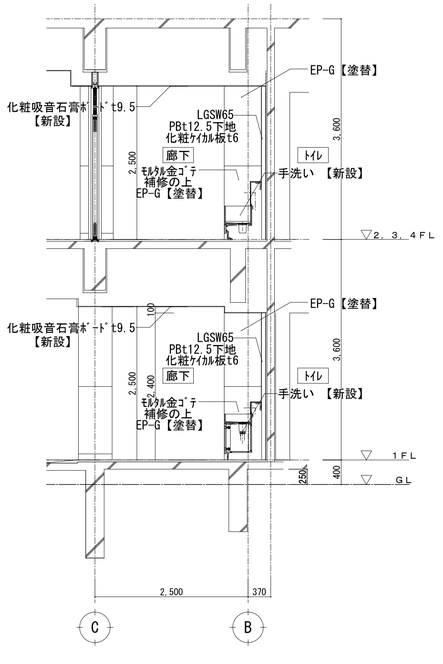




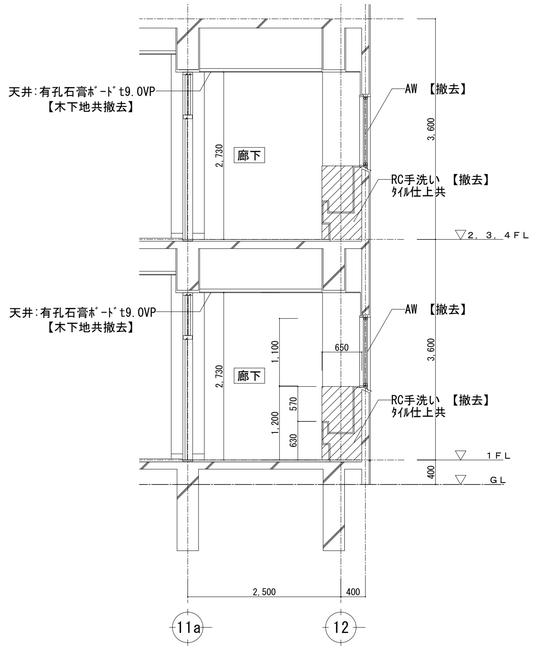
中央廊下（東西手洗い）　既存　1/50



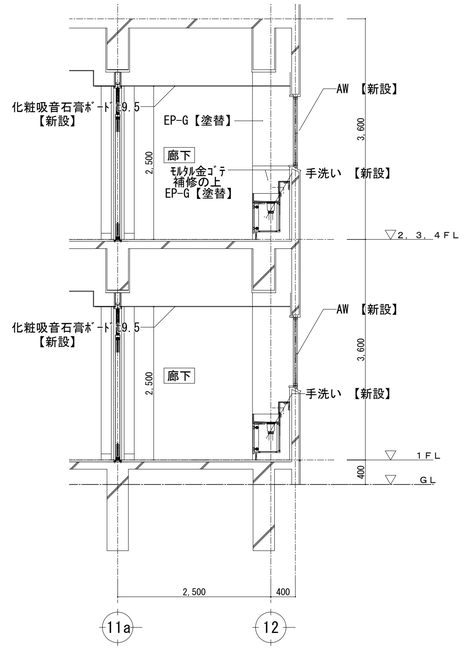
中央廊下（東西手洗い）　改修　1/50



西廊下（手洗い）　既存　1/50



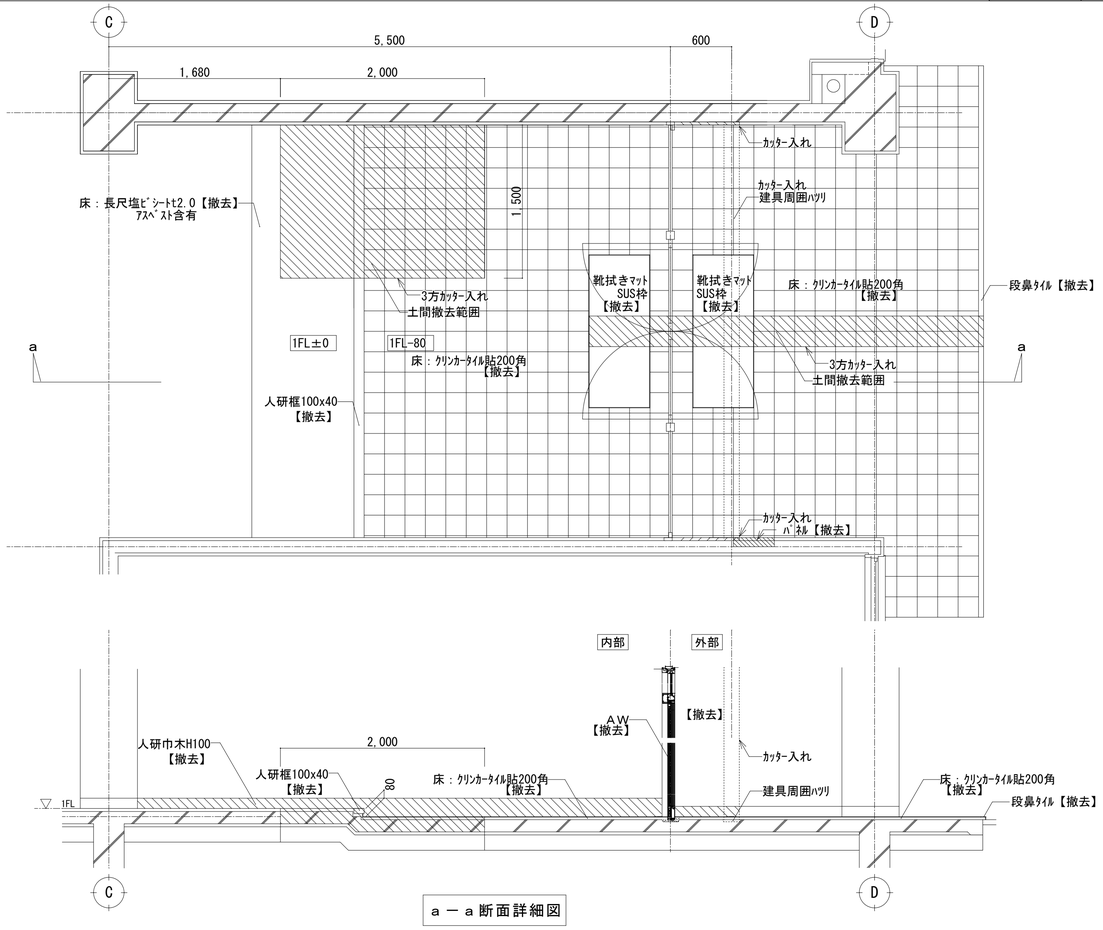
西廊下（手洗い）　改修　1/50



設計番号	工事名称	縮尺	図面名称
年月日 令和8年1月	新座市立東北小学校校舎長寿命化改修工事	A1:1/50 A3:1/100	部分詳細図１

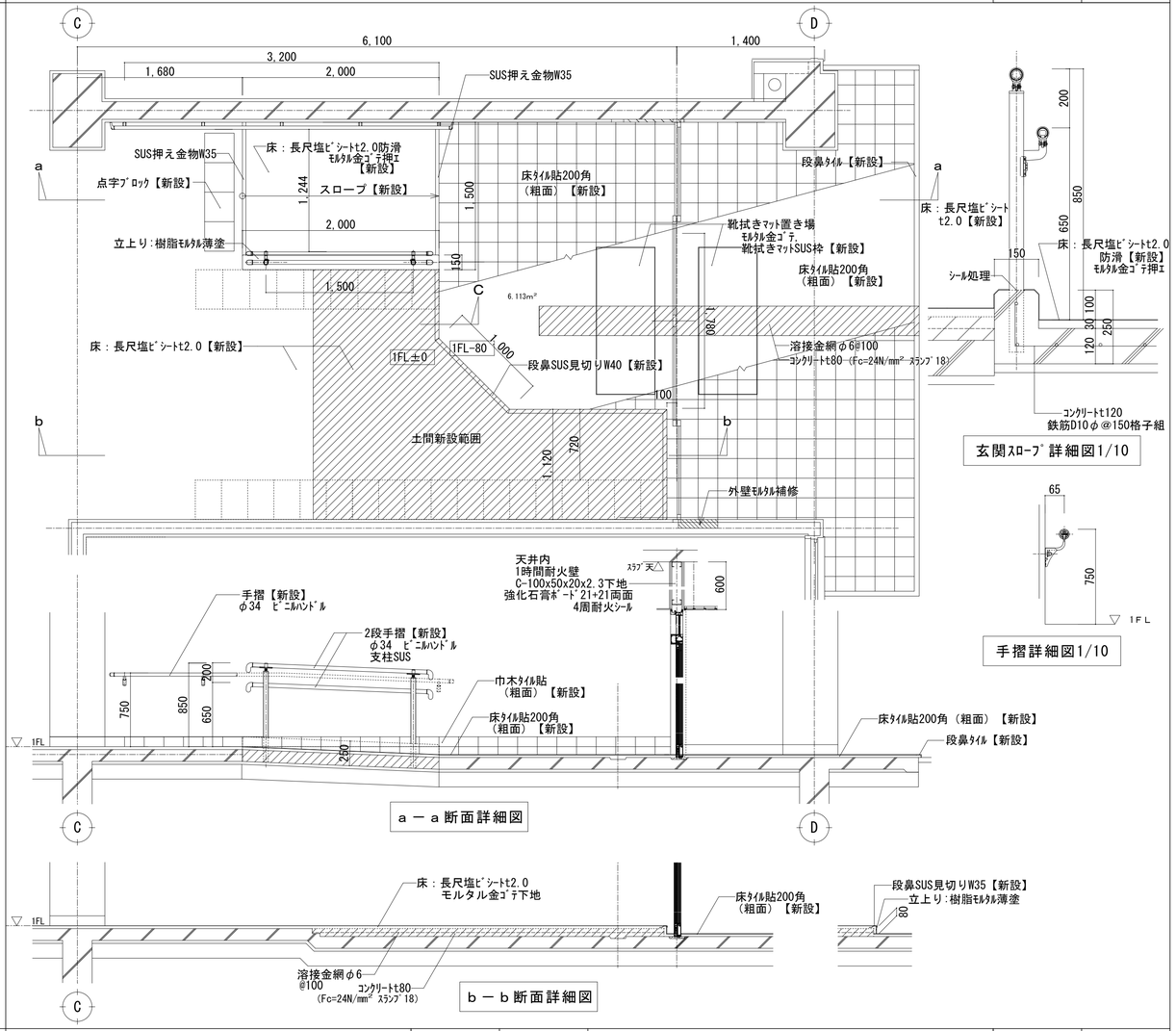
図番	A-138
承認	製図

玄関廻り詳細図 | 既存 | 1/30



a－a断面詳細図

玄関廻り詳細図 | 改修 | 1/30



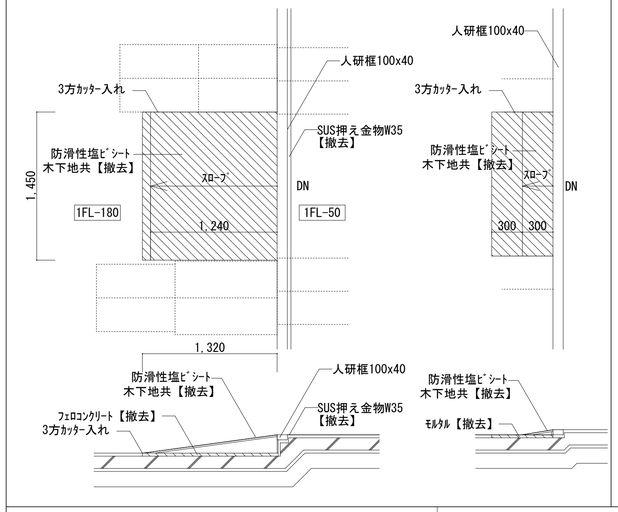
a－a断面詳細図

b－b断面詳細図

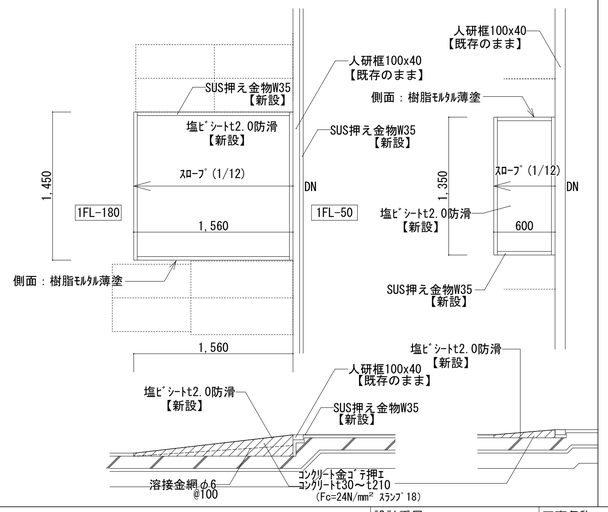
玄関スロープ詳細図1/10

手摺詳細図1/10

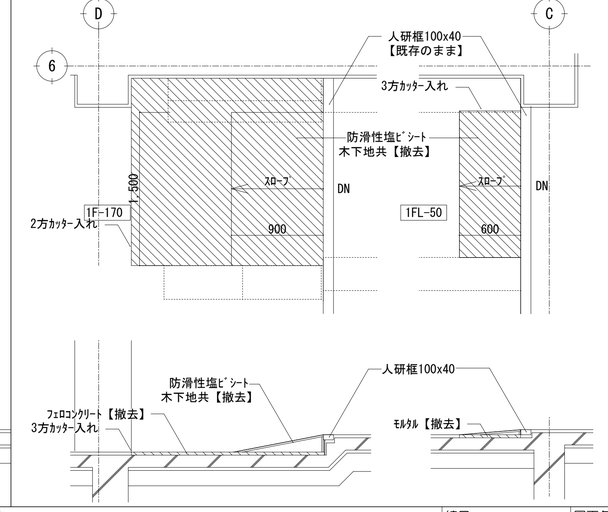
昇降口A　スロープ詳細図 | 既存 | 1/30



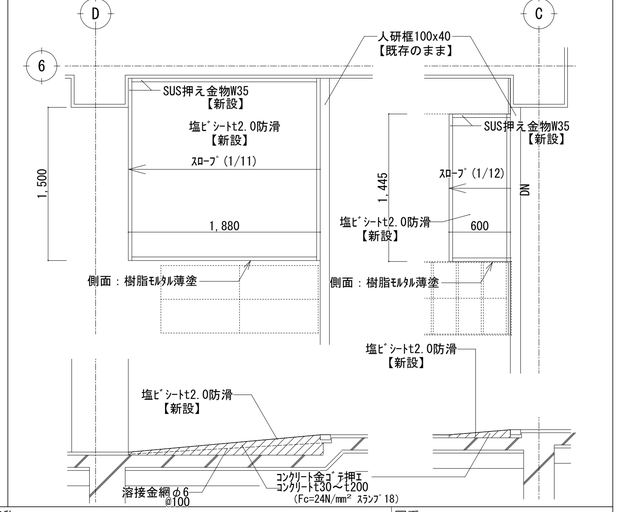
昇降口A　スロープ詳細図 | 改修 | 1/30



昇降口B　スロープ詳細図 | 既存 | 1/30

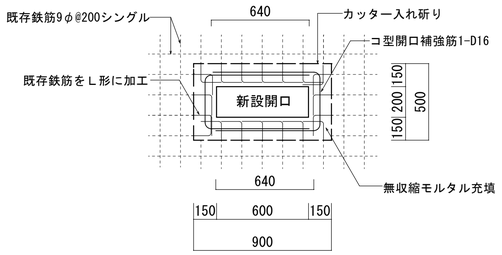


昇降口B　スロープ詳細図 | 改修 | 1/30



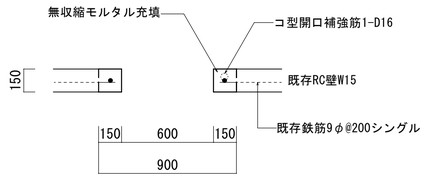
		設計番号		工事名称	新座市立東北小学校校舎長寿命化改修工事	縮尺	A1:1/30 A3:1/60
		年 月 日	令和8年1月	図面名称	部分詳細図２	図番	A-139
						承認	製図

１Ｆ東女子トイレ開口補強詳細　改修　1/20



開口補強立面図　S=1/20

※斫りの際、既存鉄筋を切断しないこと。

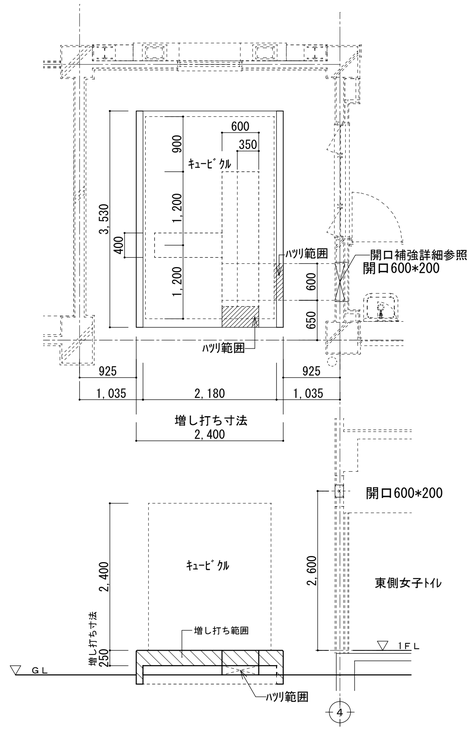


開口補強平面図　S=1/20

使 用 材 料

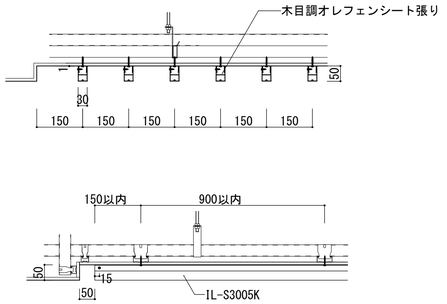
開口補強筋	ＳＤ２９５
無収縮モルタル	圧縮強度３０Ｎ／ｍｍ²以上

キュービクル基礎詳細図　改修　1/50

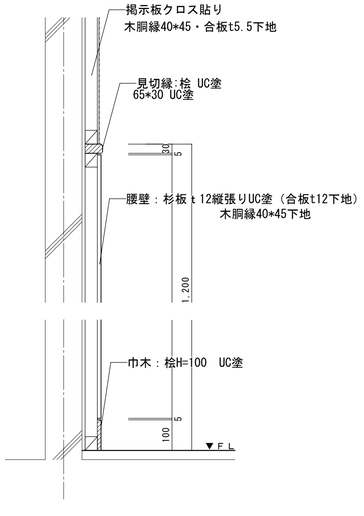


天井ルーバー詳細図　1/10

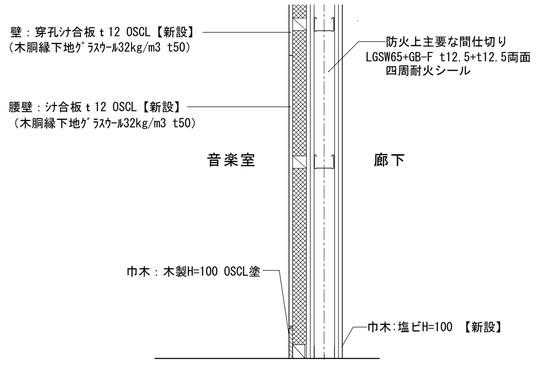
玄関・昇降口Ａ，Ｂ　共通



腰木質化詳細図　1/10

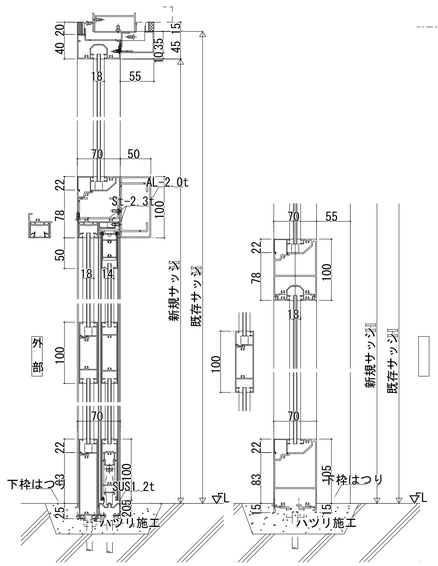


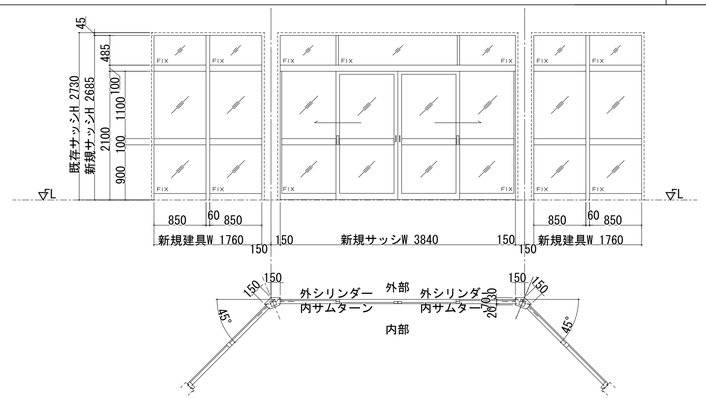
音楽室間仕切り詳細図　1/10

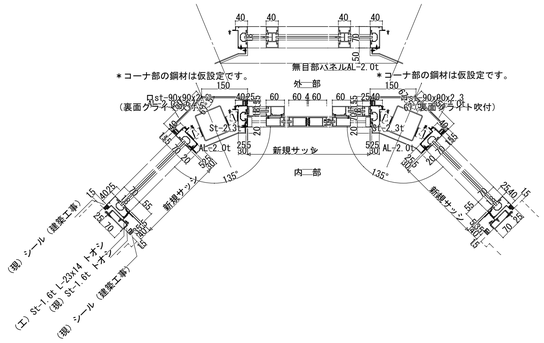


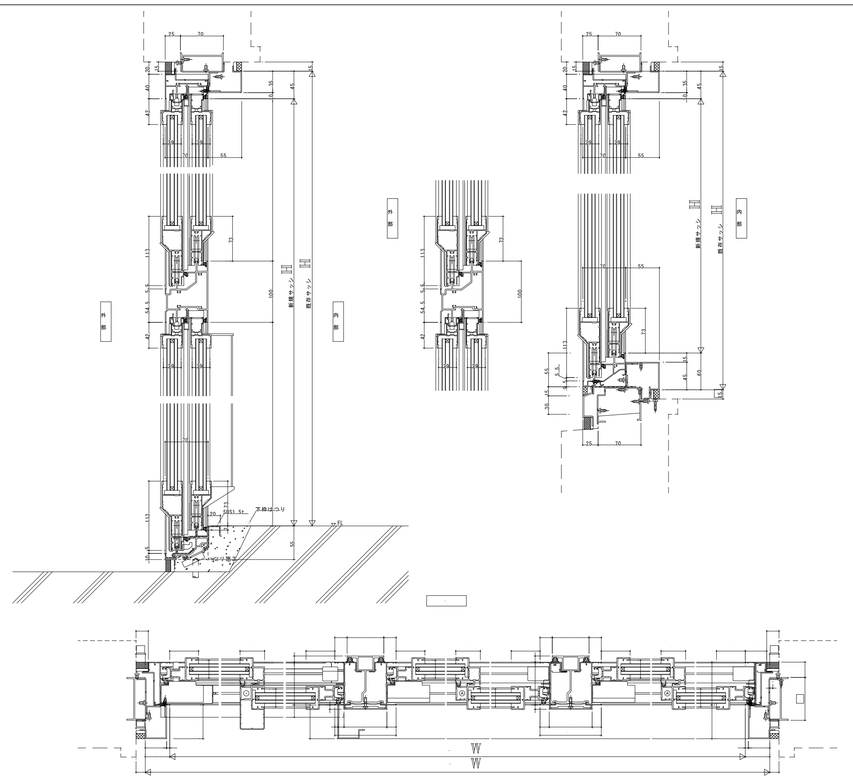
設計番号		工事名称	新座市立東北小学校校舎長寿命化改修工事
年 月 日	令和8年1月	縮尺	A1:1/20 1/50 1/10 A3:1/40 1/100 1/20
図面名称	部分詳細図３	図番	Ａ-140
承認	製図		

1/50

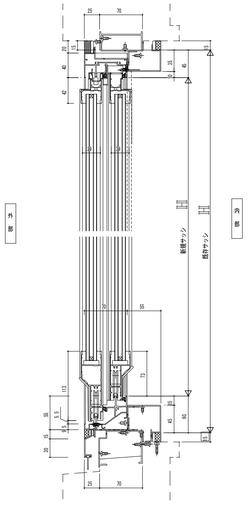


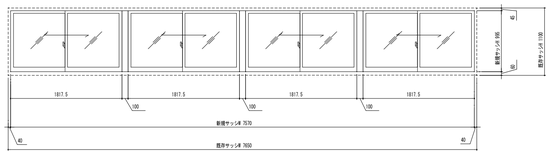






1/50

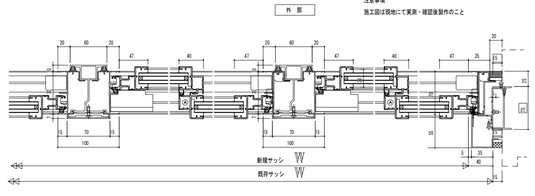


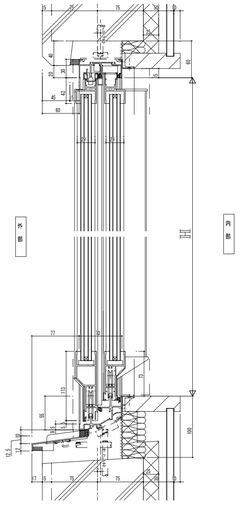


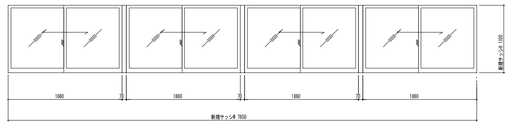
設計性能仕様条件

耐風圧性能	-S-5 (2400Pa)
水密性能	-W-5 (500Pa)
気密性能	-A-4 (2等級種)
遮音性能	-T-1 (25等級種)
防火性能	-準じ(非防火設備)
表面処理	-A1 (JIS H 8602-2010に基づく)
ガラスに関して	-ガラスの厚さ、かかり代等の数値は参考値です

注意事項
施工図は現地にて実測・確認後製作のこと



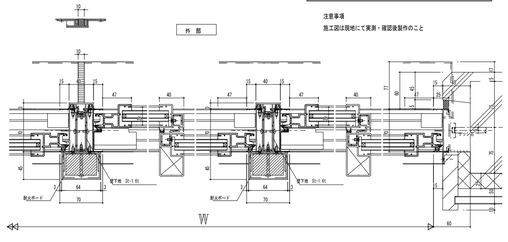




設計性能仕様条件

耐風圧性能	-S-5 (2400Pa)
水密性能	-W-5 (500Pa)
気密性能	-A-4 (2等級種)
遮音性能	-T-1 (25等級種)
防火性能	-防火設備
表面処理	-A1 (JIS H 8602-2010に基づく)
ガラスに関して	-ガラスの厚さ、かかり代等の数値は参考値です

注意事項
施工図は現地にて実測・確認後製作のこと



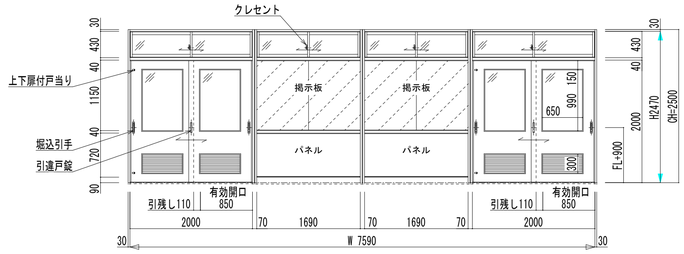
	設計番号	工事名称	縮尺
	年 月 日 令和8年1月	新座市立東北小学校校舎長寿命化改修工事	A1:1/50 A3:1/100

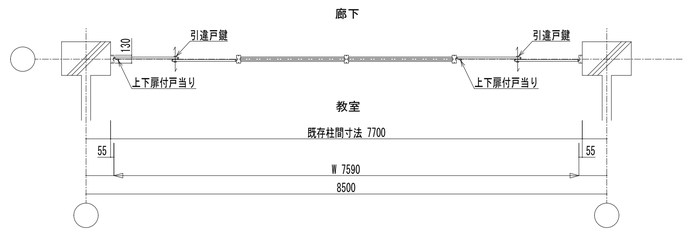
図面名称	図番
部分詳細図４	A-141
	承認 / 製図

ＳＰ－１：スチール製学校間仕切り仕様

区分	部材名	見込(mm)	見付(mm)	材料仕様
枠	竪枠		30	溶融亜鉛めっき鋼板 1.2mm（指定色）
	上枠	129	30	
	無目	74	40	
	巾木	74	122	
	出入口上レール			A-6063S-T5 アルミ（枠同色）
	沓摺	79	20	SUS-304 1.5mmHL
	出入口下レール	9	9	A-6063S-T5 アルミ（シルバー色）
扉	表面材	30		化粧鋼板 0.6mm（メーカー標準色）
	補強材			溶融亜鉛めっき鋼板 1.2mm
	芯材			ペーパーコア
	樹脂製戸車			ＰＯＭ樹脂
	手詰防止パッキン			ＰＶＣ(硬軟質塩ビ) ブラウン色
	小窓・ガラリ	34,33		A-6063S-T5 アルミ（扉同色）
障子	竪・召合框	22	30	A-6063S-T5 アルミ（扉同色）
	上・下框	18.5	45	
	障子上下レール			
	樹脂製戸車			樹脂製ベアリング入り
	手詰防止パッキン			ＰＶＣ(硬軟質塩ビ) ブラウン色
	表面材（掲示板）	9.0		ラワン合板 9.0mm（掲示用クロス貼り）
パネル（掲示板）	表面材	36		化粧鋼板 0.6mm
	補強材			針葉樹
	芯　材			ペーパーコア
パネル（腰下）	表面材	36		溶融亜鉛めっき鋼板 0.5mm（指定色）
	補強材			針葉樹
	芯　材			ペーパーコア
	ステー・アンカー			溶融亜鉛めっき鋼板 1.6mm
仕上げ	メラミン焼付塗装 枠・小窓・ガラリ・障子・出入口上レール・障子上下レール・パネル			
備考	・ユニット枠の取付は溶接取付け工法とする ・監督員がサンプルの提出を求めた場合は、その要求に応じること ・ガラス、ガラスシール、パッカー材はガラス工事とする ・掲示板部の掲示用クロス貼りは建築工事とする ・床、壁等のハツリが必要な部分は建築工事とする			

SP 1



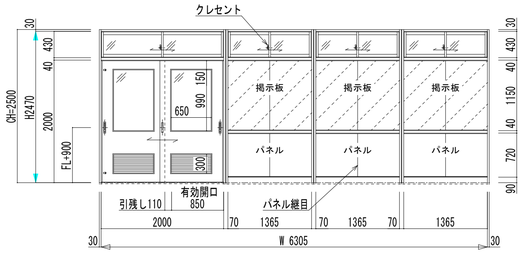


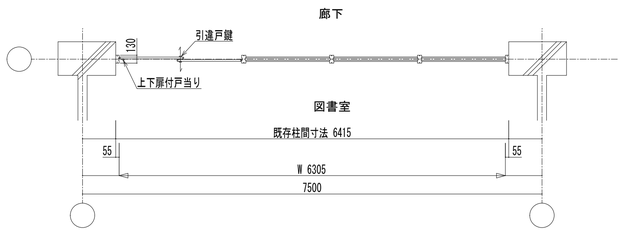
平面図・姿図 S=1/50

ＳＰ－８：スチール製学校間仕切り仕様

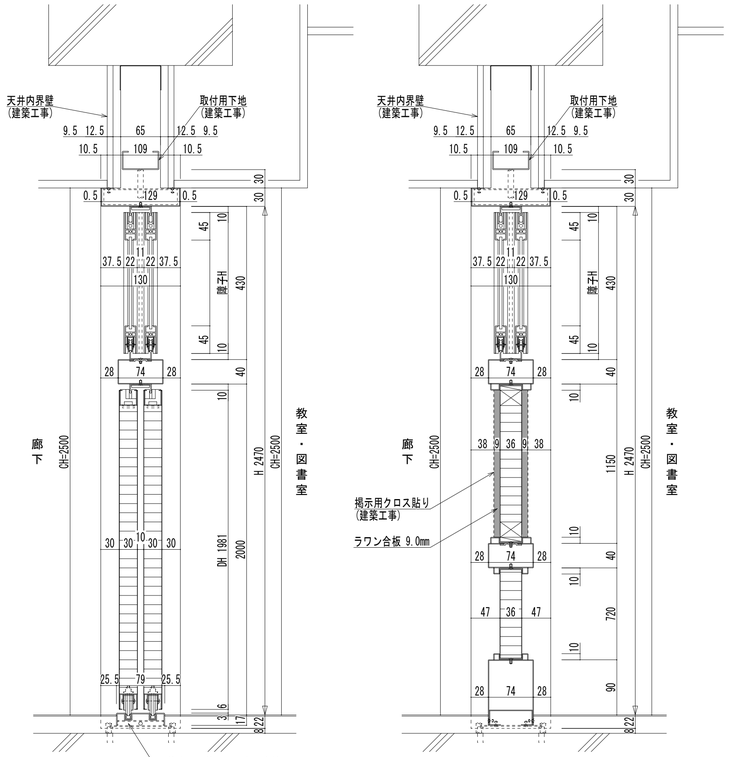
区分	部材名	見込(mm)	見付(mm)	材料仕様
枠	竪枠		30	木目印刷鋼板 1.2mm
	上枠	129	30	
	無目	74	40	
	巾木	74	122	
	出入口上レール			A-6063S-T5 アルミ（ウッドカラー）
	沓摺	79	20	SUS-304 1.5mmHL
	出入口下レール	9	9	A-6063S-T5 アルミ（シルバー色）
扉	表面材	30		木目印刷鋼板 0.6mm
	補強材			溶融亜鉛めっき鋼板 1.2mm
	芯材			ペーパーコア
	樹脂製戸車			ＰＯＭ樹脂
	手詰防止パッキン			ＰＶＣ(硬軟質塩ビ) ブラウン色
	小窓・ガラリ	34,33		A-6063S-T5 アルミ（ウッドカラー）
障子	竪・召合框	22	30	A-6063S-T5 アルミ（ウッドカラー）
	上・下框	18.5	45	
	障子上下レール			
	樹脂製戸車			樹脂製ベアリング入り
	手詰防止パッキン			ＰＶＣ(硬軟質塩ビ) ブラウン色
	表面材（掲示板）	9.0		ラワン合板 9.0mm（掲示用クロス貼り）
パネル（掲示板）	表面材	36		化粧鋼板 0.6mm
	補強材			針葉樹
	芯　材			ペーパーコア
パネル（腰下）	表面材	36		木目印刷鋼板 0.6mm
	補強材			針葉樹
	芯　材			ペーパーコア
	ステー・アンカー			溶融亜鉛めっき鋼板 1.6mm
仕上げ	メラミン焼付塗装(ウッドカラー) 小窓・ガラリ・障子・出入口上レール・障子上下レール			
備考	・ユニット枠の取付は溶接取付け工法とする ・監督員がサンプルの提出を求めた場合は、その要求に応じること ・ガラス、ガラスシール、パッカー材はガラス工事とする ・掲示板の掲示用クロス貼りは建築工事とする ・床、壁等のハツリが必要な部分は建築工事とする			

SP 8

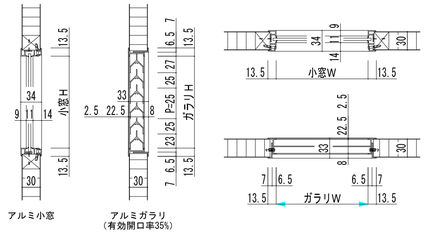




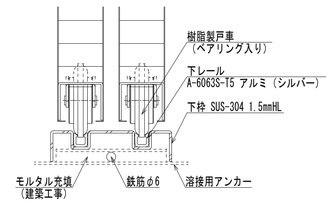
平面図・姿図 S=1/50



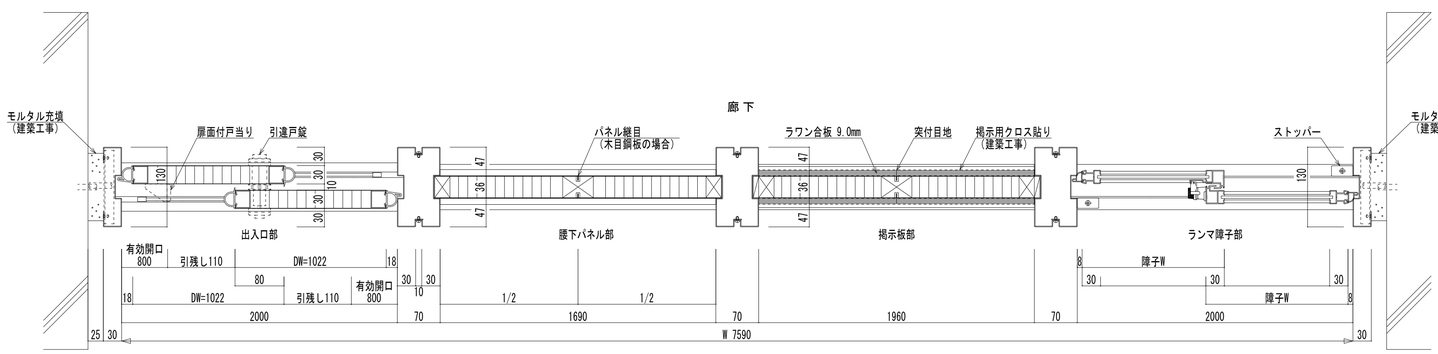
縦断面詳細図 S=1/5



アルミ小窓、ガラリ詳細 S=1/5



下枠詳細図 S=1/2



横断面詳細図 S=1/5

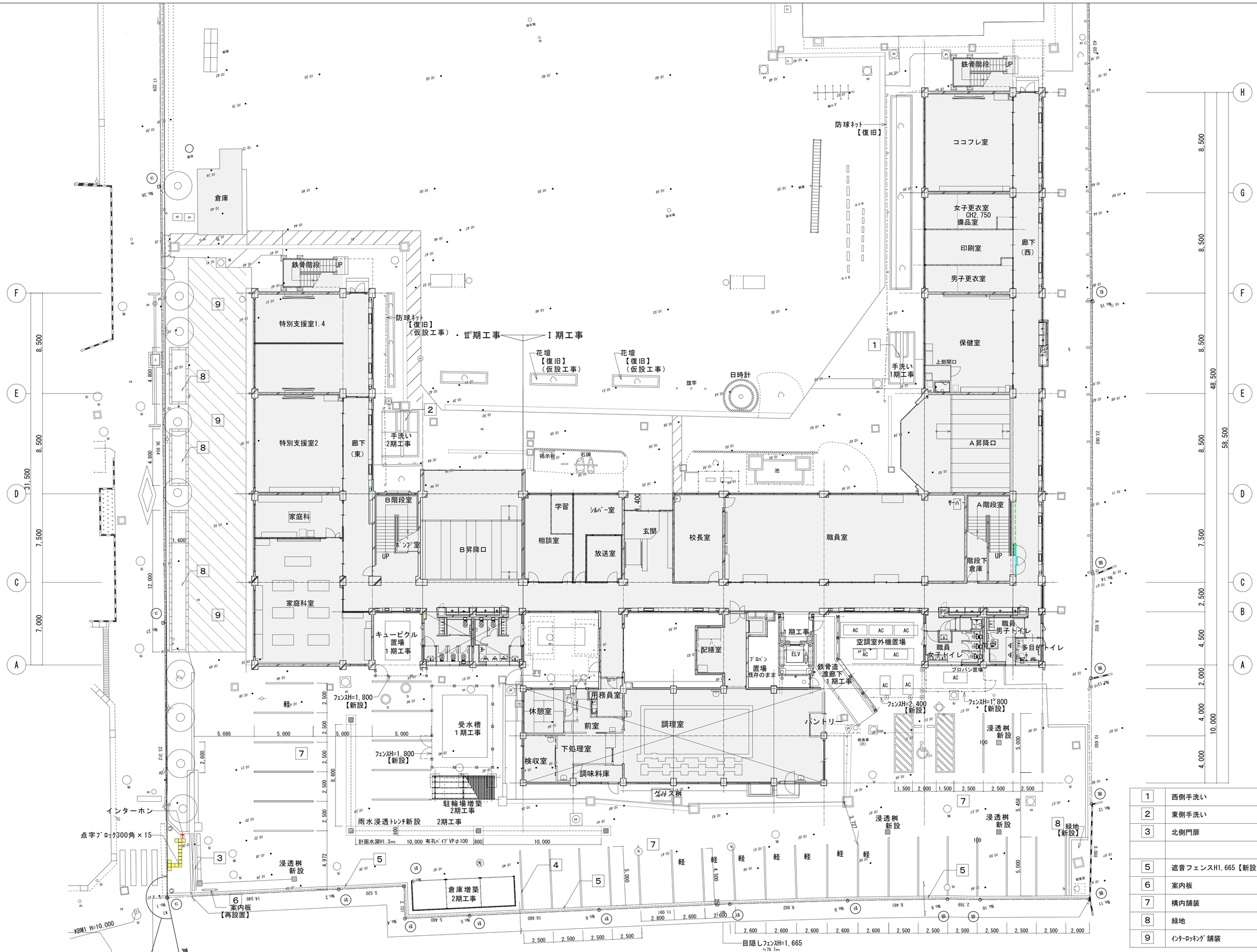
	設計番号	工事名称	縮尺	図面名称	図番 A-142
	年 月 日 令和8年1月	新座市立東北小学校校舎長寿命化改修工事	A1:1/5 1/50 A3:1/10 1/100	部分詳細図５	承認 / 製図

倉庫
伐採
階段下倉庫【解体】
41.065340m²
鉄骨階段 UP
コンクリート平板舗装【撤去】
伐採・伐根
特別支援室1.4
特別支援室2
家庭科準備室
家庭科室
廊下（東）
B階段室
ホール
UP
B昇降口
相談室
シルバー室
玄関
校長室
職員室
廊下（中央）
倉庫解体
鉄骨階段
ココフレ室
備品室
印刷室
廊下（西）
保健室
A昇降口
A階段室
放送室
更衣室（女）
更衣室（男）
階段下倉庫
UP
防球ネット【一時撤去】（仮設工事）
Ⅱ期工事
Ⅰ期工事
枝払い（仮設工事）
花壇【一時撤去】（仮設工事）
伐根（仮設工事）
日時計
旗竿
手洗い1期工事
掲示板
石碑
池
土間ハツリ
プレハブ倉庫【撤去】
キュービクル置場1期工事
東側女子トイレ
東側男子トイレ
駐輪場
渡り廊下
中庭
配膳室
プロパン置場
1期工事少量危険物倉庫【解体】
鉄骨造渡廊下【解体】1期工事
空調室外機置場
職員男子トイレ
職員女子トイレ
多目的トイレ
案内板【移設】
フェンスH=1.800【撤去】
2期工事で舗装【撤去】
受水槽
1期工事
休憩室
用務員室
前室
調理室
パントリー
検収室
下処理室
調味料庫
2期工事
駐輪場増築予定位置
今回工事
1期工事フェンスH=2.400【撤去】
1期工事フェンスH=1.800【撤去】
渡り廊下詳細図参照
コンクリート土間【撤去】
低木15本伐採伐根
KBM1 H=10.000
スチールメッシュフェンスH=1.200【撤去】
真北方向角 0°09'17"
191°44'40"

1	西側手洗い
2	東側手洗い【撤去】
3	北側門扉
4	花壇・スチールメッシュフェンス【撤去】
5	スチールメッシュフェンス【撤去】
6	花壇・スチールメッシュフェンス【撤去】
7	構内舗装
8	緑地

設備改修に伴う撤去復旧範囲

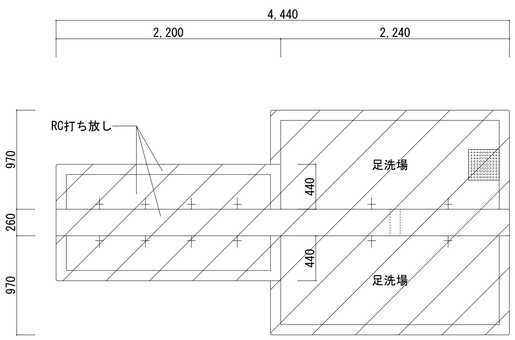
	設計番号	工事名称	縮尺	図面名称	図番 A-143
	年 月 日 令和8年1月	新座市立東北小学校校舎長寿命化改修工事	A1:1/150 A3:1/300	外構平面図（既存）	承認 / 製図



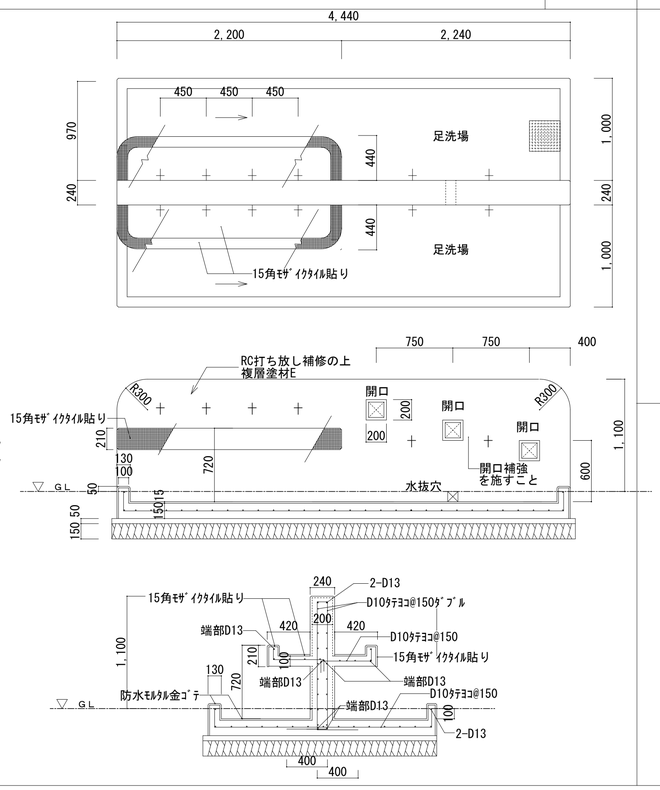
1	西側手洗い
2	東側手洗い
3	北側門扉
5	遮音フェンスH1,665【新設】
6	案内板
7	構内舗装
8	緑地
9	ｲﾝﾀｰﾛｯｷﾝｸﾞ舗装

設計番号	工事名称	縮尺	図面名称	図番	A-144
年月日 令和8年1月	新座市立東北小学校校舎長寿命化改修工事	A1:1/150 A3:1/300	外構平面図（改修）	承認	製図

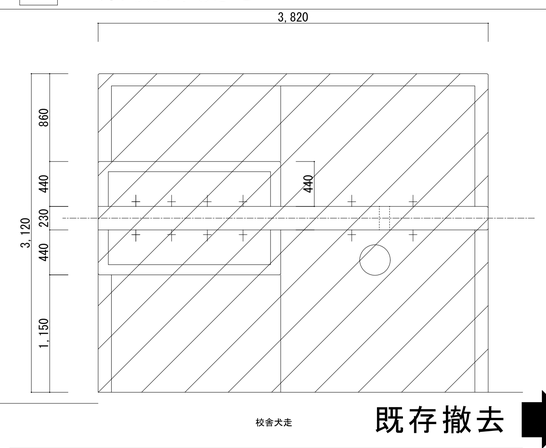
1 西側外流し　1/30



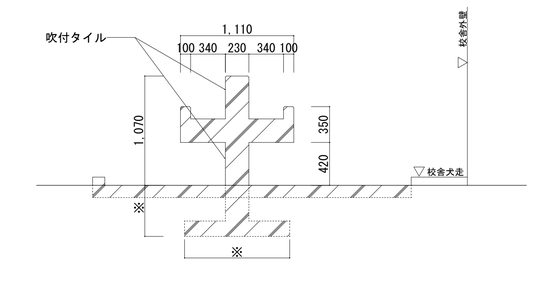
既存撤去 ➡ 新設

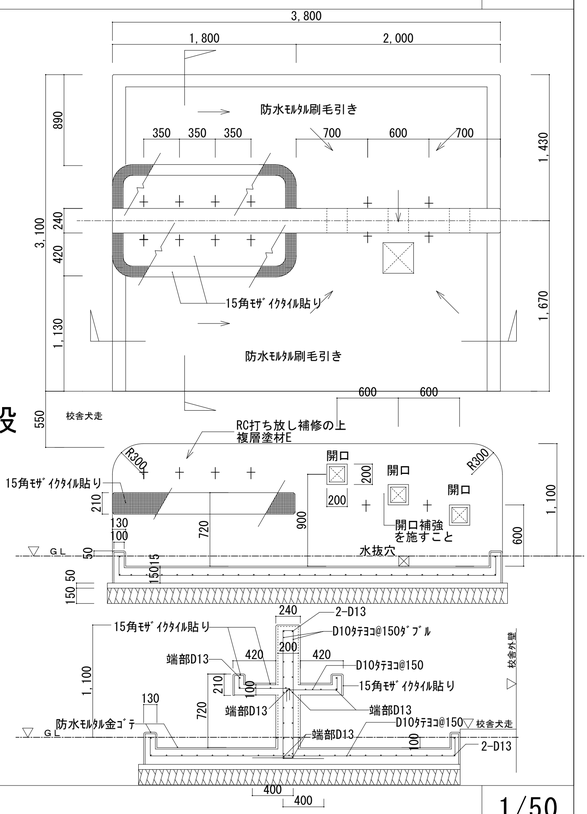


2 東側外流し　1/30

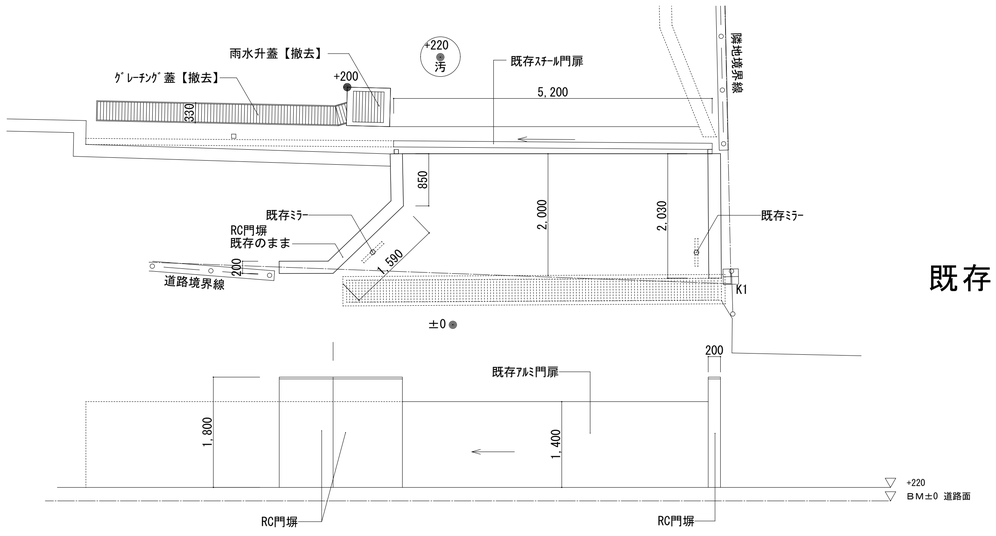


既存撤去 ➡ 新設

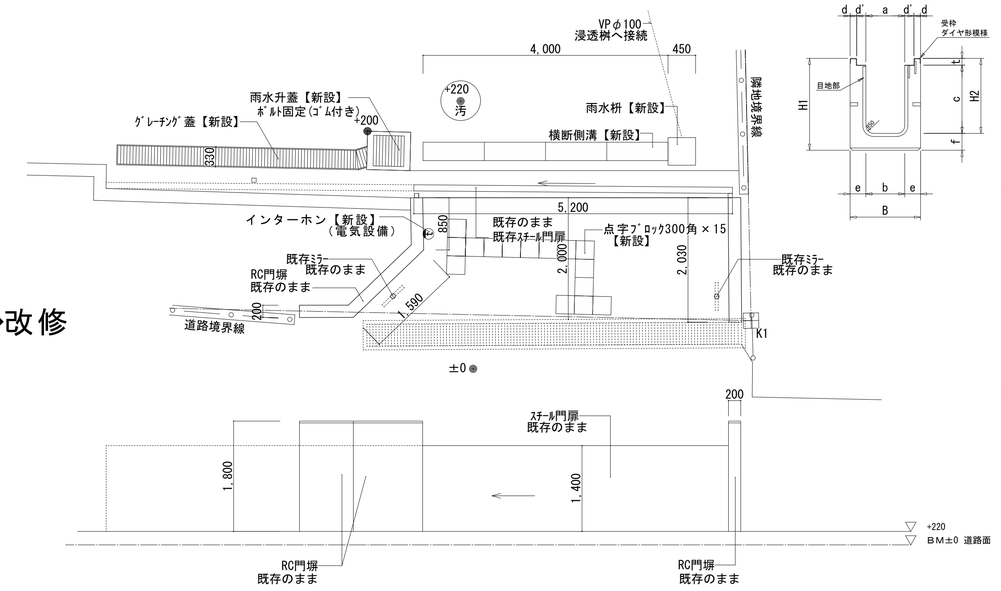




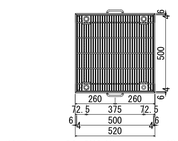
3 北側門扉廻り詳細　1/50



既存 ➡ 改修



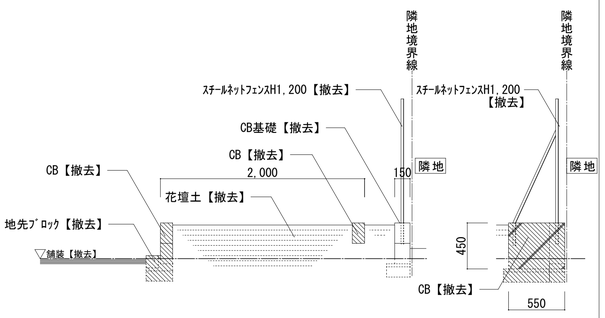
横断側溝 250用 T-20 SUSグレーチング
ﾎﾞﾙﾄ固定 細目
参考詳細図 S=1/20



桝蓋用 T-20 SUSグレーチング
ﾎﾞﾙﾄ固定 細目
参考詳細図 S=1/20

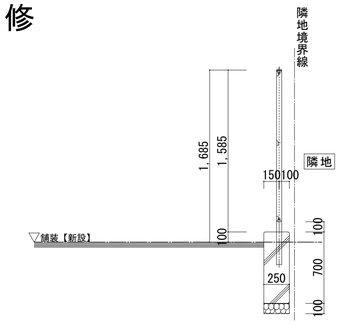
	設計番号	工事名称	縮尺	図面名称	図番
	年 月 日 令和8年1月	新座市立東北小学校校舎長寿命化改修工事	A1:1/40 A3:1/80	外構詳細図 1	A-145
					承認 / 製図

4 北側ﾌｪﾝｽ・花壇廻り詳細 1/30

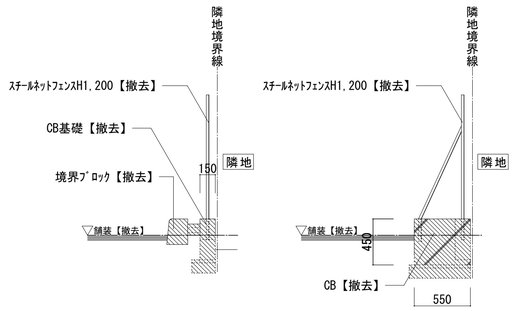


既存

改修

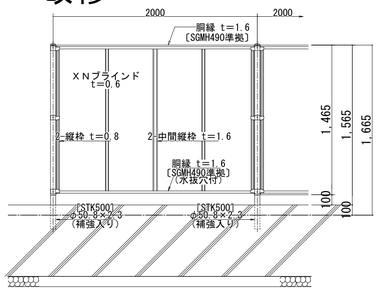


5 北側ﾌｪﾝｽ廻り詳細 1/30

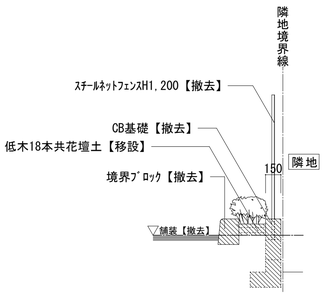


既存

改修



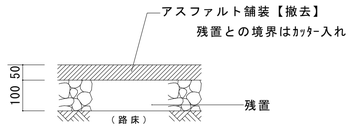
6 北側ﾌｪﾝｽ廻り詳細 1/30



既存

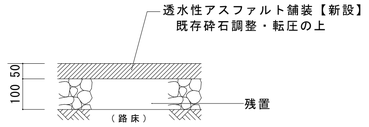
改修

7 構内舗装詳細 1/10

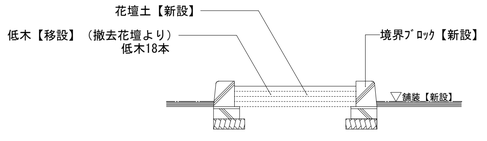


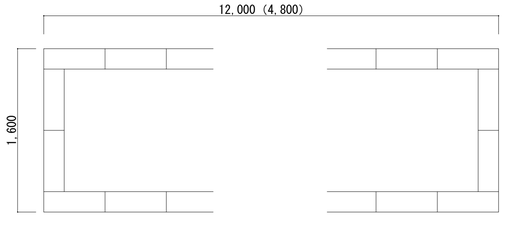
既存

改修

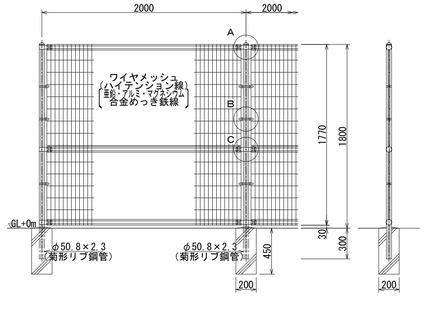


8 緑地 新設 1/30

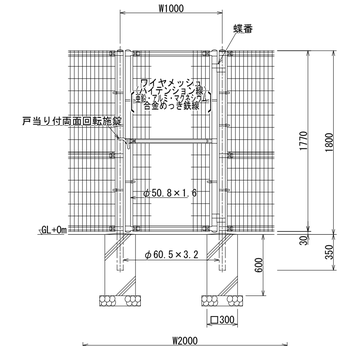


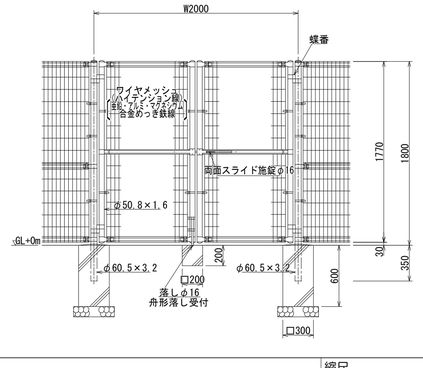


キュービクル・受水槽フェンス 1/30



フェンス門扉詳細図 1/30

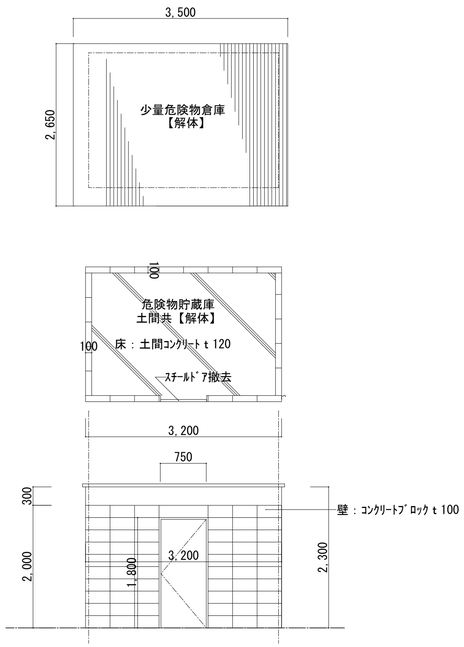




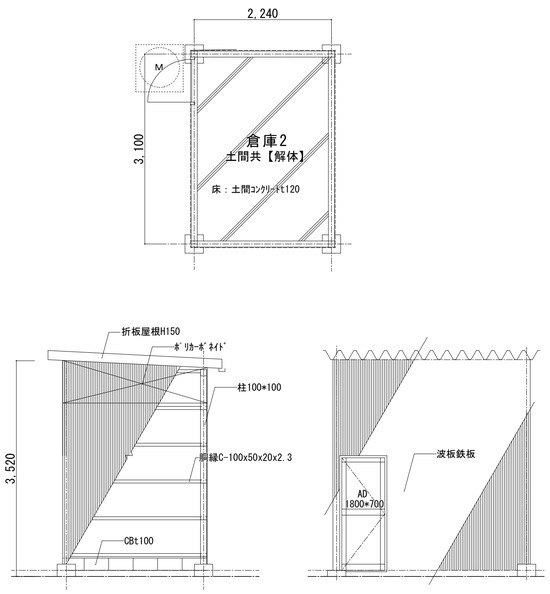
		設計番号	工事名称	縮尺	図面名称	図番 A-146
		年 月 日 令和8年1月	新座市立東北小学校校舎長寿命化改修工事	A1:1/40 A3:1/80	外構詳細図２	承認 / 製図

2期

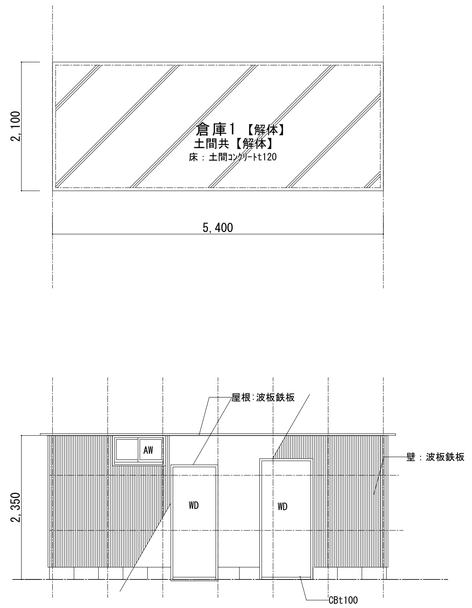
少量危険物倉庫解体 1/50



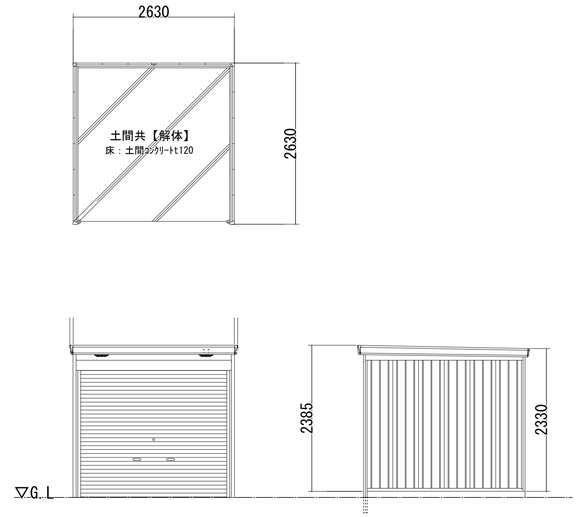
倉庫2解体 1/50



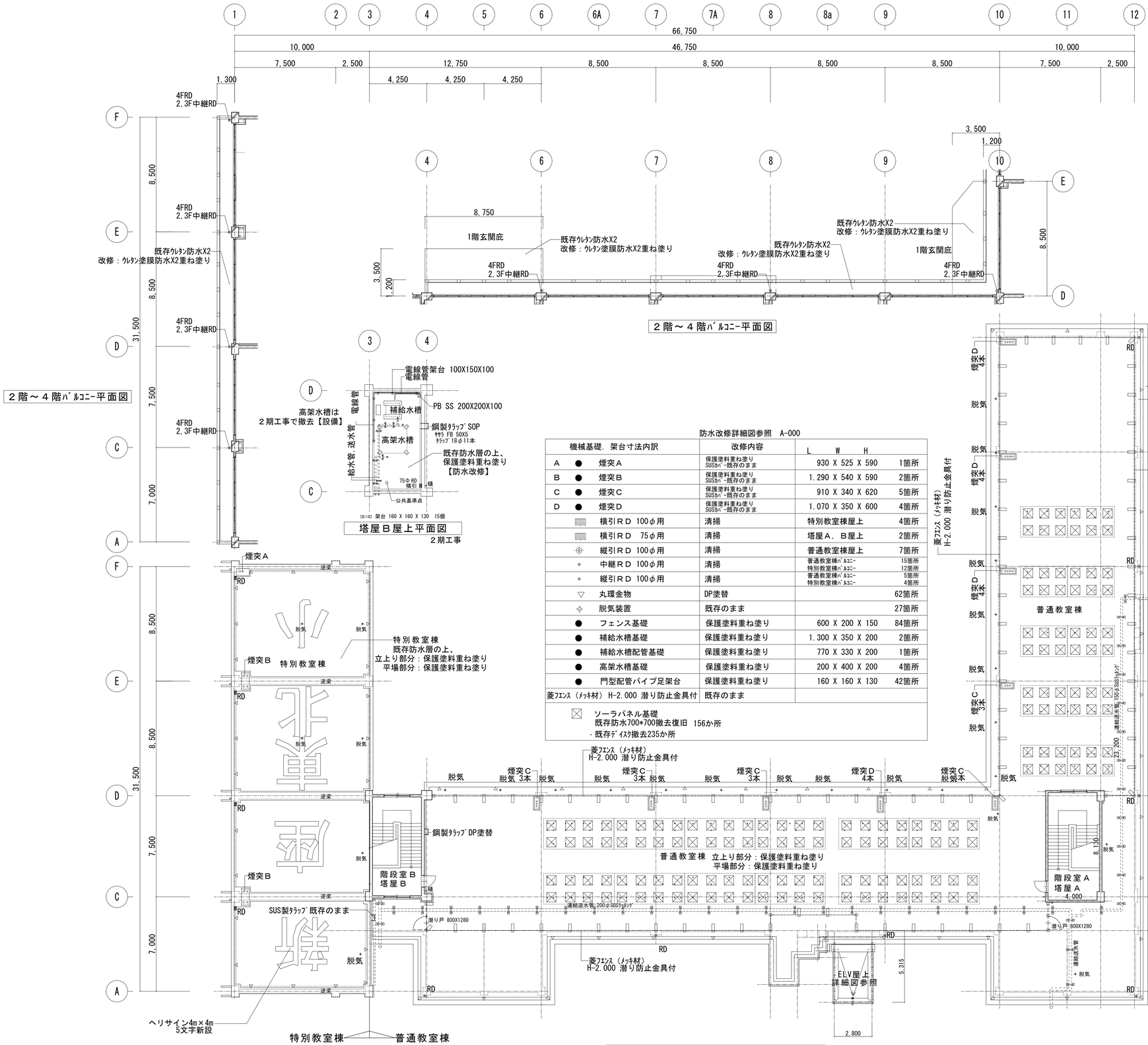
倉庫1解体 1/50



物置1解体 1/50



		設計番号	工事名称	縮尺	図面名称	図番	A-147
		年 月 日 令和8年1月	新座市立東北小学校校舎長寿命化改修工事	A1:1/40 A3:1/80	外構詳細図３	承認	製図



防水改修詳細図参照 A-000

機械基礎．架台寸法内訳		改修内容	L W H	
A ●	煙突A	保護塗料重ね塗り SUSﾊﾞｰ既存のまま	930 X 525 X 590	1箇所
B ●	煙突B	保護塗料重ね塗り SUSﾊﾞｰ既存のまま	1,290 X 540 X 590	2箇所
C ●	煙突C	保護塗料重ね塗り SUSﾊﾞｰ既存のまま	910 X 340 X 620	5箇所
D ●	煙突D	保護塗料重ね塗り SUSﾊﾞｰ既存のまま	1,070 X 350 X 600	4箇所
	横引ＲＤ 100φ用	清掃	特別教室棟屋上	4箇所
	横引ＲＤ 75φ用	清掃	塔屋Ａ，Ｂ屋上	2箇所
	縦引ＲＤ 100φ用	清掃	普通教室棟屋上	7箇所
◦	中継ＲＤ 100φ用	清掃	普通教室棟ﾊﾞﾙｺﾆｰ 特別教室棟ﾊﾞﾙｺﾆｰ	15箇所 12箇所
◦	縦引ＲＤ 100φ用	清掃	普通教室棟ﾊﾞﾙｺﾆｰ 特別教室棟ﾊﾞﾙｺﾆｰ	5箇所 4箇所
▽	丸環金物	DP塗替		62箇所
⊹	脱気装置	既存のまま		27箇所
●	フェンス基礎	保護塗料重ね塗り	600 X 200 X 150	84箇所
●	補給水槽基礎	保護塗料重ね塗り	1,300 X 350 X 200	2箇所
●	補給水槽配管基礎	保護塗料重ね塗り	770 X 330 X 200	1箇所
●	高架水槽基礎	保護塗料重ね塗り	200 X 400 X 200	4箇所
●	門型配管パイプ足架台	保護塗料重ね塗り	160 X 160 X 130	42箇所
菱ﾌｪﾝｽ（ﾒｯｷ材） H-2.000 潜り防止金具付		既存のまま		

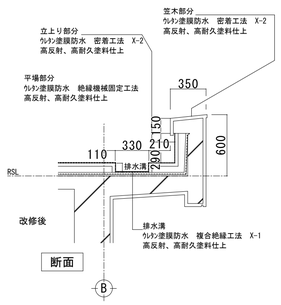
ソーラパネル基礎
既存防水700*700撤去復旧 156か所
・既存ﾃﾞｨｽｸ撤去235か所

校舎屋上平面図 S＝1/150

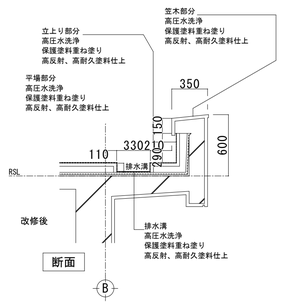
		設計番号	工事名称	縮尺	図面名称
		年 月 日 令和8年1月	新座市立東北小学校校舎長寿命化改修工事	A1:1/150 A3:1/300	防水改修平面図
				図番	A-148
				承認	製図

詳細図－１　普通教室棟　平場、立上り、排水溝、笠木　S-1:30

改修前

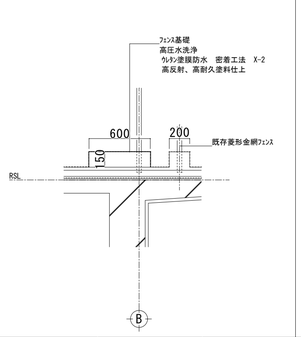


改修後

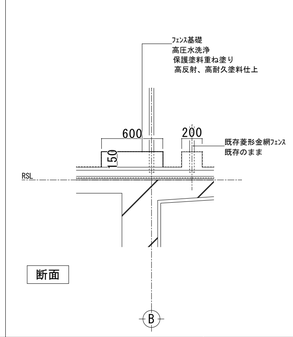


詳細図－２　普通教室棟　ﾌｪﾝｽ基礎　84箇所　S-1:30

改修前

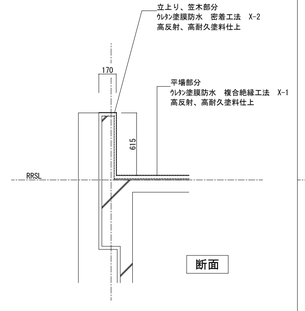


改修後

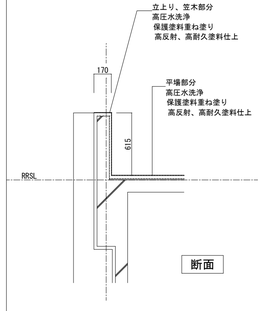


詳細図－３　塔屋Ａ，Ｂ屋上　平場、立上り、笠木　S-1:30

改修前



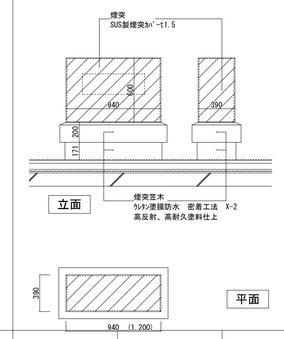
改修後



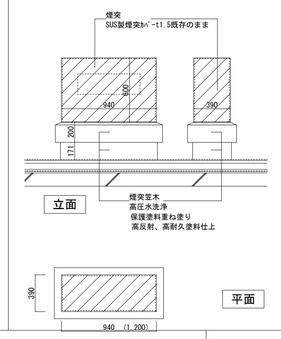
詳細図－４　普通教室棟　煙突架台

改修前

煙突架台Ｃ　5箇所　煙突架台Ｄ　4箇所
（ ）寸法

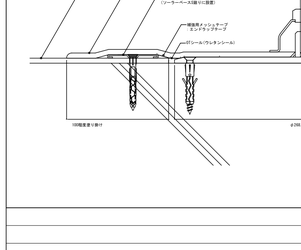


改修後

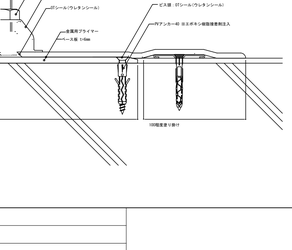


詳細図－５　普通教室棟　平場、立上り、排水溝、笠木　S-1:30

改修前

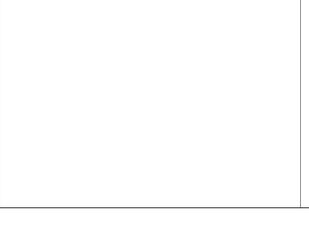


改修後

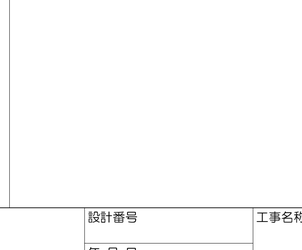


詳細図－６　特別教室棟　平場、立上り、排水溝、笠木　S-1:30

改修前



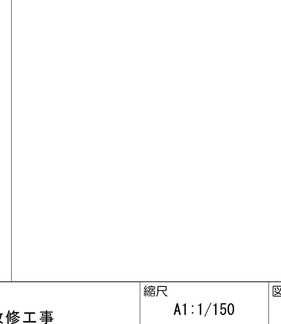
改修後



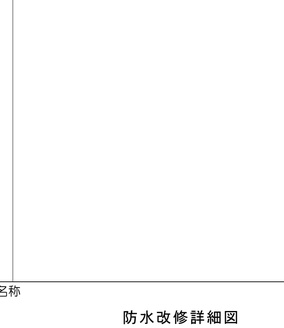
詳細図－７　特別教室棟屋上　平場、立上り、笠木　S-1:30

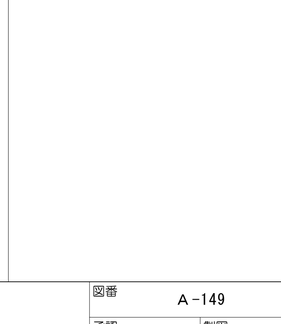
改修前

改修後



詳細図－８　特別教室棟屋上　逆梁　S-1:30





詳細図－９　特別教室棟屋上　塔屋立上り　S-1:30

改修前

改修後

詳細図－１０　渡り廊下屋上　平場、立上り、笠木　S-1:30

改修前

改修後

詳細図－１１　塔屋Ｂ屋上　高架水槽基礎　4箇所　S-1:30

改修前

改修後

詳細図－１２　普通教室棟屋上　ソーラパネル基礎　防水廻り詳細　S-1:3

設計番号	工事名称	縮尺	図面名称
年 月 日 令和8年1月	新座市立東北小学校校舎長寿命化改修工事	A1:1/150 A3:1/300	防水改修詳細図

図番　A-149

承認　製図

Ⅰ期工事【夏休み前準備工事】
6月9日着工予定

工事動線
工事関係者動線
給食車両動線
児童・職員動線
児童・職員出入口

工事範囲・内容
仮設鉄板敷・鋼製仮囲い設置・仮設事務所設置
現場調査
足場設置後防災無線アンテナ移設

学校側・内容
備品移動の準備

鋼製仮囲いH=3,000
キャスターゲートW=3600
枠組み足場
鉄板敷
交通誘導員

普通教室棟
工事状況によっては、１階管理諸室関係をⅡ期とする可能性あり
体育館
東北故課後児童保育室
プール
給食室棟
特別教室棟
職員駐車場
一部工事車両
防災無線アンテナ
先行移設
保健室出入り
防球ネット
ネット【一時撤去】
枝払い
伐採
伐根
花壇
【一時撤去】
屋外トイレ
夏休み中
学校関係者駐車場
鋼製仮囲いH=3,000
キャスターゲート
廃棄物コンテナ
荷揚スペース
資材置き場
工事関係者駐車場
仮設事務所
2階建て

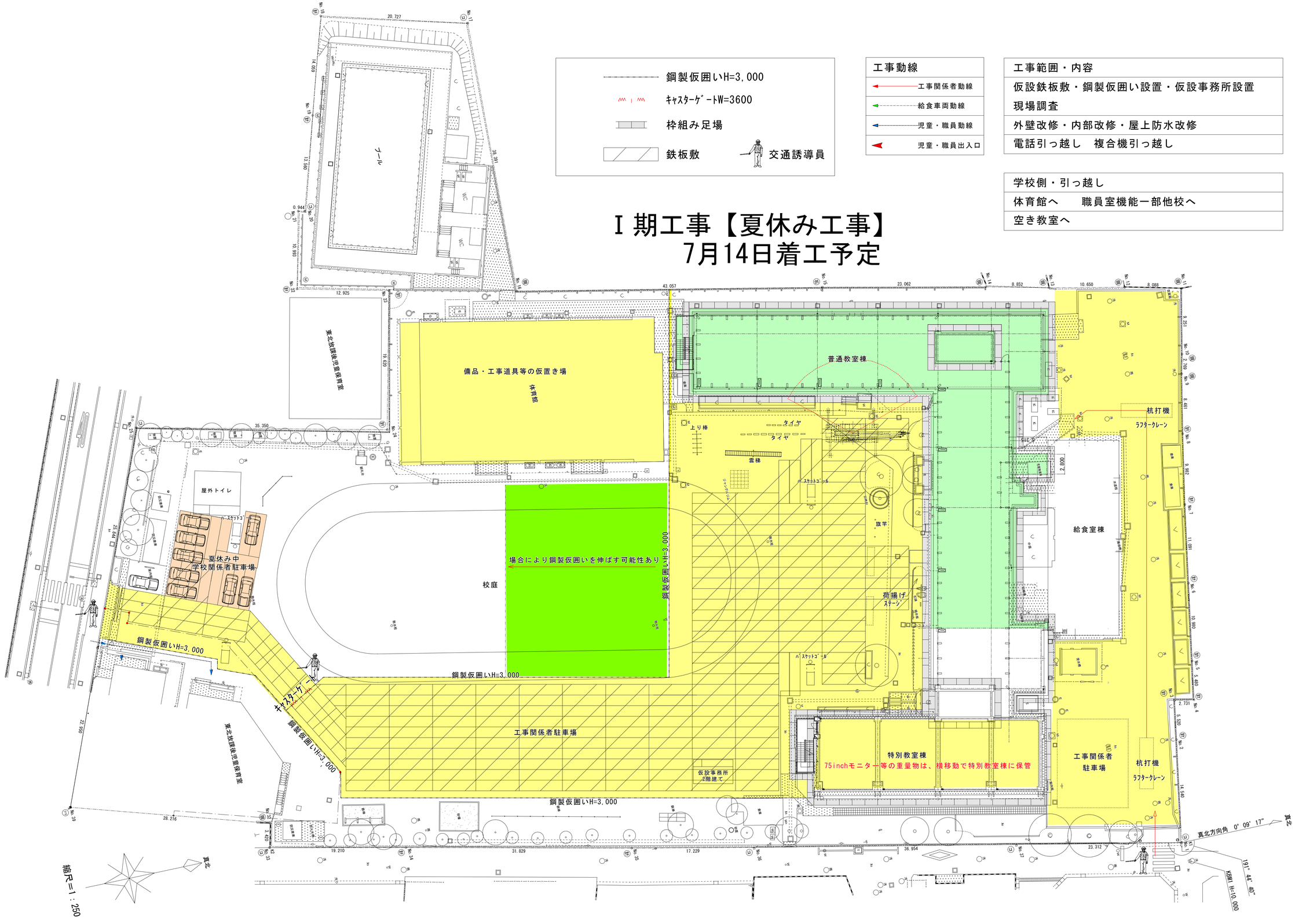
足場組立の運搬は、車両で校舎近くまで運ぶ

出入口近辺の足場組立は、児童の屋外授業等の出入りと
重ならないよう校庭に、安全を確保して行う。

足場組立時に
職員駐車場の移動あり
（材料飛散事故防止）

縮尺＝1：250
真北
真北方向角 0° 09' 17"
KBM H=10.000

	設計番号	工事名称	縮尺	図面名称	図番 A－150
	年 月 日 令和8年1月	新座市立東北小学校校舎長寿命化改修工事	A1:1/250 A3:1/500	仮設計画図（１）	承認 / 製図



		設計番号	工事名称	縮尺	図面名称	図番	A－151
		年 月 日 令和8年1月	新座市立東北小学校校舎長寿命化改修工事	A1:1/250 A3:1/500	仮設計画図（２）	承認	製図

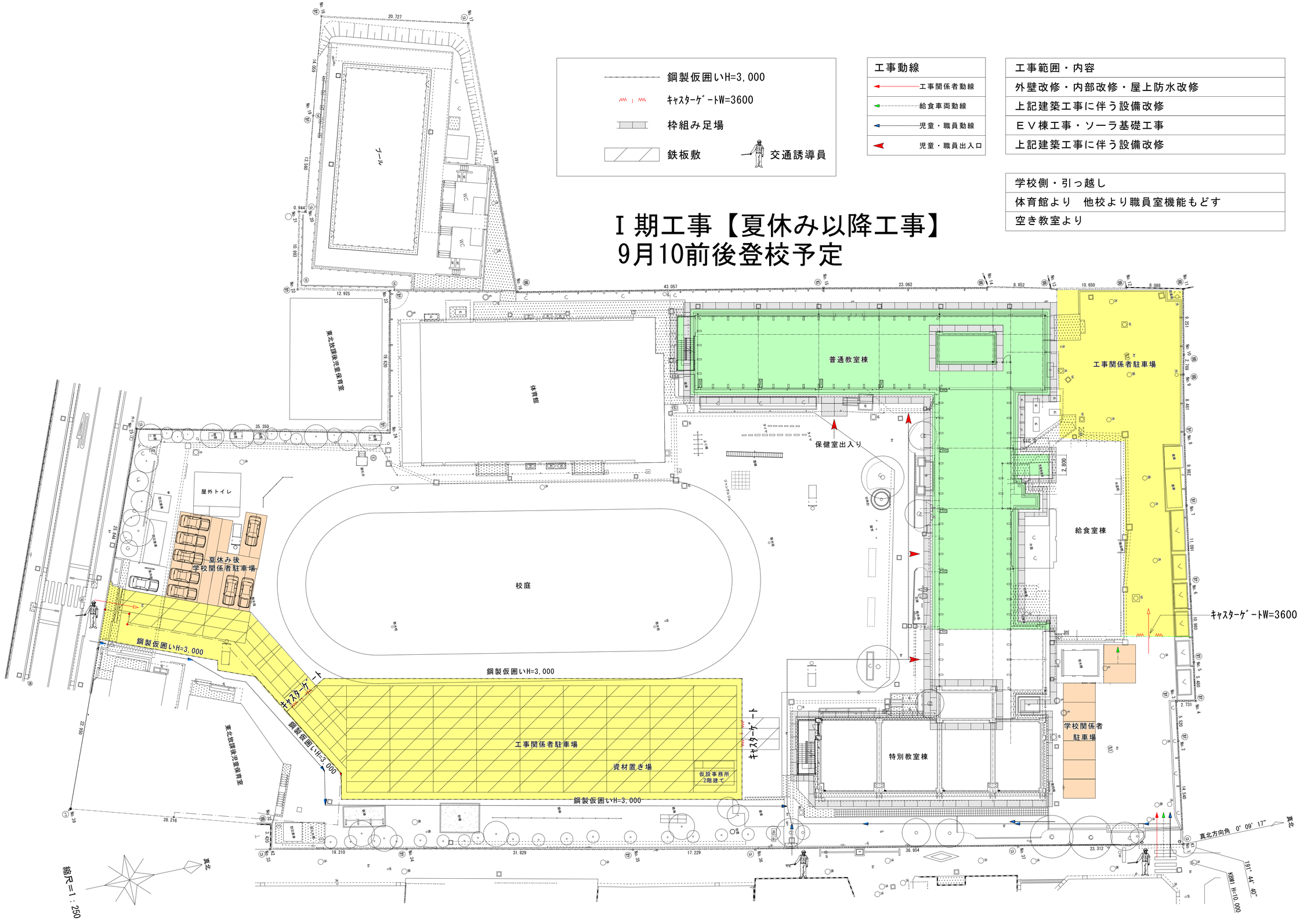
Ⅰ期工事【夏休み以降工事】
9月10前後登校予定

鋼製仮囲いH=3,000
ｷｬｽﾀｰｹﾞｰﾄW=3600
枠組み足場
鉄板敷
交通誘導員

工事動線
工事関係者動線
給食車両動線
児童・職員動線
児童・職員出入口

工事範囲・内容
外壁改修・内部改修・屋上防水改修
上記建築工事に伴う設備改修
ＥＶ棟工事・ソーラ基礎工事
上記建築工事に伴う設備改修

学校側・引っ越し
体育館より　他校より職員室機能もどす
空き教室より



	設計番号	工事名称	縮尺	図面名称	図番 A-152
	年 月 日 令和8年1月	新座市立東北小学校校舎長寿命化改修工事	A1:1/250 A3:1/500	仮設計画図（３）	承認 / 製図

Ⅱ期工事【夏休み前準備工事】

鋼製仮囲いH=3,000
ｷｬｽﾀｰｹﾞｰﾄW=3600
枠組み足場
鉄板敷
交通誘導員

工事動線
工事関係者動線
給食車両動線
児童・職員動線
児童・職員出入口

工事範囲・内容
内部外部仮設工事

学校側・内容
備品移動の準備

プール
WC
WC
東北故課後児童保育室
体育館
普通教室棟
保健室出入り
工事車両
給食室棟
屋外トイレ
学校関係者駐車場
校庭
鋼製仮囲いH=3,000
廃棄物コンテナ
荷揚スペース
資材置き場
工事関係者駐車場
仮設事務所
2階建て
特別教室棟
職員駐車場
東北故課後児童保育室
真北方向角 0° 09' 17"
真北
KBM H=10.000
191° 44' 40"
縮尺1：250

	設計番号	工事名称	縮尺	図面名称	図番 A-153
	年 月 日 令和8年1月	新座市立東北小学校校舎長寿命化改修工事	A1:1/250 A3:1/500	仮設計画図（４）	承認 / 製図

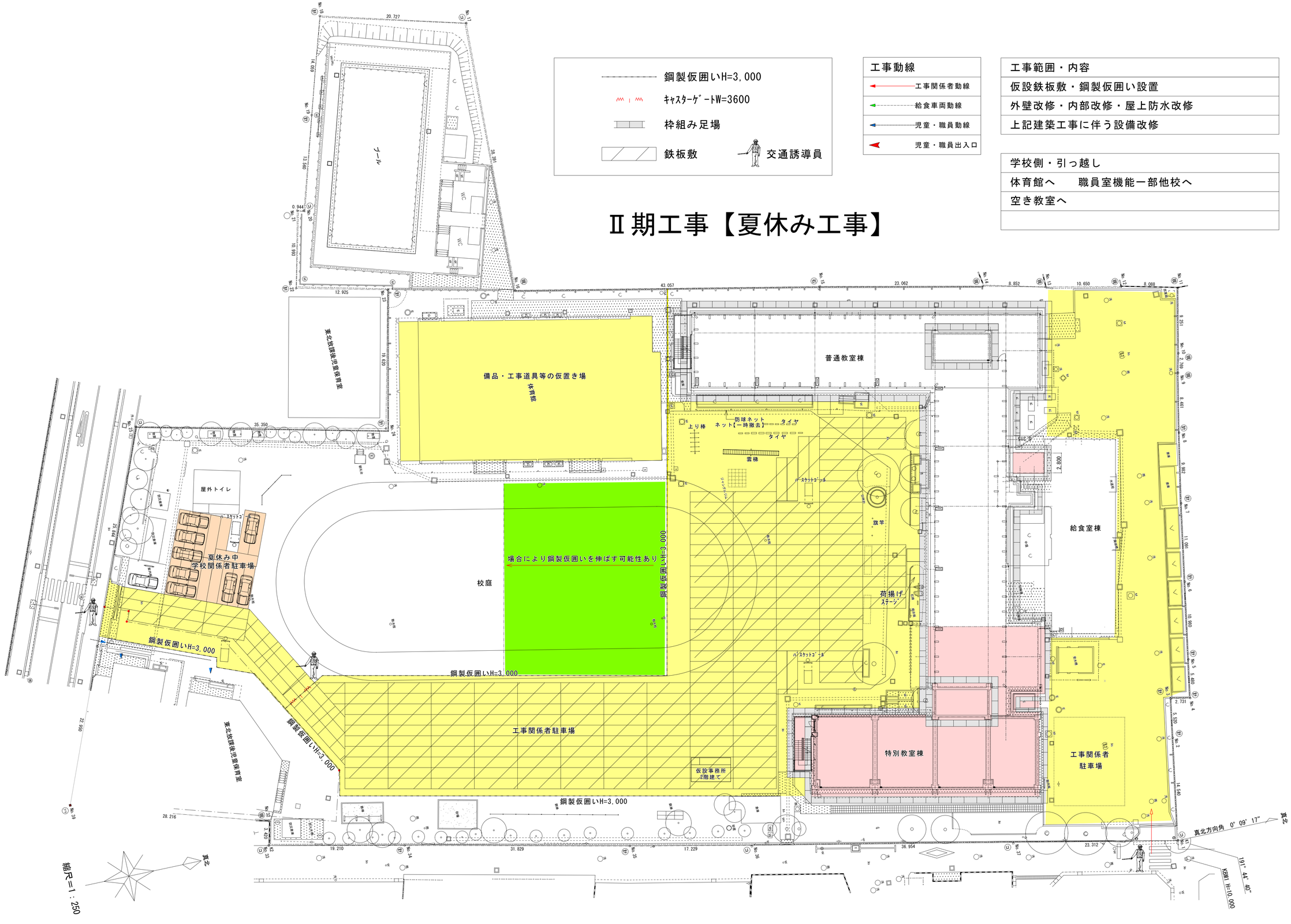
Ⅱ期工事【夏休み工事】

鋼製仮囲いH=3,000
ｷｬｽﾀｰｹﾞｰﾄW=3600
枠組み足場
鉄板敷
交通誘導員

工事動線
工事関係者動線
給食車両動線
児童・職員動線
児童・職員出入口

工事範囲・内容
仮設鉄板敷・鋼製仮囲い設置
外壁改修・内部改修・屋上防水改修
上記建築工事に伴う設備改修

学校側・引っ越し
体育館へ　　職員室機能一部他校へ
空き教室へ



		設計番号	工事名称	縮尺	図面名称	図番	A－154
		年 月 日 令和8年1月	新座市立東北小学校校舎長寿命化改修工事	A1:1/250 A3:1/500	仮設計画図（５）	承認	製図

Ⅱ期工事【夏休み以降工事】

工事動線
工事関係者動線
給食車両動線
児童・職員動線
児童・職員出入口

工事範囲・内容
外壁改修・内部改修・屋上防水改修
上記建築工事に伴う設備改修

学校側・引っ越し
体育館より　他校より職員室機能もどす
空き教室より

鋼製仮囲いH=3,000
キャスターゲートW=3600
枠組み足場
鉄板敷
交通誘導員

プール
WC
東北放課後児童保育室
体育館
普通教室棟
駐車場整備工事
保健室出入り
屋外トイレ
夏休み後
学校関係者駐車場
校庭
給食室棟
鋼製仮囲いH=3,000
キャスターゲート
廃棄物コンテナ
資材置き場
給食車両動線
荷揚スペース
工事関係者駐車場
仮設事務所
2階建て
特別教室棟
給食車両動線
未舗装状態、掘削状態
駐車場整備工事
北門閉鎖時に暫定利用
真北方向角　0° 09' 17"
KBM1 H=10.000
縮尺=1:250

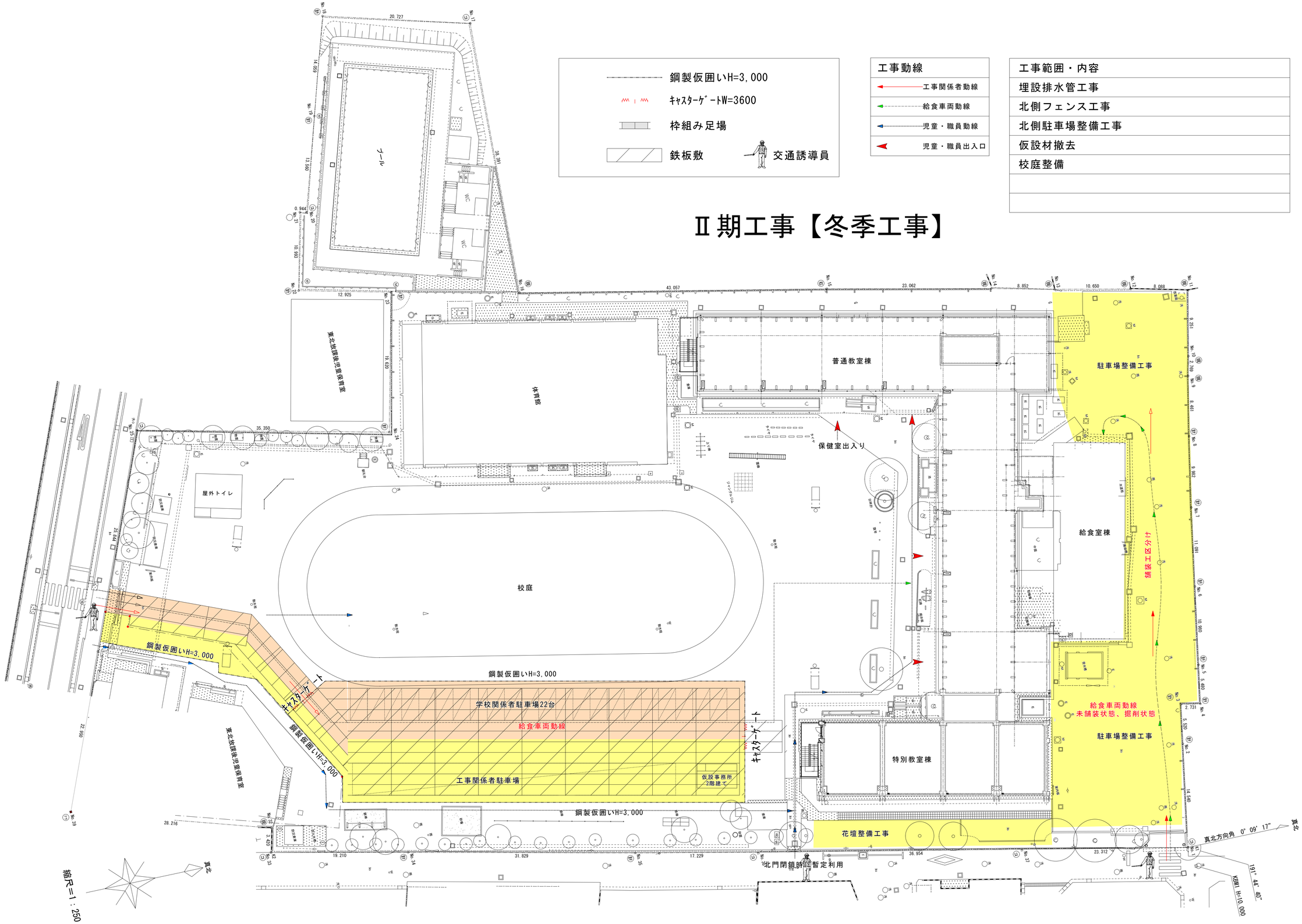
		設計番号	工事名称	縮尺	図面名称	図番	A-155
		年 月 日 令和8年1月	新座市立東北小学校校舎長寿命化改修工事	A1:1/250 A3:1/500	仮設計画図（６）	承認	製図

Ⅱ期工事【冬季工事】

鋼製仮囲いH=3,000
ｷｬｽﾀｰｹﾞｰﾄW=3600
枠組み足場
鉄板敷
交通誘導員

工事動線
工事関係者動線
給食車両動線
児童・職員動線
児童・職員出入口

工事範囲・内容
埋設排水管工事
北側フェンス工事
北側駐車場整備工事
仮設材撤去
校庭整備



	設計番号	工事名称	縮尺	図面名称	図番 A-156
	年 月 日 令和8年1月	新座市立東北小学校校舎長寿命化改修工事	A1:1/250 A3:1/500	仮設計画配置図（７）	承認 / 製図

■ 新座市立東北小学校校舎長寿命化改修工事引越作業についての特記仕様書

（工事特記仕様書に追記する内容）学校内備品等の一時移動

施工に支障のある学校備品（机、椅子、書架、教材、ピアノ、耐火金庫など）、什器及び書類等

（図書、事務書類、事務用品など。学校備品と合わせ、以下「備品」という）を主に受注者の体育館、空教室、倉庫等へ移動する

ことで適切な施工環境を確保するとともに工事中の備品の損傷等を防止し、

学校再開を円滑に遂行するため一時的に移動する。

主な内容

(1)作業者及びスケジュール見込みは原則として以下に示すとおりとする。

・作業者

準備、養生、移動、保管、再配置・・・受注者棟包、・・受注者（下記以外）学校管理者（書類、事務用品等細かいもの）

・スケジュール

《準備》6月「書類等棟包開始受注者は資材（箱、ラベルなど）を搬入し、学校管理者が棟包

《搬出》1学期終業式を含む2日間

原則として、受注者の責任により保管する。ただし、ピアノ、金庫などの重量物及び学校管理者との協議

により校舎内等に保管する場所がある場合は、敷地内に保管することかきるものとする。また、

発注者及び学校管理者が廃棄と指定したものは、敷地内の指定の場所へ集積すること。学校管理者と連携し、円滑に移動作業が

出来るよう務めるとともに適切に誘導をすること。

《搬入》ニ学期始業式前の2日間

事前にレイアウトを学校管理者と協議し配置

注意事項

(1)梱包作業及び搬出入作業に必要な各種段ボール、梱包材及びラベル（シールタイプの直裏品に貼付できるもの）等消耗品は、

当該消耗品は概ね工事をする年の6月中旬までに学校へ納めること。必要な段ボール等消耗品の数は現場調査の上、適宜判断する。

(2)消耗品の納入時に、梱包作業上の注意点やラベルシールの記入方法等についての説明会を教職員向けに行うこと（説明資料作成含む）。

また、特別教室の梱包作業を教職員が行う際は、受注者が数名立会い確認を行うこと。立会いの人数は発注者及び学校管理

者と協議のうえ、決定すること。

(3)薬品や割れやすい器具（形状が特殊なものも含む）など、特別丁寧に梱包する必要がある備品に対しては、保全性の高い特殊な梱包材を用意すること。

(4)ピアノの取扱いについて

シート材等を用いて、ピアノ本体及び経路上に傷が付かないよう適切に養生すること。搬出に伴う調律は本契約に含まないものとする。

(5)　養生について

運搬作業中の養生については、施設設備の保全に配慮し適切に施すこと。

(6)　廃棄品と指定されたものについては、廃棄ラベルを用いて、指定する場所に運搬する

(7)　電話、コンピュータ機器等は保守会社と連携を図り、円滑に設定等を行えるように調整すること。

(8)壁等に耐震処理のされた備品は再設置の際も同処理を施すこと。

(9)この仕様書に定めのない事項については、発注者、受注者及び学校管理者が協議して決めるものとする。

管理諸室の機能移転

(1)夏休み期間中、近隣の東野小学校に職員室及び校長室機能の移転作業を行うこと。（ 1期・2期共）

(2)移転先として職員室機能は２ 階図書室、校長室機能は２ 階準備室とする。

(3)移転先に電話通信機能、機械警備機能等を設置すること。移転及び復旧費用は本工事に含む。

(4)機能移転作業は、夏休み開始前及び終了前に実施し、各学校の運営に支障が無いようにすること。交通誘導員等を増員して安全に配慮すること。

工区	階数	棟	室名	部位(面)	番号	備品名	数量	/mW	奥行D	高さH	廃棄(個数)	備考
1期	1F	普通教室棟	相談室	B	1	棚（スチール）	1	1800	430	1760	○	
					2	棚収納備品（1.棚）一式	—	—	—	—		人形、ﾎﾞｰﾄﾞｹﾞｰﾑ、その他
					3	棚（木）	1	400	300	800	○	
					4	ソファ	1	1500	550	900	○	
					5	机（長机）	3	1800	600	700	○×2	
				C	6	机	2	700	700	740		
					7	棚（100当番マップ）	1	720	20	520		
					8	白板	10	600	12	400		
				D	9	掃除用具 一式	—	—	—	—		
					10	ゴミ箱	1	200	300	600		
					11	棚	1	400	600	700		
					12	複合プリンター（黒）	1	600	700	1050		
					13	机（生徒用）	1	650	450	500-750		
					14	プラ箱（引き出し）	1	540	400	520		
					15	棚（スチール）	1	400	640	740		
					16	机（スチール・敷師用）	2	1060	640	740	○	
				その他	17	椅子	5	450	520	800		
					18	パイプ椅子	2	500	50	950		
					19	その他 一式	—	—	—	—		
1期	1F	普通教室棟	ｳｨﾝﾄﾞｳ室	A	1	テレビ・テレビボード（木製ボード）	1	730	680	1650		
				B	2	白板（壁付）	2	1600	30	900		
					3	机（長机）	1	1800	600	700	○	
					4	さすまた	3	L1500	-	-		
					5	カラーコーン	5	250	250	400		
					6	段ボール	1	1500	120	600		
					7	パネル	5	1500	900	-		
					8	ポール	10	L1600	-	-		
					9	パネル（白）	4	1200	1100	-		
					10	ボード（黒）	1	760	1100	70		
					11	白板（キャスター付）	1	1300	560	1800		
					12	掲示板（キャスター付）	1	1850	550	1800		
					13	展示パネル（穴あき・キャスター付）	2	900	400	2060		
					14	可動黒板・掲示板・白板	3	500	500	1500		
					15	カート	1	300	300	900		
					16	寺指消毒器	1	250	350	1600		
				C	17	掃除用具	1	450	400	1800		
					18	掃除用具（17.掃除用具入内） 一式	—	—	—	—		
				D	19	ロール状ビニール	1	150	150	900		
					20	棚（スチール）	3	1750	400	1800	○×3	
					21	（上段）棚収納備品（20.棚） 一式	—	—	—	—		
					22	（下段）棚収納備品（20.棚） 一式	—	—	—	—		
					23	（上段）棚収納備品（20.棚） 一式	—	—	—	—		
					24	（下段）棚収納備品（20.棚） 一式	—	—	—	—		
					25	（上段）棚収納備品（20.棚） 一式	—	—	—	—		
					26	（下段）棚収納備品（20.棚） 一式	—	—	—	—		
					27	棚上プラケース（20.棚）・オレンジ	2	520	370	300		
					28	棚上文書整理棚（20.棚）・白	1	260	340	320		
					29	棚上収納物（28.棚） 一式	—	—	—	—		
					30	棚（スチール）	1	1060	400	880	○	
					31	棚上段収納物（30.棚） 一式	—	—	—	—		
					32	ゴミ箱	1	200	300	600		
					33	プラスチック80ℓ	3	390	740	230		
				その他	34	扇風機	1	500	500	900		
					35	机（木）	1	1750	950	700	○	
					36	机（木）	1	2400	900	700		
					37	机（敷師用）	1	1060	730	740	○	
					38	椅子（ｷｬｽﾀｰ付）	4	560	550	940		
					38.2	椅子（木・ビニル）	4	600	500	870	○×2	
					38.3	椅子（敷師用）	1	430	500	780	○	
					39	壁付き棚（置状等）	4	560	20	410		
					40	プラバケツ（黄・黒）	2	320	320	300		
					41	プラかご（黄）	1	310	420	330		
					42	掃除機	1	220	300	220		
					43	プラかご（白）	1	390	300	750		
					44	その他	—	—	—	—		
1期	1F	普通教室棟	玄関	B	1.1	靴箱（木）	3	1600	400	1600		
					1.2	靴箱（木）	1	800	400	1600		
					2	木製ボックス卒業制作（平成3年）	2	1200	400	600		卒業制作作品 ﾀﾃ1棚彩の土台分
					3	プランター入れ	1	550	550	1150		
					4	温度計	1	100	100	1000		
					5	歩行器、車いす	1	800	500	700		
					6	すのこ（木）	3	1800	600	50		
					7	すのこ（木）	1	600	600	50		
					8	壁卒業制作（昭和58年）	1	2800	35	1300		卒業制作作品 ﾀﾃ1棚彩の土台分
					9	壁卒業制作（昭和57年）	1	3150	35	1300		卒業制作作品 ﾀﾃ1棚彩の土台分
					10	壁卒業制作（昭和52年）	1	1870	35	1890		卒業制作作品 ﾀﾃ1棚彩の土台分
					11	傘立て	2	850	300	480		
					12	靴拭きマット	2	1600	600	10		
					13	上足カーペット	2	1900	4000	—		
					14	額（学校と桜の絵）	1	580	20	480		
					15	靴ベラ	4	500	50	30		
					16	スリッパ	36	270	80	60		
					17	その他（時計等）	—	—	—	—		
1期	1F	普通教室棟	校長室	A	1	本棚（木製）	1	900	200	880		
					2	棚収納備品（1.本棚）	—	—	—	—		
				B	3	シュレッダー	1	300	150	350		
					4	ゴミ箱	1	280	200	430		
					5	棚（スチール、ガラス戸）	1	1760	400	1850	○	
					6	棚収納備品（6.棚）	—	—	—	—		
					7	耐火書庫（スチール）	2	1050	620	1900		
					8	棚収納備品（7.耐火書庫）	—	—	—	—		
					9	棚上段収納（7.耐火書庫）	—	—	—	—		
					10	ロッカー	1	610	530	1800		
					11	パイプ椅子	9	500	50	950		
					12	ついたて	1	800	400	1700		
				D	13	棚（スチール）	2	800	400	1120		
					14	棚収納備品（14.棚） 一式	—	—	—	—		
					15	本棚（木・一部ステンレス）	1	1760	460	880		
					16	棚収納備品（15.本棚） 一式	—	—	—	—		
					17	ソファ	1	1870	800	700		
					18	棚（木製）	1	880	450	620		
					19	コピー機	1	430	450	520		
					20	本棚（木製）	1	880	400	1850		
					21	棚収納備品（20.本棚）	—	—	—	—		
				その他	22	机（校長）	1	1600	850	720		
					23	椅子（校長用・ｷｬｽﾀｰ付）	1	600	800	1040		
					24	棚（スチール）	1	380	880	700		
					25	棚収納備品（22.棚）	—	—	—	—		
					26	机（木）	1	550	1200	420		
					27	椅子（客用）	1	1870	800	700		
					28	椅子（客用）	2	760	840	700		
					29	机（折り畳み）	3	1800	450	700(1100)		
					30	額木縁	4	400	400	450		
					31	白板	1	1200	20	900		
					32	白板	1	1800	-	900		
					33	行事予定用白板	1	1200	-	900		
					34	額縁（顔写真）	18	430	20	540		
					35	額縁（賞状）	12	330	20	430		
					36	額縁（賞状）	1	250	20	330		
					37	額縁（絵画）	1	680	20	800		
					38	額縁（写真）	1	650	20	500		
					39	額縁（写真）	1	330	20	280		
					40	白板	1	1800	20	900		
					41	掲示板	1	280	20	1000		
					42	額縁（目標）	1	430	20	580		
					43	その他（時計備品）	—	—	—	—		
					44	その他（電話等移動備品）	—	—	—	—		

1期	1F	普通教室棟	放送室	A	1	パイプ椅子	3	500	50	950		
					2	マイクスタンド	1	550	500	1000		
					3	電気延長コード	1	300	350	420		
					4	監声器	1	—	—	—		9/11、10/3なし
					5	棚（スチール）	1	1000	400	1800	○	
					6	（上段）棚収納備品（5.棚）	—	—	—	—		ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ80個、令和７年度中に廃棄
					7	（下段）棚収納備品（5.棚）	—	—	—	—		PC用品・ﾌﾟﾘﾝﾄｲﾝｸ、令和７年度中に廃棄
					8	棚（スチール）	1	880	400	1060	○	
					9	棚収納備品（8.棚）一式	—	—	—	—		
					10	棚（スチール）	1	880	400	880	○	
					11	棚収納備品（10.棚）一式	—	—	—	—		ｽﾗｰﾘﾝｸﾞﾍﾞｰﾊﾟｰ2
					12	棚（木製）	1	420	290	880	○	
					13	棚収納備品（12.棚）一式	—	—	—	—		ｷｬﾋﾞ
					14	棚（木製）	1	1760	420	910		
					15	棚収納備品（14.棚）一式	—	—	—	—		PC
					16	棚（スチール）	1	1760	400	880		
					17	棚収納備品（16.棚）一式	—	—	—	—		ｱﾙﾊﾞﾑ備品
					18	棚収納備品（16.棚）一式	—	—	—	—		ｱﾙﾊﾞﾑ備品
				B	19	（棚上）棚収納備品 一式	—	—	—	—		取ﾅｵｲﾘ、紙吹雪ｾｯﾄ、ひろば書品、放送部収納
					20	（上段）棚収納備品 一式	—	—	—	—		ｱﾙﾊﾞﾑ･ｽﾗｲﾄﾞ
					21	（中段）棚収納備品 一式	—	—	—	—		ﾚｺｰﾄﾞ等
					22	（下段）棚（赤）	1	1200	550	560		
					23	（上段）棚収納備品 一式	—	—	—	—		ﾎﾞｰﾙﾍﾟﾝ、鉛筆、ｹﾞﾗｽ、ﾊｻﾐ、ﾎﾁｷｽ、ｽﾃﾌﾟﾗ
					24	（中段）棚収納備品 一式	—	—	—	—		電池、配管、ﾍﾟﾝ
				C	25	（下段）棚収納備品 一式	—	—	—	—		ﾋﾞﾆｰﾙ袋、ｶﾗｰ･ﾏｰｶｰ、ﾃｰﾌﾟ、ﾎﾁｷｽ
					26	（上段）棚収納備品 一式	—	—	—	—		ﾊｻﾐ･ｾﾛﾊﾝ、ｶﾗｰ･ﾏｰｶｰ、ﾃｰﾌﾟ、ﾎﾁｷｽ
					27	（中段）棚収納備品 一式	—	—	—	—		大規模（ｶﾗｰ・ｶﾐﾋｺｰｷ・材料等）
					28	（下段）棚収納備品 一式	—	—	—	—		厚紙
					29	ﾜｺﾞﾝ	9	270	230	160		
				D	30	ｽﾁｰﾙﾗｯｸ(2.3段)	1	360	290	270		
					31	ゴミ箱	1	270	190	600		
					32	棚（スチール）	1	1750	400	980	○	
					33	棚収納備品（32.棚）一式	—	—	—	—		ﾌｧｲﾙ、木箱
					34	（棚上）棚収納備品（32.棚）一式	—	—	—	—		ｶｾｯﾄﾃｰﾌﾟCD、ﾊｰﾄﾞｶﾞ
					35	かご・水洗セット	1	—	—	—		8/7、10/3なし
					36	かご・毛布	1	—	—	—		8/7、10/3なし
					37	放送器具（棚前）	1	300	350	450		
					38	脚立	2	460	180	850		
					39	プラケース・安全靴	1	400	350	1000		
					40	バケツ	1	300	300	200		
					41	放送機器一式	1	1260	500	700	○	工事にて前設（電気に機器含む）
					42	サーバー	1	600	900	1290		
					43	その他	—	—	—	—		
1期	1F	普通教室棟	更衣室（女）	A	1	ついたて	1	900	400	1720		
					2	服掛け	1	760	450	1560		
					3	スチールロッカー（6人用3列×2段）	1	900	515	1790		
				B	4	スチールロッカー（4人用4列×1段）	8	900	515	1790		
					5	スチールロッカー（2人用2列×1段）	1	610	515	1790		
					6	ゴミ箱	1	330	330	420		
				C0	7	机（折り畳み）	1	1800	450	700	○	
					8	パイプ椅子	1	500	50	950		
					9	鏡	1	330	1500	400		
					10	プラケース（青）	1	360	280	380		
					11	その他	—	—	—	—		
1期	1F	普通教室棟	更衣室（男）		1	スチールロッカー（3人用3列×1段）	1	680	515	1790		
					2	スチールロッカー（4人用4列×1段）	5	900	515	1790		
					3	棚（木製）	1	1820	400	640		
					4	棚収納備品（3.棚）一式	—	—	—	—		
					5	棚（スチール）	1	890	450	500		
					6	棚収納備品（5.棚）一式	—	—	—	—		
					7	パイプ椅子	4	500	50	950		
					8	段ボール類						令和７年度中に廃棄
					9	その他	—	—	—	—		
1期	1F	普通教室棟	階段下倉庫	A	1	黒板バーナー	2	1050	90	60		
					2	新聞掲示板	1	860	20	900		
					3	ステンレスおけ	1	300	300	150		
					4	エのう袋	2	500	200	150		
					5	木板（水色）	1	1850	10	900		
					5.1	サッシ	3	900	30	900		
					5.2	額	1	750	20	850		
					5.3	黒板	3	600	20	900		
					6	ﾌﾟﾗかご（黄、買い物かご）	4	400	300	200		
					7	ﾌﾟﾗかご（黄：ピンク：緑、桑陳）	4	380	280	150		
					8	缶	1	300	300	480		
				B	9	バケツ（青）	1	300	300	250		
					10	ﾌﾟﾗかご（赤・ピンク）	2	300	400	400		
					11	木板	1	900	30	900		
					12	脚立（小）	2	520	150	1250		
					13	棚（スチール）	1	880	460	1800		
					14	（棚上）棚収納備品（12.棚）一式	—	—	—	—		天井付等
					15	（上段）棚収納備品（12.棚）一式	—	—	—	—		ﾎｲｽ入の箱
					16	（中段）棚収納備品（12.棚）一式	—	—	—	—		工具類
					17	（下段）棚収納備品（12.棚）一式	—	—	—	—		工具
					18	棚（木製）	1	1820	250	1420		
					19	（棚上）棚収納備品（18.棚）一式	—	—	—	—		
					20	棚収納備品（18.棚）一式	—	—	—	—		工具一式
					21	アミ棚（ﾗｯｸ）	1	550	350	820		
					22	（棚上）棚収納備品（21.棚）一式	—	—	—	—		業務用洗剤、手袋
					23.1	棚箱（表排飛機）	1	350	350	1300		
					23.2	高枝切バ*ミ	1	L2700	—	—		
					23.3	高枝切バ*ミ	4	L1500	—	—		
					24	棚（スチール）	1	480	620	1330		
					25	棚収納備品（24.棚）一式	—	—	—	—		
				D	26	椅子	1	350	350	750		
					27	脚立（大・中）	2	700	170	2100		
					28.1	木製板（卒業制作）	1	2150	30	1500		卒業制作作品 ﾀﾃ1.5棚彩の土台分
					28.2	木製板ﾀｲﾙ（平成元年大空へ）	1	1300	20	150		
					29	板（白：昆標）	1	1220	5	830		
					30	板（黄）	1	900	5	900		
					31.1	掲示板	2	1800	40/20	900		
					31.2	掲示板（小）	1	850	30	600		
					31.3	掲示板（ｱﾙﾐ入）	2	1200	30	900		
					31.4	地図	1	1320	40	1050		
					31.5	黒板	1	1200	10	900		
					32	木棒（10本）	1	1500	120	90		
					33	ｽﾄｰﾙﾗｯｸ	1	800	100	1000		
					34	段ボール：不明なもの多数						
					35	その他 一式	—	—	—	—		
1期	1F	普通教室棟	昇降口Ａ		1	傘掛け（スチール・緑）	2	1500	430	1350		
					2.1	傘立て	1	770	340	500		
					2.2	傘立て	8	760	300	500		
					2.3	傘立て	2	950	350	500		
					2.4	傘立て	1	1000	360	500		
					3	一輪車置き場	2	1520	660	500		
					4.1	掃除用具入	1	540	510	1900		
					4.2	掃除用具 一式	—	—	—	—		
					5	ポリバケツ	1	300	300	200		
					6	靴拭きマット	3	1500	600	20		
					7	その他	—	—	—	—		

		設計番号	工事名称	縮尺
		年 月 日 令和8年1月	新座市立東北小学校校舎長寿命化改修工事	-

図面名称	図番
備 品 リ ス ト 1	A-157
	承認 / 製図

1期	1F	普通教室棟	保健室	A	1	荷物棚（ブラ）	2	330	480	720	○2				
					2	ベッド・寝具	2	910	2050	850					
					3	ブラケース	2	720	400	360					
					4	段ボール	1	530	350	270					
					5	時間ついたて（表）	3	300	250	1650					
					6	ついたて（水色）	2	900	20	1720					
					7	棚（木製）	1	1200	720	2300	○				
					8	（上段）棚収納備品（7.棚）	---	---	---	---					令和7年度中に廃棄
					9	（下段）棚収納備品（7.棚）	---	---	---	---					令和7年度中に廃棄
					10	検査機器	4	400	440	1200					
					11	棚収納備品（木製棚）	1	---	---	---					令和7年度中に廃棄
					12	検査機器（ｽﾀｯﾄﾞ）	1	300	340	140					
					13	プラかご（赤ちゃん人形）	1	540	370	170					
					14	段ボール（聴力検査ｾｯﾄ）	1	360	300	190					
					15	段ボール（聴力検査用）	1	360	300	190					
					16	木箱（木製棚上）	---	---	---	---					
					17	パイプ椅子	3	500	50	950					
				B	18	棚（スチール）	1	1760	400	1870	○				
					19	プラケース（18.棚）	6	310	360	180					
					20	プラかご、衣類（18.棚）	5	250	350	120					
					21	（下段）棚収納備品（18.棚）	---	---	---	---					
					22	棚（スチール）（ガラス戸）	1	880	400	1760	○				
					23	（上段）棚収納備品（22.棚）	---	---	---	---					
					24	（下段）棚収納備品（22.棚）	---	---	---	---					
					25	机（生徒用）	1	650	450	500~750					
					26	プラかご（青・水色）	5	350	280	180					
					27	棚（木製）（ガラス戸）	1	600	300/600	1700	○				
					28	棚収納備品（27.棚）	---	---	---	---					廃棄
					29	棚（木製）	1	600	1030	880	○				
					30	棚収納備品（29.棚）	---	---	---	---					洗面薬品
					31	（上段）棚収納備品（29.棚）	---	---	---	---					ﾌｪｲｽﾊﾟｰﾃｰｼｮﾝｾｯﾄ一式
				C	32	（下段）棚収納備品（29.棚）	---	---	---	---					職務用具
					33	プラかご（熱中症対処用、棚上）	1	440	320	280					
					34	プラかご（福祉対処用、棚上）	1	430	320	270					
					35	プラケースケース（白）	15	260	360	160					
					36	棚（木製）収納物（文具・その他）	---	---	---	---					
					37	机（生徒用）	2	650	450	500~750					
					38	丸椅子	2	320	320	620					
					39	フットレスト	1	390	300	250					
					40	棚（木製）	1	600	760	850					
					41	棚収納備品（40.棚）	---	---	---	---					
					42	ゴミ箱	1	410	250	500					
					43	冷蔵庫	1	470	500	1450					
					44	掃除機	1	280	450	930					
				D	45	ステンレス洗面器	1	330	330	120					
					46	ゴミ箱	2	320	320	670					
					47	プラスチック収納3段	1	440	550	770					
					48	プラかご（灰色）	1	440	320	270					
					49	プラスチック収納4段	1	320	400	890					
					50	プラケース（白）	1	300	400	130					
					51	スリッパ置き	1	490	220	470					
					52	すのこ（木）	1	400	600	50					
					53	担架	1	1900	520	150					
					54	物干し（プラ）	1	1200	1200	600					
					55	ソファ	1	860	1960	600					
					56	クッション・布団・人形一式（55.ソファ上）	3	300	300	1300					
					57	医療用照明器具	3	300	300	1300					
					58	ヘルメット	1	270	230	160					
					59	間風機	1	500	500	900					
					60	可動カーテンレール	1	2200	410	2100					
					61	机（教師用）	1	1060	730	750					R/1改記
					62	棚（スチール）	2	390	620	1020					R/1改記
					63	棚（スチール）	1	390	620	750					R/1改記
					64	長机（白）	1	1500	620	700					R/1改記
					65	長椅子	2	1500	600	660					R/1改記
					66	椅子（教師用）	1	420	500	780					
					67	その他	---	---	---	---					

1期	1F	普通教室棟	印刷室、備品室	Aゾーン	1	パネル置き1（スチール・白ﾗﾐﾈｰﾄ・ｷｬｽﾀｰ付）	1	900	800	950	○				
					2	パネル地図（白板）	2	1050	5	900					
					3	パネル地図（黒板）	2	1200	20	900					
					4	白板（パネル地図関連）	6	900	10	600					
					5	プラケース（黒）	2								令和7年度中に廃棄
					6	パネル	7	520	5	150					
					7	パネル（白緑）	13	600	10	900					
					8	地図類									
					9	段ボールパネル	2	600	10	900					
					10	パネル置き1（スチール・オレンジ）	1								1.の一部
					11	角型ボリバケツ	4	520	360	600					
					12	パネル置き2（スチール・緑）	1	1100	900	1000	○				
					13	黒板・白板パネル地図（ｽﾀﾝﾄﾞ付）	3	900	10	1200					
					14	プラケース（黒）	2	950	150	120					
					15	壁用立体地図（木枠・ﾌﾚｰﾑ付）	10	920	40	620					
					16	壁用立体地図（ﾌﾚｰﾑ枠大）	2	100	35	890					
					17	パネル置き3（スチール・グレー）	1	1100	630	1100	○				
					18	大型そろばん	4	1000	60	260					
					19	プラケース（硬質・段海用黒板）	7	900	110	110					
					20	長尺竹尺・プラ定規	37	L1000	---	---					
					21	プラケース（透明）	1	500	380	300					
					22	大型コンパス・定規(21.ｽﾀｯﾄﾞ)一式	11	---	---	---					コンパス6、定規5
					23	スチール扉	3	900	20	820					
					24	スチール引戸枠	2	L1800	---	---					
					25	平面黒板（ｷｬｽﾀｰ2個入）	1								R/1B、10/3なし
					26	黒いす	1	1100	450	900					
					27	棚（スチール）	2	880	380	1790	○2				
					28	棚収納備品（27.棚）・ﾘｽﾄ一式	---	---	---	---					
					29	（棚上）棚収納備品（27.棚）・冬季証書入	1	450	530	380					ペン木：ニス
					30	（棚上）棚収納備品（27.棚）・黒段ボール	1	450	530	380					
					31	棚収納備品（27.棚）・ｽﾀﾝﾌﾟ等備品一式	---	---	---	---					
					32	（棚上）棚収納備品（27.棚）・黒段ボール	1	450	530	380					
					33	すのこ（プラ）	2	850	600	50					
					34	大型パネル（27棚裏）	2	100	120	40					
					35	レジャーシート（青）	2	750	750	40					（折畳み寸法）
					36	プラケース（透明）	1	520	380	330					
					37	プラケース・スリッパ	2	390	750	300					
					38	プラケース・スリッパ	2	390	620	300					
					39	掲示パネル	1	900	450	2100					
					40	A1棚（スチール・グレー）	1	880	450	1800	○				
					41	棚収納備品（40.A1棚）・ﾌﾟﾗｽﾁｯｸﾄﾚｰ	1	370	530	300					
					42	棚収納備品（40.A1棚）段ボール・三角形の色板	1	220	280	370					
					43	棚収納備品（40.A1棚）・ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ(白)・ﾘﾛｹｰﾄ	2	320	180	150					
					44	棚収納備品（40.A1棚）・ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ(白)・ﾘﾛｹｰﾄﾄﾚｰ	1	300	150	140					
					45	棚収納備品（40.A1棚）・ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ(黄)	1	400	300	220					
					46	棚収納備品（40.A1棚）展示掲用紙（水色）									R/1改なし、10/3なし
					47	棚収納備品（40.A1棚）展示板（白）	3	920	5	900					
					48	A2棚（スチール・白）	1	880	460	2100	○				
					49	棚収納備品（48.A2棚）段ﾎﾞｰﾙ・新品ﾎﾙﾀｰｾｯﾄ	2	620	480	120					
					50	棚収納備品（48.A2棚）ﾌﾟﾗｽﾁｯｸﾄﾚｰ(白)・木製ﾌﾞｯｸ	1								R/1改なし、10/3なし
					51	棚収納備品（48.A2棚）木製簡数ｾｯﾄ	1	400	600	100					
					52	棚収納備品（48.A2棚）ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ(青)	2								R/1改なし、10/3なし
					53	棚収納備品（48.A2棚）段ボール・算数お金	2								R/1改なし、10/3なし
					54	棚収納備品（48.A2棚）段ボール・色板									R/1改なし、10/3なし
					55	棚収納備品（48.A2棚）空間座標説明	1								令和7年度中に廃棄
					56	A3棚（スチール）・白	1	880	460	2100	○				
					57	棚収納備品（56.棚）段ボール・新品ﾎﾙﾀｰｾｯﾄ	2	620	480	120					
					58	棚収納備品（56.棚）木箱・九九練習	1								R/1改なし、10/3なし
					59	棚収納備品（56.棚）ﾎﾜｲﾄﾎﾞｰﾄﾞｾｯﾄ等一式	1	300	220	190					
					60	棚収納備品（56.棚）木箱・等高線立体説明器	1	550	430	130					
					61	掲示物一式	---	---	---	---					R/1改なし、10/3なし
					62	電子ピアノ	1	1000	450	860					
				Bゾーン	1	B1棚（スチール・白）	1	880	460	2100	○				
					2	棚収納備品（1.棚）木箱・基本算数ｾｯﾄ	3	520	370	130					
					3	棚収納備品（1.棚）段ボール・ﾘﾛｹｰﾄ数表	13	330	330	50					
					4	棚収納備品（1.棚）赤カゴ・ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ	2	270	190/420	150					
					5	棚収納備品（1.棚）筆・ホーク等用黒板	1	90	90	230					ﾘﾛｹｰﾄ、ﾄﾞｱｰﾉﾌﾞ等物理用
					6	棚収納備品（1.棚）青箱・短冊黒板ｾｯﾄ棚	1	380	140	20					
					7	棚収納備品（1.棚）ﾌﾟﾗﾊﾞｰｽﾁｪｱ(白)・電卓	2	400	200	200					
					8	棚収納備品（1.棚）青箱・分度器一式	1	400	270	270					
					9	棚収納備品（1.棚）ﾌﾟﾗﾊﾞｰｽﾁｪｱ(白)・ｽﾄﾚｰﾄ	1	250	200	170					
					10	棚収納備品（1.棚）ﾌﾟﾗｽﾁｪｱ(黄)	1	320	250	120					
					11	棚収納備品（1.棚）・日本地図のﾌﾞｯｸ	12	440	300	20					
					12	棚収納備品（1.棚）段ボール・円切りｾｯﾄ	3	600	80	80					
					13	棚収納備品（1.棚）ﾌﾟﾗﾊﾞｰｽﾁｪｱ(白)・2cm定規	1	420	170	160					

					15	掲収納備品（14.棚）ﾌﾞﾗｽﾁｽﾄ(透明)・段積ﾄﾚｰ	1	520	360	300				
					16	掲収納備品（14.棚）木箱・段積学習器具	1	300	300	90				
					17	掲収納備品（14.棚）黒箱木箱・算数教具	1	470	440	190				
					18	掲収納備品（14.棚）段ﾎﾞｰﾙ・給食費	1							R/19なし、10/3なし
					19	掲収納備品（14.棚）黒箱・計算練習板	5							令和7年度中に廃棄
					20	掲収納備品（14.棚）黒・位取り展理説明板	1	100	100	250				
					21	掲収納備品（14.棚）ﾌﾟﾗｽﾁｽﾄ(青)・立体図理説明具	1							令和7年度中に廃棄
					22	掲収納備品（14.棚）分数説明教具	2	550	420	180				
					23	掲収納備品（14.棚）ﾌﾟﾗﾊﾞｰ・算数教具	1	220	220	90				
					24	掲収納備品（14.棚）黒箱・計算練習板	3	90	90	630				
					25	83棚（スチール）	1	880	460	2100	○			
					26	掲収納備品（25.棚）木箱・立体模型1	4	490	370	180				
					27	掲収納備品（25.棚）木箱・立体模型2	2	280	130	130				
					28	掲収納備品（25.棚）木箱・体積原理実験器	3	300	260	120				
					29	掲収納備品（25.棚）木箱・立体断面説明	1	360	300	140				
					30	掲収納備品（25.棚）木箱・立体模型（補充用）	2	480	360	170				
					31	掲収納備品（25.棚）木箱・立方箱	2	560	240	150				
					32	掲収納備品（25.棚）展示物・掲示物								R/19なし、10/3なし
					33	その他	---	---	---	---				
				C/ゾーン	1	パイプ椅子	12	500	50	950				
					2	廿切りボール	7	400	350	900				
					3	引棚（スチール）	1	900	520	1800	○			
					4	黒パネル	2	600	5	900				
					5	掲示（C1.棚）	---	---	---	---				
					6	花飾り（C1.棚）	---	---	---	---				
					7	掲示物（C1.棚）	---	---	---	---				
					8	感問用紙入れポックス（7.棚）	1	460	240	260				
					9	プラかご（緑）・掲示物（7.棚）	1	350	240	180				
					10	プラケース（透明）・祝電入（7.棚）	1	330	130	250				
					11	プラかご（青）（7.棚）	2	420	550	310				
					12	52棚（スチール）	2	1760	400	880	○			
					13	掲収納備品（12.棚）地球儀（12.棚）	10	450	450	720				
					14	掲収納備品（12.棚）プラカゴ（青）・習字教具	1	350	260	90				
					15	掲収納備品（12.棚）プラカゴ（白）・書道備品	1	300	430	250				
					16	掲収納備品（12.棚）バケツ（青）	1	280	280	280				
					17	掲収納備品（12.棚）木箱・書道備品	1	330	220	40				
					18	掲収納備品（12.棚）墨汁ボトル	4	120	120	250				
					19	掲収納備品（12.棚）習字備品一式	---	---	---	---				
					20	52棚（スチール・ガラス戸）	1	1760	400	880	○			
					21	掲収納備品（20.棚）土器等一式	---	---	---	---				
					22	掲上収納物（20.棚）木箱・大型積木	1	540	460	280				
					23	掲上収納物（20.棚）木箱・模型	4	480	400	60				
					24	掲収納備品（20.棚）プラケース（白）・土器	1	550	400	330				
					25	白板	1	880	600	10				
					26	パネル置き2（スチール・緑）	1	1110	900	1000	○			
					27	プラ箱（白）・作文用掲用黒板	3	90	90	620				
					28	作文・算数用黒板（大）	8							令和7年度中に廃棄
					29	算数用黒板（中）	4	900	20	900				
					30	算数用黒板（小）	4	600	20	600				
					31	白板	1	600	10	900				
					32	黒板（薄い・小）	15	560	5	450				
					33	黒板（薄い・中）	2	900	5	600				
					34	その他	---	---	---	---				
				D/ゾーン	1	D1棚（木、スチール）	1	1800	450	1820	○			
					2	掲収納備品（1.棚）段ボール・封筒	1	240	460	120				
					3	掲収納備品（1.棚）段ボール・事務用品	1	300	550	130				
					4	掲収納備品（1.棚）段ボール・ｽﾗﾋﾞﾙｰﾙ	2	230	320	100				
					5	掲収納備品（1.棚）ｻｲｺｰｸﾛ	---	---	---	---				多数
					6	掲収納備品（1.棚）木製棚	2	850	600	580				
					7	掲収納備品（1.棚）園用紙類一式	---	---	---	---				
					8	掲収納備品（1.棚）段ボール	1	280	550	130				
					9	掲収納備品（1.棚）段ボール	2	380	260	220				
					10	掲収納備品（1.棚）段ボール白板ﾌｧｲﾙ	1	320	230	190				
					11	掲収納備品（1.棚）段ボール・入学準備用品	1	320	430	190				
					12	掲上収納物（1.棚）段ボール・食ぶくろ	2	400	270	200				
					13	52棚（木、スチール）	1	1800	450	1820	○			
					14	掲収納備品（13.棚）文書ファイル一式	---	---	---	---				
					15	掲収納備品（13.棚）段ボール・給食費	1							
					16	掲収納備品（13.棚）・ファイル一式	---	---	---	---				
					17	掲収納備品（13.棚）通知表用用紙	1	310	450	210				
					18	掲収納備品（13.棚）入学式教室用飾り	1	480	350	280				
					19	掲収納備品（2.棚）木製棚	1	850	400	380				
					20	D1棚（木、スチール）	1	1800	450	1820	○			
					21	掲収納備品（20.棚）ﾌﾞﾗｽﾁｽﾄ(白)・給食費	1	700	330	350				
					22	掲収納備品（20.棚）段ボール・給食費	1	270	350	280				
					23	掲収納備品（20.棚）用紙・算板・額一式	---	---	---	---				
					24	掲収納備品（20.棚）ﾌﾞﾗｽﾁｽﾄ(白)・ｽﾄﾚｰﾄ2	1	290	430	250				
					25	掲収納備品（20.棚）ﾌﾞﾗｽﾁｽﾄ(白)・ﾋﾞﾆｰﾙ紐	1	290	430	250				
					26	掲収納備品（20.棚）ﾎﾞﾝﾄﾞ(青)・ﾘﾗｸｯｸｽ	1	270	380	200				
					27	掲収納備品（20.棚）ﾌﾞﾗｽﾁｽﾄ(青)・給菓用ﾘﾎﾞﾝ	1	100	330	250				
					28	掲収納備品（20.棚）ﾌﾞﾗｽﾁｽﾄ(白)	4	310	430	250				
					29	掲収納備品（20.棚）ｶﾌﾞﾍﾞﾙﾄ	1	350	500	250				
					30	掲収納備品（20.棚）ﾌﾞﾗｽﾁｽﾄ(白)・ﾋﾞﾆｰﾙﾄﾚｰﾄﾞ	1	290	430	250				
					31	掲収納備品（20.棚）ﾌﾞﾗｽﾁｽﾄ(青)・リボン	1	290	430	250				
					32	掲収納備品（20.棚）ﾌﾞﾗｽﾁｽﾄ(青)・給菓用ﾘﾎﾞﾝ	1	290	430	250				
					33	掲収納備品（20.棚）ﾌﾞﾗｽﾁｽﾄ(青)・白軸ﾄﾚｰﾄﾞ	1	290	430	250				
					34	掲収納備品（20.棚）算手	1	240	230	300				
					35	掲収納備品（20.棚）ﾌﾞﾗﾚｰ（白・青）一式	1	150/250	150/250	150				
					36	段ボール・模造紙	1	230	200	850				
					37	段ボール・気候不順用	1	70	70	1550				
					38	箱：ﾋﾞﾝﾀﾞのｾｯﾄ紙	1	220	220	880				
					39	コピー機金機	2	660	750	1600				
					40	古紙収納ボックス	2	360	280	380				
					41	棚（木製）	2	600	420	890	○2			
					42	掲収納備品（41.棚）用紙一式	---	---	---	---				
					43	掲収納備品（41.棚）用紙一式	---	---	---	---				
					44	掲収納備品（41.棚）文具ﾄﾚｰ文具	1	100	330	90				
					45	机（木製、スチール棚下）	1	880	1520	700	○			
					46	棚（スチール）	1	1270	1000	420	○			
					47	掲収納備品（46.棚）書初展白紙等一式	---	---	---	---				
					48	掲上収納物（46.棚）段ボール・ﾄﾚｰ一式	---	---	---	---				
					49	掲上収納物（46.棚）段ボール・ｶｰﾙ紙一式	---	---	---	---				
					50	用紙（展置き）一式	---	---	---	---				
				E/ゾーン	1	掲除用具一式	---	---	---	---				
					2	白板（木枠）	1							令和7年度中に廃棄
					3	棚（木製）	2	450	400	640	○			
					4	掲収納備品（3.棚）教材一式	---	---	---	---				
					5	家名灯	5	1260	190	80				
					6	掲収納備品（3.棚）白かご	6	280	220	90				
					7	掲収納備品（3.棚）用紙類	---	---	---	---				
					8	掲収納備品（3.棚）段ボール類	---	---	---	---				
					9	棚（木製）	1	520	610	760	○			
					10	掲収納備品（3.棚）	---	---	---	---				令和7年度中に廃棄
					11	ペーパーカッター機	2	640	360	100				
					12	ボリバケツ（青）	1	500	500	530				
					13	可動棚（ｾｯﾄ3-付）	1	510	770	600	○			
					14	カート	3	1100	580	820				
					15	机（折り畳み）	1	1800	450	700	○			
					16	机（木製）	1	1500	880	700				
					17	穴あけパンチ	1	200	250	150				
					18	セロハンテープ	1	90	220	150				
					19	ホチキス	2	90	300	200				
					20	ロール紙	2							令和7年度中に廃棄
					21	ペーパーカッター機（大）	1	470	540	500				
					22	紙折り機（デュプロ）	1	660	500	220				
					23	プリンター（拡大機）	1	1050	330	250				
					24	掲収納備品（24.机）・カート	1	680	410	150				
					25	掲収納備品（24.机）・用紙類 一式	---	---	---	---				
					26	用紙類一式（保置き）	---	---	---	---				
					27	棚（スチール）	4	880	380	1790	○4			
					28	掲収納備品（28-1.棚）・時計等 一式	---	---	---	---				
					29	掲収納備品（28-2.棚）・輪投げ等 一式	---	---	---	---				
					30	掲収納備品（28-3.棚）・ほかり 一式	---	---	---	---				
					31	掲収納備品（28-4.棚）・ほかり 一式	---	---	---	---				
					32	可動棚（ｾｯﾄ3-付）	1	760	480	860				
					33	ボリ算盤（20可動棚上、裏）	3	460	460	360				
					34	折り畳みカート	1	750	400	130				
					35	その他 一式	---	---	---	---				

1期	1F	普通教室棟	ユヨコフレ室	A	1	テレビ・テレビボード（木製ボード）	1	730	680	1880					
					2	冷蔵庫	1	480	500	850					
					3	かご（冷蔵庫上）	2	300	180	170					
					4	空気清浄機	1	360	220	600					
					5	了ミ棚・収納物	1								令和7年度中に廃棄
					6	木製棚収納備品	---	---	---	---					
					7	書類整理棚（7.5）	2	280	330	250					
					8	プラかご（赤）	1	400	300	250					
				B	9	ゴミ箱（段ボール）	1	---	---	---					
					10	木製ネームホルダー	1	1820	20	900					
				C	11	掃除用具一式	---	---	---	---					
					12	段ボール（11.掃除用具入棚上）									令和7年度中に廃棄
					13	棚上収納物（11.掃除用具入棚上）									令和7年度中に廃棄
					14	棚上収納物・プラケース	3	520	380	320					
					15	棚上収納物・遊具（ｳｨｯﾄ・ﾎﾞｰﾙ・ｽﾗｲﾑ・ﾆｭｰ	---	---	---	---					
					16	段ボール（ロッカー上、木棚）	1	730	400	300					
					17	木製木棚（ロッカー上、木棚）	1	720	280	370					
					18	おもちゃ等（ロッカー収納物）	---	---	---	---					
					19	木・掃重等（ロッカー収納物）	---	---	---	---					
					20	プラケース（オレンジ・黒）	2								令和7年度中に廃棄
				D	21	さすまた	1	550	30	1200					
					22	ロッカー（スチール）	2	900	510	1800					
					23

1期	2F	普通教室棟	普通教室		1	机（教師用）	4	1060	720	740				
			1-1～1-4		2	教師用椅子（キャスター付き）	4	430	460	780				
			（1年生4部屋）		3	教卓	4	800	500	780				
					4	教卓椅子	4	300	300	460				
					5	机（生徒用）	109	650	450	500~750		27+27+28+27		
					6	椅子（生徒用）	109	400	400	670		27+27+28+27		
					7	タブレット収納棚	4	839	500	1125				
					8	テレビ・テレビボード（木製ボード）	4	730	680	1650				
					9	配膳棚（赤、キャスター付）	4	1200	550	580				
					10	オルガン	3	940	430	810		1-1、1-2、1-4		
					11	本棚（木製）	4	900	260	900	○4			
					12	木（11.木棚）一式	4	—	—	—				
					13	掃除用具一式	4	—	—	—				
					14	ゴミ箱	8	330	320	420		各教室2		
					15	木製棚収納物（教師用机横）一式	4	—	—	—				
					16	棚（スチール）	4	880	480	880				
					17	棚収納物（16.棚）	4	—	—	—				
					18	棚（木製・引違いガラス戸）	2	900	360	620		1-1、1-3		
					19	古紙収納ボックス	3	360	280	380		1-1、1-3、1-4		
					20	マット	1	—	—	—		1-3、		
					21	木製椅子	1	300	300	450		1-4、		
					22	棚（木製・スチール棚上）	1	600	400	300		1-4、		
					23	かご	4	—	—	—				
					24	その他	—	—	—	—				
1期	2F	普通教室棟	廊下西		1	折り畳み物干し	1	900	100	900		1-1前		
					2	黒板拭きクリーナー	2	260	150	160		1-1前、1-4前		
					3	木製椅子（黒板拭きクリーナー置）	2	300	300	450		1-1前、1-4前		
					4	流し台備品一式	1					各教室前		
					5	その他	—	—	—	—				
1期	2F	普通教室棟	普通教室		1	机（教師用）	1	1060	720	740		4-2、		
			2-1～2-4		2	教師用椅子（キャスター付き）	4	430	460	780				
			（2年生4部屋）		3	教卓	4	800	500	780				
					4	教卓椅子	4	300	300	460				
					5	机（生徒用）	127	650	450	500~750		31+31+33+32		
					6	椅子（生徒用）	127	400	400	670				
					7	タブレット収納棚	4	839	500	1125				
					8	テレビ・テレビボード（木製ボード）	4	730	680	1650				
					9	配膳棚（赤、キャスター付）	4	1200	550	580				
					10	電子オルガン	4	1010	460	820				
					11	本棚（木製）	4	900	260	900	○4			
					12	木（11.木棚）一式	4	—	—	—				
					13	掃除用具一式	4	—	—	—				
					14	ゴミ箱	8	330	320	420		各教室2		
					15	木製棚収納物（教師用机横）一式	4	—	—	—				
					16	棚（スチール）	4	880	480	880				
					17	棚収納物（16.棚）	4	—	—	—				
					18	棚（木製・引違いガラス戸）	2	900	360	620		2-1、2-2、2-4		
					19	古紙収納ボックス	4	360	280	380				
					20	パイプ椅子	1	500	50	950		2-1、		
					21	かご	4	—	—	—				
					22	その他	—	—	—	—				
1期	2F	普通教室棟	廊下中央		1	黒板拭きクリーナー	3	260	150	160		2-1前、2-4前、アレス棚上		
					2	椅子（生徒用・黒板拭きクリーナー置）	2	650	450	500		2-1前、2-4前		
					3	CDプレイヤー	1	—	—	—		アレス棚上		
					4	流し台備品一式	—	—	—	—				
					5	その他	—	—	—	—				
1期	2F	普通教室棟	普通教室		1	机（教師用）	4	1060	720	740				
			3-1～3-4		2	教師用椅子（キャスター付き）	4	430	460	780				
			（3年生4部屋）		3	教卓	4	800	500	780				
					4	教卓椅子	4	300	300	460				
					5	机（生徒用）	131	650	450	500~750		33+33+32+33		
					6	椅子（生徒用）	131	400	400	670				
					7	タブレット収納棚	4	839	500	1125				
					8	テレビ・テレビボード（木製ボード）	4	730	680	1650				
					9	配膳棚（赤、キャスター付）	4	1200	550	580				
					10	電子オルガン	3	1010	460	820		3-1、3-2、3-3、		
					11	本棚（木製）	4	900	260	900	○4			
					12	木（11.木棚）一式	4	—	—	—				
					13	掃除用具一式	4	—	—	—				
					14	ゴミ箱	8	330	320	420		3-1(2)、3-4(2)、物各1		
					15	木製棚収納物（教師用机横）一式	4							
					16	棚（スチール）	4	880	480	880				
					17	棚収納物（16.棚）	4	—	—	—				
					18	棚（木製・引違いガラス戸）	2	900	360	520		3-2、3-3、		
					19	古紙収納ボックス	3	360	280	380				
					20	かご	8	—	—	—		各教室2		
					21	折り畳み物干し	2	900	100	900		3-1、3-3、		
					22	その他	—	—	—	—				
1期	3F	普通教室棟	廊下西		1	黒板拭きクリーナー	2	260	150	160		3-1前、3-4前		
					2	木製椅子（黒板拭きクリーナー置）	2	300	300	450				
					3	流し台備品一式	1							
					4	その他	—	—	—	—				
1期	3F	普通教室棟	学習室		1	机（教師用）	1	1060	720	740				
					2	教師用椅子（キャスター付き）	1	430	460	780				
					3	教卓	1	800	500	780				
					4	机（生徒用）	19	650	450	500~750				
					5	椅子（生徒用）	19	400	400	670				
					6	テレビ・テレビボード（大）	1	1700(950)	1030(740)	2100		75インチ		
					7	掃除用具一式	1	—	—	—				
					8	ゴミ箱	1	330	330	420				
					9	木製棚収納物（教師用机横）一式	1	—	—	—				
					10	棚（スチール）	1	880	480	880				
					11	棚収納物（10.棚）	1	—	—	—				
					12	棚（木製・引違いガラス戸）	1	900	360	620				
					13	棚（木製）	1	300	300	1050				
					14	置き畳	7	—	—	—				
					15	その他	—	—	—	—				
1期	3F	普通教室棟	普通教室		1	机（教師用）	1	1060	720	740		4-2、		
			4-1～4-3		2	教師用椅子（キャスター付き）	3	430	460	780				
			（4年生3部屋）		3	教卓	3	800	500	780				
					4	教卓椅子	3	300	300	460		4-1、		
					5	机（生徒用）	100	650	450	500~750		34+33+33		
					6	椅子（生徒用）	100	400	400	670				
					7	タブレット収納棚	3	839	500	1125				
					8	テレビ・テレビボード（大）	3	1700(950)	1030(740)	2100		75インチ		
					9	配膳棚（赤、キャスター付）	3	1200	550	580		4-1、		
					10	本棚（木製）	3	900	260	900	○3	(4-1.H1060)		
					11	木（10.木棚）一式	3	—	—	—				
					12	掃除用具一式	3	—	—	—				
					13	ゴミ箱	6	330	320	420				
					14	木製棚収納物（教師用机横）一式	3	—	—	—				
					15	棚（スチール）	3	880	480	880				
					16	棚収納物（15.棚）	3	—	—	—				
					17	棚（木製）	1	500	450	700		4-1、		
					18	棚（木製・引違いガラス戸）	2	900	360	620		4-2、4-3、		
					19	古紙収納ボックス	3	360	280	380				
					20	かご	6	—	—	—		各教室2		
					21	教師用机（黒）	1	1000	700	700		4-3、		
					22	その他	—	—	—	—				
1期	3F	普通教室棟	廊下中央		1	流し台備品一式	1	—	—	—				
					2	黒板	1	1800	900	—	○	階段横倉庫前		
					3	その他	—	—	—	—				
1期	4F	普通教室棟	普通教室		1	机（教師用）	4	1060	720	740				
			5-1～5-4		2	教師用椅子（キャスター付き）	4	430	460	780				
			（5年生4部屋）		3	教卓	4	800	500	780				
					4	教卓椅子	4	300	300	460				
					5	机（生徒用）	142	650	450	500~750		35+35+35+37		
					6	椅子（生徒用）	140	400	400	670		35+35+35+35		
					7	タブレット収納棚	4	839	500	1125				
					8	テレビ・テレビボード（大）	4	1700(950)	1030(740)	2100		75インチ		
					9	配膳棚（赤、キャスター付）	4	1200	550	580				
					10	本棚（木製）	4	900	260	900	○4	(4-1.H1060)		
					11	木（11.木棚）一式	4	—	—	—				
					12	掃除用具一式	4	—	—	—				
					13	ゴミ箱	8	330	320	420				
					14	木製棚収納物（教師用机横）一式	4	—	—	—				
					15	棚（スチール）	4	880	480	880				
					16	棚収納物（15.棚）	4	—	—	—				
					17	古紙収納ボックス	3	360	280	380				
					18	かご	8	—	—	—		各教室2		
					19	カラーボックス	1	440	300	890		5-4、

2期	1F	特別教室棟	特別支援教室2		A	1	タブレット収納棚	1	475	500	1125				
						2	机（数師用）	1	750	500	800				
						3	テレビ・テレビボード（木製ボード）	1	730	680	1650		TV50インチ		
						4	棚収納備品	1式	—	—	—				
					C	5	掃除用具	1式	—	—	—				
						6	プラスチック棚	2	280	340	260				
						7	プラスチック棚	2	280	340	350				
					D	8	可動棚（表）	1	1210	550	570				
						9	棚（スチール）	1	890	420	880	○			
						10	棚（木製）（9.棚上）	1	600	440	500				
						11	棚（木製）（床置）	1	610	370	900				
						12	机（数師用）	1	1060	730	740				
						13	可動棚（プラスチック）	1	270	330	280				
						14	黒板（幅、移動可）	1	1200	910	10				
						15	白板（可動）	1	1260	560	1800				
						16	旗（水色）	5	1400	600	20				
				その他		17	机（生徒用）	15	650	450	500~750				
						18	その他	1式	—	—	—				
2期	1F	特別教室棟	家庭科準備室		A	1	（中段）ミシン	15	520	250	340				
						2	（中段）まな板	20	410	230	15				
						3	（中段）ミシン・まな板の他 一式	1式	—	—	—				
						4	（上段）棚収納備品 一式	1式	—	—	—				
						5	（下段）棚収納備品 一式	1式	—	—	—				
						6	（上段）棚収納備品 一式	1式	—	—	—				
						7	（下段）棚収納備品 一式	1式	—	—	—				
						8	（上段）棚収納備品 一式	1式	—	—	—				
						9	（下段）棚収納備品 一式	1式	—	—	—				
						10	（上段）棚収納備品 一式	1式	—	—	—				
						11	（下段）棚収納備品 一式	1式	—	—	—				
						12	（上段）棚収納備品 一式	1式	—	—	—				
						13	（下段）棚収納備品 一式	1式	—	—	—				
						14	掃除用具一式	1式	—	—	—				
					B	15	可動棚	1	420	630	1020	○			
						16	鏡	1					令和7年度中に廃棄		
						17	食器棚（木製）	1	1800	500	1900	○			
						18	食器・その他収納物（17.食器棚）一式	—	—	—	—		茶碗・皿・洋食器等		
						19	ポット	6	260	180	350				
						20	レンジ	1	450	330	280				
					C	21	（流し台上）棚収納備品・ｶｯﾌﾟ等一式	1					令和7年度中に廃棄		
						22	（流し台下）棚収納備品一式	1					令和7年度中に廃棄		
						23	冷蔵庫	1	540	650	1590				
						24	食器棚（木）	1	1800	500	1900				
						25	食器・その他収納物（24.食器棚）一式	—	—	—	—		洋食器・しゃもじ・ｶｯﾌﾟ・箸・やかん等		
						26	食器棚（木）	1	1800	500	1900				
						27	木・その他収納物（26.食器棚）一式	—	—	—	—		殺菌ﾀｵﾙ		
					D	28	棚（スチール）	1	550	500	850		令和7年度中に廃棄		
						29	棚収納備品（28.棚）	—	—	—	—				
						30	棚（木）	1	380	600	680				
						31	机	1	1060	630	730		令和7年度中に廃棄		
						32	レンジ	1	450	350	280		令和7年度中に廃棄		
						33	机	1	600	380	670		令和7年度中に廃棄		
						34	テレビ	1	1120	650	140		TV50インチ		
						35	テレビボード	6	730	680	1650				
						36	椅子（黒・ｷｬｽﾀｰ付）	2	420	500	780		令和7年度中に廃棄		
						37	その他	1式	—	—	—				
2期	1F	特別教室棟	家庭科室		A	1	テレビ・テレビボード（木製ボード）	3	730	680	1650		TV（1200x750.4ﾂｰﾄ）/720x680x1650		
						2	机	1	1800	460	700		令和7年度中に廃棄		
					B	3	棚（スチール）	1	900	300	750				
						4	ゴミ箱	1	150	300	600				
						5	食器棚（木）	1	1800	500	1900				
						6	食器・その他収納物（5.食器棚）一式	—	—	—	—				
						7	掃除用具入（木）	1	600	470	1730	○			
						8	掃除用具 一式	—	—	—	—				
						9	洗面器・流し備品等	—	—	—	—				
					C	10	流し（乾燥棚）	1	650	550	1800				
						11	折り畳み物干し	3	900	100	900				
						12	パイプ椅子	8	500	50	950				
						13	丸椅子	41	350	350	450				
					D	14	机（折り畳み）	1	1800	450	700（1100）				
						15	プラスチックかご	6	300	400	140				
						16	机	1	1100	700	700		令和7年度中に廃棄		
						17	調理用机（数師用）	1	2100	900	800				
						18	調理用机（生徒用）	6	1800	900	700				
						19	すのこ（木）	2	1800	600	50		令和7年度中に廃棄		
						20	その他	—	—	—	—				
2期	1F	特別教室棟	屋段室S			1	壁収集制作：木製、中央棚（昭和62年度）	1	1100	40	1900		卒業制作作品、ﾌﾙﾆ様形の土台分		
						2	額（図工作品）	17	600	450	20		7+5+5		
						3	壁収集制作：木製、中央掲示板（昭和61年度）	4	1400	30	1200		卒業制作作品、ﾌﾙﾆ様形の土台分		
						4	ゴミ箱（角型）	3	160	300	400				
						5	椅子（座面背板塩ビ・青）	12	450	520	800				
						6	大型物置（階段上）	1					学校外団体の倉庫のため、月が悪合依頼		
						7	物置収納物（6.大型物置）	1					学校外団体の倉庫のため、月が悪合依頼		
						8	くさり（屋上侵入禁止用）	1	L2000	—	—				
						9	その他	—	—	—	—				
2期	1F	特別教室棟	昇降口S			1	傘掛け（スチール・黄）	2	1500	430	1350				
						2	傘立て	10	770	330	500				
						2.2	傘立て	2	760	290	500				
						3	靴拭きマット	4	1200	990	5				
						4	壁卒業制作：ちょうちょ（昭和59年）	1	3300	1150	50		卒業制作作品、ﾌﾙﾆ様形の土台分		
						5	壁卒業制作：花（平成22年）	1	2840	880	50		卒業制作作品、ﾌﾙﾆ様形の土台分		
						6	掃除用具入	1	600	460	1725				
						7	掃除用具入（PTA）	1	585	540	2005				
						8	じょうろ	2	600	170	240				
						9	プラケース	2	620	420	210				
						10	アルミ缶ボックス	1	560	450	780		外部（特別支援1北側）に移動		
						11	段ボール	1	600	400	460				
						12	バケツ	2	300	300	200				
						13	土落としマット（緑）	2	1500	600	20				
2期	1F	特別教室棟	廊下東		A	1	折り畳み物干し	1	900	100	900				
						2	消火器	2	200	200	500				
						3	黒板拭きクリーナー	1	260	150	160				
						4	椅子（生徒用）	1	400	400	670				
						5	ゴミ箱（丸型ポリバケツ）	1	500	500	560				
						6	ゴミ箱（丸型ポリバケツ）	1	400	400	500				
						7	ゴミ箱（角型）	1	230	350	430				
						8	ゴミ箱（角型）	1	320	500	700				
						9	その他	—	—	—	—				

2期	2F	特別教室棟	理科準備室		A	1	（上段）棚収納備品：メスシリンダー等 一式	—	—	—	—				
						2	（中段）棚収納備品：精等 一式	—	—	—	—				
						3	（下段）棚収納備品：地質の学習用具等 一式	—	—	—	—				
						4	（上段）棚収納備品：心臓の構造模型等 一式	—	—	—	—				
						5	（中段）棚収納備品：電球等 一式	—	—	—	—				
						6	（下段）棚収納備品：器具等 一式	—	—	—	—				
						7	（上段）棚収納備品：関節構造模型等 一式	—	—	—	—				
						8	（中段）棚収納備品：理科実験器具等 一式	—	—	—	—				
						9	（下段）棚収納備品：器具等 一式	—	—	—	—				
						10	（上段）棚収納備品：送風機、電球等 一式	—	—	—	—				
						11	（中段）棚収納備品：実験器具等 一式	—	—	—	—				
						12	（下段）棚収納備品：器具等 一式	—	—	—	—				
						13	木製薬品棚	7	1800	500	1800	○			
						14	棚収納備品・薬品類（13.棚）一式	—	—	—	—				
						15	ごみ箱（プラスチック・3段）	1	350	350	1080				
						16	ホース等（15.ごみ箱上）	1	300	250	600				
						17	重さ測定スケール	2	100	100	1500				
						18	ｽﾁｰﾙ棚（白・ｽﾄｯﾊﾟｰ付）	1	440	300	890				
					B	19	棚（木）	1	200	290	600				
						20	塩ビパイプ（灰色）	30	25ゆ	—	400				
						21	塩ビパイプ（透明）	6	25ゆ	—	1020				
						22	木製ボール等	7	40	30	2120				
						23	プラスチック備品棚（黒・ｽﾄｯﾊﾟｰ付10段）	1	310	400	1060				
						24	冷蔵庫	1	450	520	1150				
						25	消火器	1	200	200	500				
					C	26	棚（スチール）	1	1760	400	1850	○			
						27	薬品収納品・器具類、双眼鏡等（28.棚）一式	—	—	—	—				
						28	棚（スチール）	1	1760	400	1850	○			
						29	棚収納備品・実験器具等（28.棚）一式	—	—	—	—				
						30	棚（スチール）	1	1760	400	1850	○			
						31	棚収納備品・実験器具等（30.棚）一式	—	—	—	—				
						32	棚（スチール）	1	880	400	1850	○			
						33	棚収納備品・実験器具等（32.棚）一式	—	—	—	—				
						34	平面黒板（天気図）	1	900	1190	20				
						35	ストーブ	1	610	270	670				
					D	36	鍵付書棚（黒）	1	790	670	1210	○			
						37	棚収納備品・額物鏡、双眼鏡（36.棚）一式	—	—	—	—				
						38	鍵付き棚	1	900	500	900	○			
						39	棚収納備品・薬品（38.棚）一式	—	—	—	—				
						40	危険物収納庫	1	690	410	1150				
						41	流し棚（木製ｽﾗｲﾄﾞ3.3.3扉）	1	520	470	1600	○			
						42	机（数師用）	1	1060	640	740				
						43	折り畳みテーブル	2	1800	450	720				
						44	TVテーブル	1	600	700	880				
						45	額縁棚	1	500	500	900				
						46	その他	—	—	—	—				
2期	2F	特別教室棟	理科室		A	1	棚（スチール、ガラス戸）	1	880	440	970	○			
						2	棚（木製、ガラス戸）	1	900	360	520	○			
						3	薬品棚扉・カバーガラス等（1.2.棚）一式	—	—	—	—				
						4	棚（スチール、ガラス戸）	1	900	470	1800	○			
						5	棚収納備品・額物鏡（4.棚）一式	—	—	—	—				
						6	ポトル（白・石灰水）	1	350ゆ	—	450				
						7	スクリーン	1	1800	120	100				
						8	木製荷動ワゴン（ｷｬｽﾀｰ付）	1	1050	370	100				
						9	薬品棚ホクリーナー	1	260	150	160				
						10	消火器	1	200	200	500				
						11	棚（スチール）	3	880	400	880	○3			
						12	実験器具（11.棚）一式	—	—	—	—				
						13	実験器具（11.棚）一式	—	—	—	—				
						14	机（1.棚）一式	—	—	—	—				
						15	収納ボックス（科学展・展示用ﾊﾞｲﾌﾞ）	1	1150	360	150				
						16	収納ボックス（科学展・展示用ﾊﾞｲﾌﾞ）	1	1150	360	280				
						17	掃除用具入	1	800	630	1840	○			
						18	掃除用具（17.掃除用具入）一式	—	—	—	—				
						19	ゴミ箱	1	270	180	600				
						20	木製ボックス（ガス管カバー）	1	350	250	770				
						21	木製机	6	510	905	670				
						22	机（生徒用）	1	650	450	500~750				
						23	椅子（生徒用）	1	400	400	670				
						24	木製棚収納備品 一式	—	—	—	—				
						25	木製棚収納備品 一式	—	—	—	—				
						26	木製棚収納備品 一式	—	—	—	—				
						27	水槽（白砂・黒砂）	4	300	300	300		10/3 1個追加		
						28	実験器具（瓶等） 一式	—	—	—	—				
						29	額縁（製水槽）	1	360	380	550				
						30	器具（流し下、白袋等） 一式	—	—	—	—				
						31	ステンレス洗面器	16	350~320ゆ	—	150~130				
						32	器具（流し下、白袋等） 一式	—	—	—	—				
						33	プラスチック棚（1x1x3-付）	1	—	—	—		令和7年度中に廃棄		
						34	額木額等（13棚）	1					9/11.10/3なし		
						35	テレビ・テレビボード（木製ボード）	1	730	680	1650				
						36	ゴミ箱	1	330	310	430				
						37	実験机（数師用）	1	2400	900	860	○			
						38	椅子（数師用）	1	420	460	780				
						39	パケツ	1	300	280	260				
						40	電子黒板	1	1700	800	2040				
						41	実験机（生徒用）	6	1800	900	670	○6			
						42	椅子（生徒用理科室木製椅子）	42	300	300	460				
						43	流し下水槽	1	600	300	350				
						44	その他	—	—	—	—				

2期	2F	特別教室棟	図工準備室		A	1	（上段）棚収納備品 一式	—	—	—	—				
						2	（中段）棚収納備品 一式	—	—	—	—				
						3	（下段）棚収納備品 一式	—	—	—	—				
						4	（上段）棚収納備品 一式	—	—	—	—				
						5	（中段）棚収納備品 一式	—	—	—	—				
						6	（下段）棚収納備品 一式	—	—	—	—				
						7	（上段）棚収納備品 一式	—	—	—	—				
						8	（中段）棚収納備品 一式	—	—	—	—				
						9	（下段）棚収納備品 一式	—	—	—	—				
						10	（上段）棚収納備品 一式	—	—	—	—				
						11	（中段）棚収納備品 一式	—	—	—	—				
						12	（下段）棚収納備品 一式	—	—	—	—				
						13	（上段）棚収納備品 一式	—	—	—	—				
						14	（中段）棚収納備品 一式	—	—	—	—				
						15	（下段）棚収納備品 一式	—	—	—	—				
						16	掃除用具 一式	—	—	—	—				
						17	物入（ｽﾁｰﾙ・ｽﾗｲﾄﾞ付）	7	400	460	820				
						18	網棚（ｽﾁｰﾙ・ｽﾗｲﾄﾞ付）	2	960	520	1270				
						19	丸机	2	600	600	640				
						20	ロール紙ﾀｵﾙｽﾀﾝﾄﾞ	1	400	600	1200				
						21	棚（木）	1	1800	600	1800	○			
						22	食器ステロール板（22.棚上）	5	1800	850	50				令和7年度中に廃棄
						23	棚（木）	2	650	460	920	○2			
						24	棚収納備品（23.面盤等）	—	—	—	—				
						25	電子オーブン	2	300	280	350				
						26	鍋	16	600	500	20				
						27	椅子（数師用）	1	600	400	850				令和7年度中に廃棄
						28	机（生徒用）	1	650	450	500~750				
						29	ストーブ	1	400	400	800				令和7年度中に廃棄
						30	ダストカー（ｷｬｽﾀｰ付）	1	650	650	1000				
						31	プラスチックカゴ	31	400	580	180				
						32	テレビ・テレビボード（木製ボード）	3	730	680	1650		TV50インチ		
						33	その他	—	—	—	—				
2期	2F	特別教室棟	図工室		A	1	テレビ・テレビボード（木製ボード）	1	730	680	1650				
						2	机（折り畳み）	4	1800	450	700				
						3	図工机（数師用）	1	1520	900	760				
					B	4	絵画作品乾燥棚	1	900	620	1130				
						5	絵画作品乾燥棚	1	750	600	1180				
					C	6	ゴミ箱	2	300	300	430				
						7	掃除用具（バケツ・モップ等）	—	—	—	—				
						8	折り畳み物干し	1	900	100	900				
						9	作品棚（スチール）	2	960	530	280				
						10	電動糸のこ据り機	7	550	250	500				
					D	11	机（生徒用）	7	650	450	500~750				
						12	掃除用具入	1	600	460	1740	○			
						13	掃除用具 一式	—	—	—	—				
						14	作品棚	1	960	520	1270				
						15	用具入れ棚	1	1850	370	900				
						16	図工机（生徒用）	6	1520	900	710	○6			
						17	椅子	54	300	300	460				
						18	その他	—	—	—	—				
2期	2F	特別教室棟	物置（図工室横）		A	1	工具機器	1	580	490	490				
					B	2	棚収納備品（木等）一式	—	—	—	—				
						3	棚収納備品（図工用具）一式	—	—	—	—				
						4	棚収納備品（木等）一式	—	—	—	—				
						5	棚収納備品（木等）一式	—	—	—	—				
						6	棚収納備品 一式	—	—	—	—		ストーブ1		
						7	掃除用具	1	540	300	460		令和7年度中に廃棄		
					C	8	展示パネル	1	900	430	2060				
						9	キャスター付展示パネル用ポール	7	—	—	—				
						10	イーゼル（絵画置き）	4					令和7年度中に廃棄		
						11	展示パネル	4					令和7年度中に廃棄		
						12	木箱	1					令和7年度中に廃棄		
					D	13	机（折り畳み）	1					令和7年度中に廃棄		
						14	プラケース（透明）	1					令和7年度中に廃棄		
						15	電動糸のこ据り機・机	3					令和7年度中に廃棄		
						16	椅子（木製）	1					令和7年度中に廃棄		
						17	掃除機	1	400	500	700				
						18	その他	—	—	—	—				
2期	2F	特別教室棟	廊下東		B	1	椅子（木）	6	300	300	450				
						2	机（折り畳み）	1	1800	450	720				
						3	机（生徒用）	2	600	400	500~750				
						4	水槽（金魚）	1	610	310	470				
						5	水槽	1	450	300	300				
						6	水槽						10/3なし		
						7	水槽						10/3なし		
						8	虫かご	1	320	160	240				
						9	テレビボード下段棚（木製）	2	730	680	690		8/7なし		
						10	消火器	1	200	200	500				
						11	その他	—	—	—	—				
2期	3F	特別教室棟	会議室		A	1	タブレット収納棚	1	475	500	1125				
						2	コピー複合機（HP）	1	600	650	1200				
						3	ジョイントマット（おむつ替え用）	1	620	620	40				
						4	ゴミ箱（牛乳パック）	1	440	320	680				
						5	ゴミ箱（プラスチック）	1	280	200	430				
						6	白板（行事予定入）	1	600	890	15				
						7	木製卓上木棚	1	590	220	240				
						8	段ボール（裏紙等12枚他）	1	450	330	500				
						9	棚（ｽﾁｰﾙ）	1	880	390	1790				
						10	収納備品（9.棚）一式	—	—	—	—				
						11	棚（ｽﾁｰﾙ・ｽﾗｲﾄﾞ3戸）	1	880	400	1820				
						12	収納備品（11.棚）一式	—	—	—	—				
						13	棚（ｽﾁｰﾙ・ｽﾗｲﾄﾞ3戸）	1	880	400	970				
						14	収納備品（13.棚）一式	—	—	—	—				
						15	書類整理棚（白・黒・緑・ｸﾞﾚｰ）	4	320	450	260				
						16	棚（ｽﾁｰﾙ）	1	880	400	880				
						17	収納備品（16.棚）一式	—	—	—	—				
						18	掃除用具 一式	—	—	—	—				
						19	棚（ｽﾁｰﾙ・ｽﾗｲﾄﾞ）	1	440	290	600				
						20	棚（木製）	2	870	280	440				
						21	棚（木製）	2	300	220	440				
						22	棚（木製）	1	1830	300	850				
						23	収納備品（ランドセル入棚）一式	—	—	—	—				木、衛生掃除用具
						24	棚上収納備品（ランドセル入棚）一式	—	—	—	—				
						25	青い箱	3	440	310	210				
						26	花	1	500	500	1500				
						27	クリアケース	1	740	430	350				
						28	机（折り畳み）	6	1800	450	700				
						29	パイプ椅子	27	500	50	950				
						30							No28へ		
						31	机（折り畳み）	5	1800	600	700				
						32	可動棚	1	780	600	1200				
						33	用紙棚（32.可動棚）一式	—	—	—	—				
						34	テレビ・テレビボード（木製ボード）	1	730	680	1650		TV50インチ		
						35	その他	—	—	—	—				
2期	3F	特別教室棟	会議室（PTA）		A	1	机（教卓）	1	750	500	900				
						2	机（数師用）	1	1060	730	740				
						3	木製棚収納物（数師用机横）一式	—	—	—	—				
						4	ゴミ箱	1	310	310	620				
						5	掃除用具一式	—	—	—	—				
						6	本棚	1	920	200	1060				
						7	机（白）	1					8/9なし		
						8	テレビ・テレビボード（木製ボード）	1	730	680	1650				
						9	机（生徒用）	18	650	450	500~750				
						10	椅子（生徒用）	18	400	400	670				
						11	その他	—	—	—	—				

	設計番号	工事名称	縮尺
	年 月 日 令和8年1月	新座市立東北小学校校舎長寿命化改修工事	-

図面名称	図番
備 品 リ ス ト 4	A-160
承認	製図

2期	3F	特別教室棟	図書室		A	1	木棚（木）	2	1590/1500	300	1600	○,2	
						2	木棚（木）	1	1800	330	780	○,2	
					B	3	木棚（木）	1	1300	350	1800	○	
						4	木棚（木）	1	1800	240	900	○	
						5	木棚（木）	1	600	300	900	○	
						6	可動木棚	5	550	400	780		
					C	7	木棚（木）	1	470	300	890	○	
						8	木棚（木）	1	1820	250	1100	○	
						9	木棚（木）	1	920	320	1260	○	
						10	大型本一式(11冊分)	1	250	520	1180		
						11	絵芝居一式	1	500	130	400		
						12	木棚（スチール）	1	1000	380	1800	○	
						13	掃除用具入	1	600	460	1720	○	
						14	掃除用具一式（13.掃除用具入）	---	---	---	---		
						15	木棚（スチール）	1	1850	260	1900	○	
						16	木棚（木）	1	1820	250	1100	○	
						17	児童カウンター	1	2400	1200	890	○	
						18	木棚（スチール）	1	2750	260	1900	○	
						19	木棚	1					令和７年度中に廃棄
						20	木棚（木）	2	1800	240	1980	○,2	
						21	木棚（木）	1	600	170	890	○	
					D	22-1	木棚（木）	1	5400	280	780	○	
						22-1	木棚（木）	1	3700	300	440	○	
						22-2	木棚（木）	1	900	260	400	○	
						22-3	木棚（木）	1	1800	260	400	○	
						24	木棚（スチール）	2	800	250	1590	○,2	
						25	木棚（木）	3	1800	320	1080	○	
						26	木棚（木）	1	1600	420	1420	○	
						27	木棚（木）	1	1800	400	1600	○	
						28	木棚（木）	3	1830	620	1530	○	
						29	木棚（木）	1	1870	610	1550	○	
						30	丸机	2	1200	1200	680	○,2	
						31	机	6	1800	900	680	○,6	
						32	可動新聞棚	1	1860	800	1150		
						33	椅子（木製・背もたれ付）	40	400	470	750		
						34	椅子（金属・背もたれ付）	4	400	500	750		
						35	可動椅子（司書用）	1	420	490	810		
						36	椅子（生徒用）	1	400	400	670		
						37	椅子（木製）	1	300	300	420		
						38	ゴミ箱	2	300	180	350		
						39	その他	---	---	---	---		
2期	3F	特別教室棟	扇下東			1	スクリーン（金属室前）	2	2280	140	160		
						2	扇風機またクリーナー	1	260	150	160		
						3	椅子（木製・クリーナー置き）	1	300	300	460		
						4	机（生徒用・クリーナー置き）4-4組	1	650	450	500~750		
						5	木棚（図書室前）	1	1800	330	780		
						6	流し台備品 一式	---	---	---	---		
						7	白板	2	1200	900			
						8	掲示板	1	850	30	870		
						9	消火器	2	200	200	500		
						10	その他	---	---	---	---		
2期	4F	特別教室棟	図書室		A	1	木棚（木）	2	1590/1500	300	1600	○,2	
						2	木棚（木）	1	1800	330	780	○,2	
					B	3	木棚（木）	1	1300	350	1800	○	
						4	木棚（木）	1	1800	240	900	○	
						5	木棚（木）	1	600	300	900	○	
						6	可動木棚	5	550	400	780		
					C	7	机	1	470	300	890	○	
						8	木棚（木）	1	1820	250	1100	○	
						9	木棚（木）	1	920	320	1260	○	
						10	大型本一式(11冊分)	1	250	520	1180		
						11	絵芝居一式	1	500	130	400		
						12	木棚（スチール）	1	1000	380	1800	○	
						13	掃除用具入	1	600	460	1720	○	
						14	掃除用具一式（13.掃除用具入）	---	---	---	---		
						15	木棚（スチール）	1	1850	260	1900	○	
						16	木棚（木）	1	1820	250	1100	○	
						17	児童カウンター	1	2400	1200	890	○	
						18	木棚（スチール）	1	2750	260	1900	○	
						19	木棚	1					令和７年度中に廃棄
						20	木棚（木）	2	1800	240	1980	○,2	
						21	木棚（木）	1	600	170	890	○	
					D	22-1	木棚（木）	1	5400	280	780	○	
						22-1	木棚（木）	1	3700	300	440	○	
						22-2	木棚（木）	1	900	260	400	○	
						22-3	木棚（木）	1	1800	260	400	○	
						24	木棚（スチール）	2	800	250	1590	○,2	
						25	木棚（木）	3	1800	320	1080	○	
						26	木棚（木）	1	1600	420	1420	○	
						27	木棚（木）	1	1800	400	1600	○	
						28	木棚（木）	3	1830	620	1530	○	
						29	木棚（木）	1	1870	610	1550	○	
						30	丸机	2	1200	1200	680	○,2	
						31	机	6	1800	900	680	○,6	
						32	可動新聞棚	1	1860	800	1150		
						33	椅子（木製・背もたれ付）	40	400	470	750		
						34	椅子（金属・背もたれ付）	4	400	500	750		
						35	可動椅子（司書用）	1	420	490	810		
						36	椅子（生徒用）	1	400	400	670		
						37	椅子（木製）	1	300	300	420		
						38	ゴミ箱	2	300	180	350		
						39	その他	---	---	---	---		

2期	4F	特別教室棟	多目的室		A	1	パイプ椅子置き場（ｷｬｽﾀｰ付）	4	1250	540	820		
						2	棚（白）	1	600	350	1480		
					C	3	卓球台（ｷｬｽﾀｰ付）		学校備品リスト295				
						4	卓球台（ｷｬｽﾀｰ付）		学校備品リスト294				
						5	机（ｷｬｽﾀｰ付）		学校備品リスト445（10個）				
						6	机（ｷｬｽﾀｰ付）		学校備品リスト450				
						7	ホワイトボード（ｷｬｽﾀｰ付）	3	1950	550	1820		
						8	ついたて（棒・ｷｬｽﾀｰ付）	3	1200	460	1600		
						9	扇風機	2	1100	1100	1300		
						10	椅子（生徒用、座面木製、重ね不可）	26	400	400	670		8+8+8+12
						11	机（折り異み）		学校備品リスト452				13+6
						12	丸形机		学校備品リスト444				
						13	テレビ・テレビボード（木製ボード）	1	730	680	1650		TV50インチ
						14	プラケース（卓球道具入）	1	720	400	310		9+7+5+7+10+6+6+6+6+2
						15	椅子（ｽﾀｯｷﾝｸﾞﾁｪｱ、座面青）		学校備品リスト520				
						16	ゴミ箱	1	290	190	600		
						17	掃除用具入	1	750	400	1800		
						17.2	掃除用具一式	---	---	---	---		
						18	ピアノ		学校備品リスト534				
						19	ピアノ椅子		学校備品リスト536				
						20	譜面台		学校備品リスト63~65				
						21	ホワイトボード（ｷｬｽﾀｰ付）	1	890	400	1460		
2期	4F	特別教室棟	音楽室			1	ゴミ箱	2	430	580	280		
						2	白板・黒板	2	1930	560	1800		
						3	テレビ・テレビボード（木製ボード）	1	730	680	1650		
						4	CDラック	1	500	430	830		
						5	譜面台		学校備品リスト205				
						6	CDプレイヤー		学校備品リスト208				
						7	スピーカー	2	160	240	270		
						8	机		学校備品リスト586				
						9	椅子		学校備品リスト586				
						10	CDラック	1	650	460	460		
						11	その他	---	---	---	---		
2期	4F	特別教室棟	音楽準備室		A	1	棚	1					10/3なし
						2	譜面台		学校備品リスト205				
					B	3	【上段】棚_メトロノーム等_一式	---	---	---	---		
						4	【中段】棚_楽器パネ等_一式	---	---	---	---		
						5	【下段】棚_太鼓足_一式	---	---	---	---		
						6	【上段】棚_小物等_一式	---	---	---	---		
						7	【中段】棚_小物等_一式	---	---	---	---		
						8	【下段】棚_小物等_一式	---	---	---	---		
						9	【下段】棚_ｽﾄｰﾌﾞ等_一式	1	---	---	---		
						10	鷺先灯_一式	1	200	90	2440		
					C	11	木製棚	1					10/3なし
						12	棚横皿（12.棚）_一式	---	---	---	---		
						13	机	1	810	630	750		
						14	椅子	1	440	290	500		
						15	棚_掃除用具_一式	---	---	---	---		
						16	【中段】棚_備品等_一式	---	---	---	---		
						17	【中段】棚_備品等_一式	---	---	---	---		
						18	【中段】棚_備品等_一式	---	---	---	---		
						19	【中段】棚_折り畳み物干し_一式	---	---	---	---		
						20	【中段】棚_小物等_一式	---	---	---	---		
						21	その他	---	---	---	---		
2期	4F	特別教室棟	扇下東			1	白板（モバスター付）	3	890	400	1460		
						2	白板（窓下）	1	1200	900	10		
						3	机（生徒用）	1	650	450	500~750		
						4	流し台備品一式	---	---	---	---		
						5	消火器	1	200	200	500		
						6	その他	---	---	---	---		

市管理備品リスト（令和7年7月時点）　　数量・寸法は参考とし、工事前に数量を再確認し、移動の際は学校と協議をすること。

	校内No.	音楽備品（楽器名）	数量	幅W	奥行D	高さH	規格
多目的室	134	ﾋﾟｱﾉ	1	1520	680	1320	ﾔﾏﾊ
（学校備品リストより）	136	ﾋﾟｱﾉ用椅子	1	400	450	900	ﾔﾏﾊ P1~5
	294	卓球台	1	1530	600	1560	台三重 ﾀｯﾁﾊﾟﾈﾙ 支柱ﾀｲﾌﾟ3
	295	卓球台	3	1530	490	1550	ﾆｯｹｲ(ｶﾀﾛｸﾞ2717
	444	ｶｰﾄﾝ机	4	1250	570	980	不明
	445	ｽﾀｯｷﾝｸﾞﾁｪｱ(色：白)	10	1800	580	1000	生田 KSM-1850WM 11811
	450	会議用ﾃｰﾌﾞﾙ(長机)	6	1800	590	1070	不明
	453	会議用ﾃｰﾌﾞﾙ	18	1800	600	700	ｺｸﾖKT-S1209N
	520	応接用椅子（青生地）	67	440	520	820	TSS CK-20N ｽﾀｰ
	544	角椅子	4	300	300	450	ﾀｲｶﾝ HC-8
	582	折たたみ椅子	50	400	870	70	CF-18N(色：青)
	593	ﾋｰﾀｰ	---	---	---	---	不明　なし
	670	ｶｳﾝﾀｰﾄﾞ	1	3600	120	1200	360×120

	校内No.	音楽備品（楽器名）	数量	幅W	奥行D	高さH	規格
音楽室・準備室	130	音楽用五線黒板(移動式)	1	---	---	---	敷文 _30~7703
（学校備品リストより）	132	ｽﾋﾟｰｶｰﾄﾞｽﾀﾝﾄﾞ	1	1480	1830	1010	ﾔﾏﾊ G3E
	135	ﾋﾟｱﾉ椅子	1	400	457	883	ﾔﾏﾊ No.5(P1S)
	137	ｽﾋﾟｱｰ	2	1,011	459	822	ﾔﾏﾊ SE-3000
	138	学校用ｷｬﾋﾞﾈ	4	1,011	459	822	ﾔﾏﾊSE-3000
	139	学校用ｷｬﾋﾞﾈ(椅子付)	1	1,011	504	822	ﾔﾏﾊ SE-8000
	140	教育用ｷｬﾋﾞﾈ	1	960	370	840	ｽﾀﾞｷ S-30-3D
	150	電子ｷｬﾋﾞﾈﾋﾟｱﾉ(ｽﾀﾝﾄﾞ付)	1	650	490	810	ｽﾀﾞｷ E-EB-3000
	151	ｼﾝｾｻｲｻﾞｰ(ｽﾀﾝﾄﾞ付)	1	1019	364	124	ﾔﾏﾊSDR-2000(ｽﾀﾝﾄﾞ:350x100x946)
	152	ｱｺｰﾃﾞｵﾝ	1	410	410	190	ﾄﾝﾎﾞS-320A
	153	ｱｺｰﾃﾞｵﾝ	1	410	410	190	ﾄﾝﾎﾞA-321A,ｹｰｽ
	154	ｱｺｰﾃﾞｵﾝ	1	410	410	190	ﾄﾝﾎﾞT-322A,ｹｰ
	155	ｱｺｰﾃﾞｵﾝ	1	410	410	190	ﾄﾝﾎﾞ...ｽ
	156	ｱｺｰｽﾃｰｼﾞｵﾝ(ｽﾄﾗｯﾌﾟｽ付き)	1	460	350	280	ﾔﾏﾊ E-32E
	157	ﾊﾟｽﾃｰｼﾞｵﾝ(ｽﾄﾗｯﾌﾟｽ付き)	1	460	350	280	ﾔﾏﾊ B-32E
	158	ｱｺｰﾃﾞｵﾝ(教衆用	1	410	410	190	ﾄﾝﾎﾞNo.211
	159	ｱｺｰﾃﾞｵﾝ	1	460	350	280	ﾔﾏﾊ ﾊﾞｽ
	160	ｷｰﾎﾞ	1	1380	780	820	ｽﾀﾞｷ ｽﾀｰｼﾞｱ-620
	161	木琴	1	1060	550	820	ﾔﾏﾊYX300_ｿﾌﾄｹｰ
	162	木琴	1	1060	550	820	ﾔﾏﾊYX30E_ｿﾌﾄｹｰ
	163	木琴	1	1050	510	780	ｺｸﾖﾅ 120K_ｿﾌﾄｹｰ
	164	木琴	1	1300	620	780	ｺｸﾖﾅ 550K_ﾊｰﾄﾞ
	165	木琴	1	1480	620	780	ｺｸﾖﾅ 550S_ﾊｰﾄﾞ
	166	ｸﾛﾏﾁｬﾝ	1	1060	620	780	ﾔﾏﾊYT-2800
	167	ｸﾛﾏﾁｬﾝ	1	1150	670	780	ﾔﾏﾊ YT-3000
	168	鼓琴(ｽﾞﾗﾝｸﾞ)	1	1100	565	770	ｻｲｹﾝ No.125
	169	ｽﾞﾗﾝｸﾞとｽﾀﾝﾄﾞ	1	650	400	80	ﾔﾏﾊ
	170	ｼﾝﾊﾞﾙ	1	410	410	60	ﾆｯｹｲ(ﾊﾝﾄﾞﾒﾄﾞﾚｰ16ｲﾝﾁ)
	171	ｼﾝﾊﾞﾙ 2枚1組(手皮も含む)	1	410	410	120	ｼﾞﾙｼﾞﾙ
	172	ｼﾝﾊﾞﾙ(ｽﾀﾝﾄﾞ含む)	1	410	410	120	ｼﾞﾙｼﾞﾙ
	173	ｼﾝﾊﾞﾙ(ｽﾀﾝﾄﾞ含む)	2	410	410	120	ｼﾞﾙｼﾞﾙ
	174	ｽﾋﾟｰｶｰﾄﾞｽﾀﾝﾄﾞ	1	810	360	810	ﾔﾏﾊ CB-532A
	175	ﾏｲｸｽﾀﾝﾄﾞ(ｽﾀﾝﾄﾞ含む)	1	900	400	790	ﾔﾏﾊ BS-750
	176	大太鼓(ｽﾀﾝﾄﾞ含む)	1	900	400	790	ﾔﾏﾊ
	177	ｽﾀﾝﾄﾞ3ｷｬ	1	356	356	205(785)	ﾔﾏﾊ SD965AE ｽﾀﾝﾄﾞSS735(HS80)
	178	ﾁｪﾝﾊﾞﾛ	1	690	690	840	ﾔﾏﾊ JP-123A
	179	ﾁｪﾝﾊﾞﾛ	1	760	840	840	ﾔﾏﾊ JP-120A
	180	ﾁｪﾝﾊﾞﾛ	1	840	840	840	ﾔﾏﾊ JP-120A
	181	ﾏｰﾁﾝｸﾞﾄﾞﾗ4	1	370	370	140	ﾆｯﾎﾝ
	182	ｱｺｰｽﾃｨｯｸﾄﾞﾗｰ	1	1005	450	100	ﾔﾏﾊGG-120A
	183	ﾄﾗｲｱﾝｸﾞﾙ	2				ﾔﾏﾊTFL-23　なし(11/17学校)
	184	ﾄﾗｲｱﾝｸﾞﾙ	1	390	80	50	自管TFL-23
	185	ﾄﾗｲｱﾝｸﾞﾙ	1	250	370	100	自管TGL-25
	186	ﾄﾗｲｱﾝｸﾞﾙ	1	250	370	100	自管TGL-25
	187	ﾄﾗｲｱﾝｸﾞﾙ	1	250	370	100	ﾔﾏﾊTGL-25
	188	ﾄﾗｲｱﾝｸﾞﾙ	2	250	370	100	ﾔﾏﾊTGL-25
	189	ﾄﾗｲｱﾝｸﾞﾙ	1	250	370	100	ﾔﾏﾊTGL-25
	190	ﾄﾗｲﾝｸﾞﾎﾞｰﾄﾞ	1	700	100	970	ﾊﾟｰﾙ
	191	ｼﾝﾊﾞ	1	250	250	1200	ﾊﾟｰﾙ212_210_ｹｰｽ
	192	ﾎﾞﾝｺﾞ	1	300	300	1200	ｼﾞｬﾑM201_M243
	193	ｽﾋﾟｰｶｽﾀﾝﾄﾞ3ｷｬ	1	356	356	150	ﾔﾏﾊGSM1450A
	194	ｽﾀﾝﾄﾞ3ｷｬ	1	370	370	280	ﾔﾏﾊ ﾏｰﾁﾝｸﾞ用
	195	ｽﾀﾝﾄﾞ3ｷｬ	1	370	370	280	ﾔﾏﾊ ﾏｰﾁﾝｸﾞ用
	196	ﾏｰﾁﾝｸﾞﾊﾞｽﾄﾞ3ｷｬ	1				ﾔﾏﾊ ﾏｰﾁﾝｸﾞ用　なし(11/17学校)
	197	ﾐｭｰｼﾞｯｸﾊﾞｰﾄﾞ	1				ｳｲﾘｱﾑ 833-5700　貸出(11/17学校)
	198	ﾐｭｰｼﾞｯｸﾍﾞﾙ	1	910	170	210	ｳｲﾘｱﾑ 833-5180,ｽﾀ組
	199	宮太鼓	1	525	525	525	ﾎﾞﾝﾃﾞ 全音宮太鼓(長胴太鼓)寄号
	200	宮太鼓台	1	525	525	525	ﾎﾞﾝﾃﾞ 全音宮太鼓台 1型台 1尺4寸(42cm)
	201	三味線おけいこセット	1	740	220	100	金重5084520
	202	平太鼓セット	1	330	330	105	ﾎﾞﾝﾃﾞ2765-11
	203	和太鼓一式	1	440	540	440	KAWADA
	204	琴	1	1840	130	80	角倉,脚足ｾｯﾄ,生田流,桐会板
	205	譜面台	18	350	500	765	ﾎﾞﾝﾃ/MS-117N
	206	譜面台	3	350	500	765	金重 MS-117
	207	譜面台	1	350	500	765	ﾀﾅｶ AS-18F
	208	CDｽﾄﾚｰｼｬｽﾀﾝﾄﾞ(色：ｼﾙﾊﾞｰ)	1	211	267	114	ﾊﾟﾅｿﾆｯｸ SC-PMX150-S
	209	ｱﾝﾌﾟ	1	165	186	270	ﾛｰﾗﾝﾄﾞ MT-90W
	210	ﾎﾞｰﾄﾞﾎﾞﾃﾞｨﾝｸﾞﾏｼｰﾝ	1	64.4	120	22.5	JVC XA-LW10-B
	324	ｻﾗﾝﾗｯﾌﾟ(7枚)	2				ｻﾗﾝYTAS-22　なし(11/17学校)
	325	ﾋﾟｱﾉｲｽ	1	270	90	50	ﾔﾏﾊ YPC-31
	326	ｸﾛﾏﾁｬﾝ	1				日管　　なし(11/17学校)
	327	ｸﾛﾏﾁｬﾝ	2				ﾔﾏﾊ YHT-201
	521	音楽室用椅子	1	360	390	700	ｱｲｾｲAG703S-ST_SH350
	586	特別教室(音楽室)椅子	39	360	390	700	ｱｲｾｲAG703S-ST_MH350
	666	音楽用黒板(ｷｬｽﾀｰ付・片面五線・裏面無地)	1	1960	550	1800	生興 GG-1890-R 片面五線4段

外部渡り廊下備品リスト　（移動先：外部自転車置場）

工区	階数	棟	部位(箇)	番号	備品名	数量	巾W	奥行D	高さH	廃棄(損傷)	備考
1期	1F	普通教室棟	外部渡り廊下	1	棚	1	1600	550	1800		
				2	ラック	1	900				
				3	棚	2	800	700	1600		
				4	ゴミ箱（木）	1	1500	800	1000		

| | | | | | |

共通１：床仕上材は表面が滑りにくいものとすること。
共通２：戸の前後に高低差を設けないこととする。
共通３：特記なき限り、断熱材は、Ｆ☆☆☆☆・ノンフロンのものとする。
共通４：踏み面等、段差の端部とその周囲の部分との色の明度、色相又は彩度の差が大きいことにより段を容易に識別できるものとする。

棟	部位		既存	改修内容
増築部エレベーター棟				
	屋上　防水		――	保護塗料(遮熱仕様)+ｱｽﾌｧﾙﾄ防水ｼｰﾄ(改質ｱｽ常温複合工法)
		立上り	――	同上
	ﾊﾟﾗﾍﾟｯﾄ	笠木	――	ｱﾙﾐ笠木/EXP-J　ｼﾙﾊﾞｰ　CL=300mm　耐火帯共
	外壁　外壁		――	ALCﾊﾟﾈﾙt100の上、高耐久ｱｸﾘﾙｼﾘｺﾝ樹脂系遮熱塗材 目地：PU-2 10×20 ﾊﾞｯｸｱｯﾌﾟ材
	巾木		――	ｺﾝｸﾘｰﾄ打放し(B種)の上、下地調整材C-2+複層塗材E
	ｴｷｽﾊﾟﾝｼｮﾝｼﾞｮｲﾝﾄ		――	樹脂製ｴｷｽﾊﾟﾝｼｮﾝｶﾊﾞｰ　標準色 CL=250mm　耐火帯共
	樋　竪樋・ﾙｰﾌﾄﾞﾚﾝ		――	ｶﾗｰVPφ100 つかみ金物：SUS 飾り桝：SUSt1.0加工 ﾙｰﾌﾄﾞﾚﾝ：鋳物製φ100 横引き
	建具　ｱﾙﾐ製建具		――	電解着色 ｶﾞﾗｽ:Low-E強化ｶﾞﾗｽt4+空気層t12+強化ｶﾞﾗｽt4 ｼｰﾘﾝｸﾞPS-2 10×10
渡り廊下	屋根		折版　ｶﾗｰｶﾞﾙﾊﾞﾘｳﾑ鋼板 t=0.8	折版@600：H=85 ｶﾗｰｶﾞﾙﾊﾞﾘｳﾑ鋼板 t=0.8
	外壁		波板　ﾎﾟﾘｶｰﾎﾞﾈｰﾄ製H2.0m	角波ｻｲﾃﾞｨﾝｸﾞ@750-H20mm
	柱、梁		波板　ﾎﾟﾘｶｰﾎﾞﾈｰﾄ製H2.0m	錆止め塗装+溶融亜鉛ﾒｯｷHDZ755

棟	階	室名		床 FL	床 下地	床 仕上	床 内容	巾木 仕上	巾木 塗装	巾木 H	巾木 内容	壁 腰壁・柱下部 仕上	壁 腰壁・柱下部 塗装	壁 腰壁・柱下部 内容	壁 腰壁・柱下部 H	壁 上壁・柱上部 仕上	壁 上壁・柱上部 塗装	壁 上壁・柱上部 内容	壁(躯体以外) 下地	壁(躯体以外) 塗装	壁(躯体以外) 内容	天井 下地	天井 仕上	天井 塗装	天井 CH	天井 廻縁	天井 内容	梁型 仕上	梁型 塗装	梁型 内容	備考
増築棟	共通	ｴﾚﾍﾞｰﾀｰﾛﾋﾞｰ		±0	M	長尺塩ﾋﾞｼｰﾄt2.0	【新設】	塩ﾋﾞ	―	60	【新設】	―	―	―	LGS	GB-Rt9.5 +t12.5 (GWt25 24k充填)	EP-G	【新設】	LGS+GB-Ft21+t21 (GWt25 24k充填)	EP-G	【新設】	LGS	GB-Dt9.5	―	2500	塩ﾋﾞ	【新設】				

略号凡例

C　ｺﾝｸﾘｰﾄ下地	M　ﾓﾙﾀﾙ下地	EP　合成樹脂ｴﾏﾙｼｮﾝﾍﾟｲﾝﾄ	GB-R　普通石膏ﾎﾞｰﾄﾞ	GW　ｸﾞﾗｽｳｰﾙ	
LGS　軽量鉄骨下地	OA　OAﾌﾛｱ	EP-G　つやあり合成樹脂ｴﾏﾙｼｮﾝﾍﾟｲﾝﾄ	GB-S　ｼｰｼﾞﾝｸﾞ石膏ﾎﾞｰﾄﾞ		
CB　ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾛｯｸ下地	PT　ﾊﾟｰﾃｨｼｮﾝ	VP　塩化ﾋﾞﾆﾙ樹脂ｴﾅﾒﾙﾍﾟｲﾝﾄ	GB-D　化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞ	VC　ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ	
W　木下地	SPT　ｽｸｰﾙﾊﾟｰﾃｨｼｮﾝ	SOP　合成樹脂調合ﾍﾟｲﾝﾄ	FK　ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板		
GL　GLﾎﾞﾝﾄﾞ		CL　ｸﾘｱﾗｯｶｰ塗装	FK-D　化粧ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板		
SL　ｾﾙﾌﾚﾍﾞﾘﾝｸﾞ下地 t10		OP　油性調合ﾍﾟｲﾝﾄ	DR　岩綿吸音板		

記号凡例

★	ｱｽﾍﾞｽﾄ含有材を示す。
【　】	改修内容を示す。
A	壁・天井　不燃
B	壁・天井　準不燃
C	壁・天井　難燃

防火認定材料表

略語	材料名	厚	認定番号	略語	材料名	厚	認定番号
GB-R	普通石膏ﾎﾞｰﾄﾞ	9.5	QM-9828	FK-D	化粧ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板	6.0	NM-5037
GB-R	普通石膏ﾎﾞｰﾄﾞ	12.5	NM-8619	EP	合成樹脂ｴﾏﾙｼｮﾝﾍﾟｲﾝﾄ		NM-8585
GB-S	ｼｰｼﾞﾝｸﾞ普通石膏ﾎﾞｰﾄﾞ	9.5 12.5	QM-9826	EP-G	合成樹脂ｴﾏﾙｼｮﾝﾍﾟｲﾝﾄ		NM-8585
GB-D	化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞ	9.5	NM-0524		ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ		NM-0532
GB-F	普通硬質石膏ﾎﾞｰﾄﾞ	12.5	NM-8615	GW	ｸﾞﾗｽｳｰﾙ		(告)第1400号
GB-P	化粧石膏吸音ﾎﾞｰﾄﾞ	9.5	QM-9822				

特記事項

・天井LGS下地：ｽﾗﾌﾞｲﾝｻｰﾄ共新設とする。
・室名ｻｲﾝ(各室1カ所)：既存ｱｸﾘﾙ板撤去の上、
　集成材ｻｲﾝ(塩ﾋﾞ切り文字、背面ﾏｸﾞﾈｯﾄ埋込)【新設】
・教室と廊下間の間仕切壁は、防火上主要な
　間仕切壁(GB-Ft12.5+t12.5 両面貼)とする。
　(令114条2項)

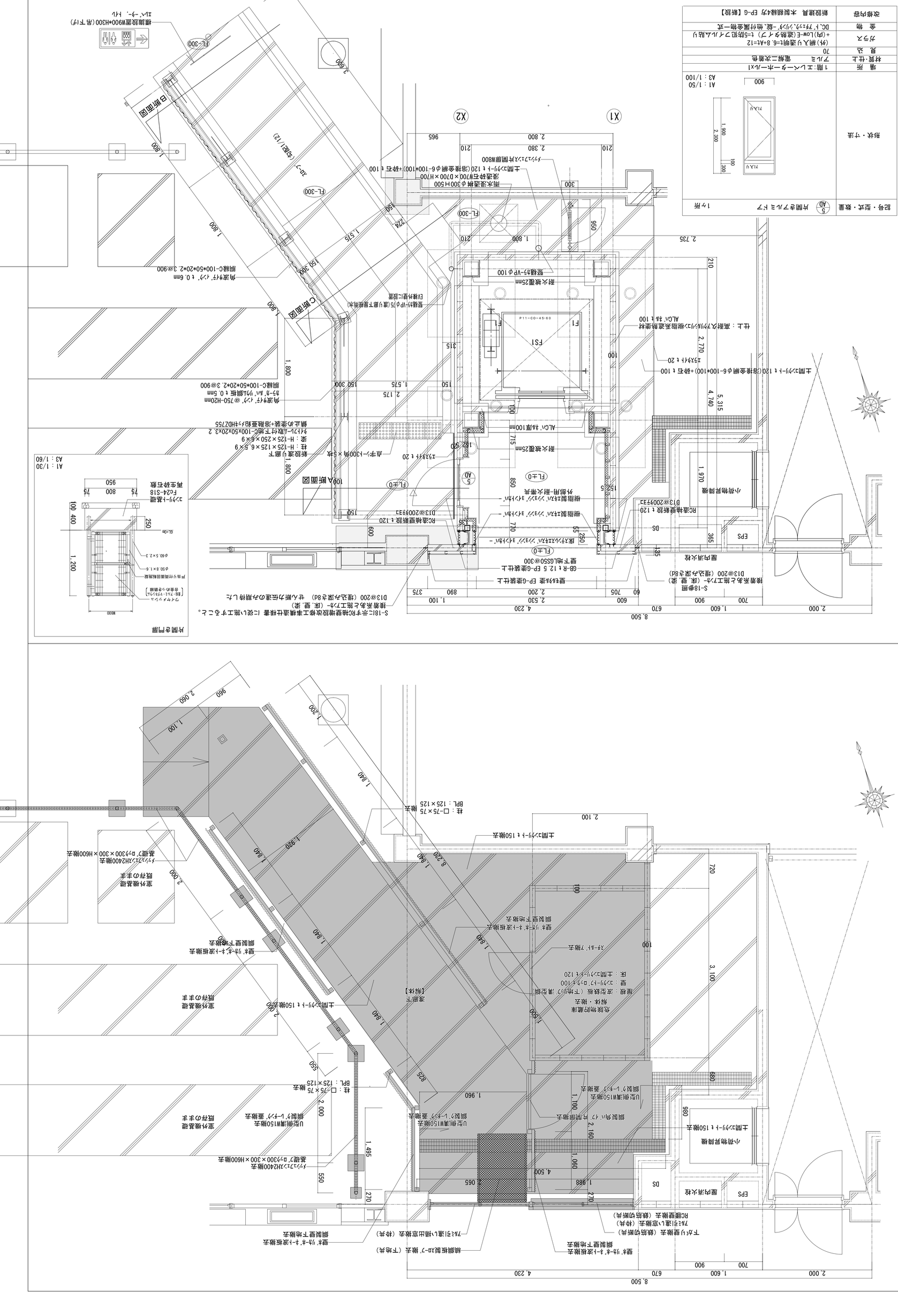
		設計番号	工事名称	縮尺	図面名称	図番
		年 月 日 令和8年1月	新座市立東北小学校校舎長寿命化改修工事	A1:NS A3:NS	エレベーター棟　仕上表	A-201
						承認 / 製図

新座市立東北小学校校舎長寿命化改修工事

エレベーター棟　1階平面詳細図

縮尺	A1:1/30 A3:1/60
図面名称	
図番	A-202
図種	
工事名称	
設計番号	
年月日	令和8年1月

記号・型式・数量	5 AD	片開きアルミドア	1ヶ所
形状・寸法			
場所	1階：エレベーターホール×1		
材質・仕上	アルミ	電解二次着色	
見込	70		
ガラス	(外)網入り透明t=6. 8+AL=12 +(内)LOW-E(遮熱タイプ) t=5防犯フィルム貼り		
金物	DC. ﾄﾞｱﾁｪｯｸ. ｼﾘﾝﾀﾞｰ錠. 他付属金物一式		
改修内容	新設建具　木製額縁4方 EP-G【新設】		


X1
X2
A断面図
B断面図
C断面図
100A断面図
片開き門扉
A1：1/30
A3：1/60
FL±0
FL-300
AD
EPS
DS
屋内消火栓
小荷物昇降機
土間コンクリート t150 撤去
土間コンクリート t120 (溶接金網 φ6-100*100)+砕石 t100
防湿ｼｰﾄ t20
押えｺﾝｸﾘｰﾄ t70
仕上：高耐久ｳﾚﾀﾝｳｨﾝﾄﾞｳ樹脂系塗装材
ALCﾊﾟﾈﾙ t100
耐火被覆25mm
壁ﾗｽﾓﾙﾀﾙ-VP φ100
ALCﾊﾟﾈﾙ厚100mm
RC造補壁新設 t120
D13@200ﾀﾃﾗﾝﾅｰ
横筋製ﾈｺﾗﾝﾃﾝｽｸﾘｰﾝ -
外部用-耐火ｻｯｼ
壁ﾀｲﾙ張 EP-G塗装仕上
壁下地LGS50@300
接着系あと施工ｱﾝｶｰ (床, 壁, 梁)
S-18参照
D13@200 (埋込み深さ8d)
屋内消火栓
点字ﾌﾟﾚｰﾄ300角×5枚
新設庇 U断下
柱：H-125×125×6.5×9
梁：H-125×250×6×9
ｽﾀﾗｯﾌﾟ-A取付下地C-100X50X20X3.2
鋼製ﾌﾗｯﾄﾊﾞｰ 塗装+落下防止金具ｽﾀﾝﾄﾞH0.7ﾐﾘ
外装ﾀｲﾙ t10 ﾓﾙﾀﾙ貼り
ﾎﾙﾀﾞｰ ﾊﾟﾈﾙ鋼板 t0.5mm
鋼製C-100*50*20*2.3@900
ｽﾛｰﾌﾟ (勾配1/12)
ﾌﾗｯﾄﾊﾞｰ
ｽﾃﾝﾚｽ片開扉W800
土間ｺﾝｸﾘｰﾄ t120 (溶接金網 φ6-100*100)+砕石 t100
浸透防水張 H500
再水浸透溝 φ300 H500
ﾌﾟﾗﾝﾀｰ
ﾌﾗｯﾄﾊﾞｰ

新座市立東北小学校校舎長寿命化改修工事

エレベーター棟　２～４階平面詳細図

縮尺　A1:1/30　A3:1/60

図面名称

図番　A-203

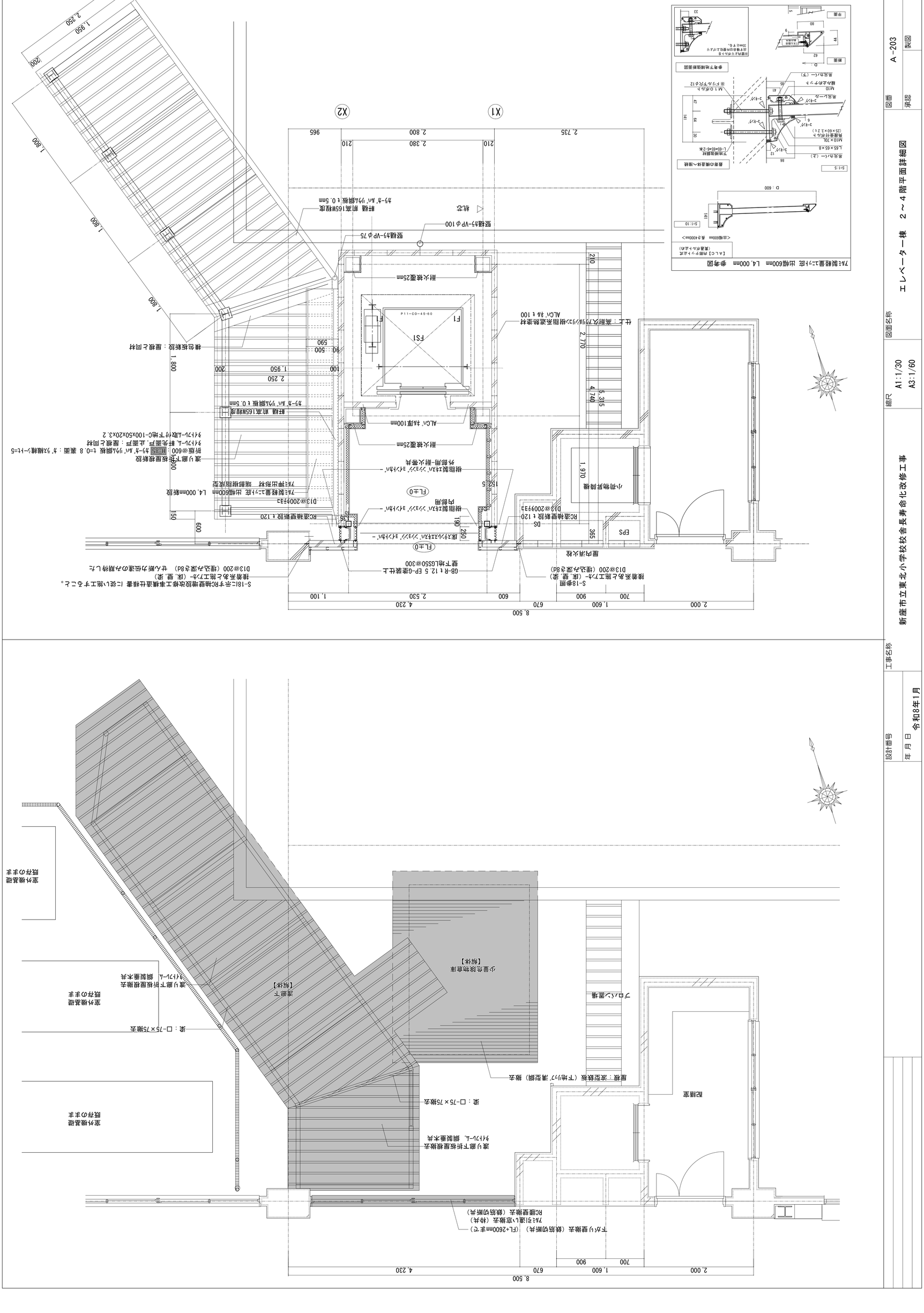
序図

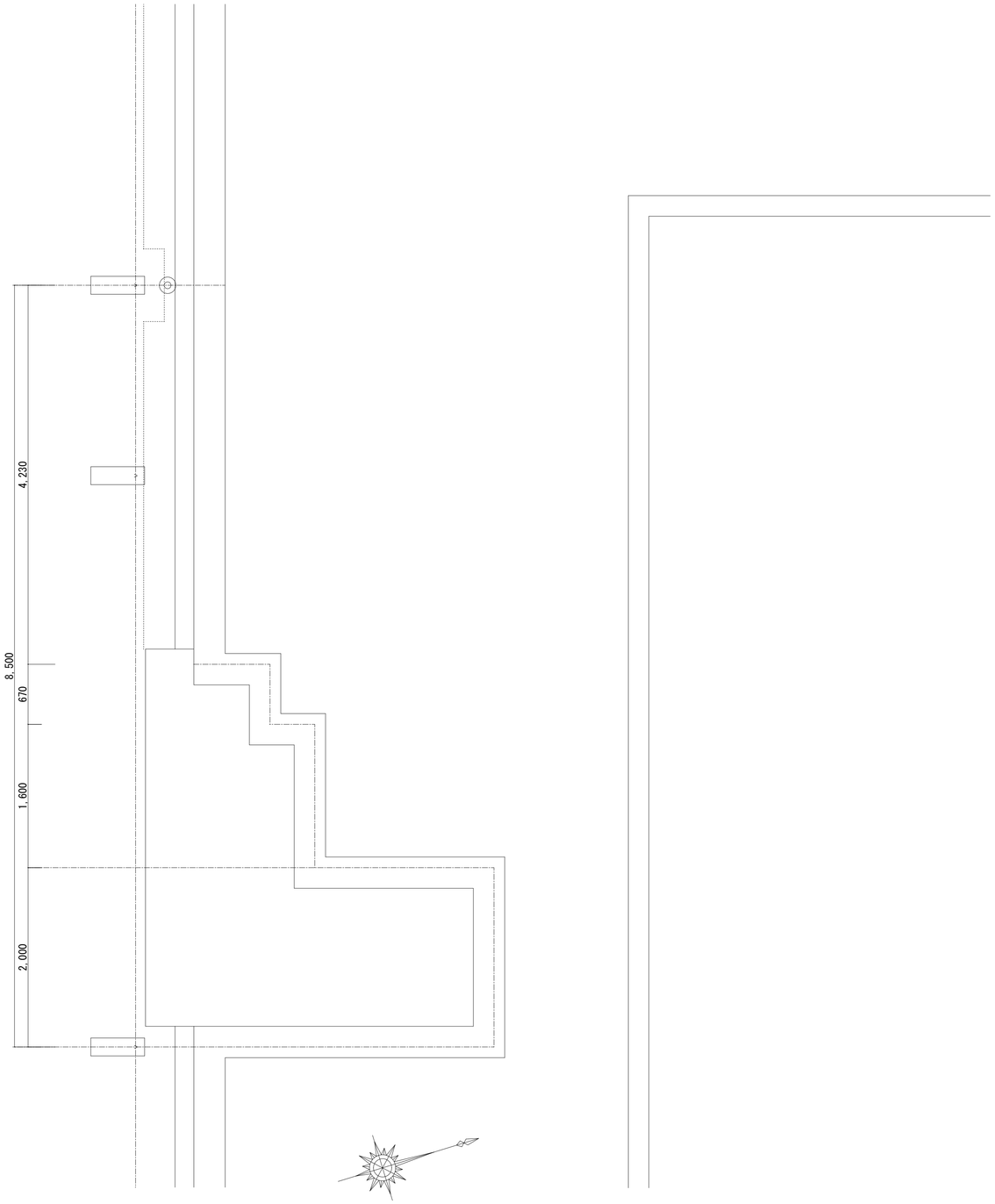
製図

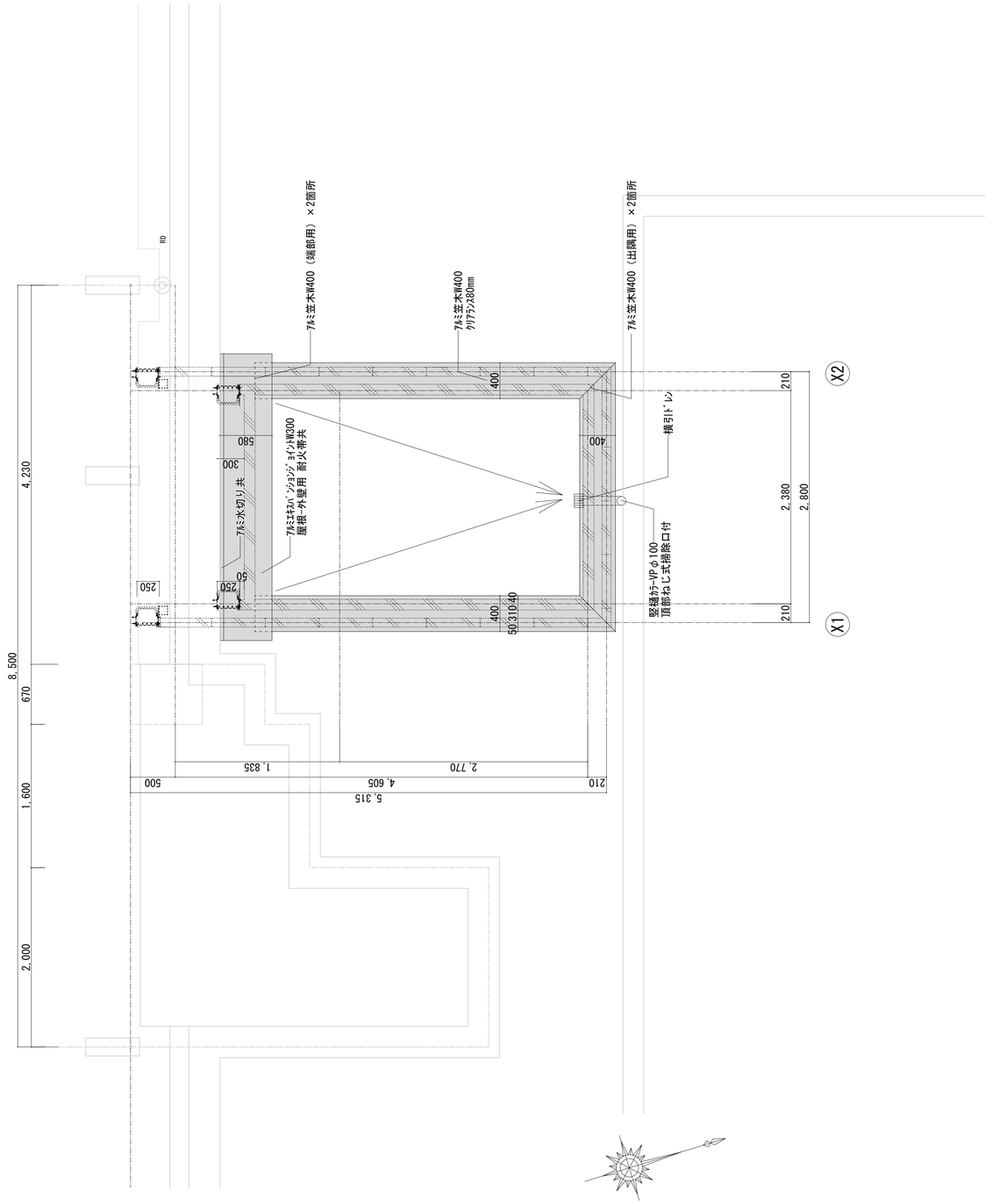
年月日　令和8年1月

設計番号

工事名称

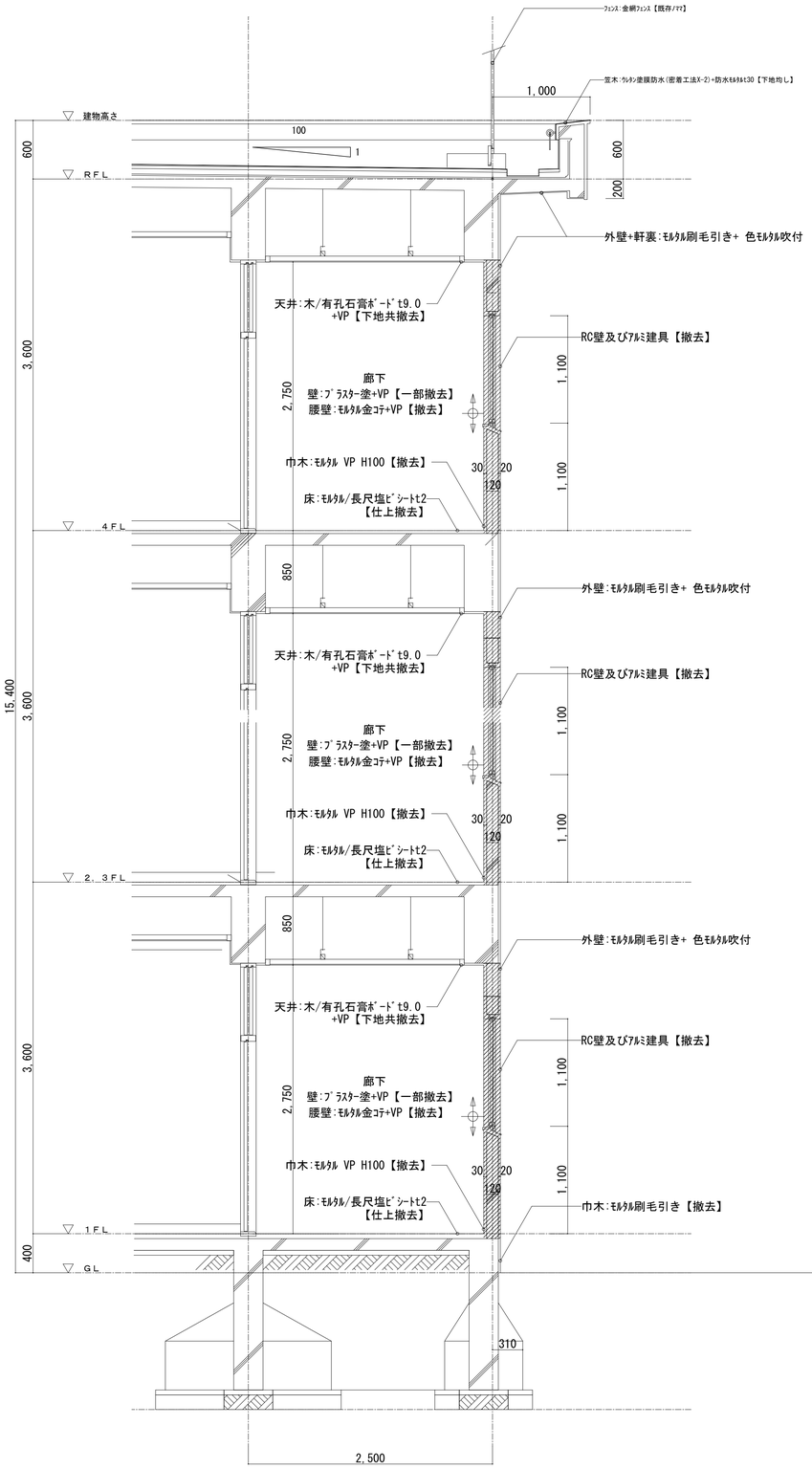




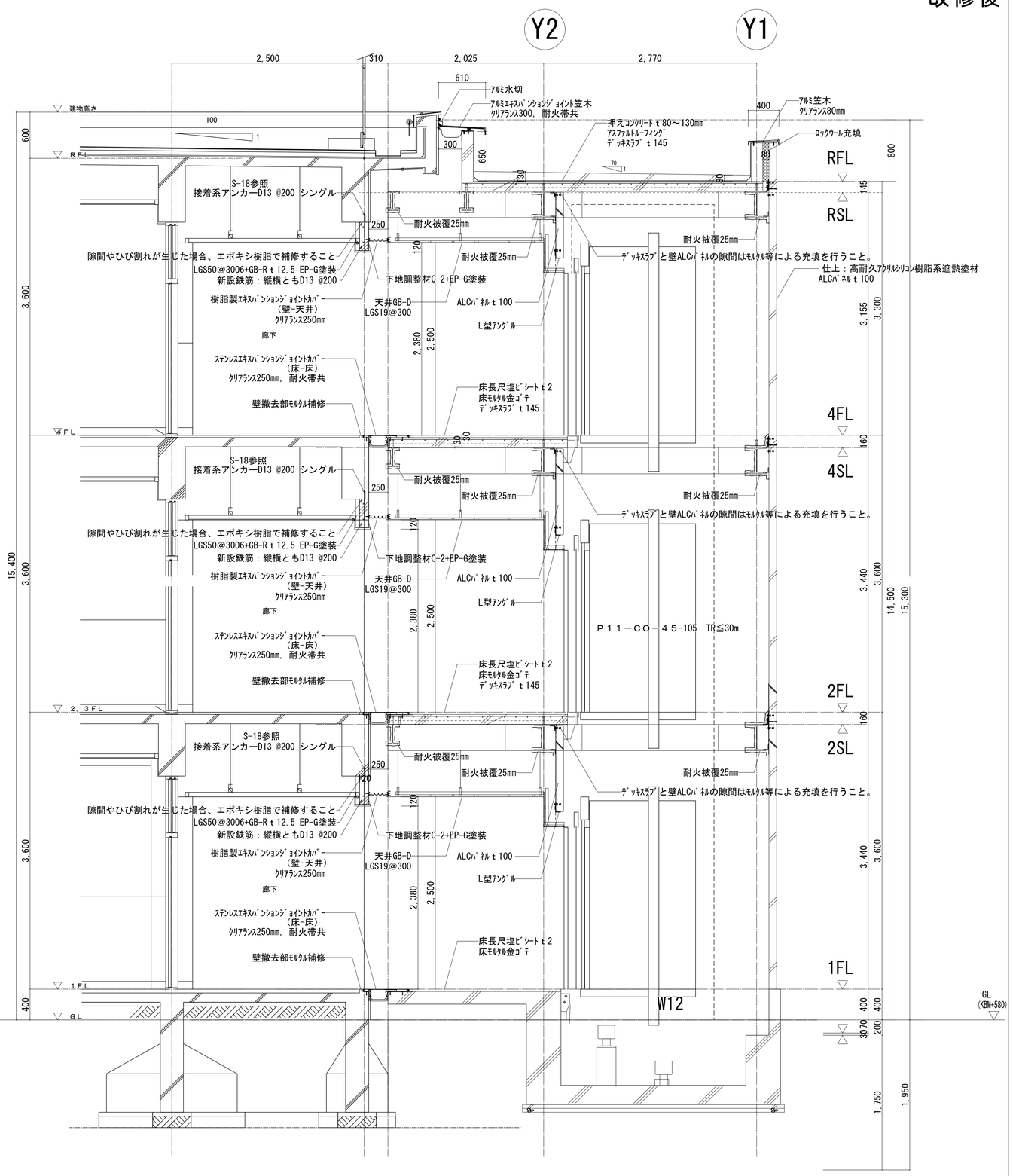


		設計番号	工事名称	縮尺	図面名称	図番	A-204
		年 月 日 令和8年1月	新座市立東北小学校校舎長寿命化改修工事	A1:1/30 A3:1/60	エレベーター棟　R階平面詳細図	承認	製図

既存

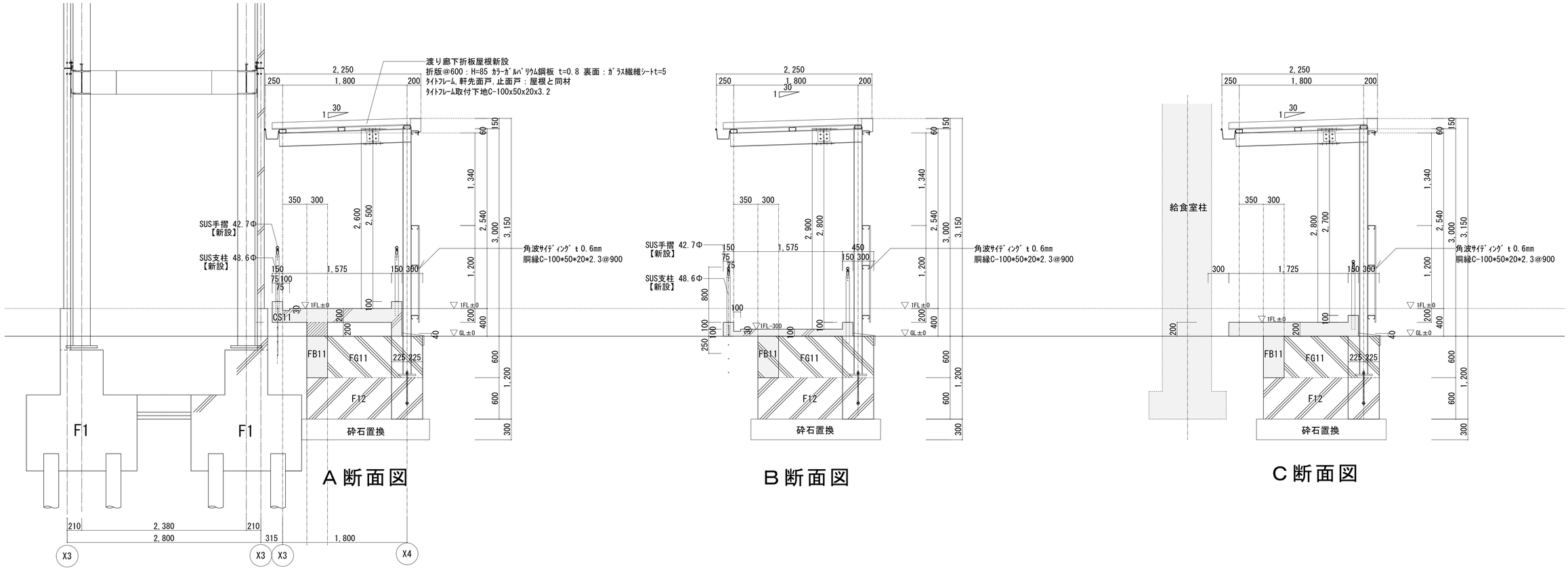


改修後



	設計番号	工事名称	縮尺	図面名称	図番 A-205
	年 月 日 令和8年1月	新座市立東北小学校校舎長寿命化改修工事	A1:1/30 A3:1/60	エレベーター棟　矩計図　既存・改修	承認 / 製図

渡り廊下　断面図

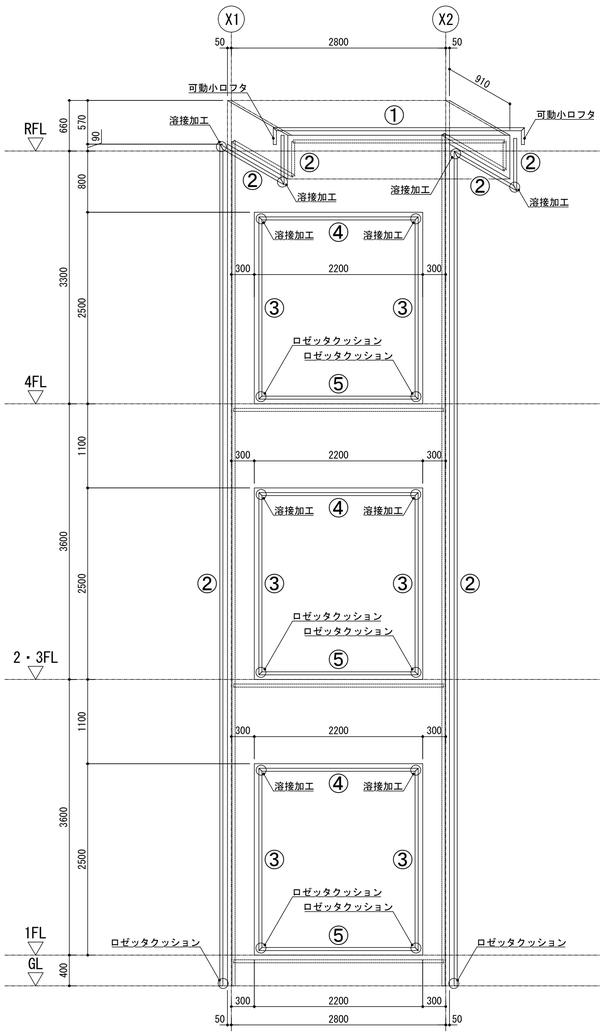


		設計番号	工事名称	縮尺	図面名称	図番 A-206
		年 月 日 令和8年1月	新座市立東北小学校校舎長寿命化改修工事	A1:1/30 A3:1/60	渡り廊下　断面図	承認 / 製図

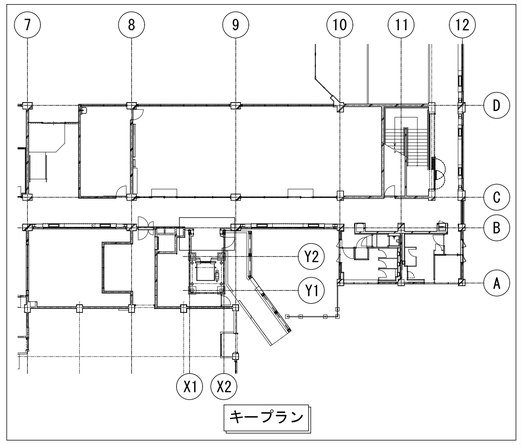
EXP.Jルート図　S=1:40

【耐震EXP.J. C特記仕様書】
部位別要求性能

共　通	● 一般社団法人 日本免震構造協会（ＪＳＳＩ）「免震エキスパンションジョイントガイドライン」の性能指標Ａ種に準じ、振動台実験により損傷しないことを確認したA種相当製品とする。
Eシーリズ（アーキウェイブ）	● 2.4mm以上の厚みを有すること。 ● 樹脂製Exp.J.C.として15年以上の施工実績のある商品とすること。 ● 促進耐候性試験、温冷繰返し試験、塩水噴霧複合サイクル試験の耐候性試験を実施している製品とする。 ● 意匠性・漏水危険性・施工安定性・気密性を考慮し、樹脂本体は最小20mを1本物とし、直線部の樹脂同士のジョイント部は極力少なくする。 ● ジョイント部、端部フサギ材の締結は、強固なビスもしくはピン挿入式とし、外側嵌合式は不可とする。
Hシーリズ（アーキウェイブ）	● 屋根Exp.J.C.は動風圧試験装置による加圧試験で4000Paにおいて脱落がないことを確認した製品とする。 ● 屋根Exp.J.C.の端部可動フタはアングルアクシス機構とし、Y方向の可動量にも追従できる仕様とする。 ● 水平面の耐火帯はスライド機構を設けてY方向の可動量にも追従できる仕様とする。 ● 耐火帯は日本エキスパンションジョイント工業会の適合証を取得した耐火帯とする。
耐火帯	● 可動性能を確認した製品とする。

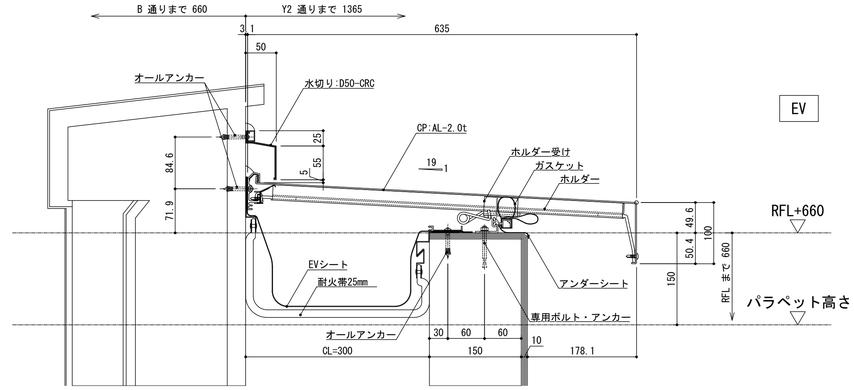


＝＝＝＝＝：耐火帯



① 屋根ー外壁（アルミ材）耐火仕様　H635-APW　S=1:5

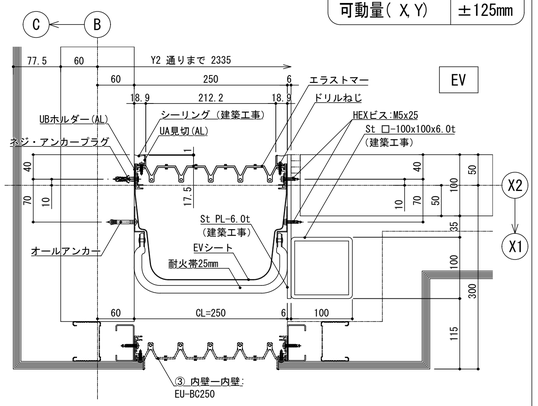
クリアランス	300mm
可動量(X Y)	±150mm



② 外壁コーナー（熱可塑性エラストマー製）　EU-250　S=1:5

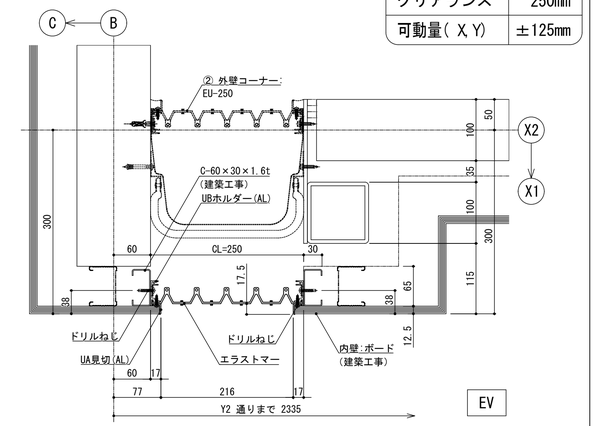
耐火仕様

クリアランス	250mm
可動量(X Y)	±125mm



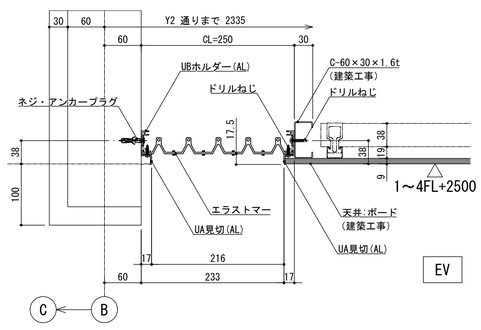
③ 内壁ー内壁（熱可塑性エラストマー製）　EU-BC250　S=1:5

クリアランス	250mm
可動量(X Y)	±125mm



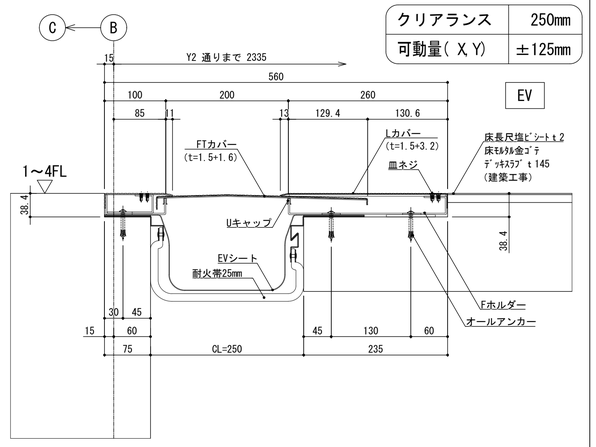
④ 天井コーナー（熱可塑性エラストマー製）　EU-BC250C　S=1:5

クリアランス	250mm
可動量(X Y)	±125mm



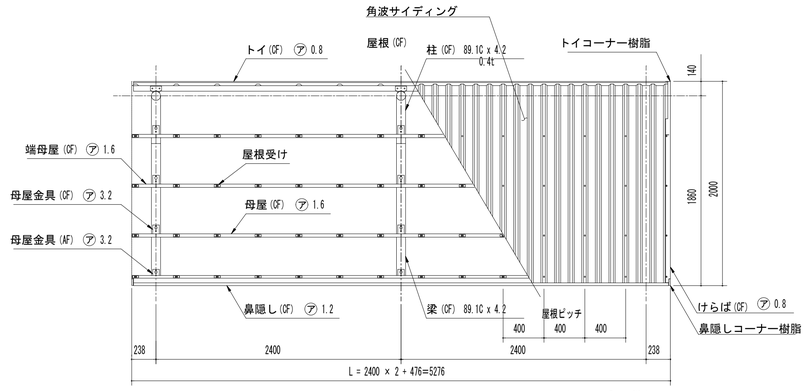
⑤ 床ー床（SUS材）耐火仕様　H25-SFX-BT　S=1:5

クリアランス	250mm
可動量(X Y)	±125mm



		設計番号		工事名称	新座市立東北小学校校舎長寿命化改修工事	縮尺	A1:1/10 A3:1/20
		年 月 日	令和8年1月	図面名称	エキスパンションジョイント詳細図	図番	A-207
						承認	製図

駐輪場３



小 屋 伏 図 (S= 1/40) (N: スパン数)

構造耐力上主要な部分の部材

部材表	形状	板厚	使用材料	有効細長比
柱	丸パイプ 89.1C	4.2mm	JIS G3444 一般構造用炭素鋼管 STK400	146.8
梁	丸パイプ 89.1C	4.2mm	JIS G3444 一般構造用炭素鋼管 STK400	-
母屋	C — 65 x 33	1.6mm	JIS G3312 塗装溶融亜鉛めっき鋼板 CGCC	-

構造耐力上主要な部分以外の部材

部材表	形状	板厚	使用材料
鼻隠し	— 75 x 100	1.2mm	JIS G3322 塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 CGLCC
トイ	— 80 x 95	0.8mm	JIS G3322 塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 CGLCC
けらば	— 75 x 46	0.8mm	JIS G3322 塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 CGLCC
屋根	角波サイディング 山高16mm	0.4mm	JIS G3322 塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 CGLCC
竪トイ	42C	-	< AAS樹脂 >
建築面積 4.86 ㎡/棟			(間口柱芯寸法) × (奥行屋根投影寸法)

連 棟 寸 法 表 (m/m) Y0CF-240

スパン数	柱間間口寸法	屋根間口寸法
1	2400	2876
2	4800	5276
3	7200	7676
4	9600	10076
5	12000	12476
6	14400	14876
7	16800	17276
8	19200	19676
9	21600	22076
10	24000	24476
N	2400 x N	(2400 x N) + 476

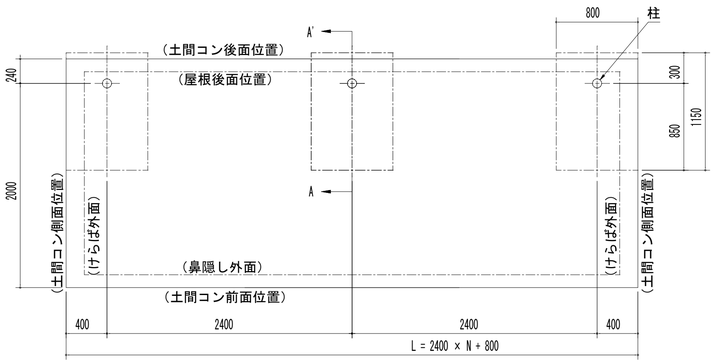
N : スパン数

基礎断面図 (S = 1/25)

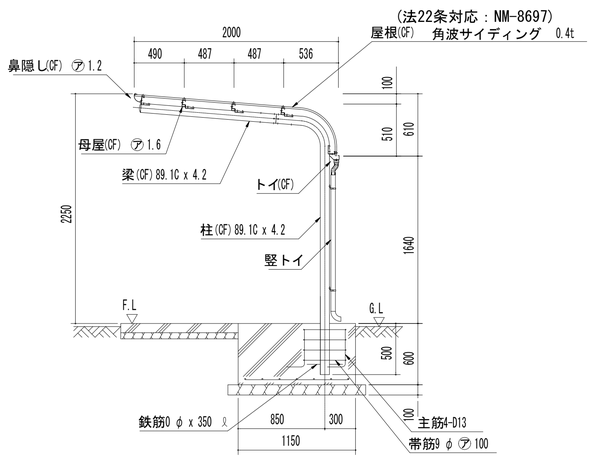
<下記条件での参考図>

地耐力 50 kN/m² 以上, コンクリート設計基準強度 18以上N/mm²
基準風速 34 m/s , 地表面粗度区分 Ⅲ

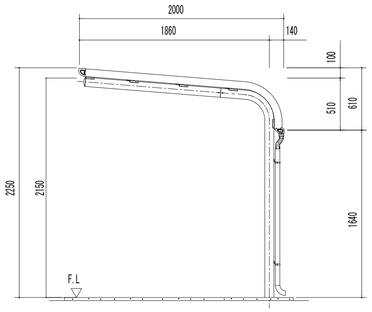
注１） 寒冷地の場合、凍結深度等を考慮し、実情にあわせて設計して下さい。
注２） その他現地の実情にあわせて設計して下さい。
注３） 異形鉄筋の場合、原則としてフックは不要ですが、地域によっては、フックをつける様指導している所もありますので、ご注意願います。



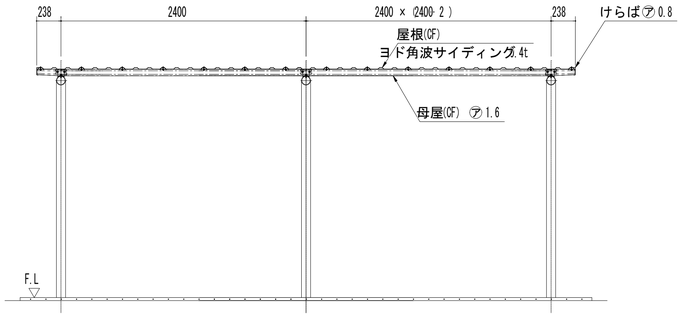
= 1/40 基 礎 平 面 図 縮尺
(N スパン数)



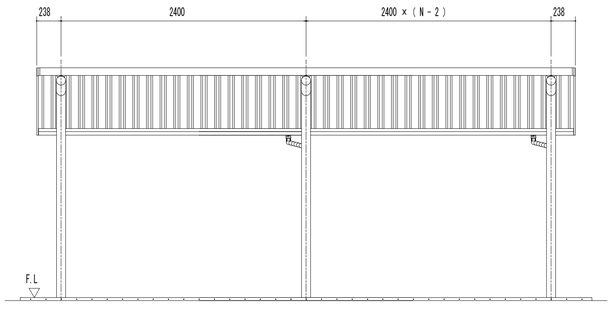
側 面 断 面 図(S= 1/40)



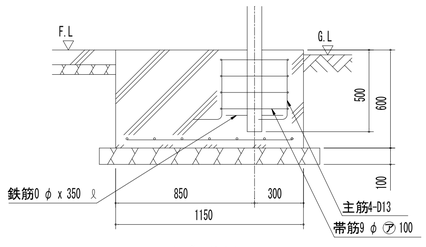
側 面 立 面 図 (S= 1/40)



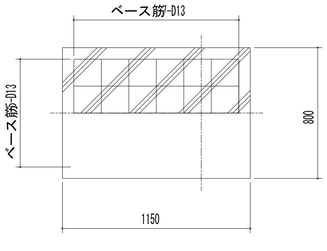
正 面 断 面 図(S= 1/40)
(N: スパン数)



正 面 立 面 図 (S= 1/40)
(N: スパン数)

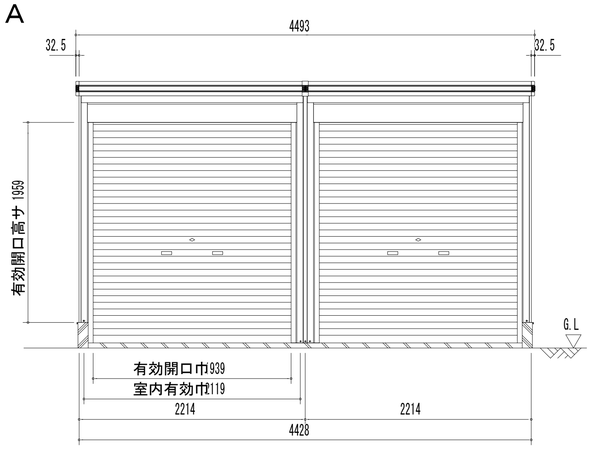


A ~ A'断 面

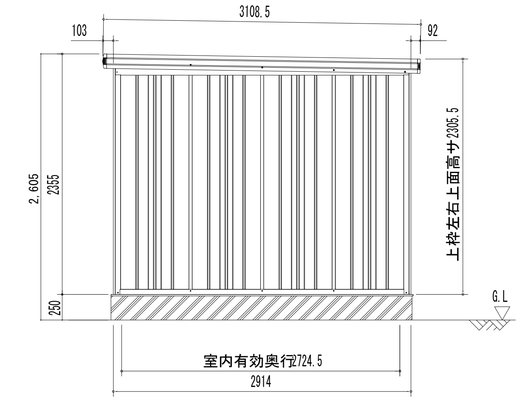


		設計番号	工事名称	縮尺	図面名称	図番	A-208
		年 月 日 令和8年1月	新座市立東北小学校校舎長寿命化改修工事	A1:1/30 A3:1/60	駐輪場詳細図	承認	製図

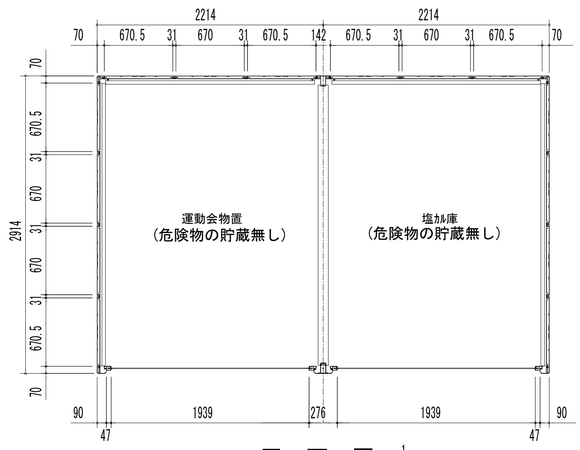
倉庫Ａ



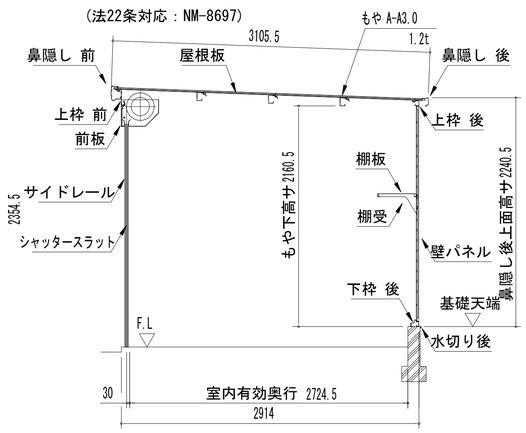
正 面 立 面 図 S = 1/30)



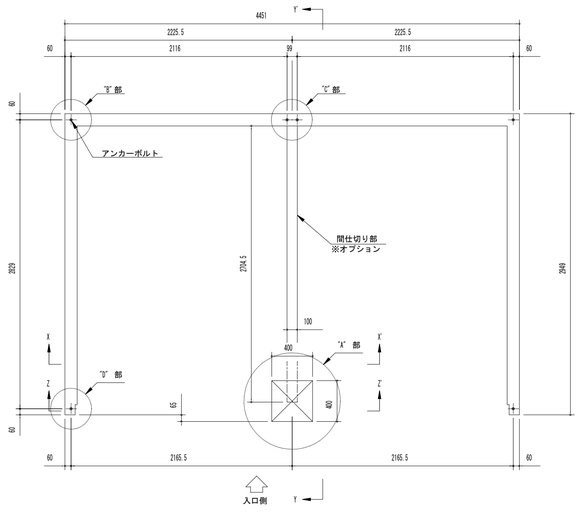
側 面 立 面 図 S = 1/30)



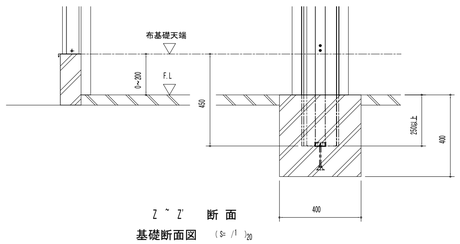
平 面 図(S = 1/ 30)



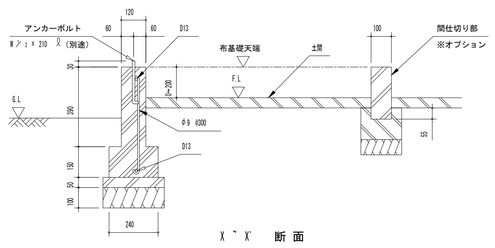
一般型矩計図(S = 1/ 30)



基 礎 伏 図 (S= 1/ 30)



Z ~ Z' 断 面
基礎断面図 (S= 1/ 20



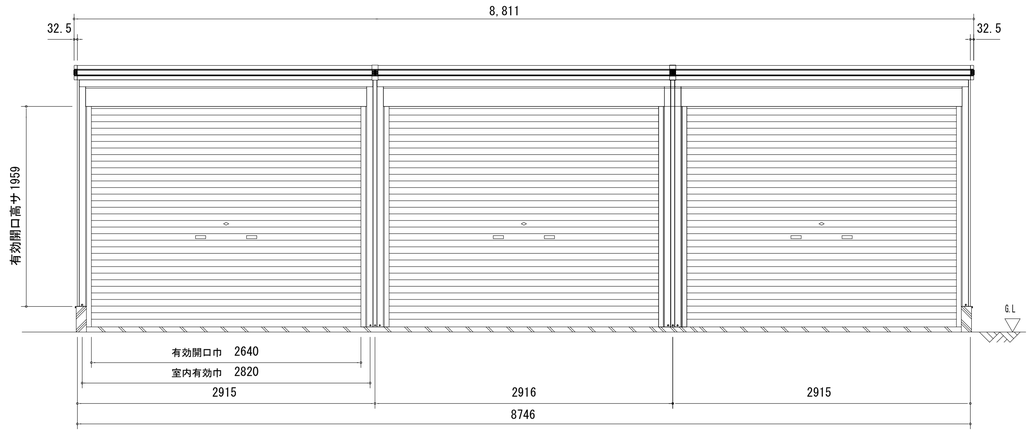
X ~ X' 断 面
基礎断面図 (S= 1/ 20

部　材　名	厚さ（㎜/m ）	材　　質
屋 根 板	0.4	JIS G3322 塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 C&LCC
<一般型> もや A-A3.0	1.2	JIS G3312 塗装溶融亜鉛めっき鋼板 CGCC
~~<豪雪型> もや D-A3.0U~~	~~2.3~~	~~JIS G3312 塗装溶融亜鉛めっき鋼板 CGCC~~
~~<豪雪型> もや E-A3.0UH~~	~~1.6~~	~~JIS G3312 塗装溶融亜鉛めっき鋼板 CGCC~~
下枠側・後	1.0	JIS G3322 塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 C&LCC
上 枠 前（後）	1.0 （0.8 ）	JIS G3322 塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 C&LCC
~~上枠前補強（豪雪型のみ）~~	~~1.2~~	~~JIS G3322 塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 C&LCC~~
上 枠 左，右	0.8	JIS G3322 塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 C&LCC（ツートンカラー）
<一般型> 上枠中	1.2	JIS G3322 塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 C&LCC
~~<豪雪型> 上枠中 U~~	~~1.6~~	~~JIS G3312 塗装溶融亜鉛めっき鋼板 CGCC~~
鼻 隠 し 前	0.5	JIS G3322 塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 C&LCC（ツートンカラー）
鼻 隠 し 後	0.5	JIS G3322 塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 C&LCC
前 板	0.5	JIS G3322 塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 C&LCC
柱	0.8	JIS G3322 塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 C&LCC
中 柱	0.8	JIS G3322 塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 C&LCC（構造接着）
	1.2	JIS G3322 塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 C&LCC
シャッタースラット	0.5	JIS G3322 塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 C&LCC
シャッター水切り	-	アルミニウム合金押出形材
壁 パ ネ ル	0.5	JIS G3322 塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 C&LCC
間 柱 後	1.0	JIS G3322 塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 C&LCC
<一般型> 間 柱 側	1.0	JIS G3322 塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 C&LCC
~~<豪雪型> 間 柱 側~~	~~1.6~~	~~JIS G3312 塗装溶融亜鉛めっき鋼板 CGCC~~

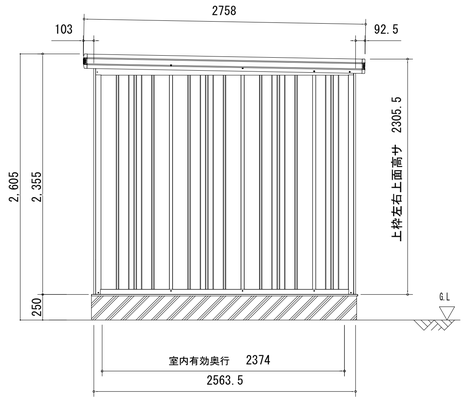
部　材　名	サイズ（巾×高サ）
壁パネル　H-A	670 × 2110

	設計番号	工事名称	縮尺	図面名称	図番 A-209
	年 月 日 令和8年1月	新座市立東北小学校校舎長寿命化改修工事	A1:1/30 A3:1/60	倉 庫 Ａ 詳 細 図	承認 / 製図

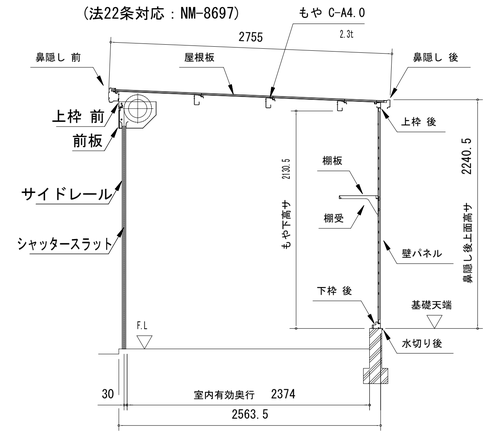
倉庫Ｂ （ 倉庫 ＋ 給食室専用倉庫 ＋ PTA資源回収倉庫 ）



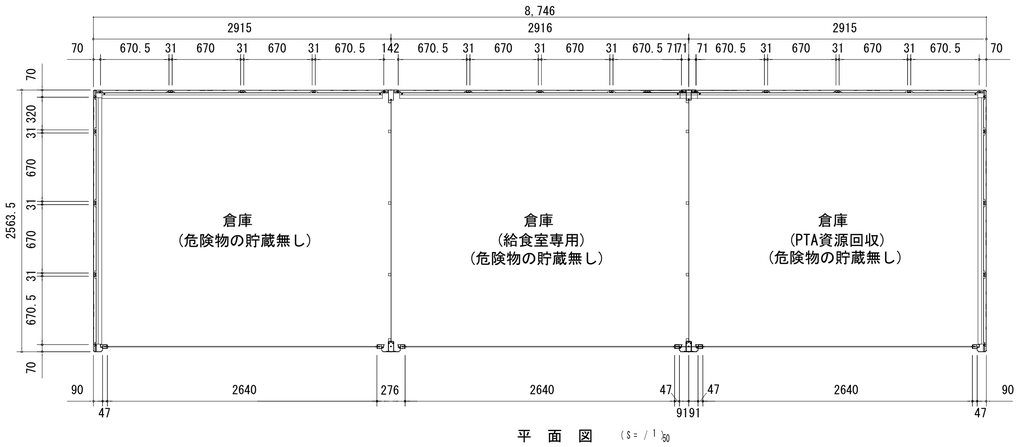
正 面 立 面 図 （S＝1/50）



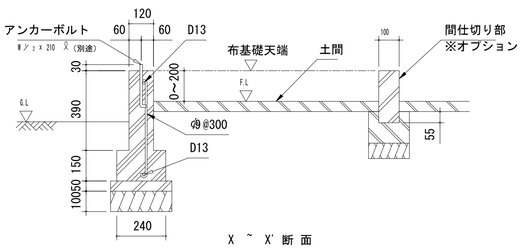
側 面 立 面 図 （S＝1/50）



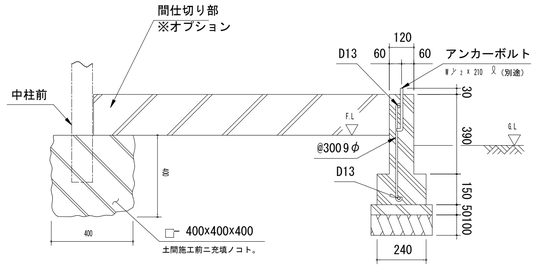
一般型矩計図 （S＝1/50）



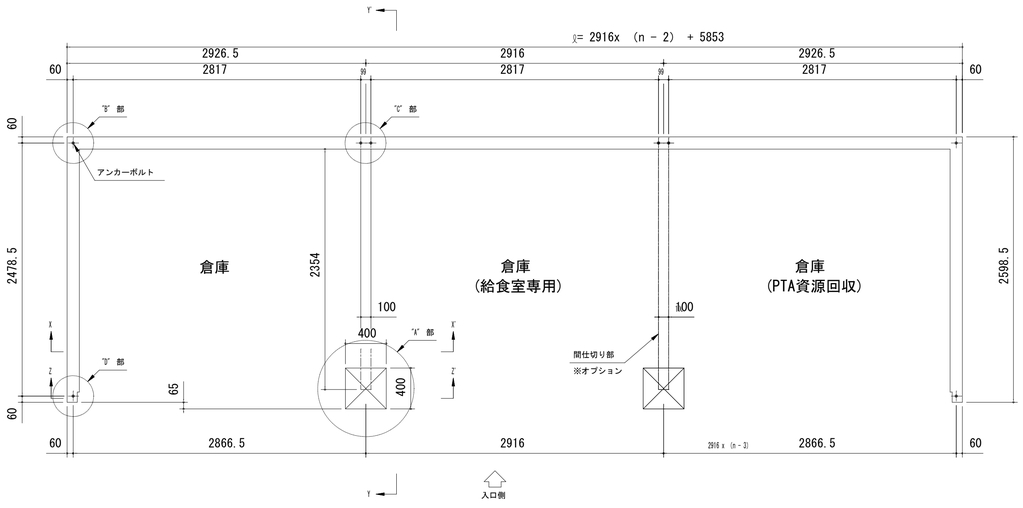
平 面 図 （S＝1/50）



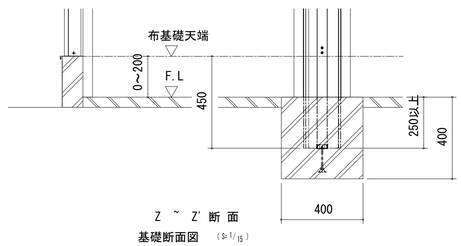
X ~ X' 断 面
基礎断面図 （S=1/15）



Y ~ Y' 断 面
基礎断面図 （S=1/15）



基 礎 伏 図 （S=1/40）



Z ~ Z' 断 面
基礎断面図 （S=1/15）

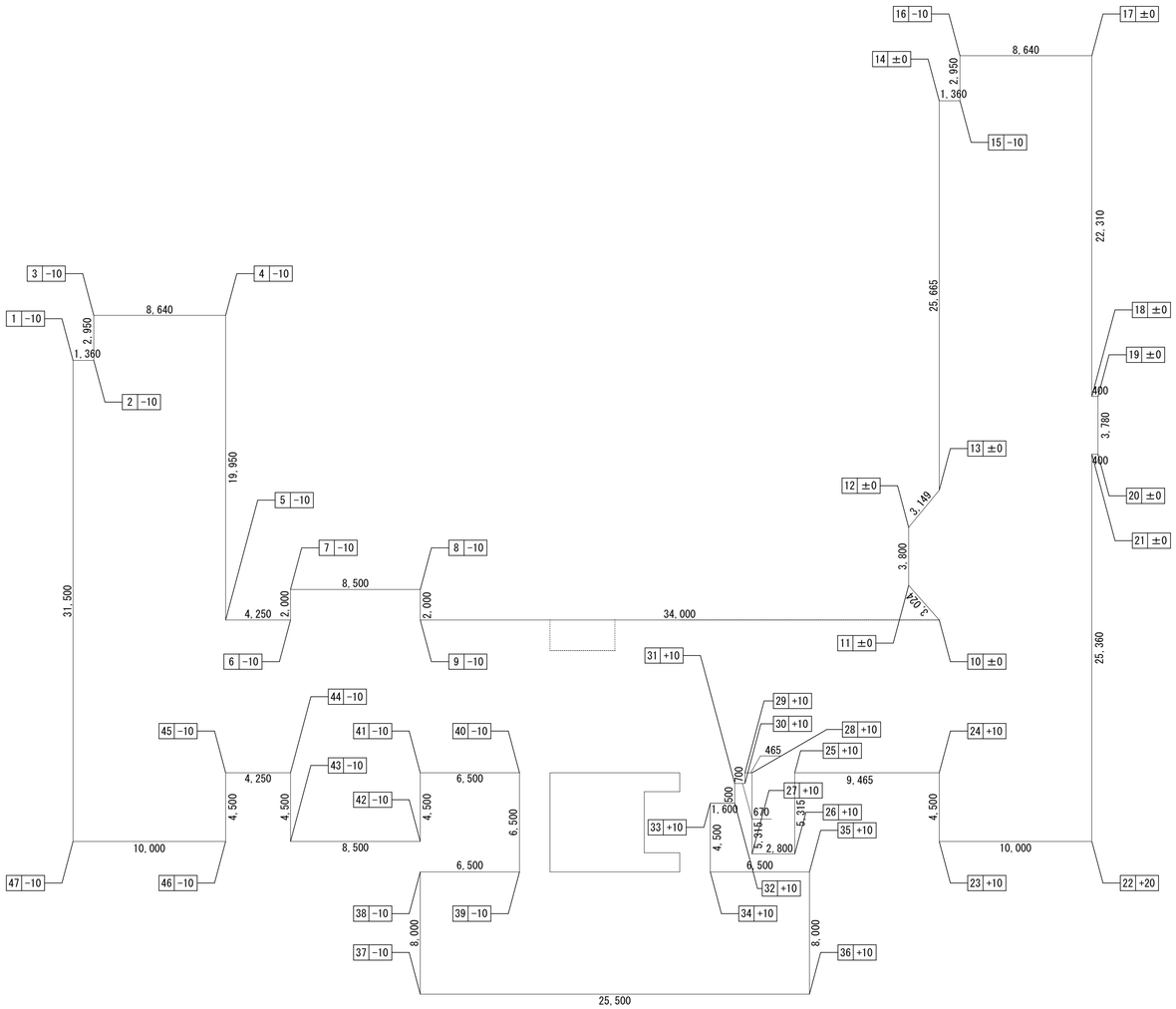
部 材 名	厚さ(mm)	材 質	
屋 根 板	0.4	JIS G3322 塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 Q0L0C	
<一般型> もや C-A4.0	2.3	JIS G3312 塗装溶融亜鉛めっき鋼板 CGCC	
<積雪型> もや D-A4.0S	2.3	JIS G3312 塗装溶融亜鉛めっき鋼板 CGCC	
<積雪型> もや G-A4.0SW	2.3	JIS G3312 塗装溶融亜鉛めっき鋼板 CGCC	
下枠側・後	1.0	JIS G3322 塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 Q0L0C	
上 枠 前 (後)	1.0 (0.8)	JIS G3322 塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 Q0L0C	
上枠前補強 (豪雪型のみ)	1.2	JIS G3322 塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 Q0L0C	
上 枠 左、右	0.8	JIS G3322 塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 Q0L0C (ソートンカラー)	
<一般型> 上枠中	1.2	JIS G3322 塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 Q0L0C	
<積雪型> 上枠中 S	1.6	JIS G3312 塗装溶融亜鉛めっき鋼板 CGCC	
鼻 隠 し 前	0.5	JIS G3322 塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 Q0L0C (ソートンカラー)	
鼻 隠 し 後	0.5	JIS G3322 塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 Q0L0C	
前 板	0.5	JIS G3322 塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 Q0L0C	
柱	0.8	JIS G3322 塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 Q0L0C	
中 柱	0.8	JIS G3322 塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 Q0L0C	構造接着
	1.2	JIS G3322 塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 Q0L0C	
シャッタースラット	0.5	JIS G3322 塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 Q0L0C	
シャッター水切り	-	アルミニウム合金押出形材	
壁 パ ネ ル	0.5	JIS G3322 塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 Q0L0C	
間 柱 後・側	1.0	JIS G3322 塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 Q0L0C	

部 材 名	サイズ (巾×高サ)
壁パネル H-A	670 × 2110
壁パネル H-F	319.5 × 2110

		設計番号	工事名称	縮尺	図面名称
		年 月 日 令和8年1月	新座市立東北小学校校舎長寿命化改修工事	A1:1/30 A3:1/60	倉庫Ｂ詳細図

図番	A-210	
承認		製図

東北小

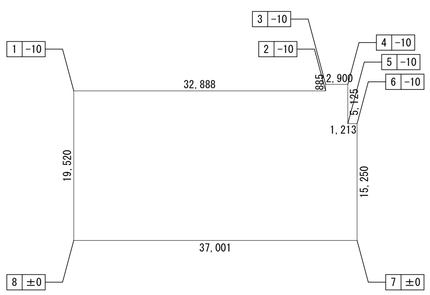


【 既存建物-1　校舎　平均地盤面算定図 S=1/200 】

【既存建物-1】　校舎

記号	設計GLからの差	支点間距離	面積
1 － 2	(-10 ＋ -10) ×	1,360 ÷ 2	= -13,600
2 － 3	(-10 ＋ -10) ×	2,950 ÷ 2	= -29,500
3 － 4	(-10 ＋ -10) ×	8,640 ÷ 2	= -86,400
4 － 5	(-10 ＋ -10) ×	19,950 ÷ 2	= -199,500
5 － 6	(-10 ＋ -10) ×	4,250 ÷ 2	= -42,500
6 － 7	(-10 ＋ -10) ×	2,000 ÷ 2	= -20,000
7 － 8	(-10 ＋ -10) ×	8,500 ÷ 2	= -85,000
8 － 9	(-10 ＋ -10) ×	2,000 ÷ 2	= -20,000
9 － 10	(-10 ＋ 0) ×	34,000 ÷ 2	= -170,000
10 － 11	(0 ＋ 0) ×	3,024 ÷ 2	= 0
11 － 12	(0 ＋ 0) ×	3,800 ÷ 2	= 0
12 － 13	(0 ＋ 0) ×	3,149 ÷ 2	= 0
13 － 14	(0 ＋ 0) ×	25,665 ÷ 2	= 0
14 － 15	(0 ＋ 0) ×	1,360 ÷ 2	= 0
15 － 16	(0 ＋ 0) ×	2,950 ÷ 2	= 0
16 － 17	(0 ＋ 0) ×	8,640 ÷ 2	= 0
17 － 18	(0 ＋ 0) ×	22,310 ÷ 2	= 0
18 － 19	(0 ＋ 0) ×	400 ÷ 2	= 0
19 － 20	(0 ＋ 0) ×	3,780 ÷ 2	= 0
20 － 21	(0 ＋ 0) ×	400 ÷ 2	= 0
21 － 22	(0 ＋ 20) ×	25,360 ÷ 2	= 253,600
22 － 23	(20 ＋ 10) ×	10,000 ÷ 2	= 150,000
23 － 24	(10 ＋ 10) ×	4,500 ÷ 2	= 45,000
24 － 25	(10 ＋ 10) ×	9,465 ÷ 2	= 94,650
25 － 26	(10 ＋ 10) ×	5,315 ÷ 2	= 53,150
26 － 27	(10 ＋ 10) ×	2,800 ÷ 2	= 28,000
27 － 28	(10 ＋ 10) ×	5,315 ÷ 2	= 53,150
28 － 29	(10 ＋ 10) ×	465 ÷ 2	= 4,650
29 － 30	(10 ＋ 10) ×	700 ÷ 2	= 7,000
30 － 31	(10 ＋ 10) ×	670 ÷ 2	= 6,700
31 － 32	(10 ＋ 10) ×	500 ÷ 2	= 5,000
32 － 33	(10 ＋ 10) ×	1,600 ÷ 2	= 16,000
33 － 34	(10 ＋ 10) ×	4,500 ÷ 2	= 45,000
34 － 35	(10 ＋ 10) ×	6,500 ÷ 2	= 65,000
35 － 36	(10 ＋ 10) ×	8,000 ÷ 2	= 80,000
36 － 37	(10 ＋ -10) ×	25,500 ÷ 2	= 0
37 － 38	(-10 ＋ -10) ×	8,000 ÷ 2	= -80,000
38 － 39	(-10 ＋ -10) ×	6,500 ÷ 2	= -65,000
39 － 40	(-10 ＋ -10) ×	6,500 ÷ 2	= -65,000
40 － 41	(-10 ＋ -10) ×	6,500 ÷ 2	= -65,000
41 － 42	(-10 ＋ -10) ×	4,500 ÷ 2	= -45,000
42 － 43	(-10 ＋ -10) ×	8,500 ÷ 2	= -85,000
43 － 44	(-10 ＋ -10) ×	4,500 ÷ 2	= -45,000
44 － 45	(-10 ＋ -10) ×	4,250 ÷ 2	= -42,500
45 － 46	(-10 ＋ -10) ×	4,500 ÷ 2	= -45,000
46 － 47	(-10 ＋ -10) ×	10,000 ÷ 2	= -100,000
47 － 1	(-10 ＋ -10) ×	31,500 ÷ 2	= -315,000
合計		(L) 365,568	(S) -857,904

(S)／(L)＝-2.346770　≒GL-2mm

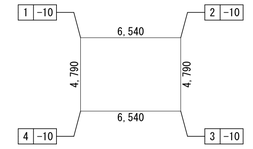


【 既存建物-2　屋内運動場　平均地盤面算定図 S=1/100 】

【既存建物-2】　屋内運動場

記号	設計GLからの差	支点間距離	面積
1 － 2	(-10 ＋ -10) ×	32,888 ÷ 2	= -328,880
2 － 3	(-10 ＋ -10) ×	885 ÷ 2	= -8,850
3 － 4	(-10 ＋ -10) ×	2,900 ÷ 2	= -29,000
4 － 5	(-10 ＋ -10) ×	5125 ÷ 2	= -51,250
5 － 6	(-10 ＋ -10) ×	1,213 ÷ 2	= -12,130
6 － 7	(-10 ＋ 0) ×	15,250 ÷ 2	= -76,250
7 － 8	(0 ＋ 0) ×	37,001 ÷ 2	= 0
8 － 1	(0 ＋ -10) ×	19,520 ÷ 2	= -97,600
合計		(L) 114,782	(S) -603,960

(S)／(L)＝ -5.261801　≒GL-5mm



【 計画建物-1　屋外トイレ　平均地盤面算定図 S=1/100 】

【計画建物-1】　屋外トイレ

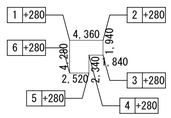
記号	設計GLからの差	支点間距離	面積
1 － 2	(-10 ＋ -10) ×	6,540 ÷ 2	= -65,400
2 － 3	(-10 ＋ -10) ×	4,790 ÷ 2	= -47,900
3 － 4	(-10 ＋ -10) ×	6,540 ÷ 2	= -65,400
4 － 1	(-10 ＋ -10) ×	4,790 ÷ 2	= -47,900
合計		(L) 22,660	(S) -226,600

(S)／(L)＝ -10　GL-10mm

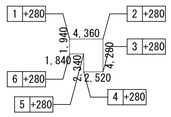
		設計番号	工事名称	縮尺	図面名称	図番 A-211
		年 月 日 令和8年1月	新座市立東北小学校校舎長寿命化改修工事	A1:1/150 A3:1/300	平均地盤面算定図１	承認 / 製図

東北小

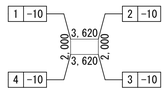
既存建物-4　プール棟建屋　S=1/400



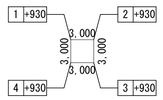
既存建物-5　プール棟建屋　S=1/400



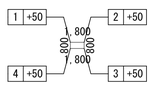
既存建物-6　駐輪場1　S=1/400



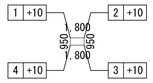
既存建物-11　ろ過室　S=1/400



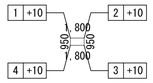
既存建物-12　物置２　S=1/400



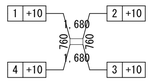
既存建物-13　物置３　S=1/400



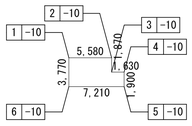
既存建物-14　物置４　S=1/400



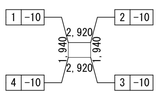
既存建物-15　物置５　S=1/400



既存建物-17　体育倉庫　S=1/400

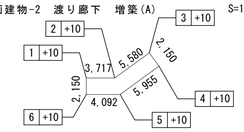


既存建物-21　駐輪場2　S=1/400

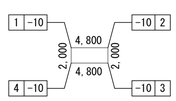


既存建物-22　物置７　S=1/400

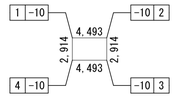
計画建物-2　渡り廊下　増築(A)　S=1/400



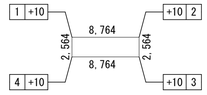
計画建物-3　駐輪場３　増築(A)　S=1/400



計画建物-4　物置７　増築(A)　S=1/400



計画建物-5　物置８　増築(A)　S=1/400



【既存建物-4】　プール棟建屋

記号	設計GLからの差	支点間距離		面積	
1 － 2	(280 ＋ 280) ×	4,360 ÷ 2	=	1,220,800	
2 － 3	(280 ＋ 280) ×	1,940 ÷ 2	=	543,200	
3 － 4	(280 ＋ 280) ×	1,840 ÷ 2	=	515,200	
4 － 5	(280 ＋ 280) ×	2,340 ÷ 2	=	655,200	
5 － 6	(280 ＋ 280) ×	2,520 ÷ 2	=	705,600	
6 － 1	(280 ＋ 280) ×	4,280 ÷ 2	=	1,198,400	
合計		(L) 17,280	(S)	4,838,400	

(S)/(L)= 280　GL+280mm

【既存建物-5】　プール棟建屋

記号	設計GLからの差	支点間距離		面積	
1 － 2	(280 ＋ 280) ×	4,360 ÷ 2	=	1,220,800	
2 － 3	(280 ＋ 280) ×	4,280 ÷ 2	=	1,198,400	
3 － 4	(280 ＋ 280) ×	2,520 ÷ 2	=	705,600	
4 － 5	(280 ＋ 280) ×	2,340 ÷ 2	=	655,200	
5 － 6	(280 ＋ 280) ×	1,840 ÷ 2	=	515,200	
6 － 1	(280 ＋ 280) ×	1,940 ÷ 2	=	543,200	
合計		(L) 17,280	(S)	4,838,400	

(S)/(L)= 280　GL+280mm

【既存建物-6】　駐輪場1

記号	設計GLからの差	支点間距離		面積	
1 － 2	(-10 ＋ -10) ×	3,620 ÷ 2	=	-36,200	
2 － 3	(-10 ＋ -10) ×	2,000 ÷ 2	=	-20,000	
3 － 4	(-10 ＋ -10) ×	3,620 ÷ 2	=	-36,200	
4 － 1	(-10 ＋ -10) ×	2,000 ÷ 2	=	-20,000	
合計		(L) 11,240	(S)	-112,400	

(S)/(L)= -10　GL-10mm

【既存建物-21】　駐輪場2

記号	設計GLからの差	支点間距離		面積	
1 － 2	(-10 ＋ -10) ×	2,920 ÷ 2	=	-29,200	
2 － 3	(-10 ＋ -10) ×	1,940 ÷ 2	=	-19,400	
3 － 4	(-10 ＋ -10) ×	2,920 ÷ 2	=	-29,200	
4 － 1	(-10 ＋ -10) ×	1,940 ÷ 2	=	-19,400	
合計		(L) 9,720	(S)	-97,200	

(S)/(L)= -10　GL-10mm

【既存建物-22】　物置７

記号	設計GLからの差	支点間距離		面積	
1 － 2	(0 ＋ 0) ×	1,680 ÷ 2	=	0	
2 － 3	(0 ＋ 0) ×	760 ÷ 2	=	0	
3 － 4	(0 ＋ 0) ×	1,680 ÷ 2	=	0	
4 － 1	(0 ＋ 0) ×	760 ÷ 2	=	0	
合計		(L) 4,880	(S)	0	

(S)/(L)= ±0　GL±0mm

【既存建物-11】　ろ過室

記号	設計GLからの差	支点間距離		面積	
1 － 2	(930 ＋ 930) ×	3,000 ÷ 2	=	2,790,000	
2 － 3	(930 ＋ 930) ×	3,000 ÷ 2	=	2,790,000	
3 － 4	(930 ＋ 930) ×	3,000 ÷ 2	=	2,790,000	
4 － 1	(930 ＋ 930) ×	3,000 ÷ 2	=	2,790,000	
合計		(L) 12,000	(S)	11,160,000	

(S)/(L)= 930　GL+930mm

【既存建物-12】　物置２

記号	設計GLからの差	支点間距離		面積	
1 － 2	(50 ＋ 50) ×	1,800 ÷ 2	=	90,000	
2 － 3	(50 ＋ 50) ×	800 ÷ 2	=	40,000	
3 － 4	(50 ＋ 50) ×	1,800 ÷ 2	=	90,000	
4 － 1	(50 ＋ 50) ×	800 ÷ 2	=	40,000	
合計		(L) 5,200	(S)	260,000	

(S)/(L)= 50　GL+50mm

【既存建物-13】　物置３

記号	設計GLからの差	支点間距離		面積	
1 － 2	(10 ＋ 10) ×	1,800 ÷ 2	=	18,000	
2 － 3	(10 ＋ 10) ×	950 ÷ 2	=	9,500	
3 － 4	(10 ＋ 10) ×	1,800 ÷ 2	=	18,000	
4 － 1	(10 ＋ 10) ×	950 ÷ 2	=	9,500	
合計		(L) 5,500	(S)	55,000	

(S)/(L)= 10　GL+10mm

計画建物-2　渡り廊下　増築(A)

記号	設計GLからの差	支点間距離		面積	
1 － 2	(10 ＋ 10) ×	3,717 ÷ 2	=	37,170	
2 － 3	(10 ＋ 10) ×	5,580 ÷ 2	=	55,800	
3 － 4	(10 ＋ 10) ×	2,150 ÷ 2	=	21,500	
4 － 5	(10 ＋ 10) ×	5,955 ÷ 2	=	59,550	
5 － 6	(10 ＋ 10) ×	4,092 ÷ 2	=	40,920	
6 － 1	(10 ＋ 10) ×	2,150 ÷ 2	=	21,500	
合計		(L) 23,644	(S)	236,440	

(S)/(L)= 10　GL+10mm

【既存建物-14】　物置４

記号	設計GLからの差	支点間距離		面積	
1 － 2	(10 ＋ 10) ×	1,800 ÷ 2	=	18,000	
2 － 3	(10 ＋ 10) ×	950 ÷ 2	=	9,500	
3 － 4	(10 ＋ 10) ×	1,800 ÷ 2	=	18,000	
4 － 1	(10 ＋ 10) ×	950 ÷ 2	=	9,500	
合計		(L) 5,500	(S)	55,000	

(S)/(L)= 10　GL+10mm

【既存建物-15】　物置５

記号	設計GLからの差	支点間距離		面積	
1 － 2	(10 ＋ 10) ×	1,680 ÷ 2	=	16,800	
2 － 3	(10 ＋ 10) ×	760 ÷ 2	=	7,600	
3 － 4	(10 ＋ 10) ×	1,680 ÷ 2	=	16,800	
4 － 1	(10 ＋ 10) ×	760 ÷ 2	=	7,600	
合計		(L) 4,880	(S)	48,800	

(S)/(L)= 10　GL+10mm

【既存建物-17】　体育倉庫

記号	設計GLからの差	支点間距離		面積	
1 － 2	(-10 ＋ -10) ×	5,580 ÷ 2	=	-55,800	
2 － 3	(-10 ＋ -10) ×	1,870 ÷ 2	=	-18,700	
3 － 4	(-10 ＋ -10) ×	1,630 ÷ 2	=	-16,300	
4 － 5	(-10 ＋ -10) ×	1,900 ÷ 2	=	-19,000	
5 － 6	(-10 ＋ -10) ×	7,210 ÷ 2	=	-72,100	
6 － 1	(-10 ＋ -10) ×	3,770 ÷ 2	=	-37,700	
合計		(L) 21,960	(S)	-219,600	

(S)/(L)= -10　GL-10mm

計画建物-3　駐輪場３　増築(A)

記号	設計GLからの差	支点間距離		面積	
1 － 2	(-10 ＋ -10) ×	4,800 ÷ 2	=	-48,000	
2 － 3	(-10 ＋ -10) ×	2,000 ÷ 2	=	-20,000	
3 － 4	(-10 ＋ -10) ×	4,800 ÷ 2	=	-48,000	
4 － 1	(-10 ＋ -10) ×	2,000 ÷ 2	=	-20,000	
合計		(L) 13,600	(S)	-136,000	

(S)/(L)= -10　GL-10mm

計画建物-4　物置７　増築(A)

記号	設計GLからの差	支点間距離		面積	
1 － 2	(-10 ＋ -10) ×	4,493 ÷ 2	=	-44,930	
2 － 3	(-10 ＋ -10) ×	2,914 ÷ 2	=	-29,140	
3 － 4	(-10 ＋ -10) ×	4,493 ÷ 2	=	-44,930	
4 － 1	(-10 ＋ -10) ×	2,914 ÷ 2	=	-29,140	
合計		(L) 14,814	(S)	-148,140	

(S)/(L)= -10　GL-10mm

計画建物-5　物置８　増築(A)

記号	設計GLからの差	支点間距離		面積	
1 － 2	(10 ＋ 10) ×	8,764 ÷ 2	=	87,640	
2 － 3	(10 ＋ 10) ×	2,564 ÷ 2	=	25,640	
3 － 4	(10 ＋ 10) ×	8,764 ÷ 2	=	87,640	
4 － 1	(10 ＋ 10) ×	2,564 ÷ 2	=	25,640	
合計		(L) 22,656	(S)	226,560	

(S)/(L)= 10　GL+10mm

平均GL算定

【既存建物-1】　校舎			
記号	設計GLからの差　支点間距離		面積
合計	(L) 365,568	(S)	-857,904

【既存建物-2】　屋内運動場			
記号	設計GLからの差　支点間距離		面積
合計	(L) 114,782	(S)	-603,960

【計画建物-1】　屋外トイレ			
記号	設計GLからの差　支点間距離		面積
合計	(L) 22,660	(S)	-226,600

【既存建物-4】　プール棟建屋			
記号	設計GLからの差　支点間距離		面積
合計	(L) 17,280	(S)	4,838,400

【既存建物-5】　プール棟建屋			
記号	設計GLからの差　支点間距離		面積
合計	(L) 17,280	(S)	4,838,400

【既存建物-6】　駐輪場1			
記号	設計GLからの差　支点間距離		面積
合計	(L) 11,240	(S)	-112,400

【既存建物-11】　ろ過室			
記号	設計GLからの差　支点間距離		面積
合計	(L) 12,000	(S)	11,160,000

【既存建物-12】　物置２			
記号	設計GLからの差　支点間距離		面積
合計	(L) 5,200	(S)	260,000

【既存建物-13】　物置３			
記号	設計GLからの差　支点間距離		面積
合計	(L) 5,500	(S)	55,000

【既存建物-14】　物置４			
記号	設計GLからの差　支点間距離		面積
合計	(L) 5,500	(S)	55,000

【既存建物-15】　物置５			
記号	設計GLからの差　支点間距離		面積
合計	(L) 4,880	(S)	48,800

【既存建物-17】　体育倉庫			
記号	設計GLからの差　支点間距離		面積
合計	(L) 21,960	(S)	-219,600

【既存建物-21】　駐輪場2			
記号	設計GLからの差　支点間距離		面積
合計	(L) 9,720	(S)	-97,200

【既存建物-22】　物置７			
記号	設計GLからの差　支点間距離		面積
合計	(L) 4,880	(S)	0

計画建物-2　渡り廊下　増築(A)			
記号	設計GLからの差　支点間距離		面積
合計	(L) 23,644	(S)	236,440

計画建物-3　駐輪場３　増築(A)			
記号	設計GLからの差　支点間距離		面積
合計	(L) 13,600	(S)	-136,000

計画建物-4　物置７　増築(A)			
記号	設計GLからの差　支点間距離		面積
合計	(L) 14,814	(S)	-148,140

計画建物-5　物置８　増築(A)			
記号	設計GLからの差　支点間距離		面積
合計	(L) 22,656	(S)	226,560

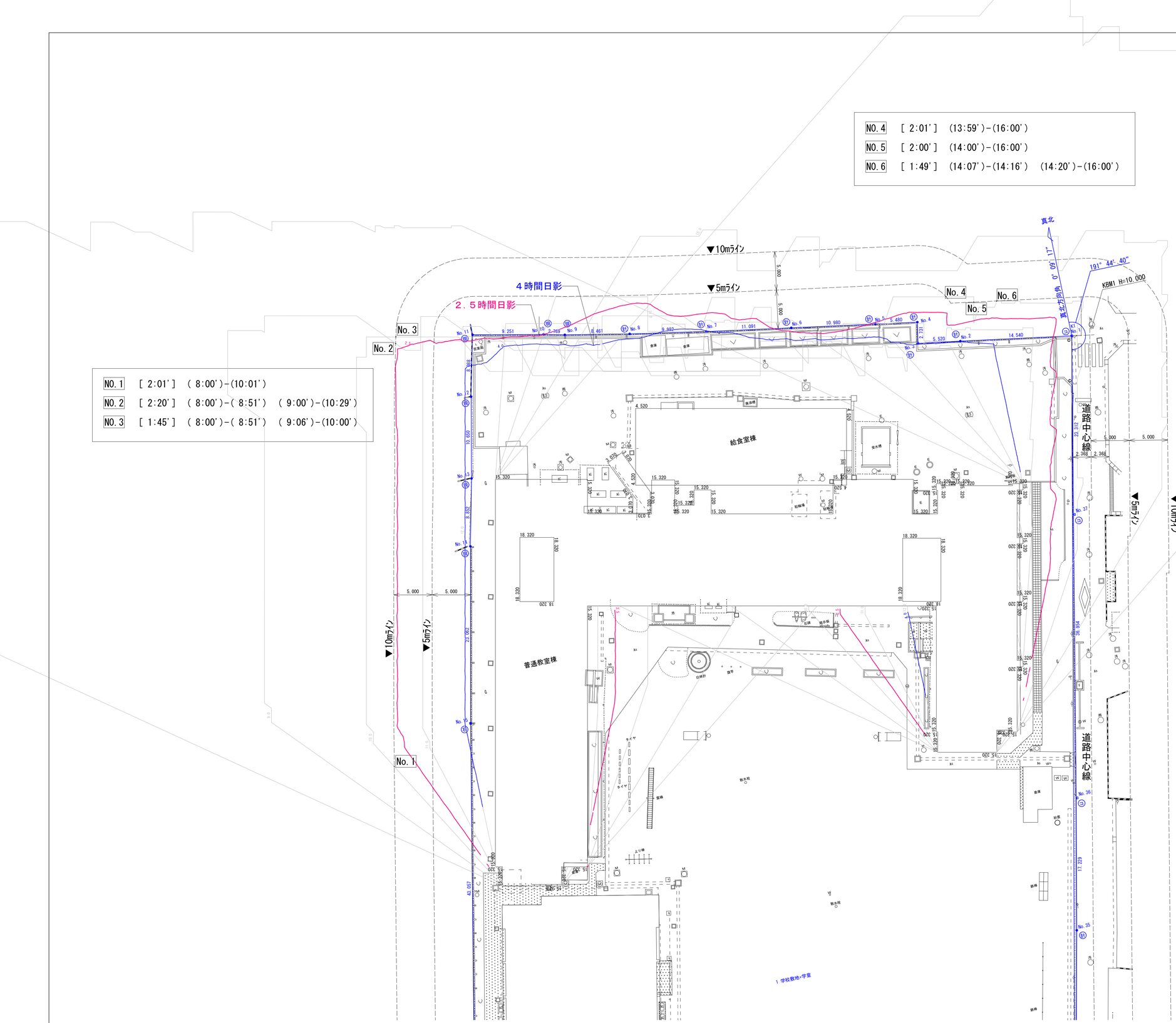
集計	(L) 693,164	(S)	19,316,796
(S)/(L)= 27.867			平均GL＝設計GL+27mm

	設計番号	工事名称	縮尺	図面名称
	年 月 日 令和8年1月	新座市立東北小学校校舎長寿命化改修工事	A1:1/150 A3:1/300	平均地盤面算定図２

図番	A-212	
承認		製図

NO.1 [2:01'] (8:00')-(10:01')
NO.2 [2:20'] (8:00')-(8:51') (9:00')-(10:29')
NO.3 [1:45'] (8:00')-(8:51') (9:06')-(10:00')

NO.4 [2:01'] (13:59')-(16:00')
NO.5 [2:00'] (14:00')-(16:00')
NO.6 [1:49'] (14:07')-(14:16') (14:20')-(16:00')



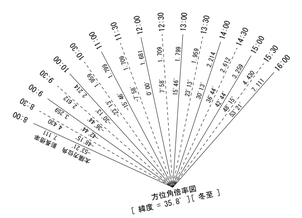
縮尺＝1：250

影倍率表 [緯度 = 35.8°][冬至]

時 刻	太陽 高度	太陽方位角	影長倍率	X 倍 率	Y 倍 率
8:00	8° 00'	-53° 21'	7.111	-5.705	4.245
8:30	12° 43'	-48° 15'	4.430	-3.306	2.950
9:00	17° 04'	-42° 44'	3.259	-2.211	2.394
9:30	20° 57'	-36° 44'	2.612	-1.562	2.094
10:00	24° 18'	-30° 13'	2.214	-1.114	1.913
10:30	27° 03'	-23° 13'	1.959	-0.772	1.800
11:00	29° 04'	-15° 46'	1.799	-0.489	1.731
11:30	30° 20'	-7° 58'	1.709	-0.237	1.693
12:00	30° 45'	0° 00'	1.681	0.000	1.681
12:30	30° 20'	7° 58'	1.709	0.237	1.693
13:00	29° 04'	15° 46'	1.799	0.489	1.731
13:30	27° 03'	23° 13'	1.959	0.772	1.800
14:00	24° 18'	30° 13'	2.214	1.114	1.913
14:30	20° 57'	36° 44'	2.612	1.562	2.094
15:00	17° 04'	42° 44'	3.259	2.211	2.394
15:30	12° 43'	48° 15'	4.430	3.306	2.950
16:00	8° 00'	53° 21'	7.111	5.705	4.245

日影長さ表 [緯度 = 35.8°][冬至]
高さ＝10.000(m) 測定面高さ＝4(m)
計算高さ＝6.000(m)

時 刻	影長倍率	日影長さ(m)
8:00	7.111	42.666
8:30	4.430	26.580
9:00	3.259	19.554
9:30	2.612	15.672
10:00	2.214	13.284
10:30	1.959	11.754
11:00	1.799	10.794
11:30	1.709	10.254
12:00	1.681	10.086
12:30	1.709	10.254
13:00	1.799	10.794
13:30	1.959	11.754
14:00	2.214	13.284
14:30	2.612	15.672
15:00	3.259	19.554
15:30	4.430	26.580
16:00	7.111	42.666



	設計番号	工事名称	縮尺	図面名称	図番 A-213
	年 月 日 令和8年1月	新座市立東北小学校校舎長寿命化改修工事	A1:1/250 A3:1/500	日 影 図	承認 製図

エレベーター仕様要項

分類	仕様項目	０１号機
基本仕様	機種名称	機械室レスエレベーター
	用途	乗用
	制御方式	可変電圧可変周波数制御（回生なし）
	操作方式	乗合全自動方式
	積載量	７５０ｋｇ
	定員	１１名
	定格速度	４５ｍ／ｍｉｎ
	戸開方式	２枚戸両引き
	出入口幅	９００mm
	出入口高さ	２１００mm
	かご室サイズ	１４００mm
	かご室サイズ	１３５０mm
	かご室内法高さ	２３００mm
	出入口方式	一方向出入口
	正面側停止数	４停止（１－４階）
	動力用電源	ＡＣ３φ－２００Ｖ－５０Ｈｚ
	照明用電源	ＡＣ１φ－１００Ｖ－５０Ｈｚ
その他基本仕様	耐震設計施工指針耐震クラス	クラスＡ１４
	公共建築工事標準仕様　適用年版	令和４年版
	出入口幅特殊（乗場）	４箇所
	出入口幅特殊（かご）	１箇所
	敷居間隔	１０mm
	車いす仕様	制御機能付
	視覚障がい者対応仕様	あり
	地震時管制運転方式	Ｐ波＋Ｓ波センサ付３段設定（普通級）
	停電時自動着床装置	あり
	かご内防犯カメラ	エレベーター工事
	かご呼び取消機能	あり
乗場仕様	乗場三方枠	大枠実広幕板なし　１３０mm～３５０mm ステンレスヘアライン（１－４階）
	乗場戸	鋼板塗装（メーカー標準色）（１－４階）
	乗場敷居	ステンレス製（１－４階）
	乗場インジケーター	ー体セグメントＬＥＤ（橙色） ステンレスヘアライン（１－４階）
	乗場インジケーター体形ボタン	ステンレスクリックボタン（φ３３・凸文字・黄橙色ＬＥＤ） 抗ウイルス・抗菌コート（１－４階）
	乗場インジ運行表示灯１	休止表示
	車いす専用乗場ボタンプレート	ー般用乗場ボタンー体形　ステンレスヘアライン（１－４階）
	車いす専用乗場ボタン	ステンレスクリックボタン（φ３３・凸文字・黄橙色ＬＥＤ） 抗ウイルス・抗菌コート（１－４階）
	乗場休止スイッチ	あり
	乗場休止スイッチ取付位置	乗場インジ組込

かご室仕様		
	天井	ＬＥＤフラット照明（白色）　天井面材：鋼板塗装（メーカー標準色）
	正面壁	化粧鋼板
	側面壁	化粧鋼板
	袖壁	ステンレスヘアライン
	出入口上板	化粧鋼板
	かご室戸	化粧鋼板
	巾木	アルミ製
	かご床	樹脂タイル２mm
	かご室敷居	ステンレス製　２枚戸両引き用
	かご操作盤タイプ	袖壁操作盤
	かご操作盤プレート	ステンレスヘアライン
	かごボタン	ステンレスクリックボタン（φ３３・凸文字・黄橙色ＬＥＤ）抗ウイルス・抗菌コート
	インターホンボタン乱用防止カバー	あり
	正操作盤インジケータータイプ	かご内液晶インジケーター（１０．１インチ）
	かご操作盤液晶インジケーター表示言語	平常時（日英）、注意喚起（日英／中韓切替）、緊急時（日英中韓）
	車いす専用かご操作盤	両側面　ステンレスヘアライン
	車いす専用正かご操作盤インジケータータイプ	ドットＬＥＤ（橙色）
	車いす専用かごボタン	ステンレスクリックボタン（φ３３・凸文字・黄橙色ＬＥＤ）抗ウイルス・抗菌コート
	車いす専用インターホンボタン乱用防止カバー	あり
	かご室換気	脱臭機能付きウイルス抑制装置
	かご室手すり	丸形ステンレス　二面取付（両側面）
	かご室鏡	ステンレス鏡面フルハイト（巾５００）
	キックプレート	ステンレスヘアライン（ビスなし）高さ：床面より３５０mm
	壁保護幕	磁石式（保護幕高さ標準：床面より上端まで１８９５mm）
	床保護マット	あり
その他仕様	挟まれ防止ドアセンサ	あり
	セーフティシュー	片側（多光軸ドアセンサー付き）
	タッチレス戸閉促進・乗場前検知挟まれ防止センサ	あり
	遮煙機能	あり（１－４階）
	点字名板取付方法	接着
	おもり非常止め	なし
	火災時管制運転方式	火報信号連動式
	冠水時管制運転	あり
	インターホン型式	６Ｖ１局
	乗場インターホンボックスタイプ	ステンレスヘアライン（埋め込み形）
	無電圧Ａ接点支給	エレベーター安全回路動作時・閉込時・インターホンボタン押下時
	戸開延長ボタン	ステンレスクリックボタン（口３２・黄橙色ＬＥＤ）抗ウイルス・抗菌コート
	かご内アナウンス	かご内４ヵ国語アナウンス（通常時：日英、緊急時：日英中韓）
	かご室音響	かご室スピーカー
	高調波対策種類	絶縁トランス（ノイズ・漏洩電流対応）
	フェッシャープレート	エレベーター手配（標準品）（２－４階）
	レール支持方式	１フロア１ブラケット
	煙感知器点検口スイッチ	正面側上部取付　【標準】
	撮重ビーム手配	建築工事（施工後撤去なし）
	仮設動力電源	１式

工事区分表					
	工事内容	建築	電気	設備	EV
1	昇降路の築造工事及び各階出入口、乗場機器等の穴あけ工事 （１）エレベーター施工図に対し、コンクリート打ちの誤差が生じた場合、必要に応じ、はつり又は肉付けのこと （２）昇降路壁は５ｃｍ２辺り３００Ｎの外力が作用した時に１５mmを超える変形及び塑性変形が生じない構造とすること （３）コンクリート強度は２１Ｎ／mm２以上のこと （４）昇降路の構造は不燃材又は難燃認定材で作り覆うこと	○			
2	鉄骨構造間の以下鋼材設置工事 （１）レール支持用ファスナー、中間ビーム及び立柱 （２）三方枠、ハンガーケース、押ボタン等の取付用鋼材 （３）敷居取付材（敷居への作用荷重に対して、たわみは１ｍｍ以下となる部材とすること） （４）鉄骨材の耐火処理及び乗場出入口まわりの耐火処理	○			
3	エレベーター機器搬重用のフック又はビームの設置工事	○			
4	乗場機器取付後の出入口まわりの壁及び床の仕上工事	○			
5	各階乗場出入口枠周囲のロックウール詰め工事	○			
6	通過階がある場合、非常救出口の設置工事	○			
7	２方向出入口の場合、かごドア点検口の設置工事	○			
8	ピット防水工事	○			
9	ピット下部の使用がある場合、二重スラブ等の建築対策工事	○			
10	ピット段違いの場合、保護柵設置工事	○			
11	ピットが深い場合、埋め戻し・浅い場合、はつり工事	○			
12	昇降路内の騒音・振動が居室に伝搬しないレイアウト及び各種防音・防振工事	○			○
13	その他建築に関する工事	○			
14	動力用電源・照明用電源・接地線の受電端子までの引込工事（繋ぎ込み工事含む） （１）電源電圧変動は＋５%～－１０%以内、電圧不平衡率５%以内のこと （２）遮断器はインバータ回線対応のものを使用すること （３）エレベーターから発生する高周波漏洩電流と高周波ノイズにより、他の設備が影響を受ける恐れがあるため、対策を講ずること		○		
15	ピット内点検用コンセント設置工事（照明用電源とは別系統のこと）		○		
16	昇降路内の煙感知器及び点検口の設置工事 （１）点検口は錠付とし、戸開時にはエレベーターを停止させること（停止スイッチはＥＶ工事） （２）建物に自火報設備がない場合、遮煙ドア適用階のエレベーターホールには火災感知器又は煙感知器を設置のこと		○		○
17	インターホン取付位置から制御盤までの配管配線工事		○		
18	火災時管制運転がある場合、火報信号の制御盤までの配管配線工事		○		
19	エレベーター遠隔監視用配管配線工事（最寄の電話中継盤から制御盤まで）		○		
20	その他設備連動に必要な接点供給工事		○		
21	かご内カメラがある場合、モニター設置場所から制御盤までのかご内カメラ用配管配線工事		○		
22	かご室スピーカーがある場合、放送設備から制御盤までの放送用配管配線工事（非常放送がある場合、３線式とすること）		○		
23	監視盤がある場合、監視盤電源の監視盤までの引込工事及び監視盤から制御盤までの配管配線工事		○		
24	昇降路内の電気工事貫通部分の防火区画処理工事		○		
25	昇降路の換気設備工事 （１）昇降路内温度４０℃及び昇降路温度上昇７℃を超える場合、換気設備を設置すること （２）エレベーター機器発熱量 エレベーター駆動部（　８８０Ｗ） ＋エアコン（　－　Ｗ）				○

注意事項	
1	昇降路壁には電気・水道管等の配管・器具を埋め込まないこと
2	昇降路内には他の用途の配管・ダクト等が露出しないこと
3	エレベーターの性能維持のため下記環境条件とすること （１）昇降路内の温度は－５℃～４０℃以内、湿度は月平均９０%・日平均９５%以下且つ急激な温度変化等による結露・氷結がないこと （２）金属を損耗又は腐食したり電気接点の接触障害の原因となるような塵及び化学的有害ガス及び爆発性ガスのないこと ①腐食性ガス：硫化水素ガス、亜硫酸ガス、塩素ガス、過酸化窒素ガス、アンモニアガス及び海岸地区における潮風 ※昇降路標準環境の基準例 硫化水素ガス…Ｈ２Ｓ=０．００５［ｐｐｍ］以下 亜硫酸ガス…ＳＯ２=０．０１［ｐｐｍ］以下 塩化水素ガス…ＨＣｌ=０．０５［ｐｐｍ］以下 塩素ガス…Ｃｌ２=０．００５［ｐｐｍ］以下 （プールサイドの場合も含む） アンモニアガス…ＮＨ３=０．１［ｐｐｍ］以下 海岸地区における潮風…海岸より２ｋｍ以上の地区 ※海岸より２ｋｍ未満、プールサイドの場合は昇降路内に潮風・プール方向からの風が入らず、乗場が屋外に露出しないようなレイアウトとすること ②電気接点の接触障害となるもの：鉄粉、炭塵、化学工場における粉塵 ③爆発性ガス、又は、粉塵：メタン、石炭ガス、プタン、ガソリン、アセチレン、水素、エーテル、炭塵、穀粉 （３）エレベーターの電気信号に影響を及ぼす電磁波がないこと（電磁波の電界強度が１０Ｖ／m以下の環境とすること） （４）昇降路の設置場所は標高１０００m以下とすること
4	乗場付近へ風雨吹込む可能性がある場合、対策を講ずること （１）外部から風雨が侵入しないよう雨水よけ設備の設置（ひさし・風除室・水勾配・グレーチング・防潮板等） （２）乗場に向かって強風が吹くと想定される場合、防風対策（風圧により乗場の戸が閉まらない恐れがあるため）
5	乗場及び駆動・制御装置に直射日光（屋内ガラス越しや反射光を含む）が当たる可能性がある場合、対策を講ずること （センサ誤動作防止、及び乗場戸熱変形防止のため）
6	エレベーターの保守・点検ならびに緊急対応のため、外部階段等から最上階及び最下階エレベーターホールへアクセスできる経路を確保すること（個人宅等占有部を経由しないこと）
7	昇降路内および各階乗場周辺の可燃物（木材・ウレタン等）ガラスに対しての防火対策を講ずること （発泡ウレタンは溶接の火花に引火生する恐れがあるため、昇降路内及び各階乗場付近では使用しないこと）
8	製品の検査は各規格に準じた社内基準にて行います 電動機（巻上機・駆動機）：ＪＥＣ－２１１０、２１３０、ＪＩＳ　Ｃ－４０３４－１ 制御盤：ＪＥＭ１０２１、１４６０ 尚、電動機の温度上昇試験・負荷特性試験は型式試験結果です
9	就労条件：施工作業は「週休二日（４週８休等）」を前提とした期間を確保させていただきます

つぎの事項を、用意・対応する場合は別途見積となります	
1	据付工事用現場諸所及び材料置場
2	据付工事用及び試運転調整用電力、セメント、小石等
3	据付工事用の仮設電源（本設電源と同仕様にて支給願います）
4	重量物の搬入に支障のない通路の確保
5	横引き距離３０mを超える重量物の搬入
6	エレベーターシャフトが隣接する場合、落下物防止区画対策 安全対策（ネット等）
7	安全柵の先行取り付け（着工前、先行で取り付けた安全柵の管理も含む）
8	展望用エレベーターの場合、施工時のガラス部分養生
9	エレベーターの工事使用
10	完了検査・引渡（施主）検査以外の現場検査立会の実施
11	標準施工手順と異なる施工（乗場先行工事、多段階着工、他設備工事立会等）の実施
12	施工写真の撮影

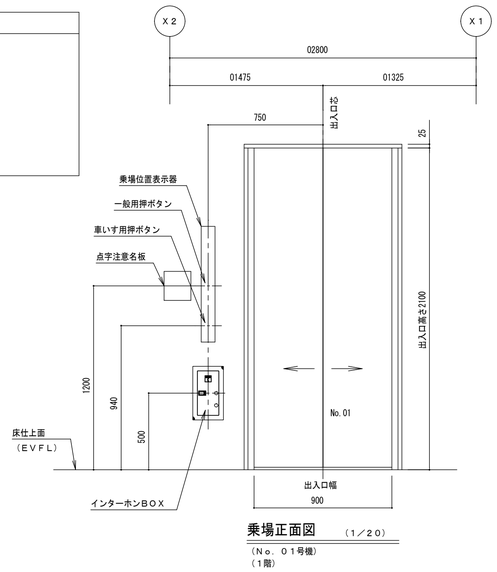
エレベーター荷扱い条件
一度の荷扱い質量は【　２５０ｋｇ以下　】とすること（台車等の質量を含む）

外部連絡装置（インターホン親機）設置上の注意点

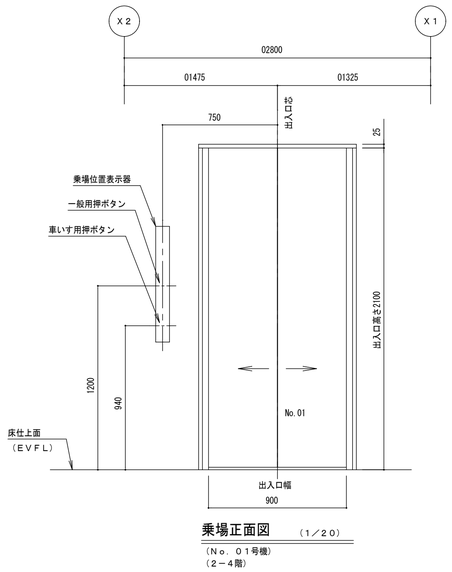
エレベーターかご内のインターホンは、常に外部のインターホン親機と連絡できるようにすること。
管理人室等に設置する場合は、２４時間管理人が常駐する必要がある。
（建築基準法施行令第１２９条の１０第３項第三号）
もしも管理人が常駐しない場合は、以下のいずれかの措置が必要となる。
１．インターホン親機を共用部（エレベーターホールや廊下等）に設置する。
２．管理人室内のインターホン親機の鳴動を共用部から確認できるように設置し、
　鳴動を確認した者が対応できるように、シールや名板で鳴動時の緊急連絡先等の対応方法を明示する。
３．管理人不在時にはエレベーターを使えない状況にする。
　例えば、営業時間内のみ管理人室等に管理人が常駐するならば営業時間外は建物を閉館する。

乗場遮煙ドア設置上の条件

・乗場遮煙ドアを設置するためには、自動火災報知設備
　の設置義務の無い建物であっても、同設備を設けること。
・自動火災報知設備の設置義務の無い建物の場合には、
　乗場遮煙ドア設置階のエレベーターホールに必ず煙感
　知器などの火災感知器を設置し、火災感知信号を自動
　火災警報盤を介してエレベーター制御盤に供給すること。
　（無電圧ａ接点、接点電圧ＤＣ２４Ｖ）

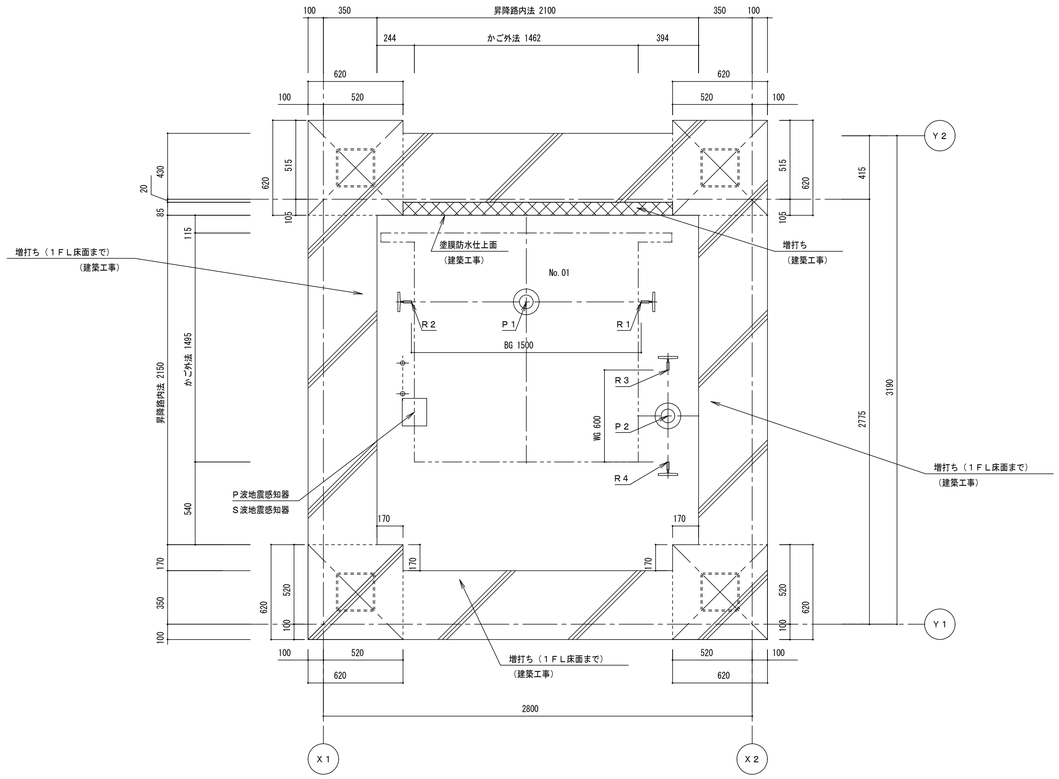


乗場正面図　（１／２０）
（Ｎｏ．０１号機）
（１階）



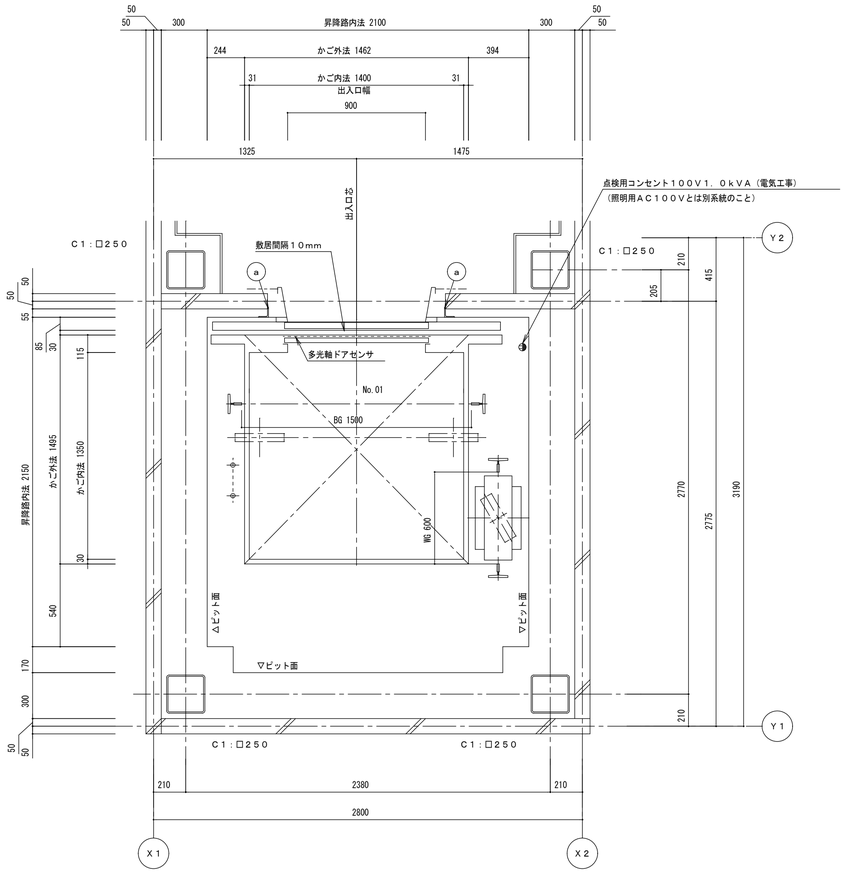
乗場正面図　（１／２０）
（Ｎｏ．０１号機）
（２－４階）

		設計番号	工事名称	縮尺	図面名称	図番
		年 月 日 令和8年1月	新座市立東北小学校校舎長寿命化改修工事	A1:1/20 A3:1/40	昇降機設備図（１）	A-214
						承認 / 製図



昇降路平面図　（1／20）

（ピット）



昇降路平面図　（1／20）

（1階）

レール下端部荷重（長期荷重）			
Ｒ１（ｋＮ）	Ｒ２（ｋＮ）	Ｒ３（ｋＮ）	Ｒ４（ｋＮ）
５．９	２５．９	４６．１	２２．３

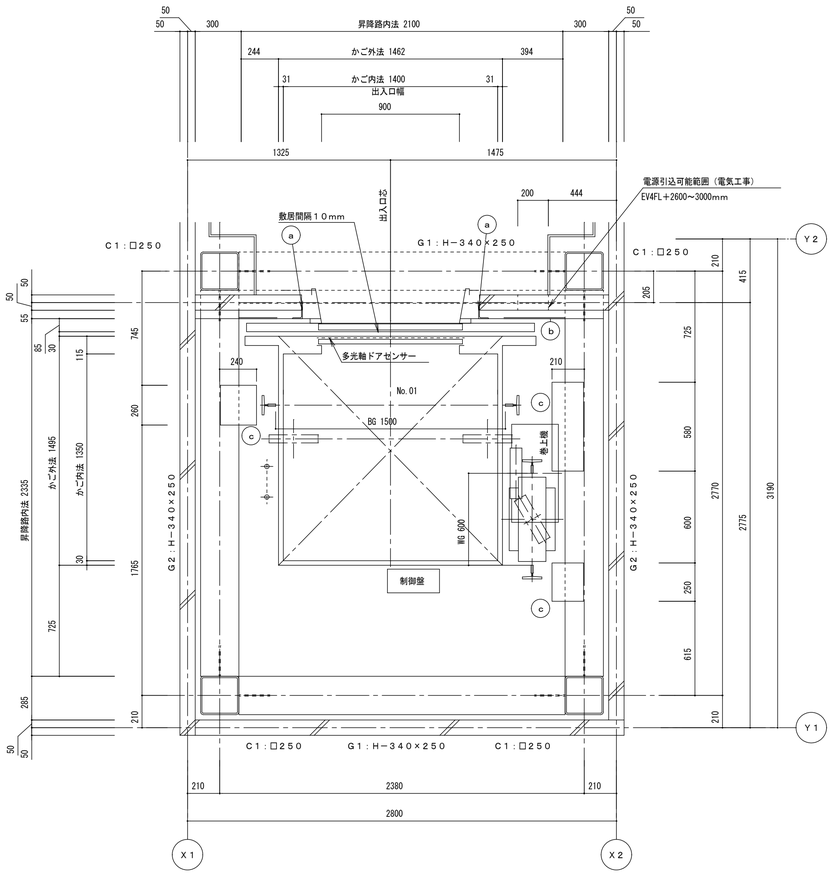
ブラケット取付のため、
ピット内の壁または梁は
最下階ＦＬ面まで立ち上
げて下さい（建築工事）

ピット荷重（短期荷重）	
Ｐ１（ｋＮ）	Ｐ２（ｋＮ）
７５．２	６３．５

昇降路機器はピット底面・側面、
梁・壁（コンクリートの場合）に
あと施工アンカーにより取付を行います

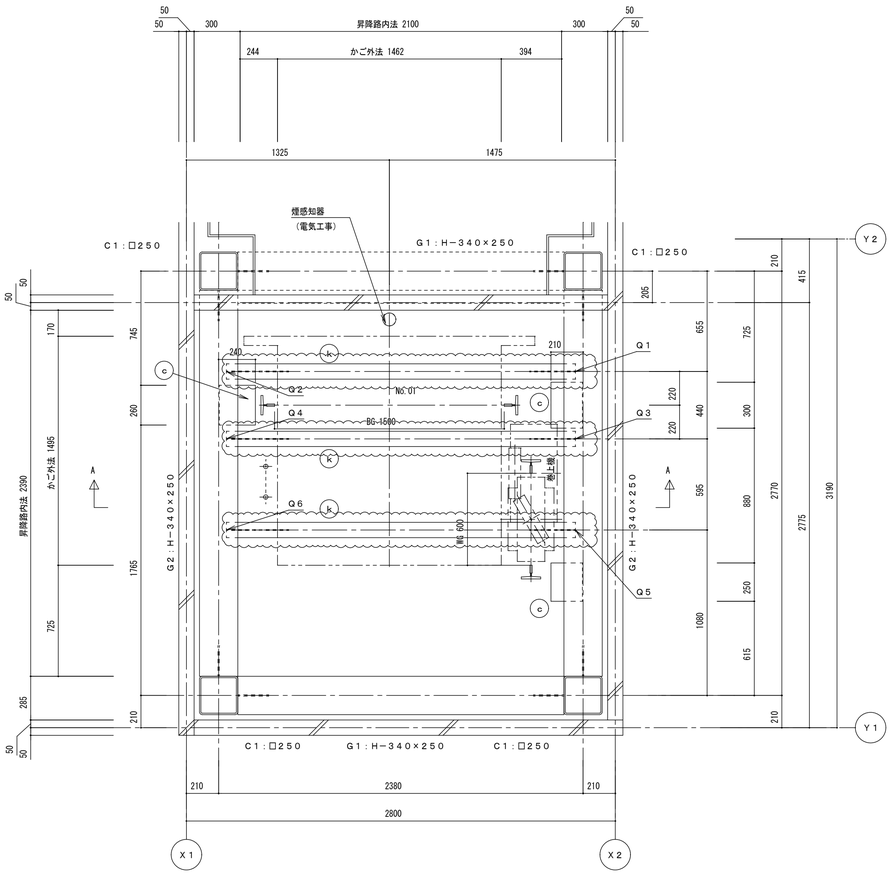
部材記号	名　称	部　材	工事区分
a	三方枠取付鋼材 （壁取付金物の昇降路内への突出不可）	Ｌ－６５×６５×６	建築工事

		設計番号	工事名称	縮尺	図面名称	図番 A-215
		年 月 日 令和8年1月	新座市立東北小学校校舎長寿命化改修工事	A1:1/20 A3:1/40	昇降機設備図（２）	承認 / 製図



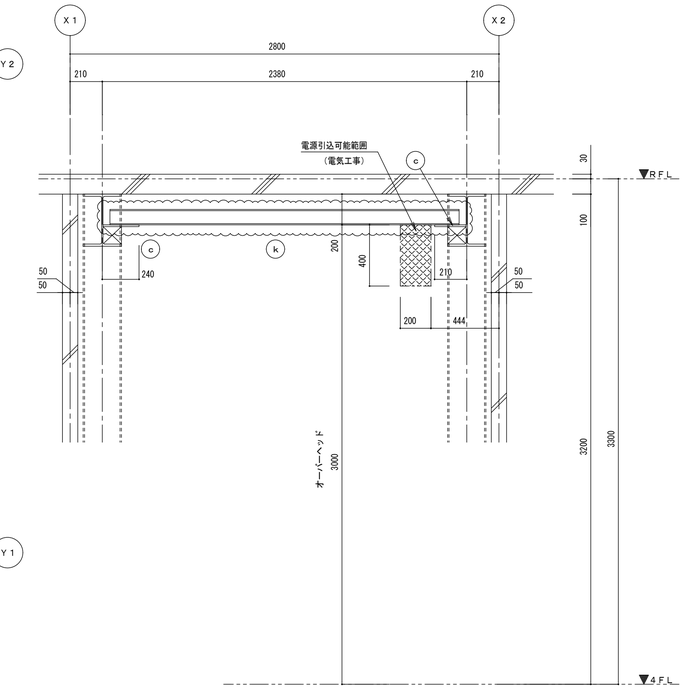
昇降路平面図　（１／２０）

（２－４階）



昇降路平面図　（１／２０）

（頂部）



動力電源設備（絶縁トランス適用時，ＣＶＴ電線使用時）　　（＊）電源側に漏電遮断器を設置する場合

号機名	電源電圧 周波数	電動機容量	設備容量	電源側ＮＦ容量	感度電流値（＊） 動作時間	電線サイズ	接地線サイズ
０１	ＡＣ３φ２００　Ｖ ５０　Ｈｚ	３．８ｋＷ	４ｋＶＡ	４０ＡＴ	１００　ｍＡ以上 ０．２　秒以上	８２　ｍまで　８　ｍｍ² １４２　ｍまで　１４　ｍｍ² ２１６　ｍまで　２２　ｍｍ²	３．５　ｍｍ²

照明用電源ＡＣ１φ１００Ｖ　５０Ｈｚ（設備容量１ｋＶＡ／台　電源側ＮＦ容量２０ＡＴ／台）

電線引込長さ（mm）	01
動力電線	10500
弱電線 （必要な場合）	10500

高調波対策（高調波流出電流計算値）

高調波対策内容		機器名称	定格容量 (kVA)	台数	合計容量 Ｐｉ (kVA)	回路分類 細分Ｎｏ．	６パルス 換算係数 （Ｋｉ）	６パルス等価 容量［Ki×Pi］ (kVA)	機器最大 稼働率 (%)	基本電流に対する高調波電流発生率Ｉｎ（%）							
										5次	7次	11次	13次	17次	19次	23次	25次
○	ノイズフィルタのみ （標準）	０１号機 (750kg-45m/min)	4.8	1	4.8	31	3.4	16.2	25	65	41	8.5	7.7	4.3	3.1	2.6	1.8
	ＤＣリアクトル追加 （Ki=1.8相当）					~~33~~	~~1.8~~	~~8.6~~	~~25~~	~~30~~	~~13~~	~~8.4~~	~~5~~	~~4.7~~	~~3.2~~	~~3~~	~~2.2~~

高圧または特別高圧需要家が高調波発生機器を新設、増設または更新する場合には「高圧または特別高圧で受電する需要家の高調波抑制対策ガイドライン」への適用が求められます。
ガイドラインではその需要家から流出する高調波電流の上限値を定めており、超過する場合には何らかの対策を求められます。

※　各次数毎の高調波流出電流量は以下の計算により求めることができます。

各次数毎の高調波流出電流量（mA）＝ $\dfrac{\text{合計容量Ｐｉ（ｋＶＡ）}}{\text{受電電圧（ｋＶ）}\times\sqrt{3}}\times 10^{3}\times$各次数毎の発生率Ｉｎ（%）×機器最大稼働率ｋ（%）

※　エレベーターから発生する高周波漏洩電流と高周波ノイズにより、他の設備が影響を受ける恐れがあるため、
次の対策をお勧めします。
（１）エレベーター動力と通信機器・ＯＡ機器等弱電機器の電源線・通信線を１ｍ以上分離する。
（２）エレベーターを含む動力の電源トランスと通信機器・ＯＡ機器等弱電機器の電源トランスを分離する。
（エレベーター照明用電源は弱電機器のトランスと分離不要）
（３）エレベーターを含む機器アース線と通信機器・ＯＡ機器等弱電機器のアース線の分離配線と接地極の分離をする。

部材記号	名　称	部　材	工事区分
a	三方枠取付鋼材 （壁取付金物の昇降路内への突出不可）	Ｌ－６５×６５×６	建築工事
b	数居取付材	Ｌ－１００×１００	建築工事
c	レールブラケット取付用ファスナー	ＰＬ－ｔ１２	建築工事
k	撮重ビーム	Ｈ－１００×１００×６×８	建築工事

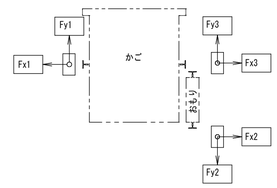
撮重ビームに掛かる荷重　　Ｎｏ．０１

Ｑ１（ｋＮ）	Ｑ２（ｋＮ）	Ｑ３（ｋＮ）	Ｑ４（ｋＮ）	Ｑ５（ｋＮ）	Ｑ６（ｋＮ）
６．０	２．０	８．０	１０．０	１６．０	１１．０

Ｑ１～Ｑ６はＥＶ据付時に作用する

ＮＯ．０１

ＥＶレール支持用ブラケットに作用する地震時水平荷重



Ｆｘ１	Ｆｙ１	Ｆｘ２	Ｆｙ２	Ｆｘ３	Ｆｙ３
４．９８	４．５５	３．９２	７．８３	８．８９	１０．３２

（単位：ｋＮ）

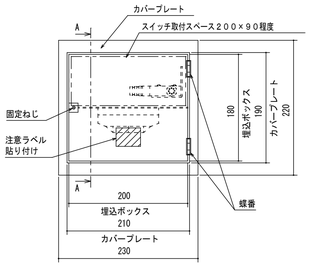
注：上記矢印の地震時荷重により柱、梁などのたわみの合計が５mm以下と
なるよう部材を設計のこと。又、ねじれに対し強固に取付けること。

		設計番号	工事名称	縮尺	図面名称	図番	A-216
		年 月 日 令和8年1月	新座市立東北小学校校舎長寿命化改修工事	A1:1/20 A3:1/40	昇降機設備図（３）	承認	製図

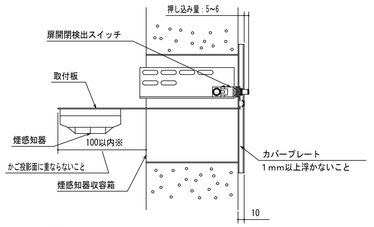
煙感知器（電気工事）

・外部より点検可能な構造として下さい
・雨水浸入が無い様配慮下さい
・ＥＶ連動スイッチ付（ＥＶ工事）
・煙感知器はかご投影面にかからない位置として下さい
・点検口は下記①または②として下さい
　①ＥＶ昇降路専用品（スイッチ取付台座付き）（１）～（４）のいずれか
　　（１）ホーチキ　　ＫＵＳ－１Ｃ
　　（２）能美防災　　ＦＸＳＪ００１Ａ－ＨＵ
　　（３）ニッタン　　ＮＩＤ－Ｔ－Ｇ
　　（４）パナソニック　ＢＶ９５３５１（ＢＯＸ）＋ＢＶ９５３８１Ｈ（扉）
　②以下２項目を満足する点検口　～「煙感知器・点検ボックス（参考例）」参照
　　（１）スイッチ取付スペース２００×９０程度確保できる。
　　（２）錠付または工具を必要とするネジ付きの蓋で、１mm以上浮かないこと。

部材記号	名　称	部　材	工事区分
a	三方枠取付鋼材 （壁取付金物の昇降路内への突出不可）	Ｌ－６５×６５×６	建築工事
b	敷居取付材	Ｌ－１００×１００	建築工事
c	レールブラケット取付用ファスナー	ＰＬ－ｔ１２	建築工事
k	梁重ビーム	Ｈ－１００×１００×６×８	建築工事
m	ハンガーケース取付材	Ｌ－６５×６５×６	建築工事
q	壁受け材 （壁取付金物の昇降路内への突出不可）	Ｌ－６５×６５×６	建築工事

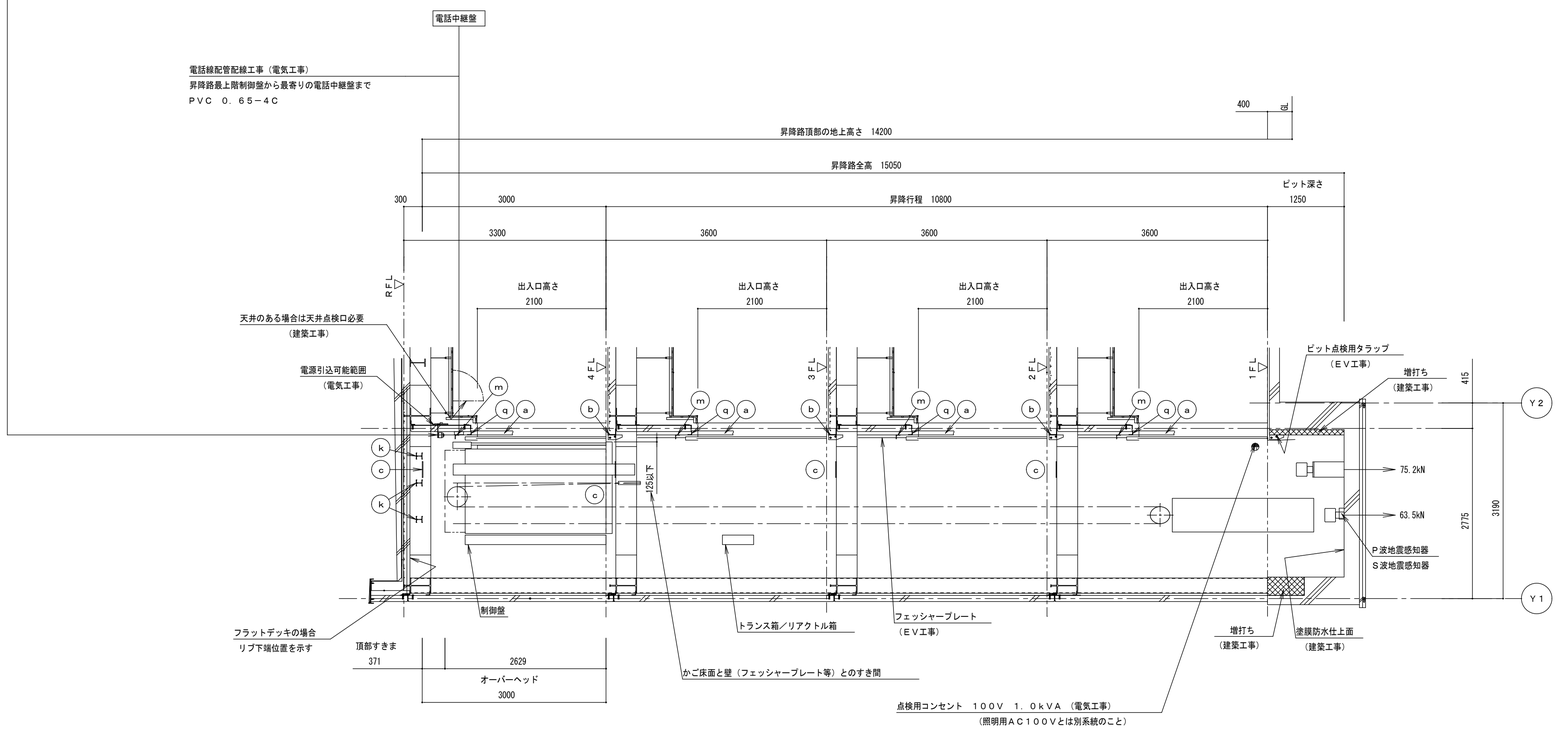


煙感知器・点検ボックス（参考例）



※Ｂ形枠の場合は３０以内

矢視A-A



昇降路断面図　（１／５０）

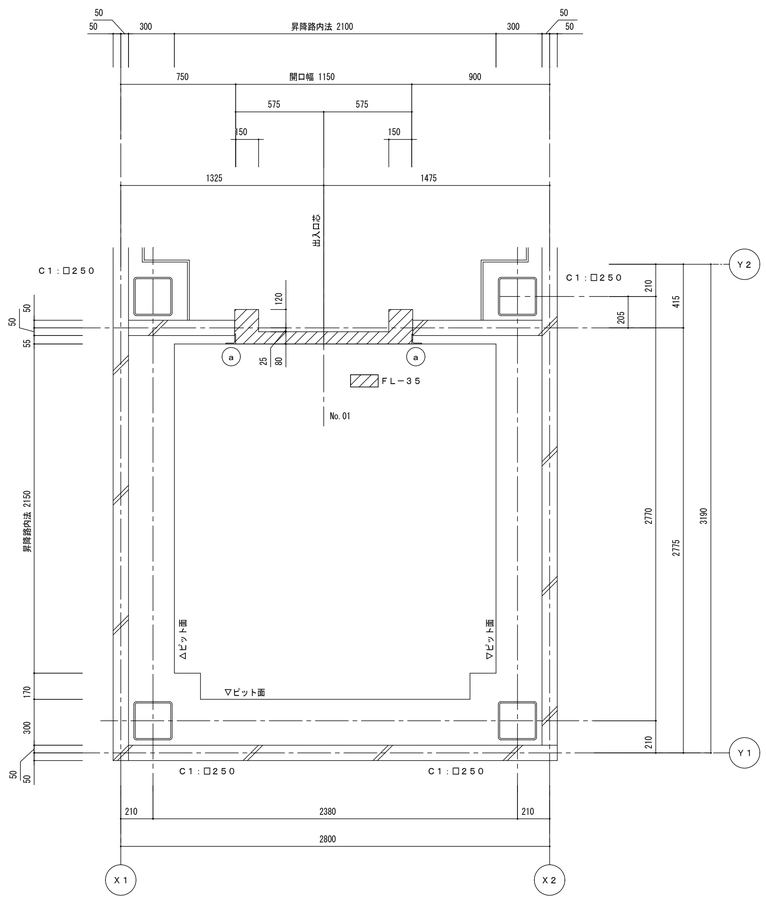
（ＮＯ．０１）

図面は塗膜防水仕上後の有効寸法です。
モルタル防水仕上の場合は仕上厚を考慮して下さい。

ブラケット取付のため、ピット内の壁または梁は最下階ＦＬ面まで立ち上げて下さい（建築工事）

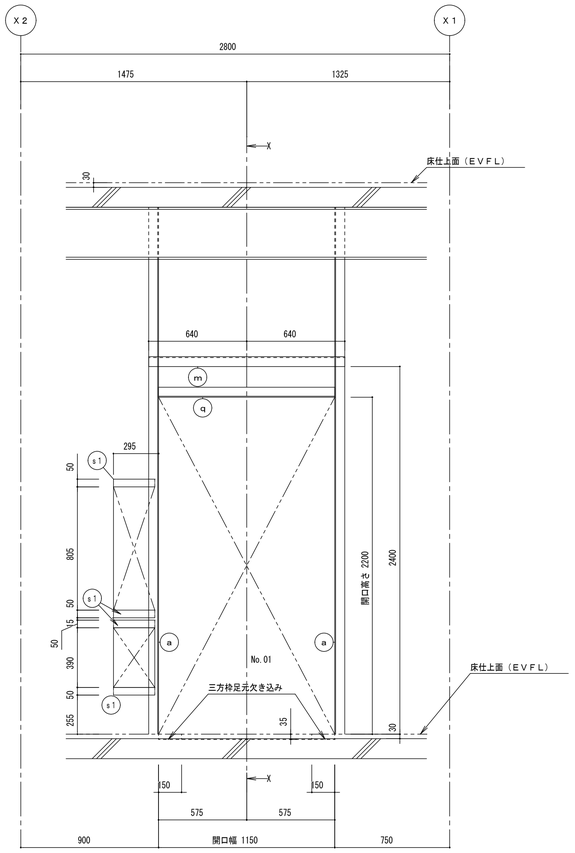
昇降路内の温度は４０℃以下とする

		設計番号	工事名称	縮尺	図面名称	図番	A-217
		年　月　日 令和8年1月	新座市立東北小学校校舎長寿命化改修工事	A1:1/50 A3:1/100	昇降機設備図（４）	承認	製図



昇降路穴あけ図　（１／２０）

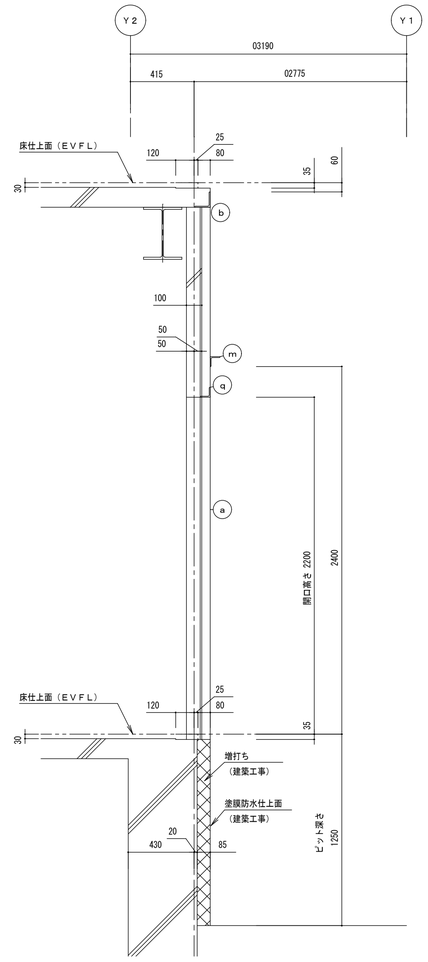
（１階）



乗場穴あけ図　（１／２０）

（Ｎｏ．０１号機）

（１階）

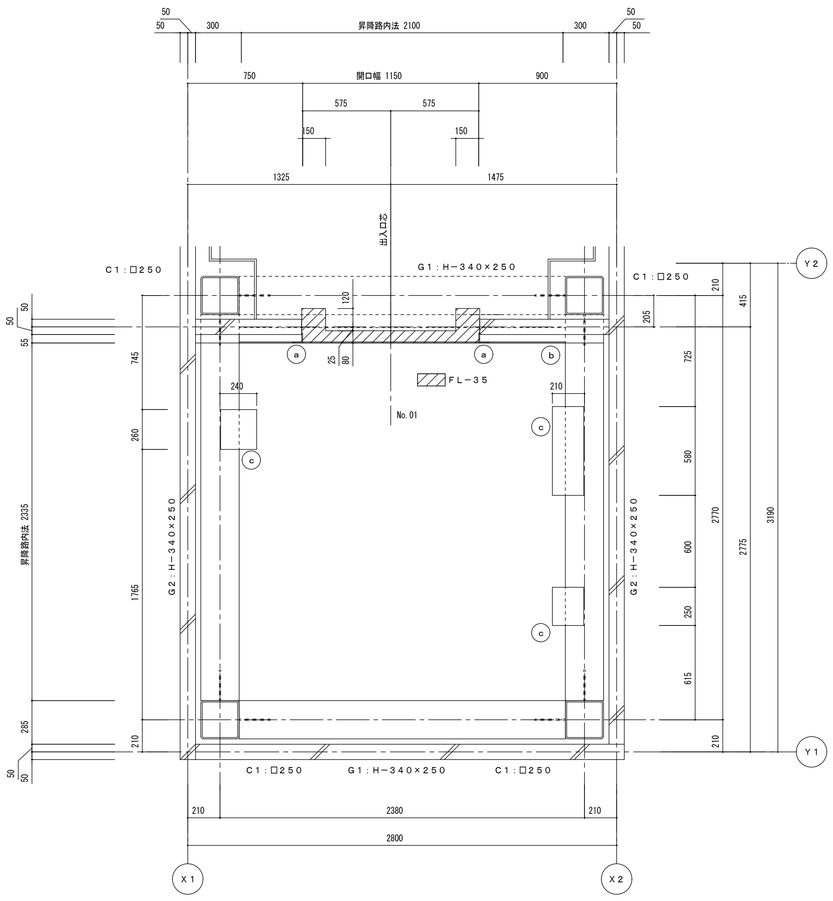


Ｘ－Ｘ断面

注）・開口寸法は、壁厚１００mm、壁仕上３０mmの場合を示す
（異なる場合は確認のこと）
・壁仕上：石貼、タイル、直打の場合は別途打合せのこと

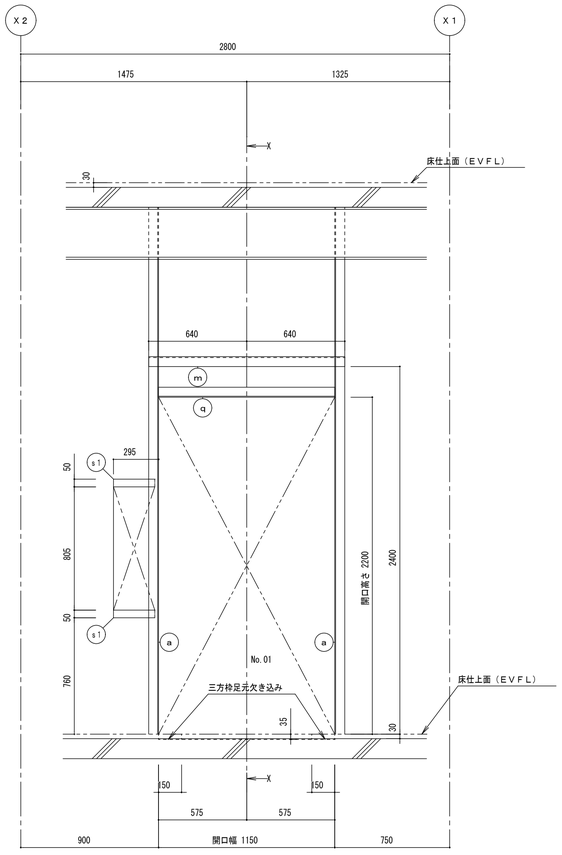
部材記号	名　称	部　材	工事区分
a	三方枠取付鋼材 （壁取付金物の昇降路内への突出不可）	Ｌ－６５×６５×６	建築工事
b	敷居取付材	Ｌ－１００×１００	建築工事
m	ハンガーケース取付材	Ｌ－６５×６５×６	建築工事
q	壁受け材 （壁取付金物の昇降路内への突出不可）	Ｌ－６５×６５×６	建築工事
ｓ１	インジケーター取付材	ＰＬ－ｔ３．２	建築工事

		設計番号	工事名称	縮尺	図面名称	図番	A-218
		年　月　日 令和8年1月	新座市立東北小学校校舎長寿命化改修工事	A1:1/20 A3:1/40	昇降機設備図（５）	承認	製図



昇降路穴あけ図　（1／20）

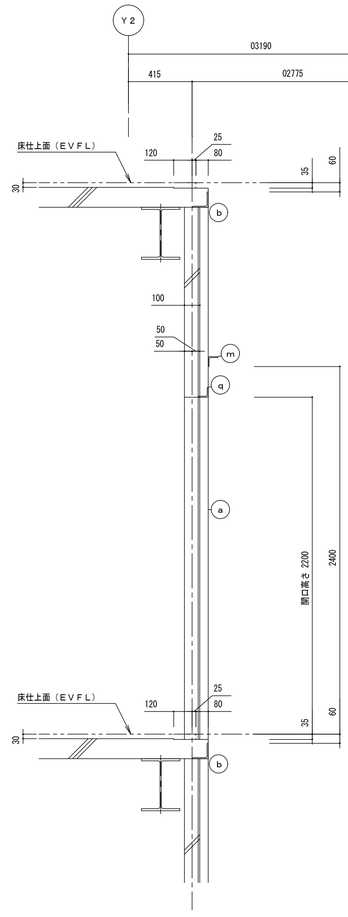
（2－4階）



乗場穴あけ図　（1／20）

（No．01号機）

（1階）

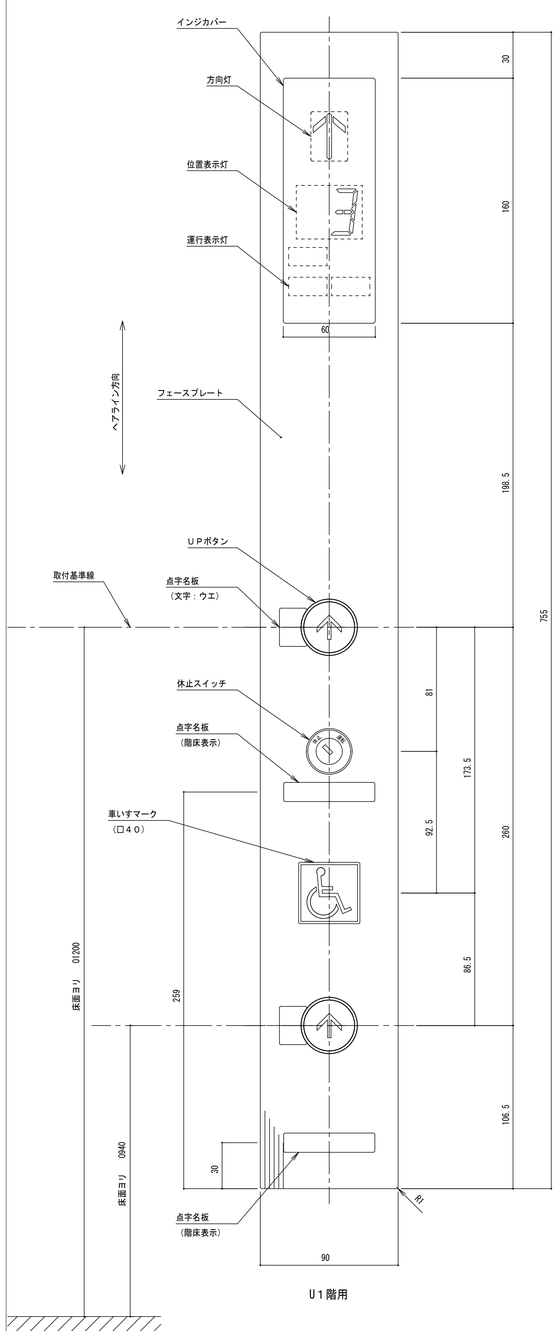


X－X断面

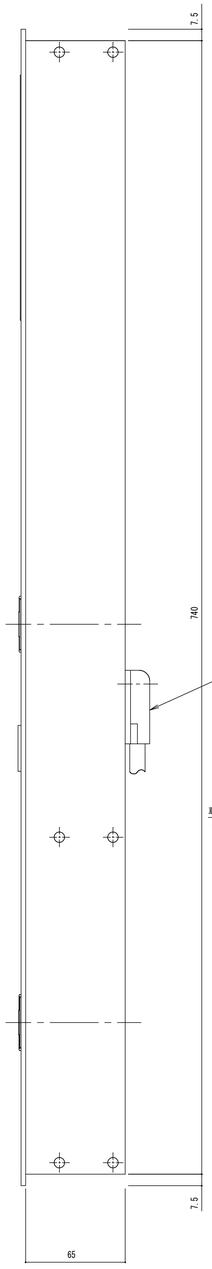
注）・開口寸法は、壁厚１００mm、壁仕上３０mmの場合を示す
（異なる場合は確認のこと）
・壁仕上：石貼、タイル、直打の場合は別途打合せのこと

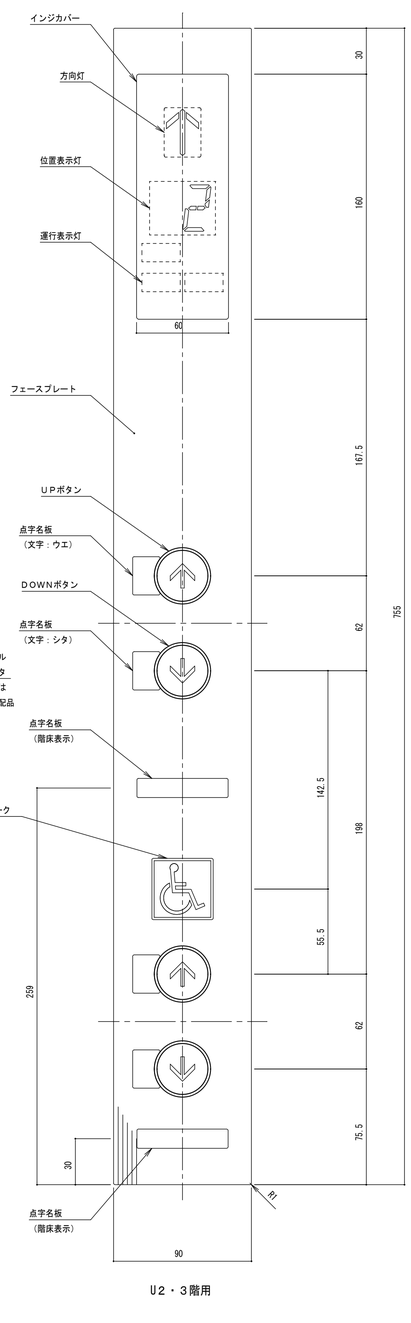
部材記号	名　称	部　材	工事区分
a	三方枠取付鋼材 （壁取付金物の昇降路内への突出不可）	Ｌ－６５×６５×６	建築工事
b	敷居取付材	Ｌ－１００×１００	建築工事
c	レールブラケット取付用ファスナー	ＰＬ－ｔ１２	建築工事
m	ハンガーケース取付材	Ｌ－６５×６５×６	建築工事
q	壁受け材 （壁取付金物の昇降路内への突出不可）	Ｌ－６５×６５×６	建築工事
s１	インジケーター取付材	ＰＬ－ｔ３．２	建築工事

		設計番号	工事名称	縮尺	図面名称	図番 A-219
		年 月 日 令和8年1月	新座市立東北小学校校舎長寿命化改修工事	A1:1/20 A3:1/40	昇降機設備図（６）	承認 / 製図

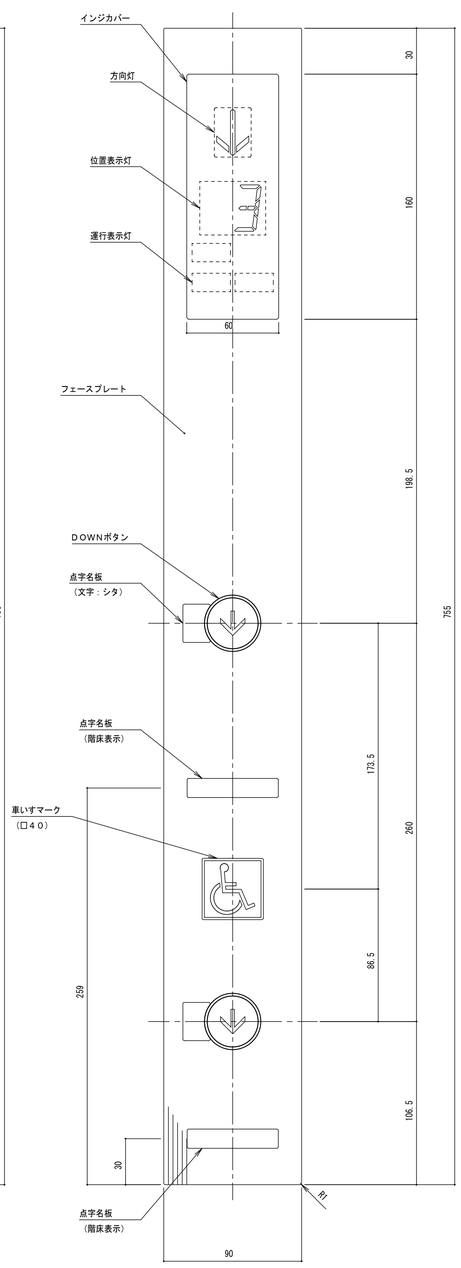


U１階用

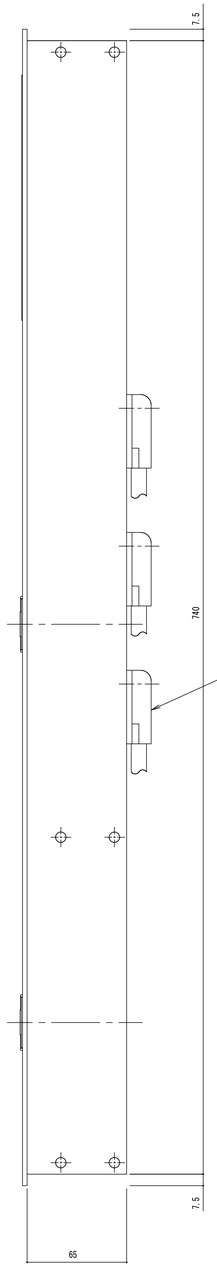


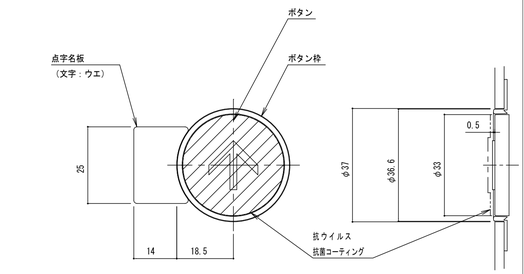


U２・３階用

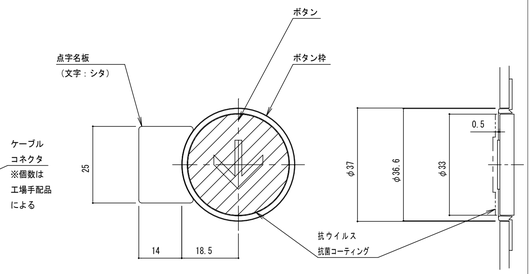


U４階用

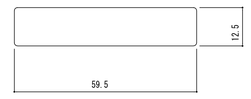




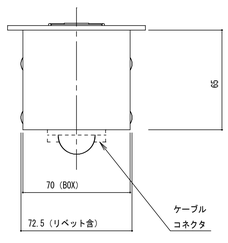
UUPボタン形状
S=１／１



UDOWNボタン形状
S=１／１

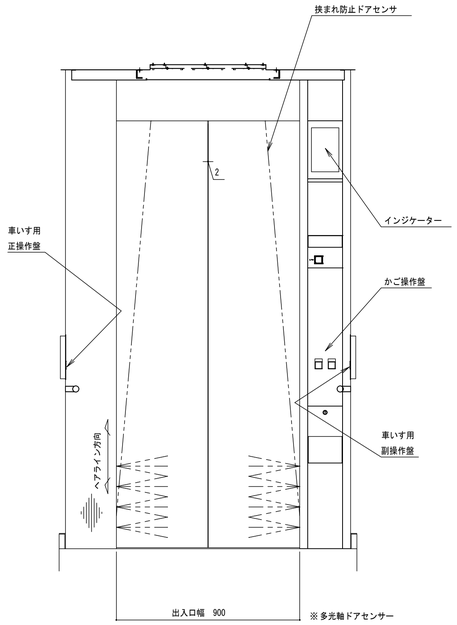


U点字名板詳細（階床表示）
S=１／１

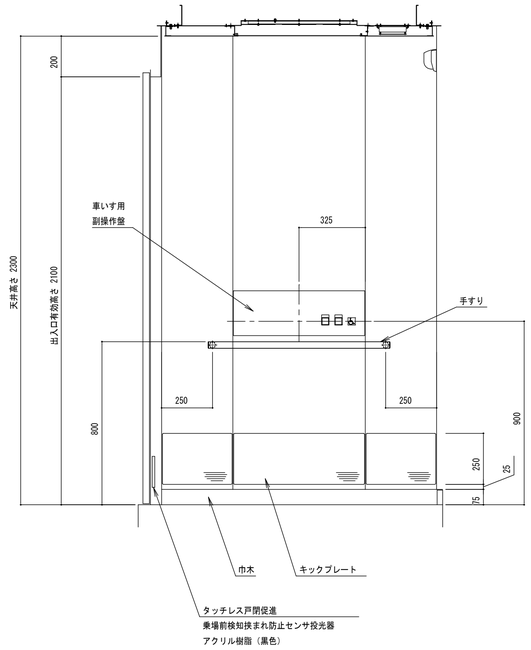


意匠仕様	
フェースプレート	ステンレスヘアライン仕上
インジカバー	プラスチック（グレースモーク）
方向灯・位置表示灯	ＬＥＤ（オレンジ点灯）
運行表示灯	ＬＥＤ（オレンジ点灯）
ＵＰ・ＤＯＷＮボタン	ボタン：ステンレスバイブレーション マーク：プラスチック（白）凸形状　ボタン枠：透明 応答灯点灯箇所：マーク及びボタン枠　応答灯：ＬＥＤ（黄橙色点灯）
車いすマーク	名板（マーク：白色　その他：青色）
点字名板	プラスチック（表面マット仕上）　色：ＳＵＳ調シルバー　取付：接着
抗ウイルス・抗菌表示名板	プラスチック（透明裏面グレー印刷）　文字・マーク：白色
休止スイッチ	キースイッチ　＃９００

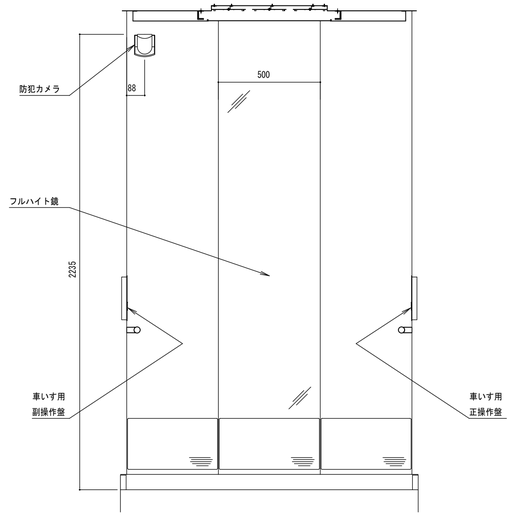
		設計番号	工事名称	縮尺	図面名称	図番 A-220
		年 月 日 令和8年1月	新座市立東北小学校校舎長寿命化改修工事	A1:1/2 A3:1/4	昇降機設備図（７）	承認 / 製図



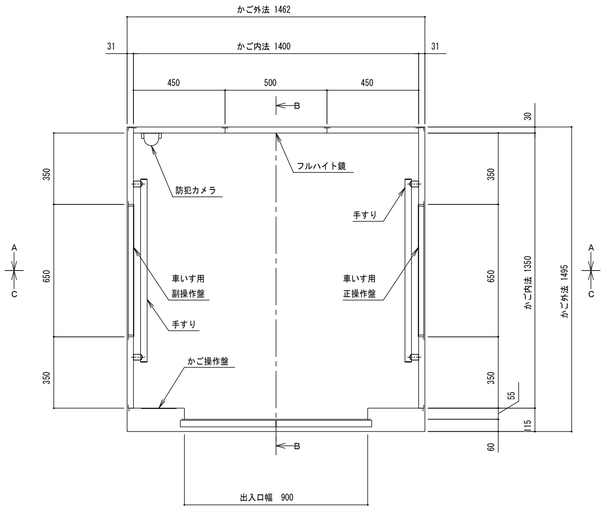
Uかご室正面図（矢視Ａ－Ａ）



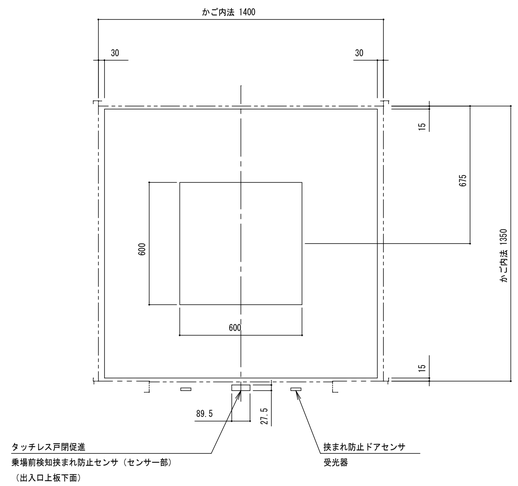
Uかご室側面図（矢視Ｂ－Ｂ）



Uかご室背面図（矢視Ｃ－Ｃ）



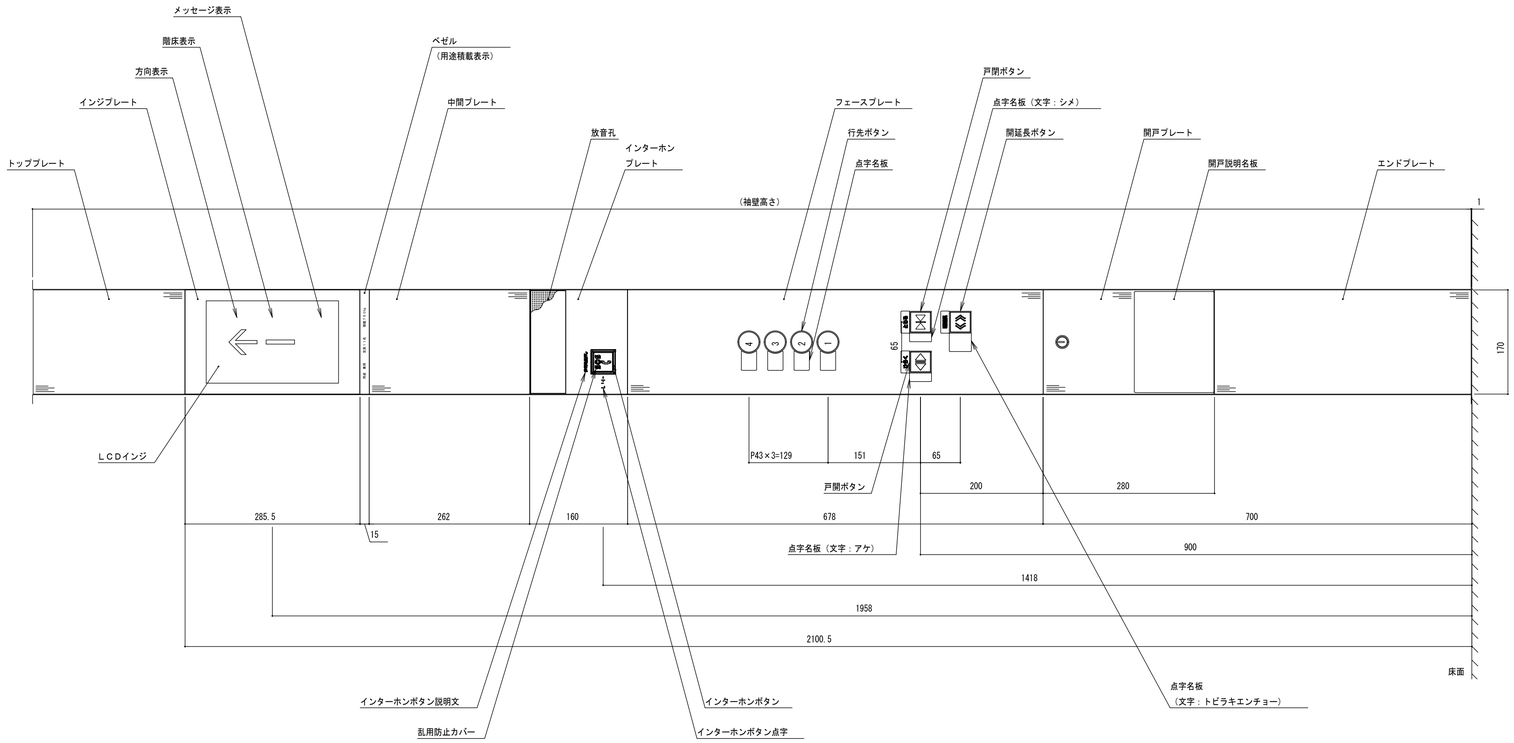
Uかご室平面図



U天井伏図

意匠仕様	
天井	鋼板塗装仕上
換気装置	ＤＣ軸流ファン＋　脱臭機能付きウイルス抑制装置
照明	乳白色樹脂照明板 ＬＥＤ照明（白色）
停電灯	主照明兼用式
壁	化粧鋼板
出入口上板	化粧鋼板
戸	化粧鋼板
袖壁・柱	ステンレスヘアライン仕上
巾木	アルミ製
床仕上部	樹脂タイル　ｔ２
敷居	ステンレス製
フルハイト鏡	ステンレス鏡面仕上　ｔ１．５
手すり	ステンレスヘアライン仕上（φ３２）　キャップ：樹脂（パールメッキ） ブラケット：アルミ　ブラケットカバー：樹脂（パールメッキ）
キックプレート	ステンレスヘアライン仕上：ビス無
保護幕	磁石式（保護幕高さ標準：床面より上端まで１８９５mm）
床マット	あり

		設計番号	工事名称	縮尺	図面名称	図番	A-221
		年 月 日 令和8年1月	新座市立東北小学校校舎長寿命化改修工事	A1:1/15 A3:1/30	昇降機設備図（８）	承認	製図

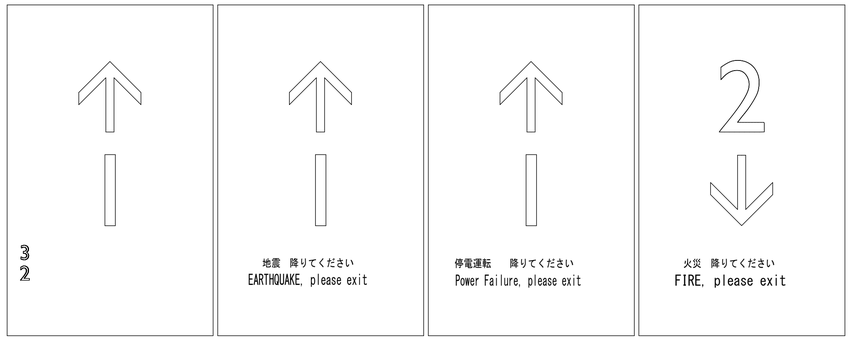


注意　次の注意事項をお守りください
故障やけがの原因となります

- エレベーターの中は禁煙です
- ドアによりかかったり、手をついたりしないでください
- とんだり、はねたりしないでください
- 地震・火災・冠水のときは使用しないでください
- ヒモやコードがドアに挟まれないようにしてください
- 乗り降りのときは、ドアや段差に注意してください
- 幼児には必ず保護者がつきそってください

乗りすぎ時ブザーがなるので最後の方は降りてください

U開戸説明名板表示内容
S=１／１

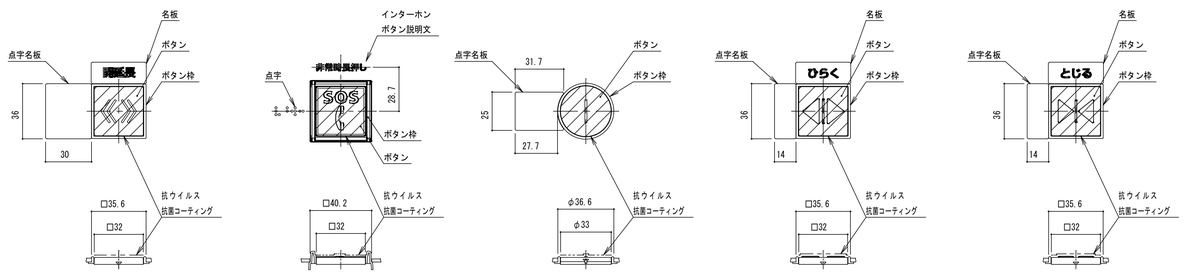


U通常時　U地震時　U停電時　U火災時

用途　乗用　　定員１１名　　積載７５０kg

U用途積載表示内容
S=１／１

U液晶インジ表示内容
S=１／２

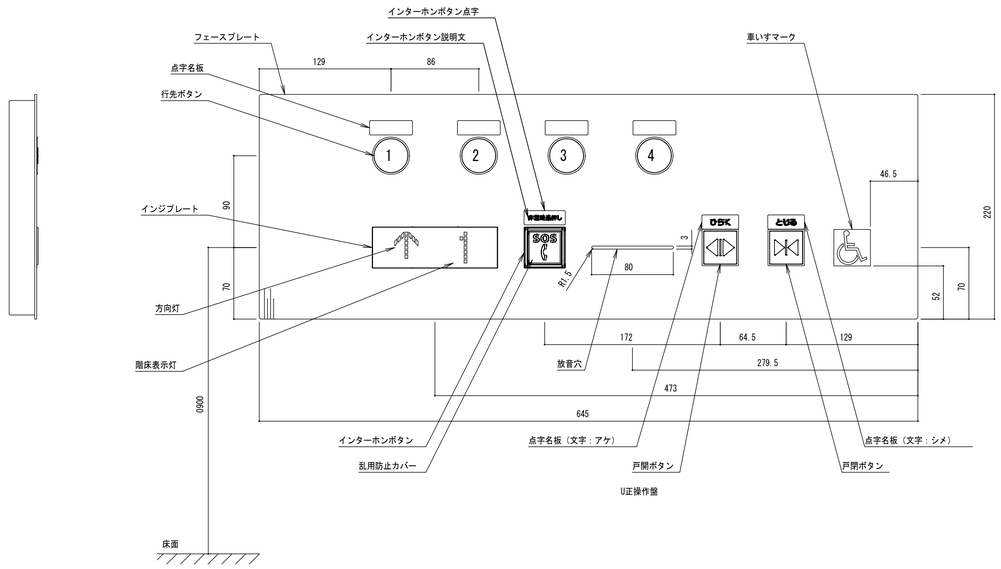


U開延長ボタン詳細　S=１／２
U インターホンボタン詳細　S=１／２
U行先ボタン詳細　S=１／２
U戸開ボタン詳細　S=１／２
U戸閉ボタン詳細　S=１／２

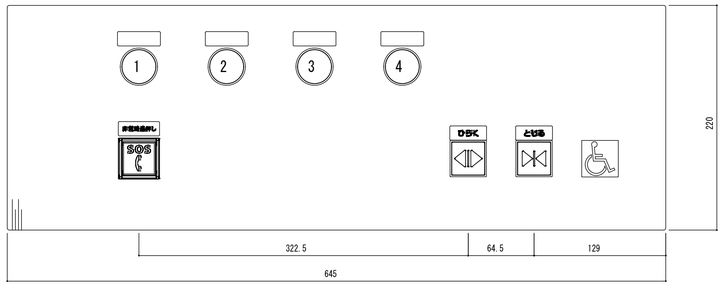
意匠仕様	
トッププレート	ステンレスヘアライン仕上
インジプレート	樹脂（色：ダークグレー）
ＬＣＤインジ	１０．１インチ（方向表示・階床表示・メッセージ表示）
ベゼル	樹脂（色：ダークグレー）
用途積載表示	文字色：白
中間プレート	ステンレスヘアライン仕上
インターホンプレート	樹脂（色：ダークグレー）
放音孔	樹脂（色：ダークグレー），パンチングシート
インターホンボタン説明文	文字色：白色
インターホンボタン	ボタン：樹脂（色：朱色）　外周・マーク・文字：白色 ボタン枠：透明（非点灯）
フェースプレート	ステンレスヘアライン仕上
戸開ボタン	ボタン：ステンレスバイブレーション　マーク：白色　ボタン枠：ライトグリーン（非点灯） 名板（シール式）　文字：白色　ベース：ライトグリーン　マーク：凸形状 点字名板　色：ＳＵＳ調シルバー　材質：樹脂（表面マット仕上）　貼付固定：接着
戸閉ボタン	ボタン：ステンレスバイブレーション　マーク：白色　ボタン枠：ライトグレー（非点灯） 名板（シール式）　文字：白色　ベース：ステンレスメタリック色　マーク：凸形状 点字名板　色：ＳＵＳ調シルバー　材質：樹脂（表面マット仕上）　貼付固定：接着
開延長ボタン	ボタン：ステンレスバイブレーション　マーク：白色　ボタン枠：ライトグレー非点灯 名板（シール式）　文字：白色　ベース：ステンレスメタリック色 点字名板　色：ＳＵＳ調シルバー　材質：樹脂（表面マット仕上）　貼付固定：接着
行先ボタン	ボタン：ステンレスバイブレーション　文字：白色 ボタン枠：透明（点灯色：ボタンと同一）　文字：凸形状 点字名板　色：ＳＵＳ調シルバー　材質：樹脂（表面マット仕上）　貼付固定：接着
ボタン点灯色	黄橙色
開戸プレート	ステンレスヘアライン仕上
開戸説明名板	樹脂（色：ＳＵＳ調シルバー）
エンドプレート	ステンレスヘアライン仕上
抗ウイルス・抗菌表示名板	プラスチック（透明裏面グレー印刷）　文字・マーク：白色
乱用防止カバー	樹脂（色：透明）

＊抗ウイルス・抗菌仕様範囲
・行先ボタン、戸開ボタン、
戸閉ボタン、インターホンボタン、
開延長ボタン
（各種ボタン枠は非対応）

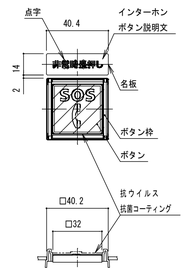
		設計番号	工事名称	縮尺	図面名称	図番	A-222
		年 月 日 令和8年1月	新座市立東北小学校校舎長寿命化改修工事	A1:1/5 A3:1/10	昇降機設備図（９）	承認	製図



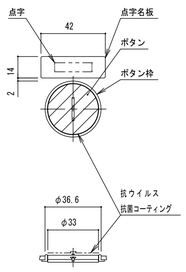
U正操作盤



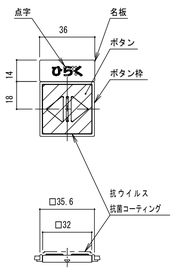
U副操作盤



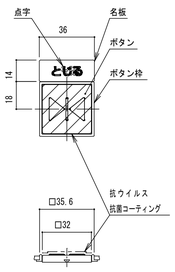
Uインターホンボタン詳細
S=１／２



U行先ボタン詳細
S=１／２



U戸開ボタン詳細
S=１／２



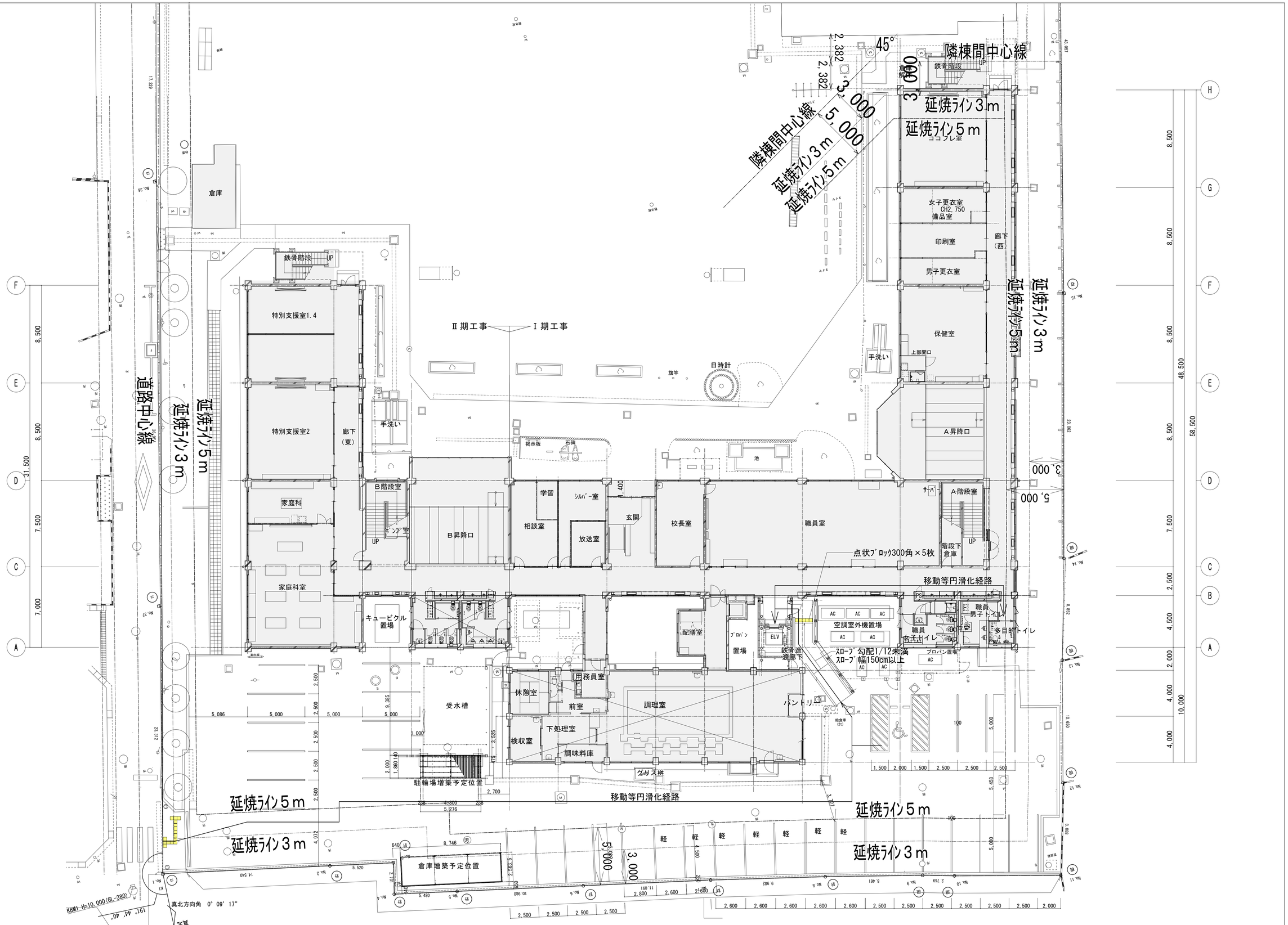
U戸閉ボタン詳細
S=１／２

意匠仕様	
インジプレート	樹脂（色：グレースモーク）
ＬＥＤインジ	ＬＥＤ
方向灯	点灯色：黄橙色
階床表示灯	
インターホンボタン	ボタン：樹脂（色：朱色）　外周・マーク・文字：白色 ボタン枠：透明（非点灯） 名板（シール式）　文字：白色　ベース：グレー色
インターホンボタン説明文	文字色：白色
フェースプレート	ステンレスヘアライン仕上
戸開ボタン	ボタン：ステンレスバイブレーション　マーク：白色 ボタン枠：ライトグリーン（非点灯）　マーク：凸形状 点字名板　色：文字白色　ベース：ライトグリーン　材質：樹脂（表面マット仕上） 貼付固定：接着
戸閉ボタン	ボタン：ステンレスバイブレーション　マーク：白色 ボタン枠：ライトグレー（非点灯）　マーク：凸形状 点字名板　色：文字白色　ベース：グレー　材質：樹脂（表面マット仕上） 貼付固定：接着
行先ボタン	ボタン：ステンレスバイブレーション　文字：白色 ボタン枠：透明（点灯色：ボタンと同一）　文字：凸形状 点字名板　色：ＳＵＳ調シルバー　材質：樹脂（表面マット仕上）　貼付固定：接着
ボタン点灯色	黄橙色
車いすマーク	名板（マーク：白　その他：青）　プラスチック（シール式）
抗ウイルス・抗菌表示名板	プラスチック（透明裏面グレー印刷）　文字・マーク：白色
乱用防止カバー	樹脂（色：透明）

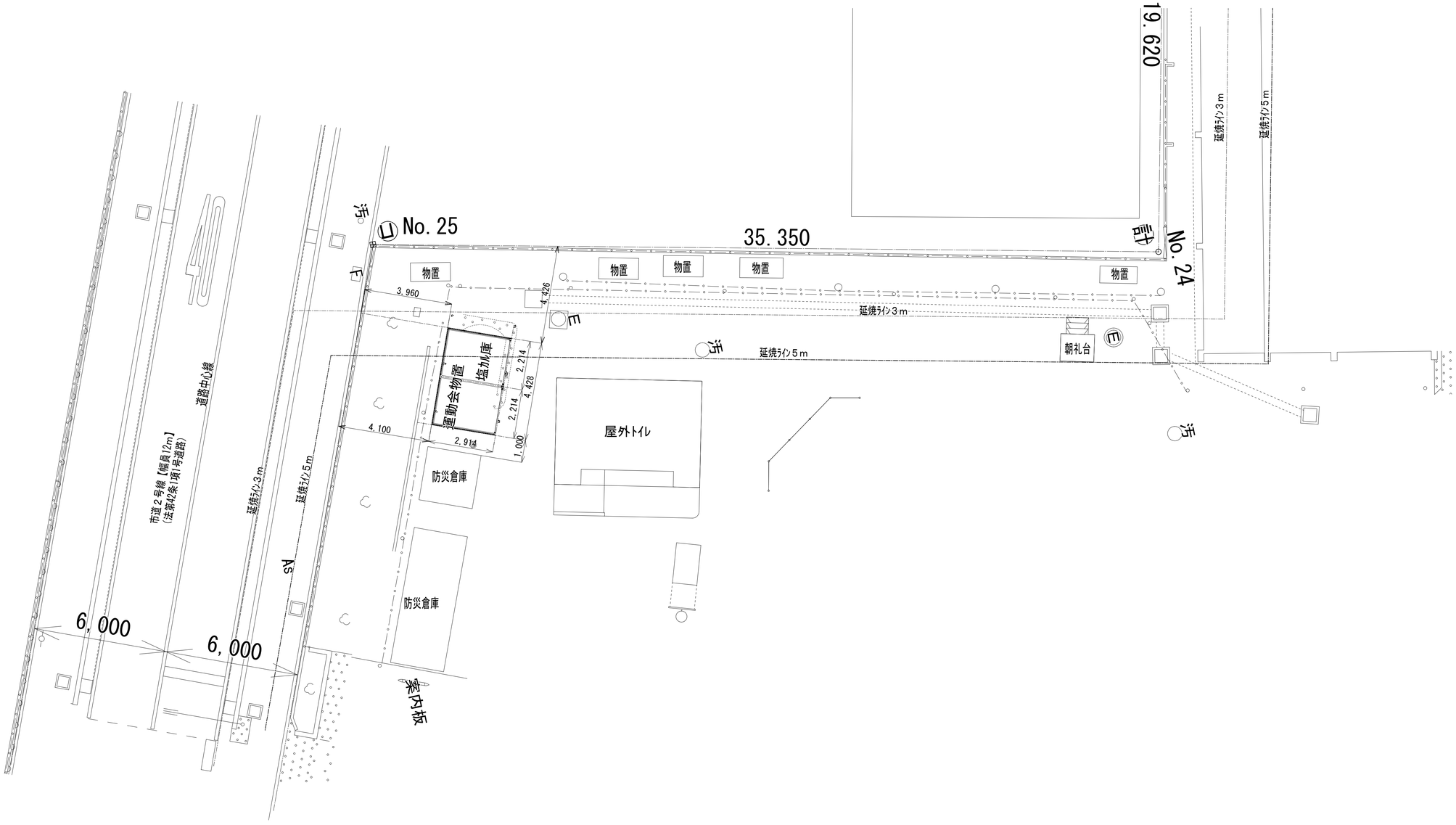
＊抗ウイルス・抗菌仕様範囲
・行先ボタン、戸開ボタン、
戸閉ボタン、インターホンボタン、

（各種ボタン枠は非対応）

		設計番号	工事名称	縮尺	図面名称	図番	A-223
		年 月 日 令和8年1月	新座市立東北小学校校舎長寿命化改修工事	A1:1/3 A3:1/6	昇降機設備図（１０）	承認	製図



	設計番号	工事名称	縮尺	図面名称	図番 A-224
	年月日 令和8年1月	新座市立東北小学校校舎長寿命化改修工事	A1:1/150 A3:1/300	増築建物位置図1	承認 / 製図



		設計番号	工事名称	縮尺	図面名称	図番	A-225
		年 月 日 令和8年1月	新座市立東北小学校校舎長寿命化改修工事	A1:1/100 A3:1/200	増築建物位置図2	承認	製図

新 構造設計特記仕様 その１

・修正箇所は下線を引くこと
適用は ■ 印を記入する。

１．本仕様の適用範囲

（１）本仕様の適用範囲

本特記仕様および配筋標準図は、設計基準強度が 18 N/mm²以上 60 N/mm²以下のコンクリートと、JIS G 3112に規定するSD295A、SD295B、SD345、SD390およびSD490の鉄筋コンクリート用棒鋼を用いる高さが 60 m 以下の鉄筋コンクリート造、鉄骨造等建築物の設計及び工事に適用する。

（２）仕様書等の優先順位

設計図書および仕様書の優先順位は以下による。

①特記仕様
②設計図（伏図、軸組図、部材リスト、詳細図など）
③標準図（鉄筋コンクリート構造配筋標準図など）
④建築工事標準仕様書・同解説（日本建築学会）等

２．建築物の構造内容

（１）建築場所 埼玉県新座市北野三丁目130-2の一部

（２）工事種別

□新築 ■増築 □改築 □ □

（３）構造設計一級建築士の関与 ■必要 □必要としない

□ 法第20条第二号 （ □RC造高さ 20 m超 ■S造 4 階建以上 □木造高さ 13 m超 □その他 ）
■ 軒高9m以上

（４）階数

地下	0 階	地上	4 階	塔屋	0 階
地下	階	地上	階	塔屋	階
地下	階	地上	階	塔屋	階

（５）構造種別

構 造 種 別	該 当 階 等	架構特徴等
□鉄筋コンクリート造 (RC)	基礎 階～ 階	□免震建物
□鉄骨鉄筋コンクリート造 (SRC)	階～ 階	□制震建物
■鉄骨造 (S)	1 階～ 4 階	■塔状建物
□		□
□		□
□		

（６）主要用途

□事務所 □共同住宅 □病院 □店舗 □倉庫 □ 工場 ■ 校舎

（７）屋上付属物

□キュービクル kN □高架水槽 kN □広告塔 kN □煙突 m
□太陽光発電設備 □ □ □

（８）設計荷重

(a)主な積載荷重 (N/m²)

室 名	床 用	架 構 用	地 震 用
各階ホール	2300	2100	1100

(b)１次設計用地震力

Co = 0.31 Z = 1.0 Rt = 1.0 K（地下）= 0.15

(c)風荷重

地表面粗度区分 Ⅲ 基準風速 Vo = 34 m/sec

(c)雪荷重

■垂直積雪量 30 cm ■設計用雪荷重 0.60 kN/m² □

(e)特殊の荷重及び仕上材

■エレベーター kN 1 基 □受水槽 kN □エスカレーター
□ □ □ □

（９）構造計算ルート

Ｘ方向ルート 3 －（ ） Ｙ方向ルート 3 －（ ）

（10）一次設計時用層間変形角

Ｘ方向 1/ 200 rad Ｙ方向 1/ 200 rad

（11）付帯工事

□門塀 □擁壁 □駐輪場 □機械式駐車場 □

（12）特定天井

□有 ■無

（13）屋根、床、壁

材 種	型式 厚 その他	使用箇所	仕様・構法
ALC (JIS A 5416)	厚 100	■壁 □床版	□スライド □ボルト止め
押出し成形セメント版	厚		■ロッキング □
□ハーフPca版 □Pca版	厚	□壁 □床版	□
折 版	H= 厚	□屋根 □	□
特殊デッキプレート 大臣認定( )	型式 厚	□屋根 □床版	□

３．使用建築材料表・使用構造材料一覧表

（１）コンクリート （レディーミクストコンクリート JIS Q 1001, JIS Q 1011, JIS A 5308）

適用所 階	適用所 部位	設計基準強度 Fc = N/mm²	品質基準強度 Fq = N/mm²	スランプ cm (スランプフロー)	比 重 γ = kN/m³	備 考
	□柱 □壁 □ □梁 □床版 □					
	□柱 □梁 □壁 □床版 □ □					
	□柱 □梁 □壁 □床版 □ □					
4	□柱 □梁 □壁 ■床版 □ □	24	24	18	23	
3	□柱 □梁 □壁 ■床版 □ □	24	24	18	23	
2	□柱 □梁 □壁 ■床版 □ □	24	24	18	23	
1	■床版 □ ■基礎 ■地中梁	24	24	18	23	
	防水押えコンクリート					
	捨てコンクリート	■ 18		18		※本仕様適用外
						※本仕様適用外

セメントの種類	■普通ポルトランドセメント □中庸熱ポルトランドセメント □低熱ポルトランドセメント □	
細骨材の種類	■ 砂 □ 山砂 □砕砂 □	
粗骨材の種類	■ 砂利 ■ 砕石 □ □	
水の区分	■ 水道水 □ 地下水 □ 工業用水 □	
構造体コンクリート強度を保証する材齢	材齢 (■28日 □56日 □91日 □)	
	養生 (■標準 □現場水中 □現場封かん □)	
単位水量	■ 185 kg/m³ 以下 □ 175 kg/m³ 以下 □	
単位セメント量	■ 270 kg/m³ 以上 □	
混和剤	■ AE減水剤 ■ 高性能減水剤 □	
	□ □ □	
空気量	■ 4.5 % 以下 □ 3.0 % 以下 □	
塩化物量	■ 0.3 kg/m³ 以下 □ □	
水セメント比	■ 65 % 以下 □ 50 % 以下 □	

（２）コンクリートブロック （□ JIS A 5406）

□ A種 □ B種 □ C種 厚 □ 100 □ 120 □ 150 □ 190 使用箇所(□ □)

（３）鉄 筋

鉄 筋	種 類	使用径 mm	使 用 箇 所	備 考
異形鉄筋 (JIS G 3112)	■ SD295	D16以下	基礎、基礎梁、床版	■ 重ね継手
				■ ガス圧接継手
	■ SD345	D19以上	基礎梁	□ 溶接継手
	□ SD390			□ 機械式継手
	□ SD490			□
	□			□ 機械式定着工法
高強度せん断補強筋	□ 685			□ 大臣認定番号 MSRB-
	□ 785			
	□ 1275			
	□			
溶接金網 (JIS G 3551)	□			

注1) SD490をガス圧接する場合は施工前に試験を行うこと。
注2) 各継手の使用詳細については本仕様その2の9.(2)鉄筋の項の鉄筋継手の項に■にて表示すること。

（４）鉄 骨

種 類	使用箇所	現場溶接	JIS規格・認定番号等
□SN400A ■SN400B □SN400C	大梁	□有 ■無	JIS G 3136
□SN490B ■SN490C □	通しダイアフラム	□有 ■無	JIS G 3136
■SS400 □SS490 □	小梁、間柱	□有 ■無	JIS G 3101
□SM400A □SM490A □		□有 □無	JIS G 3106
■BCR295 □BCP235 □BCP325	柱	□有 ■無	大臣認定 認定番号 MSTL-
□STKR400 □STKR490 □		□有 □無	JIS G 3466
□SSC400 □ □		□有 □無	JIS G 3350
□ □ □			
□ □ □			
溶接材料 □ □			JIS Z 3312
□ □ □			

（５）ボルト等

■高力ボルト
□F10T(JIS B1186) ■S10T 大臣認定番号(MBLT-9018 (■M16,■M20,■M22,□M24,□)
□溶融亜鉛めっき高力ボルト F8T 大臣認定番号( ) (□M16,□M20,□M22,□M24,□M12)
□
■ボルト(JIS B1180) M 12 M 16 ■ 4.8(4T) □ □
■アンカーボルト（構造用アンカーボルト）
■SS400 M 図示 L= 図示 mm ナット（□シングル、■ダブル） 間柱
■SNR400B M 図示 L= 図示 mm ナット（□シングル、■ダブル）（JIS B 1220）
□ベースパックM M 図示 L= 図示 mm ナット（□シングル、□ダブル） 主柱
□頭付スタッド(JIS B1198)
φ= L= mm 使用箇所（□柱 □大梁 □小梁）
φ= L= mm 使用箇所（□柱 □大梁 □小梁）

４．地 盤

（１）地盤調査資料と調査計画

■有 （■敷地内 □近隣） □無 （調査計画 □有 □無）

調 査 項 目	資料有り	調査計画	調査項目	資料有り	調査計画	調査項目	資料有り	調査計画
ボーリング調査	○		静的貫入試験			標準貫入試験	○	
水平地盤反力係数の測定			土質試験			物理探査		
試験堀（支持層の確認）			平板載荷試験			液状化判定		
			現場透水試験			ＰＳ検層		

注）上記表中の資料が有るもの、調査計画が有るものに○を記入する。

（２）ボーリング標準貫入値、土質構成 （基礎・杭の位置を明記すること）

深度 | 土質 | N値 | 標準貫入試験 10 20 30 40 50 60

GL ▽

S-10参照

○調査地番
○位置図
○支持地盤、地層及び深さについてのコメント
○孔内水位 GL － m
○近隣データの調査地番と設計地番とは約 mの距離が有る
○備考（土質試験の内容等）
□
□
□
□
□

注）地盤調査及び試験杭の結果により、杭長さ、杭種、直接基礎の深さ、形状を変更する場合もある。

５．地業工事

エレベーターは以下に示す杭基礎とする。
渡り廊下はS-14の布基礎とする。

（１）直接基礎 □ベタ基礎 □布基礎 □独立基礎 試験堀 □有 □無
深さ GL－ m、支持層－ 、長期許容支持力度 kN/m² 載荷試験 □有 □無

（２）地盤改良 □浅層混合処理工法 □深層混合処理工法 □
深さ GL－ m、長期許容支持力度 kN/m² 載荷試験 □有 □無
注）「建築物のための改良地盤の設計及び品質管理指針：日本建築センター平成24年」を参考とする

（３）杭基礎 支持層－

杭 種	材 料	施 工 法	備 考
□場所打ち コンクリート杭	コンクリートFc N/mm²	□オールケーシング	認定
	スランプ cm以下	□リバースサーキュレーション	第 号
	セメント量 kg/m³	□アースドリル	年 月 日
	単位水量 kg/m³	□拡底杭 □拡頭・拡底杭 □鋼管補強杭 □	
		□深 礎 (□手掘 □機械掘)	

既製杭・杭種	種 類	材 料	施 工 法	備 考
□ PRC	□Ⅰ種 □Ⅱ種 □Ⅲ種	鋼材□	□埋め込み	認定
□ PHC	□A種 □B種 □C種	鋼材□	□打ち込み	第 号
■ 鋼管	S-10による	コンクリート□FC85	□	年 月 日
□ SC	□	コンクリート□FC105	□	

杭仕様 ■施工計画書承認 ■杭施工結果報告書
試験杭 （■有・□無） （□打ち込み・□載荷・□孔壁測定） 本

杭径(mm)	設計支持力(kN)	杭の先端の深さ(m)	本 数	特 記 事 項
S-10による				

６．鉄骨工事 （施工方法等計画書）

（１）鉄骨工事は指示のない限り下記による

■ 日本建築学会 「ＪＡＳＳ６ 2015年版」「鉄骨精度検査基準」「鉄骨工事技術指針」
■ 一社）日本鋼構造協会「建築鉄骨工事施工指針」
■ 鉄骨製作管理技術者登録機構「突合せ継手の食い違い仕口のずれの検査・補強マニュアル」

（２）工事監理者の承認を必要とするもの

■製作工場 ■製作要領書 ■工作図 ■施工計画書
■認定または登録工場（大臣認定 Ｓ Ｈ Ⓜ Ｒ Ｊ グレード 都登録 Ｔ1 Ｔ2 Ｔ3 ランク）
■材料規格証明書※、または試験成績書
■鋼材 ■高カボルト □特殊ボルト ■頭付スタッド
※一社）日本鋼構造協会「建築構造用鋼材の品質証明ガイドライン」の規格証明方法、またはミルシート。
■社内検査表 □ □

（３）工事監理者が行う検査項目

（■印以外の項目の検査結果については、工事監理者に報告すること）
■現寸検査 □組立・開先検査 ■製品検査 ■建方検査 □

（４）接合部の溶接は下記によること

■ 平成12年度建設省告示第1464号第二号 イ、ロ
■ 鉄骨造等の建築物の工事に関する東京都取扱要綱
■ 日本建築学会「溶接工作規準、同解説Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ、Ⅴ、Ⅵ、Ⅶ、Ⅷ、Ⅸ」
■ 日本建築学会「鉄骨工事技術指針 工事現場施工編」

（５）接合部の検査

■ 溶接部の検査（検査結果は工事監理者に報告すること）

検 査 箇 所	検 査 方 法	検査率又は検査数 工場自主検査	第三者受入検査	工事監理者	備 考
■完全溶込み溶接部（突合せ溶接） □	外観検査（※）	100 % 個	30 % 個	承認 % 個	※平成12年建設省告示第1464号第二号による（目視及び計測）
	超音波探傷検査	100 % 個	30 % 個	承認 % 個	
	内質検査 □硬さ試験	% 個	% 個	% 個	
	内質検査 □示温塗料塗布	% 個	% 個	% 個	
	マクロ試験・その他	個	個	個	
■ 隅肉溶接部	外観検査（※）	100 % 個	30 % 個	30 % 個	
第三者検査機関名		（ 登録 号）			

第三者検査機関とは、建築主、工事監理者又は工事施工者が、受入れ検査を代行させるために自ら契約した検査会社をいう。

注1) 現場溶接部については原則として第三者検査機関による全数検査とし、外観検査、超音波探傷検査を100%行うこと
注2) 知事が定めた重大な不具合が発生した場合は、是正前に対応策を建築主事等に報告すること

■ 高力ボルトの検査（検査結果は後日工事監理者に報告すること）
軸力導入試験 □ 要 ■ 否 高力ボルトすべり係数試験 □ 要 ■ 否
■ 一次締め後にマーキングを行い、二次締め後そのずれを見て、共回り等の異常が無いことを確認する。
■ トルシア形高力ボルトは二次締め後、マーキングのずれとピンテールの破断を確認する。

（６）防錆塗装

■ 防錆塗装の範囲は、高力ボルト接合の摩擦面及びコンクリートで被覆される以外の部分とする。錆止めペイントは、□JIS K 5621、□JIS K 5625、■JIS K 5674、□ （フォースター F☆☆☆☆）を使用し、２回塗りを標準とするが、実状に応じて決定すること。
■ 現場における高力ボルト接合部及び接合部の素地調整は入念に行い、塗装は工場塗装と同じ錆止めペイントを使用し、２回塗りとする。

（７）耐火被覆の材料

□

７．設備関係

■ 建築設備の構造および構造体への緊結部分は、構造耐力上安全な構造方法を用いるものとする。
■ 建築設備の支持構造部および緊結金物には、錆止め等、防腐のための有効な措置を講じること。
□ 建築物に設ける屋上からの突出する水槽・煙突・その他これらに類するものは、風圧・地震力等に対して構造耐力上主要な部分に緊結され、安全であること。
□ 煙突は、鉄筋に対するコンクリートのかぶり厚さを５ｃｍ以上とした鉄筋コンクリート造とすること。
■ 設備配管は、地震時等の建物変形に追従できること。また、地震力等に対して適切に支持されていること。
■ 設備機器の架台及び基礎については、風圧、地震力等に対して構造耐力上安全であること。
■ エレベーター・エスカレーターの駆動装置等は、構造体に安全に緊結されていること。
また、地震時の層間変形に追従できること。
■ 特記以外の梁貫通孔は原則として設けない。
■ 床スラブ内に設備配管等を埋込む場合はスラブ厚さの１／３以下とし管の間隔を管径の３倍以上かつ５ｃｍ以上を原則とする。
□
□

８．その他

■ 諸官庁への届出書類は遅滞なく提出すること。
■ 各試験の供試体は公的試験機関にて試験を行い工事監理者に報告すること。
■ 必要に応じて記録写真を撮り保管すること。

		設計番号	工事名称	縮尺	図面名称
		年 月 日 令和8年1月	新座市立東北小学校校舎長寿命化改修工事	Non	新 構造設計特記仕様 その１

図番	Ｓ－０１	
承認		製図

新 構造設計特記仕様 その２

・修正箇所は下線を引くこと
適用は ■ 印を記入する。

９．鉄筋コンクリート工事

（１）コンクリート

鉄筋コンクリート工事の施工に関しては記載無きは、JASS 5 2015 による。

(a) コンクリートの仕様

本仕様書では、JASS 5に規定する普通骨材を用いた一般仕様のコンクリートを「普通コンクリート」と定義し、表9.1に示す様に設計基準強度が36N/mm²以下のコンクリートについてはJASS5の3節～11節を適用し、36N/mm²を超えるコンクリートについてはJASS5の17節（高強度コンクリート）を適用する。また、設計基準強度もしくは品質基準強度と構造体強度補正値から定める調合管理強度以上とし、発注するレディーミクストコンクリートの呼び強度が表9.2に示すJIS規格外となる場合は、法第37条の大臣認定を受けた製品を用いる必要がある。
軽量コンクリートについてはJASS 5の14節によること。

表9.1 コンクリート圧縮強度(N/mm²)に応じた仕様書の使い分け

設計基準強度 Fc	18	21	24	27	30	33	36	39	42	45	48	51	54	57	60
JASS 5での区分	普通コンクリート							高強度コンクリート							

表9.2 レディーミクストコンクリートのJIS規格品

調合管理強度(N/mm²)	21	24	27	30	33	36	39	42	45	48	51	54	57	60	60超
呼び強度（JIS規格品）	21	24	27	30	33	36	40	42	45	50	55	55	60	60	※

※印は規格外

(b) 品質と施工

■ 構造体の計画供用期間の級は特記による。特記が無い場合は標準とする。
■標準 □長期 □超長期

■ コンクリートは JIS A 5308（レディーミクストコンクリート） に適合するJIS認定工場の製品とする。

□ 設計基準強度が 36 N/mm²を超えるコンクリートを扱うレディーミクストコンクリート工場は、「高強度コンクリート」の製品認証を受けているか、建築基準法第37条第二号によって国土交通大臣が指定建築材料として認定した高強度コンクリートの製造工場とする。

□ レディーミクストコンクリート工場および高強度コンクリートを打設する施工現場には、コンクリート主任技士またはコンクリート技士、あるいはこれらと同等以上の知識経験を有すると認められる技術者が常駐していなければならない。

■ 施工者は、工事に先立ち、コンクリートの調合・製造計画、施工計画、品質管理計画書を作成し、工事監理者の承認を得ること。

■ フレッシュコンクリートの流動性は、スランプまたはスランプフローで表し、設計基準強度が 36 N/mm²以下 33 N/mm²以上の場合スランプ21cm以下、33 N/mm²未満の場合スランプ18cm以下とし設計基準強度が36 N/mm²超 45 N/mm²未満の場合はスランプ 21 cm以下またはスランプフロー 50 cm以下、設計基準強度が 45 N/mm²以上の場合はスランプ 23 cm以下またはスランプフロー 60 cm以下とし、特記による。

■ コンクリートに含まれる塩化物量は、塩化物イオン量として 0.3 kg/m³以下とする。

■ コンクリートの練混ぜから打込み終了までの時間は、原則として120分を限度とする。

■ コンクリート打込み時の自由落下高さは、コンクリートが分離しない範囲とする。

■ 打継ぎ部は構造的に影響の少ない位置を選び打継ぎ処理を行い、打込み前に十分な水湿しを行う。

■ 打込み後の湿潤養生の期間は、セメントの種類および設計基準強度に応じて3日以上とする。

(c) 調合および構造体コンクリート強度

ｉ）高強度コンクリート

□ 調合強度を定めるための基準とする材齢は、特記による。特記のない場合は 28日とする。

□ 構造体コンクリート強度を保証する材齢は、特記による。特記のない場合は 91日とする。

□ 構造体コンクリート強度は、次の①または②を満足するものとする。
① 標準養生した供試体による場合、調合強度を定めるための基準とする材齢において調合管理強度以上とする。
② 構造体温度養生した供試体による場合、構造体コンクリート強度を保証する材齢において設計基準強度に 3 N/mm²加えた値以上とする。

□ 調合管理強度は、以下による。

$_{H}F_{m} = F_{C} + {}_{m}S_{n}$ (N/mm²)

$_{H}F_{m}$ ： 高強度コンクリートの調合管理強度 (N/mm²)
F_{C} ： コンクリートの設計基準強度 (N/mm²)
$_{m}S_{n}$ ： 高強度コンクリートの構造体強度補正値 JASS 5 による。

□ 調合強度は標準養生供試体の圧縮強度で表すものとし、下記の両式を満足するように定める。

$_{H}F \geqq {}_{H}F_{m} + 1.73\sigma_{H}$ (N/mm²)
$_{H}F \geqq 0.85\ {}_{H}F_{m} + 3\sigma_{H}$ (N/mm²)

$_{H}F$ ： 高強度コンクリートの調合強度 (N/mm²)
σ_{H} ： 高強度コンクリートの圧縮強度の標準偏差 (N/mm²) で、レディーミクストコンクリート工場の実績による。実績がない場合は、$0.1(F_{C}+{}_{m}S_{n})$とする。

ⅱ）普通コンクリート

■ 調合を定めるための基準とする材齢は、原則として 28日とする。

■ 構造体コンクリート強度は表9.3を満足すれば合格とする。

表9.3 構造体コンクリートの圧縮強度の判定基準

供試体の養生方法	試験材齢 (1)	判定基準
標準養生 (2)	28 日	X ≧ Fm
コ ア	91 日	X ≧ Fq

ただし、X ： 1回の試験における3個の供試体の圧縮強度の平均値 (N/mm²)
Fm: コンクリートの調合管理強度 (N/mm²)
Fq: コンクリートの品質基準強度 (N/mm²)

[注] (1) 早い材齢において試験を行い、合否判定基準を満たした場合は、合格とする。
(2) 工事監理者の承認を得て、供試体成型後、翌日までは20±10℃の日光および風が直接当らない箇所で、乾燥しないように養生して保管することができる。

＊ 標準養生供試体の代わりにあらかじめ準備した現場水中養生供試体によることができる。その場合の判定基準は材齢28日までの平均気温が20℃以上の場合は、3個の供試体の圧縮強度の平均値が調合管理強度以上であり、平均気温が20℃未満の場合は、3個の供試体の圧縮強度の平均値から 3 N/mm²を減じた値が品質基準強度以上であれば合格とする。

＊ コア供試体の代わりにあらかじめ準備した現場封かん養生供試体によることができる。その場合の判定基準は材齢28日を超え91日以内のn日において3個の供試体の圧縮強度の平均値から 3 N/mm²を減じた値が品質基準強度以上であれば合格とする。

■ 調合管理強度は、以下による。

$F_{m} = F_{q} + {}_{m}S_{n}$ (N/mm²)

F_{m} ： コンクリートの調合管理強度 (N/mm²)
F_{q} ： コンクリートの品質基準強度 (N/mm²)
$_{m}S_{n}$ ： 標準養生した供試体の材齢 m 日における圧縮強度と構造体コンクリートの n 日における圧縮強度の差による構造体強度補正値 (N/mm²)

■ 調合強度は標準養生した供試体の材齢 m 日における圧縮強度で表すものとし、下記の両式を満足するように定める。調合強度を定める材齢 m 日は、原則として 28 日とする。

$F \geqq F_{m} + 1.73\sigma$ (N/mm²)
$F \geqq 0.85\ F_{m} + 3\sigma$ (N/mm²)

F ： コンクリートの調合強度 (N/mm²)
σ ： 使用するコンクリートの圧縮強度の標準偏差 (N/mm²) で、レディーミクストコンクリート工場の実績による。実績のない場合は、2.5N/mm²、または 0.1F_{m} の大きい方の値とする。

(d) 検査

■ フレッシュコンクリートの塩化物測定は、原則として工事現場で（一財）国土開発技術センターの技術評価を受けた測定器を用いて行い、試験結果の記録及び測定器の表示部を一回の測定ごとに撮影した写真（カラー）を保管し、工事監理者の承認を得る。測定検査の回数は、通常の場合 1 日 1 回以上とし、1回の検査における測定試験は、同一試料から取り分けて３回行い、その平均値を試験値とする。

■ スランプの許容差は普通コンクリートの場合、スランプが 8cm以上18cm以下の場合±2.5cm、21cmの場合±1.5cm（呼び強度27以上で高性能AE減水剤を使用する場合は±2cm）とする。
高強度コンクリートの場合は、スランプが 18cm以下の場合±2.5cm、21cm以上の場合±2cmとし、スランプフローの許容差は、目標スランプフローが 50cm以下の時は±7.5cm、50cmを超える時は±10cmとする。

■ 使用するコンクリートの圧縮強度試験は、普通コンクリートでは標準養生を行った供試体を用いて材齢 28日で行い、1回の試験は、打込み工区ごと、打込み日ごと、かつ 150m³またはその端数ごとに 3個の供試体を用いて行う。 3回の試験で 1検査ロットを構成する。
高強度コンクリートでは、打込み日かつ 300m³ごとに検査ロットを構成して行う。1検査ロットにおける試験回数は 3回とする。検査は適当な間隔をあけた任意の 3台のトラックアジテータから採取した合計 9個の供試体による試験結果を用いて行う。検査に用いる供試体の養生方法は標準養生とする。

■ 構造体コンクリートの圧縮強度の検査は普通コンクリートでは、打込み工区ごと、打込み日ごと、かつ 150m³またはその端数ごとに 1回行う。 1回の試験には適当な間隔をおいた 3台の運搬車から 1個ずつ採取した合計 3個の供試体を用いる。
高強度コンクリートでは打込み日、打込み工区かつ 300m³ごとに行う。検査には適当な間隔をあけた任意の 3台のトラックアジテータから採取した合計 9個の供試体を用いる。検査に用いる供試体の養生方法は標準養生または構造体温度養生とする。

■ 使用するコンクリートの圧縮強度の判定は、JASS5による。
構造体コンクリートの圧縮強度の判定は、(c)調合および構造体コンクリート強度による。

■ コンクリートの試験は、「建築物の工事における試験および検査に関する東京都取扱要綱」第4条の試験機関で行うこと。
試験・検査機関名 （ 登録 号）
代行業者名 （登録番号 号）
代行業者とは、試験・検査に伴う業務を代行するものを言う。

（２）鉄 筋

(a) 施工

■ 鉄筋はJIS G 3112（鉄筋コンクリート用棒鋼）に適合するものを用いる。溶接金網および鉄筋格子は、JIS G 3551（溶接金網および鉄筋格子）に適合するものを用いる。

□ 高強度せん断補強筋は、技術評価を取得し、建築基準法第37条の材料認定を受けたものを用いる。

■ 鉄筋の加工寸法、形状、鉄筋の継手位置、継手の重ね長さ、定着長さは「新 鉄筋コンクリート構造配筋標準図(1)～(3)」による。

■ 鉄筋の継手は重ね継手、ガス圧接継手、機械式継手または溶接継手によることとし、鉄筋径と使用箇所を定め特記による。

表9.4 鉄筋の継手

鉄筋継手工法	継手の位置等の設計条件による仕様・等級				鉄筋の径	使用箇所
	(1) 引張力最小部位	(2) (1)以外の部位 (注)				
		A 級	B 級	SA級		
■ 重ね継手	標準図による				■ D（ 16 ）以下	
■ 圧接継手	■ 告示1463号第2項各号	□			■ D（ 19 ）以上	
□ 溶接継手	□ 告示1463号第3項各号	□	□		□ D（ ）以上	
□ 機械式継手	□ 告示1463号第4項各号	□	□	□	□ D（ ）以上	

注） (1)以外の部位に設ける継手は、平成12年告示第1463号ただし書きに基づき、日本鉄筋継手協会、日本建築センター等の認定・評定等を取得した継手工法の等級で、構造計算にあたって『鉄筋継手使用基準（建築物の構造関係技術基準解説書 2007）』によって検討した部材の条件・仕様によること。

■ 機械式継手および圧接継手および溶接継手は（公社）日本鉄筋継手協会「鉄筋継手工事標準仕様書」による他、所要の品質が得られるように工事計画および工事管理計画を定めて、工事監理者の承認を受ける。

■ ガス圧接の施工は、強風時または降雨時には原則として作業を行わない。ただし、風除け・覆いなどの設備をした場合には、工事監理者の承認を得て作業を行うことができる。

■ 圧接技量資格者は、（公社）日本鉄筋継手協会によって認証された技量適格性証明書を工事監理者に提出し、承認を受ける。

□ 機械式鉄筋定着工法に用いる定着板には信頼できる機関による性能証明書等を取得した定着金物を用いる。

(b) 検査

継手部の検査方法
各継手工法ごとの検査は平12建告1463号による他、具体的な検査方法は、（公社）日本鉄筋継手協会の仕様書を参照のこと。

表9.5 継手の検査

	継手方法	外観検査	引 張 試 験	超音波探傷試験
1	ガス圧接	■有 100 %	■有 □無 % 5 個	□有 ■無 % 個
2	溶 接	■有 %	□有 □無 % 個	□有 □無 % 個
3	機 械 式	■有 %		□有 □無 % 個

ガス圧接部分の検査を超音波探傷検査によって行う場合、最初の数ロットについては引張試験も併用し、1回の引張試験は 5本以上とする。（ 1ロットは同一作業班が同一日中に作業した圧接箇所で 200箇所程度とする。）

■ 鉄筋の継手の試験・検査は、「要綱」第4条の試験機関、又は第8条の検査機関で行うこと。
試験・検査機関名 一般財団法人 建材試験センター （都知事登録 号）

設備等の構造関連規定に関する法適合確認チェック

令第１２９条の２の３の事項 ✓：本建築物において、該当する事項

・ 建築物に設ける建築設備にあっては、構造耐力上安全なものとして以下の構造方法による。

☑ 建築設備の支持構造及び緊結金物は、腐食又は腐朽のおそれがないものとすること。

☑ 屋上から突出する水槽、煙突、冷却塔その他これらに類するものは、支持構造部又は建築物の構造耐力上主要な部分に、支持構造部は、建築物の構造耐力上主要な部分に、緊結すること。

□ 煙突の屋上突出部の高さは、れんが造、石造、コンクリートブロック造又は無筋コンクリート造の場合は鉄製の支枠を設けたものを除き、９０cm以下とすること。

□ 煙突で屋内にある部分は、鉄筋に対するコンクリートのかぶり厚さを５cm以上とした鉄筋コンクリート造又は厚さが２５cm以上の無筋コンクリート造、れんが造、石造若しくはコンクリートブロック造とすること。

・建築物に設ける給水、排水その他の配管設備

☑ 風圧、土圧及び水圧並びに地震その他の震動及び衝撃に対して安全上支障のない構造とすること。

☑ 建築物の部分を貫通して配管する場合においては、当該貫通部分に配管スリーブを設ける等有効な管の損傷防止のための措置を講ずること。

☑管の伸縮その他の変形により当該管に損傷が生ずるおそれがある場合において、伸縮継手又は可撓継手を設ける等有効な損傷防止のための措置を講ずること。

☑ 管を支持し、又は固定する場合においては、つり金物又は防振ゴムを用いる等有効な地震その他の振動及び衝撃の緩和のための措置を講ずること。

・給湯設備

☑ 風圧、土圧及び水圧並びに地震その他の震動及び衝撃に対して安全上支障のない構造とすること。

☑周囲に上部な壁または囲いを設けること。

☑地震時の転倒、移動等により人が危害を受けるおそれがないこと。

☑告示第１３８８号（改正１４４７号）で定められたアンカーボルト等で緊結すること。

☑ 法第２０条第一号から第三号までの建築物に設ける屋上から突出する水槽、煙突その他これらに類するものにあっては、建設省告示第１３８９号により、風圧並びに地震その他の震動及び衝撃に対して構造耐力上安全なものとすること。

（３）かぶり厚さ

■ 最小かぶり厚さは、表9.6に規定する設計かぶり厚さを10mm減じた値とする。

■ 設計かぶり厚さは、コンクリート打込み時の変形・移動などを考慮して、最小かぶり厚さが確保されるように、部位・部材ごとに定めるものとし、表9.6以上の値とする。

表9.6 設計かぶり厚さ（単位：mm）

構造体の計画供用期間の級		標準・長期		超長期	
部材の種類		屋 内	屋 外 (2)	屋 内	屋 外 (2)
構造部材	柱・梁・耐力壁	40	50	40	50
	床スラブ・屋根スラブ	30	40	40	50
非構造部材	構造部材と同等の耐久性を要求する部材	30	40	40	50
	計画供用期間中に維持保全を行う部材 (1)	30	40	(30)	(40)
直接土に接する柱・梁・壁・床および布基礎の立上り部分、擁壁の壁部分		50			
基礎、擁壁の基礎・底盤		70			

注） (1) 計画供用期間の級が超長期で計画供用期間中に維持保全を行う部材では、維持保全の周期に応じて定める。
(2) 計画供用期間の級が標準、長期および超長期で、耐久性上有効な仕上げを施す場合は、屋外側では設計かぶり厚さを 10mm減じることができる。

■ 完成した構造体の各部位における最外側鉄筋のかぶり厚さは、最小かぶり厚さ以上とする。

■ コンクリート構造体に誘発目地・施工目地などを設ける場合は、建築基準法施行令第79条に規定する数値を満足し、構造耐力上必要な断面寸法を確保し、防水上および耐久性上有効な措置を講じれば上記によらなくても良い。

（４）型 枠

■ 型枠および支保工の存置期間は、昭63年建告第1655号に基づき下表による。

表9.7 型枠存置日数 昭和46年建設省告示第110号（昭和63年改正建設省告示第1655号）

種類	せ き 板				支 柱			
部位	基礎、梁側、柱、壁		スラブ下、梁下		スラブ下		梁下	
セメントの種類 / 存置期間の平均気温	早強ポルトランドセメント	普通ポルトランドセメント 高炉セメントA種 シリカセメントA種	早強ポルトランドセメント	普通ポルトランドセメント 高炉セメントA種 シリカセメントA種	早強ポルトランドセメント	普通ポルトランドセメント 高炉セメントA種 シリカセメントA種	早強ポルトランドセメント 普通ポルトランドセメント 高炉セメントA種 シリカセメントA種	
コンクリートの材令（日） 15℃以上	2	3	4	6	8	17	28	
5℃～15℃	3	5	6	10	12	25	28	
5℃未満	5	8	10	16	15	28	28	
コンクリートの圧縮強度	※5.0N/mm²		設計基準強度の５０%		設計基準強度の ８５%		１００%	

※ JASS 5では普通コンクリートの場合計画供用期間の級が標準にあっては 5 N/mm²以上、長期及び超長期の場合は 10 N/mm²以上、また高強度コンクリートの場合は 10 N/mm²以上。

注）1 片持ち梁、庇、スパン 9.0m以上の梁下は、工事監理者の承認による。
注）2 大梁の支柱の盛替えは行わない。また、その他の梁の場合も原則として行わない。
注）3 支柱の盛替えは、必ず直上階のコンクリート打ち後とする。
注）4 盛替え後の支柱頂部には、厚い受板、角材または、これに代わるものを置く。
注）5 支柱の盛替えは、小梁が終ってからスラブを行う。一時に全部の支柱を取り払って盛替えをしてはならない。
注）6 直上階に著しく大きい積載荷重がある場合においては、支柱（大梁の支柱を除く）の盛替えを行わないこと。
注）7 支柱の盛替えは、養生中のコンクリートに有害な影響をもたらすおそれのある振動または衝撃を与えないように行うこと。

		設計番号	工事名称	縮尺	図面名称
		年 月 日 令和8年1月	新座市立東北小学校校舎長寿命化改修工事	Non	新 構造設計特記仕様 その２
					図番 Ｓ－０２
					承認 / 製図

新 鉄筋コンクリート構造配筋標準図（１）

※修正箇所は下線を引くこと

１．一般事項

（１）構造図面に記載された事項は、本標準図に優先して適用する。

（２）記号

d…異形棒鋼の呼び名に用いた数値（径）　　D…部材の成、又は鉄筋内法直径

@…間隔　　r…半径　　℄…中心線　　ℓo…部分間の内法距離　　ｈｏ…部材間の内法高さ

ＳＴ…あばら筋　　ＨＯＯＰ…帯筋　　Ｓ.ＨＯＯＰ…補強帯筋

２．鉄筋加工

（１）鉄筋の折り曲げ加工

図	折り曲げ角度	鉄筋の種類	鉄筋の径による区分	鉄筋の折り曲げ内法直径(D)
180°：余長4d以上	180° 135° 90°	SD295	D16以下	3d以上
		SD345	D19～D41	4d以上
135°：余長6d以上		SD390	D41以下	5d以上
90°：余長8d以上	90°	SD490	D25以下	
			D29～D41	6d以上

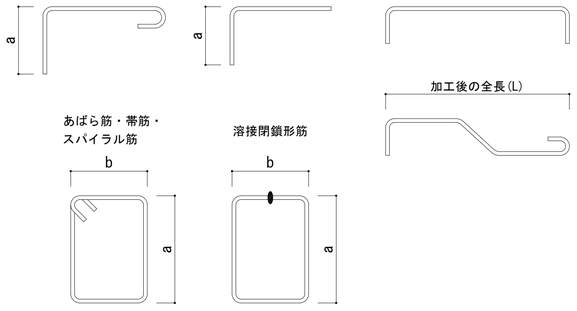
［注］（１） dは呼び名に用いた数値とする。
（２） スパイラル筋の重ね継手部に90°フックを用いる場合は、余長12d以上とする。
（３） 片持スラブ先端、壁筋の自由端側の先端で90°フックまたは135°フックを用いる場合は、余長は4d以上とする。
（４） スラブ筋、壁筋には、溶接金網を除いて丸鋼を使用しない。
（５） 折り曲げ内法直径を上表の数値よりも小さくする場合は、事前に鉄筋の曲げ試験を行い支障ないことを確認した上で、工事監理者の承認を得る。
（６） SD490の鉄筋を90°を超える曲げ角度で折り曲げ加工する場合は、事前に鉄筋の曲げ試験を行い、支障のないことを確認した上で、工事監理者の承認を得る。

（２）加工寸法の許容差

(mm)

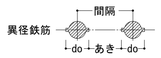
項目			符号	許容差
各加工寸法(1)	主筋	D25以下	a, b	± 15
		D29以上D41以下	a, b	± 20
	あばら筋・帯筋・スパイラル筋		a, b	± 5
加工後の全長			L	± 20

［注］（１） 各加工寸法および加工後の全長の測り方の例を下図に示す。



（３）鉄筋のあき

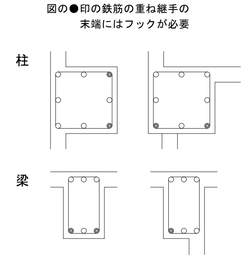
異形鉄筋では呼び名に用いた数値1.5d以上、粗骨材の最大寸法の1.25倍以上かつ25㎜のうち最も大きい値。



（４）鉄筋のフック

a～eに示す鉄筋の末端部にはフックを付ける。

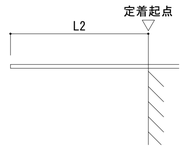
a．あばら筋、帯筋、および幅止メ筋
b．煙突の鉄筋（壁の一部となる場合を含む）
c．柱、梁（基礎梁は除く）の出すみ部分
　および下端の両端にある場合の鉄筋(右図参照)
d．単純梁の下端筋
e．その他、本配筋標準に記載する箇所



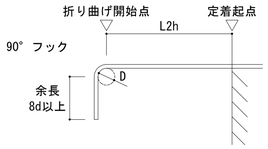
（５）定着長さ

鉄筋種別	コンクリートの設計基準強度 Fc(N/mm²)	定着の長さ 一般 L2（フックなし）	一般 L2h（フックあり）	一般 La(3)	一般 Lb	小梁下端筋 L3（フックなし）	小梁下端筋 L3h（フックあり）	スラブ下端筋 L3（フックなし）
SD295	18	40d	30d	20d	15d	20d	10d	10d かつ 150以上
	21	35d	25d	15d	15d			
	24～27	30d	20d	15d	15d			
	30～36	30d	20d	15d	15d			
	39～45	25d	15d	15d	15d			
	48～60	25d	15d	15d	15d			
SD345	18	40d	30d	20d	20d			
	21	35d	25d	20d	20d			
	24～27	35d	25d	20d	15d			
	30～36	30d	20d	15d	15d			
	39～45	30d	20d	15d	15d			
	48～60	25d	15d	15d	15d			
SD390	21	40d	30d	20d	20d			
	24～27	40d	30d	20d	20d			
	30～36	35d	25d	20d	15d			
	39～45	35d	25d	15d	15d			
	48～60	30d	20d	15d	15d			
SD490	24～27	45d	35d	25d	——	——	——	——
	30～36	40d	30d	25d	——			
	39～45	40d	30d	20d	——			
	48～60	35d	25d	20d	——			

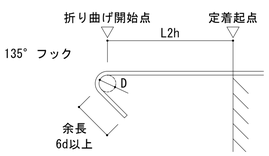
［注］（１） フック付き鉄筋の定着長さL2hは、定着起点から鉄筋の折り曲げ開始点までの距離とし、折り曲げ開始点以降のフック部は定着長さに含まない。
（２） フック部の折り曲げ内法直径D及び余長は、「鉄筋折り曲げ加工」の表による。
（３） 梁主筋を柱へ定着する場合、水平定着長さがL2h確保できない場合は折り曲げ定着とし、全定着長をL2以上とするとともに、水平投影長さをLa以上とし、余長を8d以上とする。尚、Laの値は原則として柱せいの3/4倍以上とする。
（４） 耐圧スラブの下端筋の定着長は一般定着L2とする。

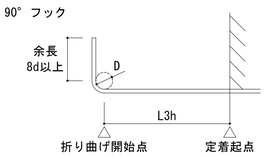


直線定着の長さL2

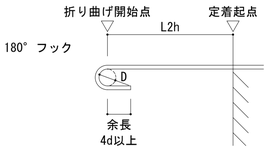


下端筋の直線定着長さL3
（小梁・スラブ）

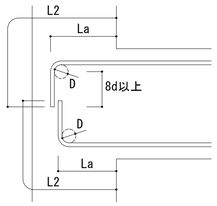




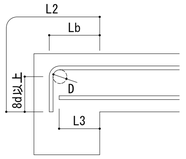
下端筋のフック付き定着長さL3h
（小梁・スラブ）



フック付き定着の長さL2h



大梁主筋の柱内折り曲げ定着の
投影定着長さLa



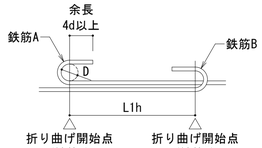
小梁・スラブの上端筋の梁内
折り曲げ定着の投影定着長さLb

（６）継手

■重ね継手

鉄筋種別	コンクリートの設計基準強度 Fc(N/mm²)	重ね継手長さ L1（フックなし）	重ね継手長さ L1h（フックあり）
SD295	18	45d	35d
	21	40d	30d
	24～27	35d	25d
	30～36	35d	25d
	39～45	30d	20d
	48～60	30d	20d
SD345	18	50d	35d
	21	45d	30d
	24～27	40d	30d
	30～36	35d	25d
	39～45	35d	25d
	48～60	30d	20d
SD390	21	50d	35d
	24～27	45d	35d
	30～36	40d	30d
	39～45	40d	30d
	48～60	35d	25d
SD490	24～27	55d	40d
	30～36	50d	35d
	39～45	45d	35d
	48～60	40d	30d

直線重ね継手の長さL1



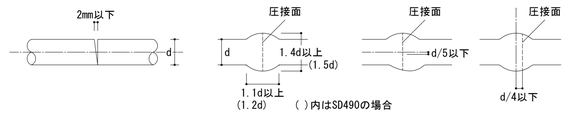
フック付き重ね継手の長さL1h

［注］（１） 表中のdは、異形鉄筋の呼び名の数値を表し、丸鋼には適用しない。
（２） 直径の異なる鉄筋相互の重ね継手の長さは、細い方のdによる。
（３） フック付き重ね継手の長さは、鉄筋相互の折り曲げ開始点間の距離とし、折り曲げ開始点以降のフック部は継手長さに含まない。

■継手に関する注意点

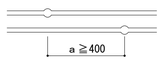
1．継手位置は、応力の小さい位置に設けることを原則とする。
2．D29以上の異形鉄筋は、原則として、重ね継手としてはならない。
3．鉄筋径dの差が7㎜を超える場合は、圧接としてはならない。
4．ガス圧接継手の形状、および継手の配置は下図による。

・ガス圧接形状（平成12年建設省告示1463号下図のほか、折れ曲がり、焼き割れ、へこみ、垂れ下がり及び内部欠損がないもの）

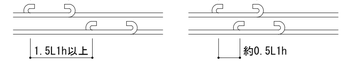


（ ）内はSD490の場合

・圧接継手



・重ね継手（下図のいずれかとする）フックなしの場合はL1hはL1

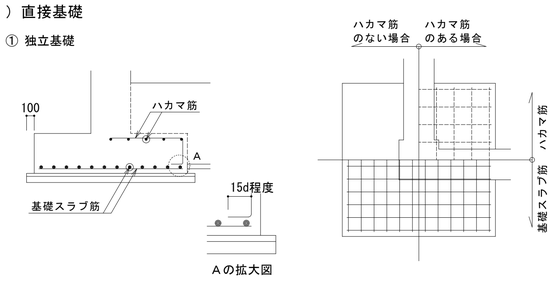


5．溶接継手および機械式継手を用いる場合は、信頼できる機関の評定等を受けたA級継手工法とする。
6．非破壊検査は工事監理者が承諾した信頼できる検査機関で行うこと。

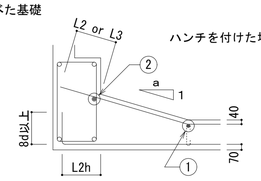
３．杭・基礎　（配筋については地震力等の水平力等を考慮して別途検討すること）

（１）直接基礎

① 独立基礎

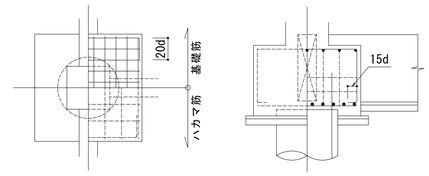


② べた基礎

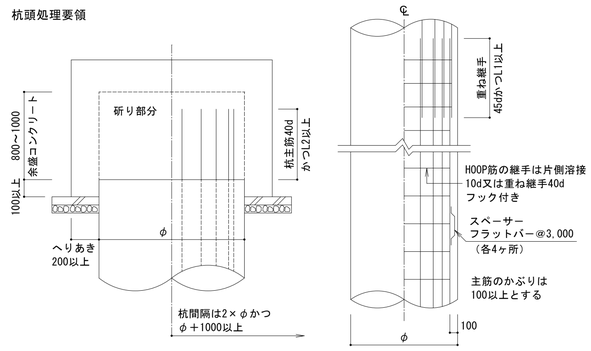


（２）杭基礎

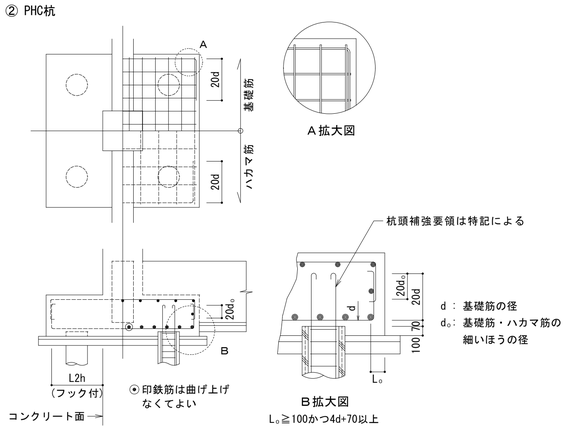
① 場所打ち杭



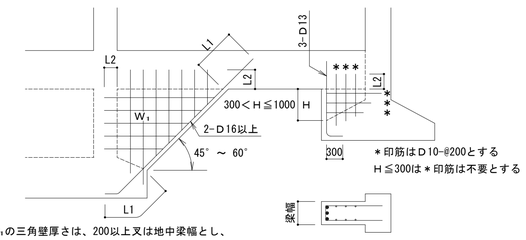
杭頭処理要領



② PHC杭



（３）基礎接合部の補強



	設計番号	工事名称	縮尺	図面名称	図番 S－０３
	年 月 日 令和8年1月	新座市立東北小学校校舎長寿命化改修工事	Non	新 鉄筋コンクリート構造配筋標準図（１）	承認 / 製図

新 鉄筋コンクリート構造配筋標準図（２）

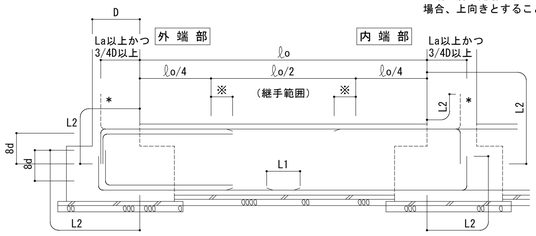
※修正箇所は下線を引くこと

４．地中梁

（１）独立基礎、杭基礎の場合（定着、継手）

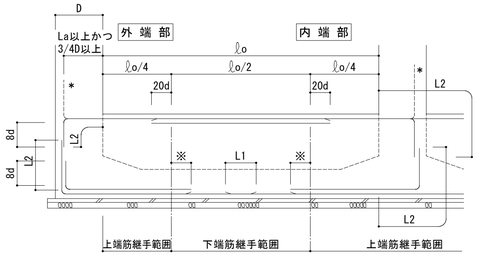
（長期荷重が支配的な場合の継手は6.(2)大梁継手位置とする。）

＊上端主筋の定着は、やむをえない場合、上向きとすることができる。



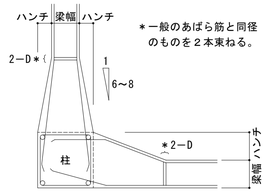
※主筋のカットオフ長さは lo/4 + 15dを基本とし、特別な長さを要する部分は6.大梁の項の表6-1による。

（２）布基礎、べた基礎の場合（定着、継手）



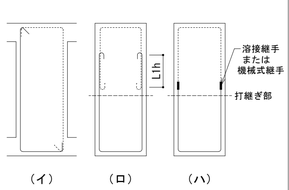
※主筋のカットオフ長さは lo/4 + 15dを基本とし、特別な長さを要する部分は6.大梁の項の表6-1による。

（３）水平ハンチの場合のあばら筋加工要領（４）せいの高い梁のあばら筋加工要領図



＊一般のあばら筋と同径のものを２本束ねる。

＊一般のあばら筋と同径のものを２本束ねる。

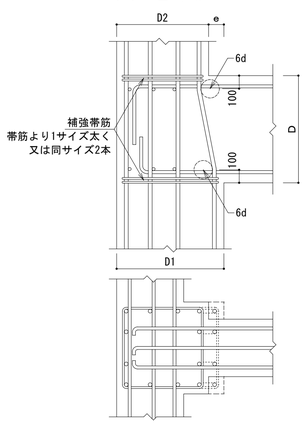


［注］（イ）で、 を使用してよいが、
は使用してはいけない。

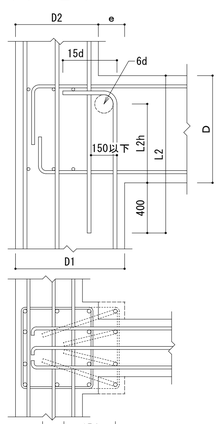
（ロ）では、あばら筋の継手は
180° フック付きとする。

（６）絞り

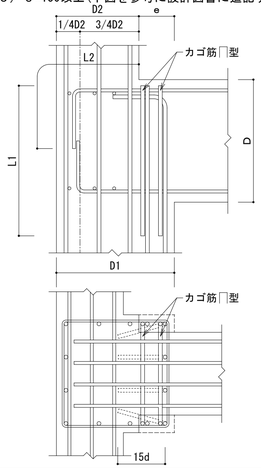
（ａ） e≦D/6かつ150



（ｂ） 150≧ e＞D/6

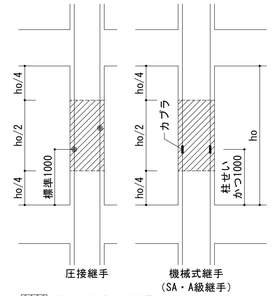


（ｃ） e=150以上（下図を参考に設計図書に追記する。）



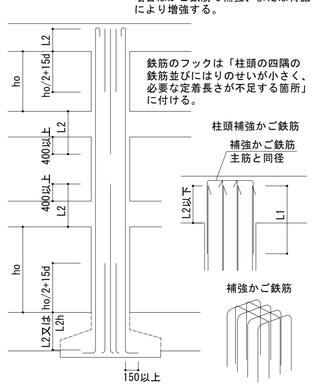
５．柱

（１）柱主筋の継手位置

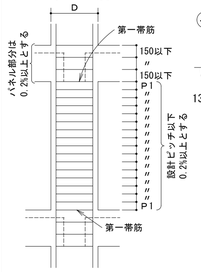


（２）柱主筋の定着

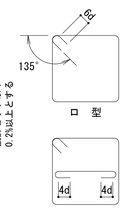
柱、梁の定着L2以上が確保されない場合はかご鉄筋で補強、または特記により増強する。



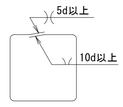
（３）帯　筋



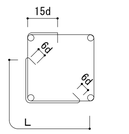
（イ） H型（タガ型）



（ロ） W型（溶接閉鎖型）

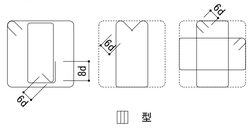


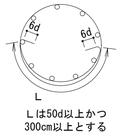
（ハ） S型（スパイラル型）



Lは中間部50dかつ300mm以上
末端部の添巻は1.5巻以上とする。

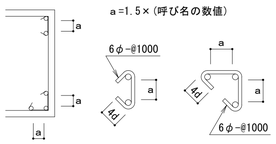
注 1．第１帯筋は、梁づらに入れる。
注 2．W型で現場溶接をする場合は主筋の位置をさける。
注 3．フックおよび継手の位置は、交互とする。



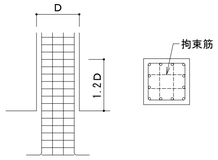


（４）寄せ筋の保持

a=1.5×（呼び名の数値）



（５）柱脚部の補強



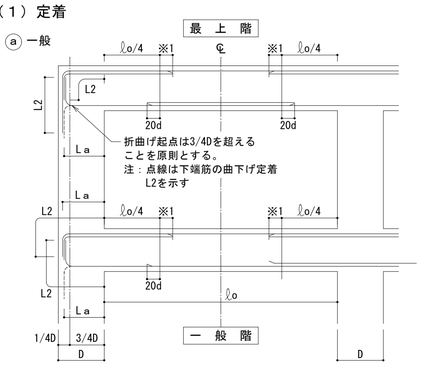
1階柱脚の主筋は梁上から柱せいの1.2倍の範囲を拘束筋で拘束する。

拘束筋は以下による。
□帯筋と同径・同ピッチ、X・Y 2巻づつ
□図示による

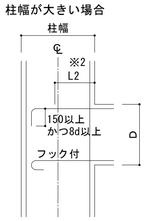
６．大梁

（１）定着

ⓐ 一般



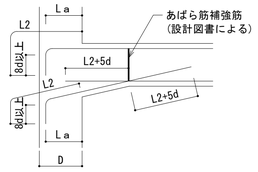
柱幅が大きい場合



※2 柱幅が大きくて、直線部だけでL2がとれる場合でも柱中心線を超えて中間折曲げテール長150以上又は180°フック付とする。

※1 主筋のカットオフ長さは lo/4 + 15dを基本とし、特別な長さを要する部分は表6-1による。

ⓑ ハンチがある場合



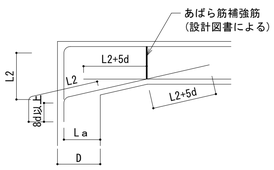
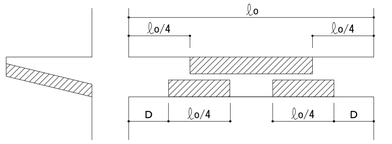


表6-1　特別なカットオフ長さを要する部材　(mm)

部 材 名	lo/4 に加える長さ	部 材 名	lo/4 に加える長さ

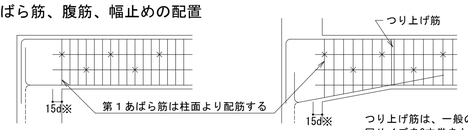
（２）大梁主筋の継手　（SA級、A級継手を使用する場合の継手位置は特記による。）



は継手の好ましい位置

D　※ D ＝ 大梁成

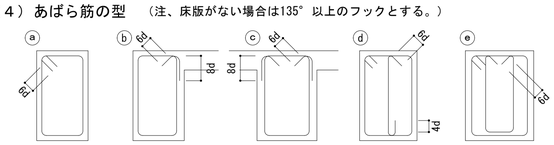
（３）あばら筋、腹筋、幅止めの配置



×印は幅止め筋
※ねじれを受ける梁は特記による。

つり上げ筋は、一般のあばら筋と同サイズを2本巻きとする。

（４）あばら筋の型　（注、床版がない場合は135° 以上のフックとする。）

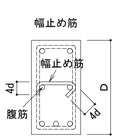


（イ）原則として ⓐ のフック先曲とする。片側床版付（L型）梁で ⓑ、両側床版付（T型）梁で ⓒ 又は ⓑ とすることができる。
（ロ）フックの位置は ⓐ にあっては交互、ⓑ にあってはスラブ付側とする。

ⓕ 梁成の大きい場合やSRC造のあばら筋の納まりに使用することができる。

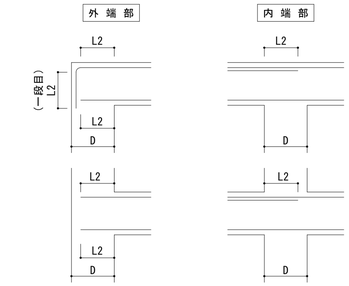
（５）幅止め筋の本数、加工

腹　筋	D＜600	不要
	600≦D＜900	2−D10　1段
	900≦D＜1200	4−D10　2段
	1200≦D	D10@300以内
	1200以上	D13@300以内
幅止め筋	D10@1000以内で割り付ける	

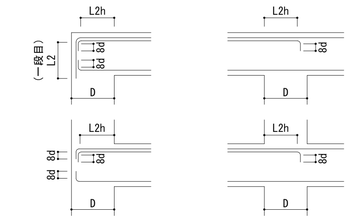


（６）梁主筋の定着

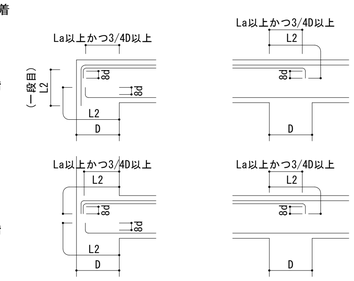
① 直線定着



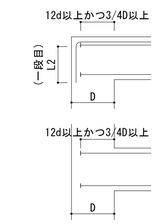
② 90° フック付直線定着



③ 折曲げ定着



④ プレート定着



※最上階 L型接合部における上端筋の一段目の定着にプレート定着を用いてはならない。

※プレート定着には性能証明等を取得した材料を用い、その工法の適用範囲と仕様を確認する。

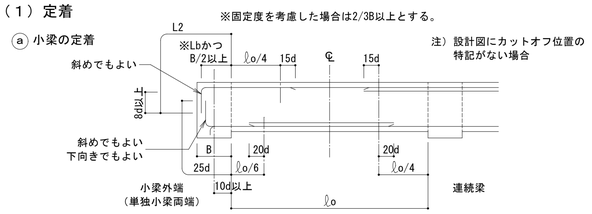
	設計番号	工事名称	縮尺	図面名称
	年 月 日 令和8年1月	新座市立東北小学校校舎長寿命化改修工事	Non	新 鉄筋コンクリート構造配筋標準図（２）
				図番 S－０４
				承認 / 製図

新 鉄筋コンクリート構造配筋標準図（３）

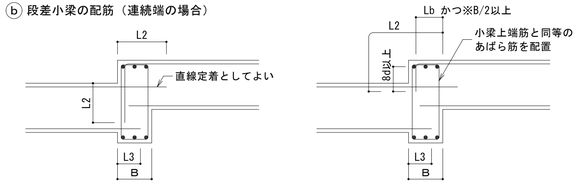
７．小梁、片持梁

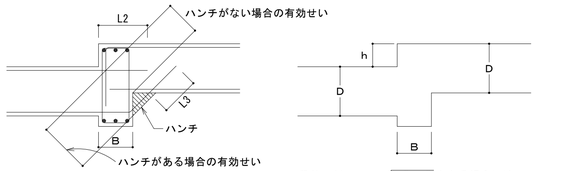
（１）定着

ⓐ 小梁の定着

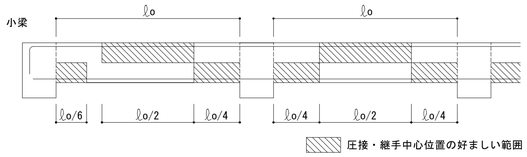


ⓑ 段差小梁の配筋（連続端の場合）

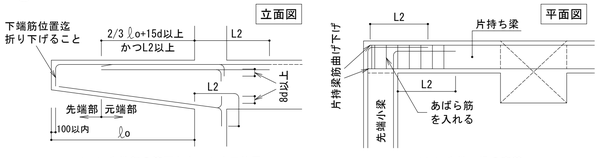




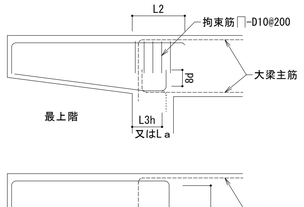
ⓒ 小梁筋の継手位置

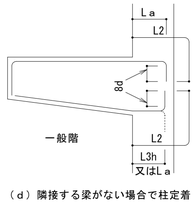


ⓓ 片持梁の定着　注）上配筋の柱内への定着は3/4D以上とすること。



（ａ）先端部の範囲とカットオフ位置　（ｂ）先端小梁の定着



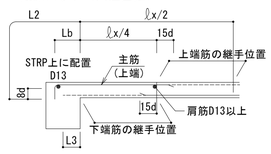


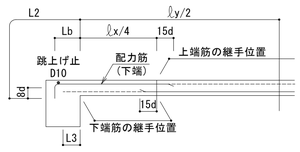
（ｃ）隣接する梁がある場合で柱定着又は、隣接する梁へ定着する場合　（ｄ）隣接する梁がない場合で柱定着

８．床　　版

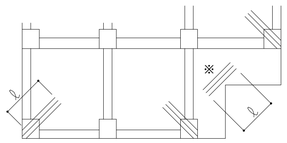
（１）定着および継手

一般床スラブ（四辺固定）





（２）屋根スラブ補強

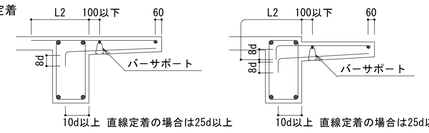


ⓐ 補強筋は各3-D13又はスラブ主筋の同一径で ℓ =1500とし、上端筋の上に配筋する。配筋の際かぶり厚に注意すること。

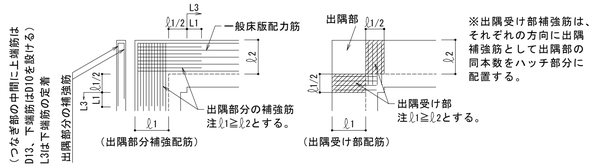
ⓑ ※の個所（入隅）は各階補強する。

（３）片持床スラブ定着及び出隅部補強

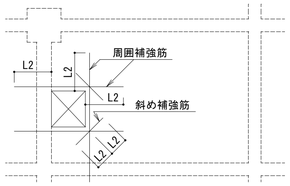
ⓐ 片持床スラブの定着

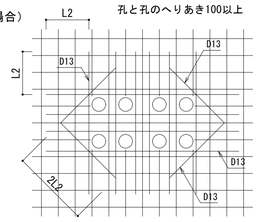


ⓑ 片持スラブ出隅部補強　注）出隅部の補強筋は、計算により算出する。



（４）床版開口部の補強　（開口の径500以下程度の場合）

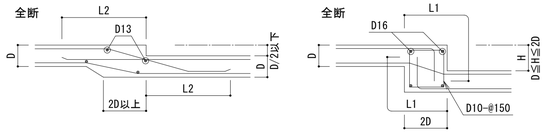




床版厚さD	周　囲	斜　め
D≦１５０	各２－Ｄ１３	各１－Ｄ１３
１５０＜D≦３００	各２－Ｄ１３	各２－Ｄ１３
３００＜D≦５００	各２－Ｄ１９	各２－Ｄ１６

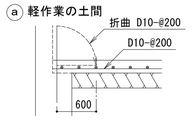
注）設備の小開口が連続してあく場合は縦、横、斜補強筋とは別に開口によって切断される鉄筋と同じ鉄筋を開口をさけて補強する。

（５）床版段差

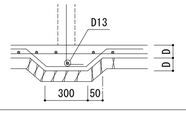


（６）土間コンクリート

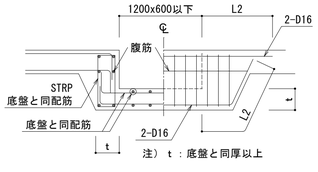
ⓐ 軽作業の土間



ⓑ 間仕切壁との交叉部



（７）釜場



（８）打継ぎ補強　（ダメ穴打断面について）

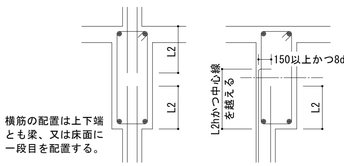
●設計配筋間隔の1/2ピッチ　長さ２Ｌ1以上

●無筋部分D10-@200　長さ800以上

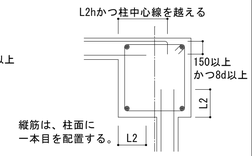
９．壁

（１）定着

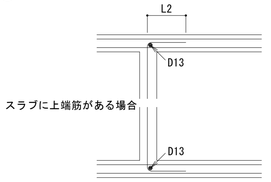
ⓐ 梁に

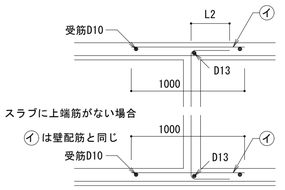


ⓑ 柱に（平面図）

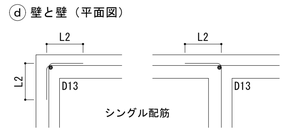


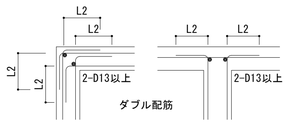
ⓒ 床に（非耐力壁とスラブが取り合う場合）





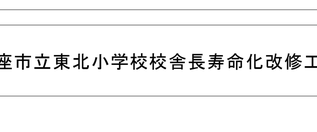
ⓓ 壁と壁（平面図）





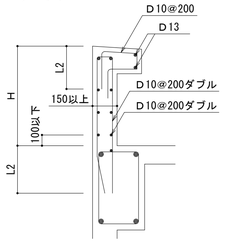
（２）スリット部　（設計図に記入のあるとき）

完全スリット

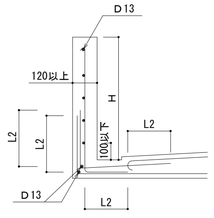


（３）手摺、パラペット

パラペット



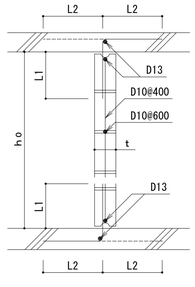
手　摺



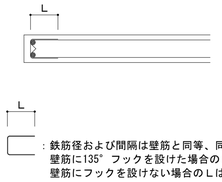
（但し、Ｈ＞８００以上の場合、設計図による）

（４）コンクリートブロック帳壁

一般の場合



（５）耐震壁端部の納まり

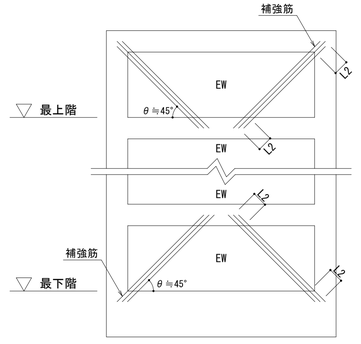


注）ｈo≦25ｔかつ3500以下とする。但し直交方向25ｔ以内に壁、又は柱がある場合は除く

注）ｈはコンクリートブロック段数調整寸法とする。但し、200≦ｈ≦400

注）継手部は必ずモルタルを充填すること

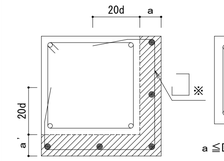
（６）連層耐震壁乾燥収縮の補強筋



注）補強筋はEW150の場合3-D13@100シングル
EW180～200の場合4-D13@100シングル
EW250以上の場合4-D16@100ダブルとする。

10．柱、梁増打コンクリート補強　（増打するときは事前に設計者、及び工事監理者と打合せのこと）

（１）柱



●ハッチ部分は増打コンクリートを示す。

●ハッチ部分の面積 A cm²

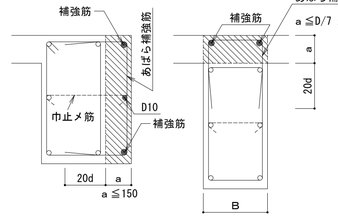
補強タテ筋	
Ａ＜500	500≦Ａ＜1000
3－D16	4－D16

●150以上の増打ちは図示による。

●増打ち50以下は補強なし。

●※柱HOOPと同径、同ピッチとする。

（２）梁



●補強筋は、梁主筋の１段落し径（Ｄ１６以上）とする。

●あばら補強筋は、梁と同径、同ピッチとする。

●腹筋Ｄ10ピッチは、梁の腹筋と合わせる。

●B≧400の場合は補強筋を３本とする。

●梁下端増打コンクリートの場合も上端増打コンクリート補強と同様とする。

●ハッチ部分は増打コンクリートを示す。

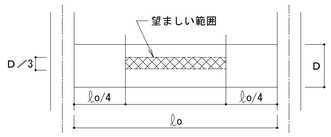
●150以上の増打ちは図示による。

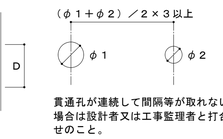
●増打ち50以下は補強なし。

11．梁貫通孔補強　（開口補強については計算により確認すること）

（１）設置可能範囲

梁端部（スパンℓ／１０以内かつ２Ｄ以内）は原則として避ける





貫通孔が連続して間隔等が取れない場合は設計者又は工事監理者と打合せのこと。

（２）既製品　（指定条件と異なる場合は、設計者又は工事監理者と打合せのこと）

□製品名

施工前に計算書を提出し、承認を得ること。

設計時に使用する評価取得品については計算書を提出する事。

		設計番号	工事名称	縮尺	図面名称	図番
		年 月 日 令和8年1月	新座市立東北小学校校舎長寿命化改修工事	Non	鉄筋コンクリート構造配筋標準図（３）	Ｓ－０５
						承認 / 製図

鉄骨構造標準図（1）

※修正箇所は下線を引くこと。

1．一般事項

（1） 材料及び検査

（a） 新構造設計特記仕様その１による
（b） 本標準図はベースプレートを除き鋼材の厚さが40mm以下の工事に適用する。
　　但し、ベースプレートの厚さは除く。
（c） 社内検査結果の検査報告書には、鉄骨の寸法、精度及びその他の検査結果を添付する

（2） 工作一般

（a） 鉄骨製作及び施工に先立って「鉄骨工事施工要領書」を提出し工事監理者の承認を得る
（b） 鋼管部材の分岐継手部の相貫切断は、鋼管自動切断機による
（c） 高張力鋼の歪み矯正は、冷間矯正とする

（3） 高力ボルト接合

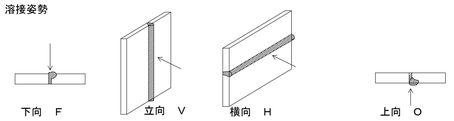
（a） 本締めに使用するボルトと、仮締めボルトの併用はしてはならない
（b） 高力ボルトの摩擦面積の処理は黒皮などを座金外径２倍以上の範囲でショットブラスト、グラインダー掛けを用いて除去した後、一様にさびを発生させた状態とする。但しショットブラスト、グリットブラストによる処理で表面荒さが、50μm Rz以上である場合は、さびの発生は要しない。
（c） 高力ボルトの締付けに使用する機器はよく整備されたものを使用し、締付けの順序は部材が十分に密着するよう注意して行う。

（4） 溶接接合

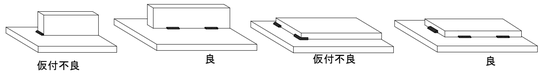
（a） 平成12年建設省告示第1464号第二号イ、ロによる、溶接部の性能、溶着金属の性能を満足すること。
（b） 溶接技能者
　溶接技能者は施工する溶接に適応するJIS Z3801（手溶接）又はJIS Z3841（半自動溶接）の溶接技術検定試験に合格し引き続き、半年以上溶接に従事している者とする。
（c） 溶接機器

（イ）	交流アーク溶接機　300A～500A	（ニ）	炭酸ガスアーク半自動溶接機
（ロ）	アークエアーガウジング機（直流）	（ホ）	溶接電流を測定する電流計
（ハ）	サブマージアーク溶接機一式	（ヘ）	溶接棒乾燥器

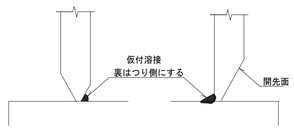
（d） 溶接方法
　アーク手溶接（MC）　　ガスシールドアーク半自動溶接（GC）
　セルフ（ノンガス）シールドアーク半自動溶接（NGC）　　アークエアーガウジング（AAG）
（e） 溶接姿勢



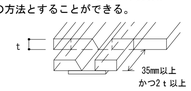
（f） 組立て溶接技能者は、原則として本工事に従事する者が行う
（イ）仮付位置
　組立て溶接は溶接の始、終端、隅角部など強度上、工作上、問題となり易い箇所は避ける



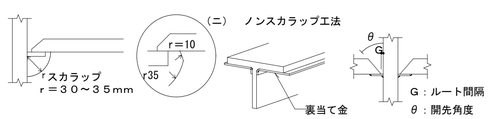
（ロ）完全溶込み溶接部の仮付溶接は必ず裏はつり側に施工する



（g）溶接施工
（イ） エンドタブ
・完全溶込み溶接、部分溶込み溶接の両端部に母材と同厚で同開先形状のエンドタブを取り付ける。
・エンドタブの材質は、母材と同質とする。但し、鉄骨製作に十分実績があり、かつ溶接部の品質が十分確保できると判断される場合には監理者の承認を受けて他の方法とすることができる。
・エンドタブの長さは、ＭＣ：35mm以上
　ＮＧＣ，ＧＣ：４０mm以上とし特記のない場合は、
　母材より溶接終了後、母材より10mm程度残し切断して、
　グラインダー仕上げとする。



・ブレス鋼板タブ、固形タブ使用については、資料を提出し設計者、又は工事監理者の承認を得る。
（ロ） 裏当て金
　材質は母材と同質材料とし厚さは手溶接で6mm、半自動溶接で9mm以上、巾は25mm以上を原則とする。
　但し、溶接性能が確認できれば監理者の承認を得て変更することができる。
（ハ） スカラップ半径は30～35mmと10mmのダブルアールとする
　但し梁成がＤ＝150mm未満の場合の スカラップは ｒ＝20mmとする



（ニ） ノンスカラップ工法

（ホ） 裏はつり
　規準図の溶接においてＡＡＧと記載のある部分は全て、溶接監理者の確認を励行し、部材に確認マークをつける
（ヘ） 現場溶接の開先面には、溶接に支障のない防錆材を塗付する。又、開先部をいためない様に養生を行う。

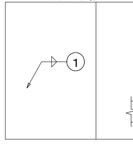
（5） 塗装

　コンクリートに埋め込まれる部分及びコンクリートとの接触面で、コンクリートと一体とする設計仕様になっている部分は、塗装をしない

2．溶接規準図

（注） f：余盛　G：ルート間隔　R：フェース　S：脚長　（単位mm）

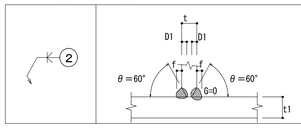
（1） 隅肉溶接



t≦16mm				
t	7以下	8～10	11～13	14～16
S	6	7	10	12

・但し片面溶接の場合はS=tとする
・ttは t1, t2の小なる方とする
　余盛は（1+0.1S）mm以下とする
・軸力が加わる場合のSは母材と同厚とすることが望ましい

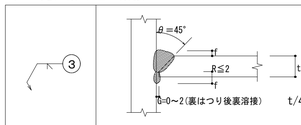
（2） 部分溶け込み溶接　（使用箇所に注意）



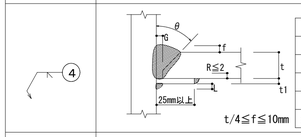
t/4≦f≦10mm
t≦t1

t	t>16mm
溶接姿勢	F,V

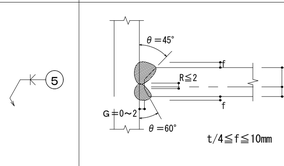
（3） 完全溶け込み溶接　（平継手　Ｔ形継手）



t	6<t≦19mm
溶接姿勢	F,V



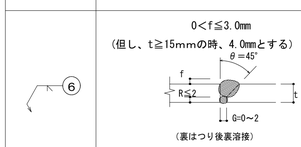
t mm	MC NGC				GC			
	θ	G	t1	L	θ	G	t1	L
6≦t<12	45°	6	6	5	45°	6	6	5
12≦t≦16	35°	9	9	8	45°	6	9	8
16≦t	35°	9	9	8	35°	9	9	8
溶接姿勢	F,V							



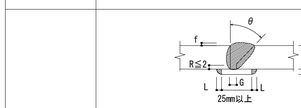
Ｔ形突合せ継手余盛

のど厚t mm	余盛の高さmm
t≦4	1
4<t≦12	2
12<t≦19	3
19<t	4

t	t≧19mm
溶接姿勢	F,V



t	6<t≦19mm
溶接姿勢	F,V

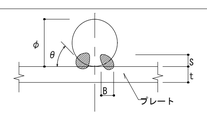


0<f≦3.0mm
（但し、t≧15mmの時、4.0mmとする）

tmm	MC NGC				GC			
	θ	G	t1	L	θ	G	t1	L
6<t<12	45°	6	6	5	45°	6	6	5
12≦t≦19	35°	9	9	5	45°	6	9	5
19<t	35°	9	9	8	35°	9	9	8
溶接姿勢	F,V							

（4） フレアー溶接

K形の場合
⑧



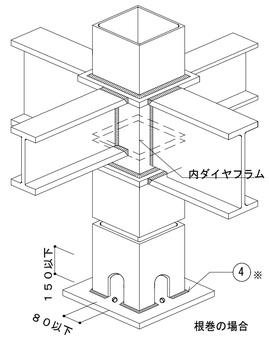
・フレアー溶接長は、鋼板に接する全長とする
・9mm～16mmは1パス以上、19mm以上は2パス以上とする
　溶接棒角度θは30°～40°とする

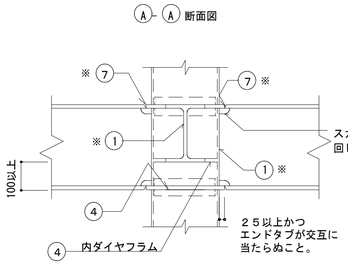
寸法　(mm)		
φ	B	S
9	7	4
13	8	4.5
16	9	5
19	10	6
22	11	7
25	12	8

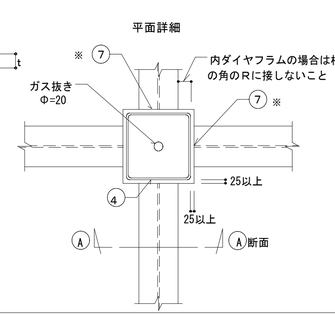
※溶接記号番号を○の中に記入のこと

●ＢＯＸ型　（通しダイヤフラムの場合）

⑦※：はりフランジは、通しダイヤフラムの厚み（ｔ）の 内部で溶接すること。







① ※：ｔ＞16mmの場合の溶接は②・又は③～⑤とする

ダイヤフラム厚は、接合する梁の最大厚の２サイズアップ以上とする。
＜柱材料：BCR295, BCP325を使用する場合＞
ダイヤフラムは、柱フランジ厚 16 mm未満の場合 SN490C , SN490B
　　柱フランジ厚 16 mm以上の場合 SN490C を使用する。

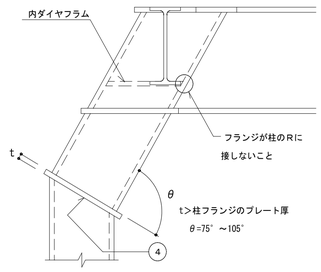
●鋼材種別による溶接条件

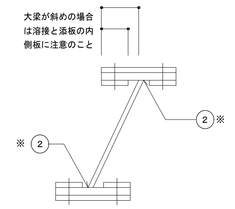
溶接材料と入熱量・パス間温度

鋼材の種別	溶接材料	入熱（kJ／cm）	パス間温度（℃）
400N/mm²級鋼	JIS Z 3312	40以下	350以下
	YGW-11, 15		
	YGW-18, 19		
	JIS Z 3315		
	YGW-50W, 50P		
490N/mm²級鋼	JIS Z 3312	40以下	350以下
	YGW-11, 15	30以下	250以下
	YGW-18, 19	40以下	350以下
	JIS Z 3315	40以下	350以下
	YGW-50W, 50P		

注）STKR, BCR, BCP材はJIS Z 3312のみ使用可
「新構造設計特記仕様その１ 6.鉄骨工事（2）口認定または登録工場」のグレード別に定められた適応範囲と溶接条件制限事項による。

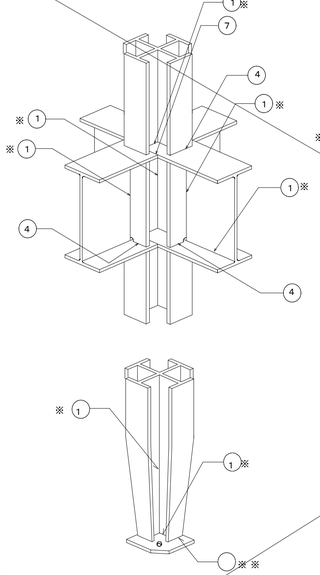
●柱が途中で折れる場合、及び梁せいが異なる場合

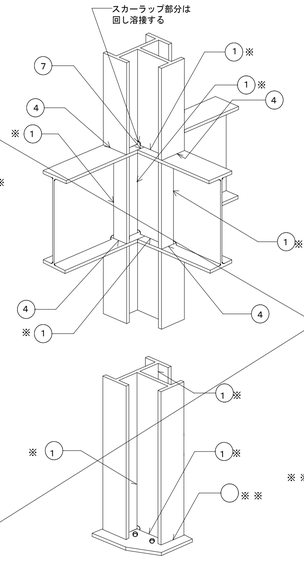




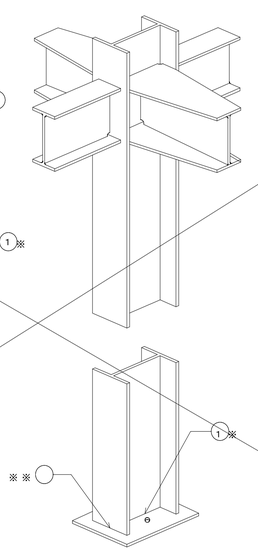
② ※：ｔ＞16mmの場合の溶接は、③～⑤とする

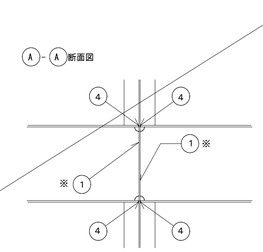
●Ｈ．Ｉ．Ｈ型

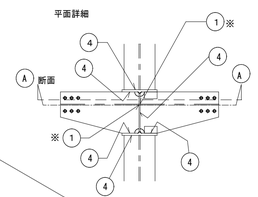




●B.H方式







① ※：ｔ＞16mmの場合の溶接は、③～⑤とする

① ※：ｔ＞16mmの場合の溶接は、②又は③～⑤とする
○※　※印は設計者が記入すること

		設計番号	工事名称	縮尺	図面名称	図番
		年 月 日 令和8年1月	新座市立東北小学校校舎長寿命化改修工事	Non	鉄骨構造標準図（1）	Ｓ－０６
						承認 / 製図

鉄骨構造標準図 (2)

※修正箇所は下線を引くこと

3. 継手規準図、その他

(1) ボルトピッチ(P)

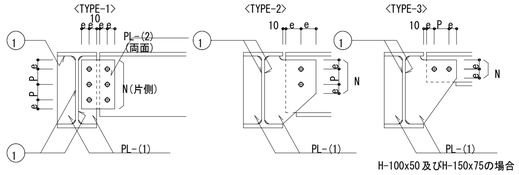
(mm)

呼び		ボルト穴径	最小縁端距離(e) (1)	(2)	(3)	(2)(3)の標準	ピッチ(P) 最小	最大
M16		18	40	28	22	40	40	60
M20		22	50	34	26	40	50	60
M22		24	55	38	28	40	55	60
M24		26	60	44	32	45	60	70
アンカーボルト・ボルト(（ ）内はボルトを示す。)	M16	21(16.5)		28	22	(40)	(40)	(60)
	M20	25(20.5)		34	26	(40)	(50)	(60)
	M22	27(22.5)		38	28	(40)	(55)	(60)
	M24	29(24.5)		44	32	(45)	(60)	(70)
	M27	32		49	36			
	M30	35		54	40			
	M30を超える	呼び径+5		9d/5	4d/3			

(注) (1) 引張材の接合部で応力方向にボルトが3本以上並ばない場合の応力方向の縁端距離
(2) せん断縁・手動ガス切断縁の場合の縁端距離
(3) 圧延縁・自動ガス切断縁・のこ引き縁・機械仕上縁の場合の縁端距離

(2) ピン接合梁継手リスト 詳細図がある場合は、詳細図を優先すること。

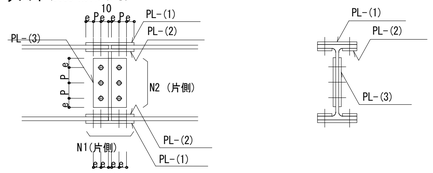
<TYPE-1> <TYPE-2> <TYPE-3>



H-100x50及びH-150x75の場合

符号	タイプ	部材	PL-(1)	PL-(2)	N-径
	3	H-125・60・6・8	6		2-M16
	3	H-150・75・5・7	6		2-M16
	2	H-175・90・5・8	6		2-M16
	2	H-200・100・5.5・8	6		2-M16
	2	H-250・125・6・9	6		3-M16
	2	H-300・150・6.5・9	9		3-M20
	2	H-350・175・7・11	9		4-M20
	1	H-350・175・7・11	9	6	4-M20
	2	H-400・200・8・13	9		5-M20
	1	H-400・200・8・13	9	9	4-M20

(3) 剛接合梁継手リスト(SCSS-H97による)

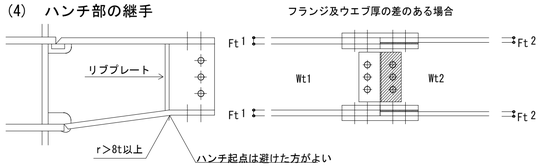


[注]端部をBHとする場合の部材は設計図による

符号	部材	フランジ PL-(1)	PL-(2)	N1-径	ウェブ PL-(3)	N2-径
	鉄骨継手リスト参照					

(4) ハンチ部の継手

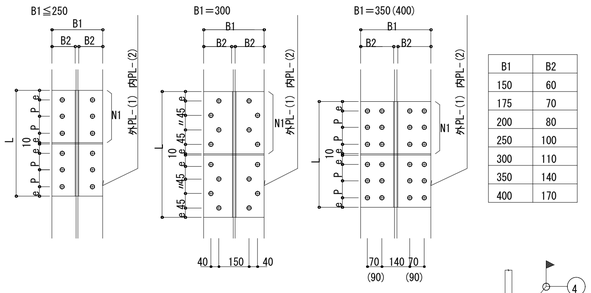
フランジ及びウエブ厚の差のある場合



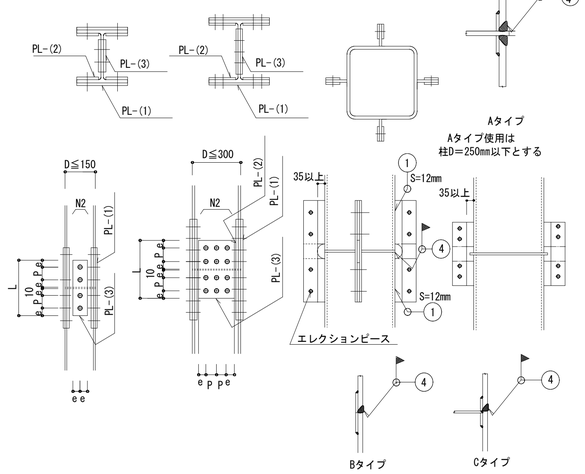
ハンチ勾配は普通1:4程度であるが構造図による
r:半径 t:板厚

Ft1-Ft2
Wt1-Wt2
≧1mm フィラプレート併用のこと

(5) 柱継手リスト



B1	B2
150	60
175	70
200	80
250	100
300	110
350	140
400	170



注)現場溶接は原則として超音波探傷試験を100%を行う

符号	部材	フランジ PL-(1)	PL-(2)	N1-径	ウェブ PL-(3)	N2-径

(6) 鉄筋ブレース (JIS規格品とする…JIS A5540…2008 / 5541 …2008)

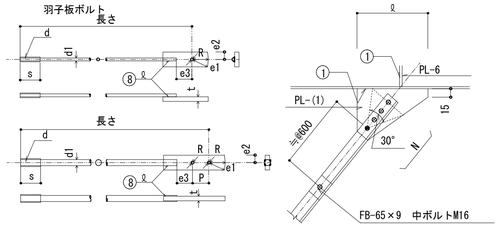
(a)羽子板ボルト

ねじの呼び (d)			M12	M14	M16	M18	M20	M22	M24
軸径d1	最大		10.83	12.66	14.66	16.33	18.33	20.33	22.00
	最小		10.59	12.41	14.41	16.07	18.07	20.07	21.69
調整ねじの長さ		S	100	115	125	140	150	165	175
取付けボルト穴径 許容差 +0, -0.5mm		R	17.0	17.0	17.0	21.5	21.5	23.5	25.5
はしあき(最小) (2)		e1	40	40	45	50	50	55	50
切板製	へりあき(最小)(1)	e2	28	28	28	34	34	38	38
	板厚	t	6	6	6	9	9	9	9
平鋼製	へりあき(最小)(1)	e2	25.0	25.0	25.0	32.5	32.5	37.5	37.5
	板厚	t	5	6	6	9	9	9	9
ボルト端から取付ボルト穴芯のあき (最小)		e3	52	52	59	66	66	73	70
溶接長さ		ℓ	40	50	55	60	75	85	85
(2) 取付ボルト	種類		JIS B 1186 2種高力ボルト(F10T)						
	ねじの呼び		M12	M16	M16	M20	M20	M22	M20
	本数		1	1	1	1	1	1	2

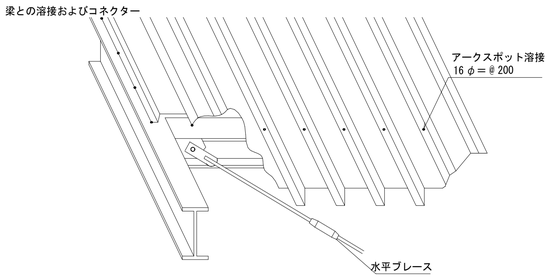
(注) (1) e1,e2が確保されていれば形状は自由でよい
(2) 羽子板とガセットプレートの接合は表に示す取付けボルトを使用し、一面せん断(支圧)接合とする

(b)形鋼ブレース

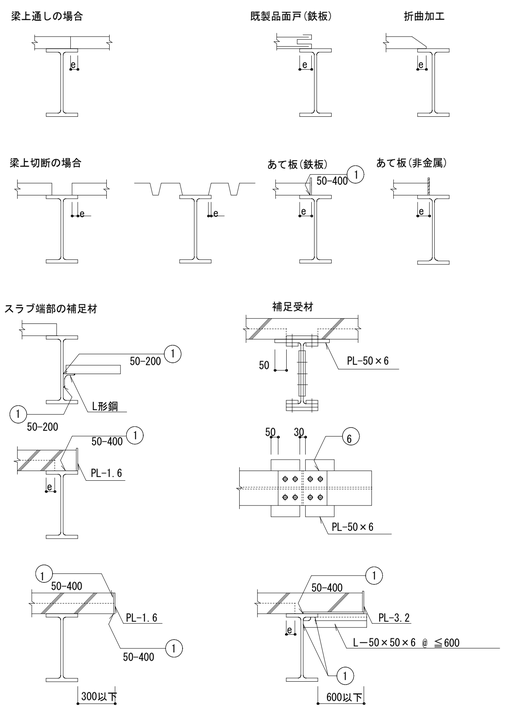
符号	タイプ	部材	PL-(1)	N-径	ℓ



(7) 一般デッキプレート (床剛性を考慮する合成床、合成梁のときは構造図参照)

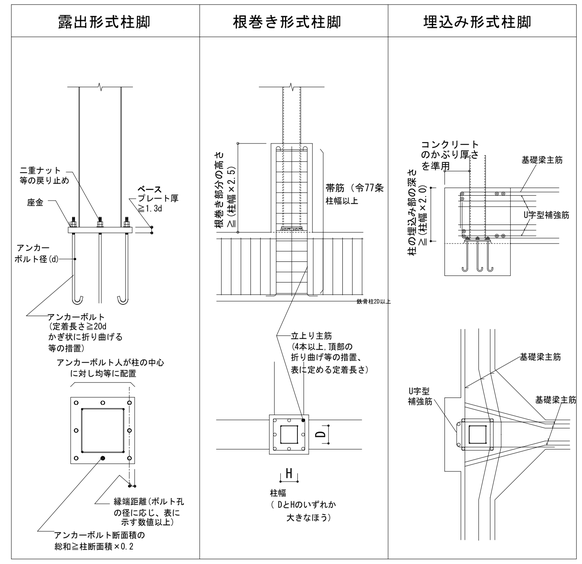


受梁へのかかり寸法及端部処理 e≧35mm 且つ、メーカーの仕様による。



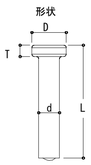
(8) 柱脚

注) 許容応力度等計算を行わなかった場合の構造形式
※ 構造用アンカーボルトは原則としてJIS B 1220, JIS B 1221を使用する。



(9) 頭付きスタッド (JIS B 1198-2011)

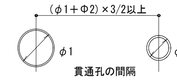
スタッド材の標準形状・寸法

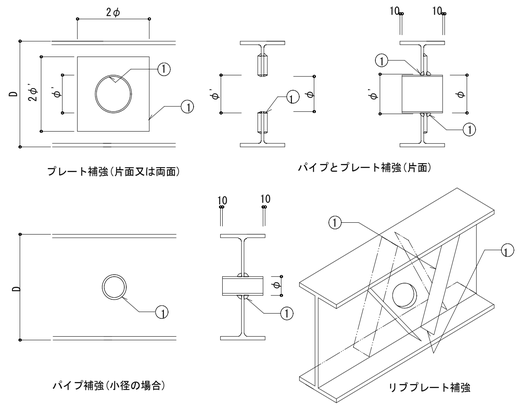


呼び名	スタッド材 軸径d mm	頭径D mm	頭高さT mm	溶接後の長さL mm
φ13mm	13	25	8	□80 □100 □120 □
φ16mm	16	29	8	□80 □100 □120 □
φ19mm	19	32	10	□80 □100 □120 □150 □
φ22mm	22	35	10	□80 □100 □120 □150 □
φ25mm	25	41	12	□120 □150 □170 □

(10) 梁貫通補強

・計算で確認された場合は下記の位置、寸法によらなくて良い。
・梁端部(内法スパンlnの1/10以内かつ、2D以内)は避ける。
・φ ≦ 0.4D
・φ'は補強板の穴径を示す。





プレート補強の板厚

スリーブ径	補強板
φ≦0.15D	補強板不要
φ≦D/4	Web板厚以上(片面)
φ≦D/3	Web板厚×1.2倍以上(片面)
φ≦0.4D	Web板厚以上(両面)

		設計番号	工事名称 新座市立東北小学校校舎長寿命化改修工事	縮尺 Non	図面名称 鉄骨構造標準図 (2)	図番 S－07
		年月日 令和8年1月				承認 製図

ＱＬデッキ合成スラブ設計・施工標準

ＪＦＥ建材
株式会社

ＱＬデッキ合成スラブの設計・施工は、(社)日本建築学会「各種合成構造設計指針・同解説」「鉄骨工事技術指針」「建築工事標準仕様書・同解説 JASS6鉄筋コンクリート工事及びJASS6鉄骨工事」、
(社)日本鉄鋼連盟「デッキプレート床構造設計・施工規準-2004」、合成スラブ工業会「合成スラブの設計・施工マニュアル」、ＱＬデッキ設計マニュアル・同施工マニュアルによる。

設　　計

材料／デッキプレート　　[ISO 9001認証取得]

デッキプレート種類		板厚(mm)	表　面　処　理
ＱＬデッキ ■ＱＬ９９－５０ □ＱＬ９９－７５	端部加工 □ｴﾝﾎﾞｽ有り □無し	■1.2 □1.6	□裏面防錆処理(一次塗装) ＱＬプライマー(P) ■亜鉛めっき　[■Z12　□Z27] □ZAM(高耐食溶融めっき鋼板) [□K27　□K35] □無し(　　)
ＱＬセルラー	□ＧＫＸ－５０ □ＧＫＸ－７５	□1.2 □1.6	亜鉛めっき Ｚ27限定

材　　質	ＪＩＳ Ｇ ３３５２に定めるSDP1T、SDP2、SDP2G

材料／コンクリート

種　　類	■普通コンクリート　□軽量コンクリート　（□1種　□2種）
設 計 基 準 強 度	□１８　□２１　■２４Ｎ／mm²
厚さ(ＱＬデッキ山上)	□60　□70　□80　□85　□90　■95　□100　□（ mm ）

材料／溶接金網・異形鉄筋

■ 溶 接 金 網	ＪＩＳ Ｇ ３５５１	□φ6－150×150　■φ6－100×100
□ 異 形 鉄 筋	ＪＩＳ Ｇ ３１１２、３１１７	□Ｄ10－@150　□（　　）

接　　合

□焼抜き栓溶接	下記焼抜き栓溶接の項による
□打込み鋲	接合箇所は特記による
■頭付きスタッド	JIS B 1198　□φ13　■φ16　□φ19　□φ22　各長さ・ピッチは特記による
□そ　の　他	

耐　　火

	１　時　間	２　時　間
連 続 支 持	□ＦＰ０６０ＦＬ－９０９５	□ＦＰ１２０ＦＬ－９１０７
単 純 支 持	□ＦＰ０６０ＦＬ－９１０１	■ＦＰ１２０ＦＬ－９１１３
そ　の　他 □指定なし	□（　　） □（　　）	□（　　） □（　　）

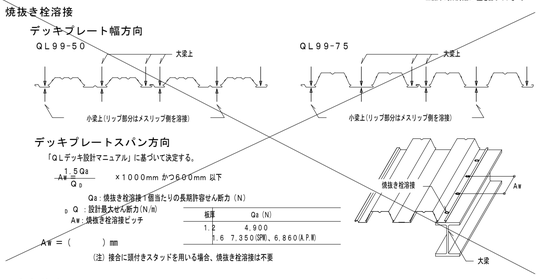
特　　記

支保工有無 ■無　□有	その他：

上欄内の採用項目に□を記してください。

焼抜き栓溶接

デッキプレート幅方向



デッキプレートスパン方向

「ＱＬデッキ設計マニュアル」に基づいて決定する。

$$A_s = \frac{1.5\,Q_s}{Q_s} \times 1000\text{mm} \text{ かつ } 600\text{mm} \text{ 以下}$$

Qs：焼抜き栓溶接1個当たりの長期許容せん断力（N）

p Q：設計最大せん断力(N/m)

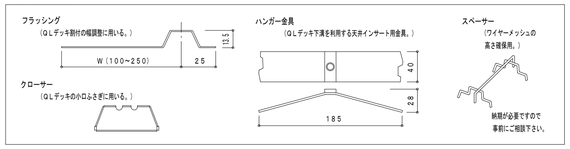
As：焼抜き栓溶接ピッチ

板厚	Qs（N）
1.2	4,900
1.6	7,350(SPW)、6,860(A.P.W)

$A_s = (\quad)$ mm

(注) 接合に頭付きスタッドを用いる場合、焼抜き栓溶接は不要

アクセサリー

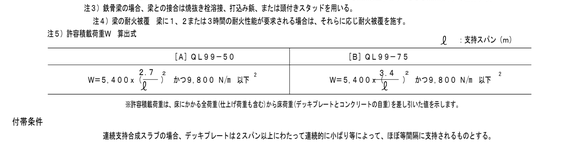


耐　火　仕　様

【連続支持合成スラブ】

支 持 梁 ：鉄骨(S)梁 及び 大梁：鉄筋コンクリート(RC)梁又は鉄骨鉄筋コンクリート(SRC)梁、小梁：鉄骨(S)梁
コンクリート：設計基準強度18Ｎ/mm²以上の普通コンクリート、及び、軽量コンクリート（1種・2種）

耐 火 時 間	コンクリート種類	品　名		溶接金網又は異形鉄筋（Ｄ10－@150）	
床、1時間耐火 FP060FL-9095	普通コンクリート	ＱＬ９９－５０	3.0ｍ 以下	φ6－150×150	算出式 注5)Ａ 参照
		ＱＬ９９－７５	3.4ｍ 以下		算出式 注5)Ｂ 参照
			3.6ｍ 以下	φ6－100×100	4,400N/m 以下　注2)
	軽量コンクリート	ＱＬ９９－５０	3.0ｍ 以下	φ6－150×150	算出式 注5)Ａ 参照
		ＱＬ９９－７５	3.4ｍ 以下		算出式 注5)Ｂ 参照
床、2時間耐火 FP120FL-9107	普通コンクリート	ＱＬ９９－５０	2.7ｍ 以下	φ6－100×100	算出式 注5)Ａ 参照
		ＱＬ９９－７５	3.4ｍ 以下		算出式 注5)Ｂ 参照
			3.6ｍ 以下	Ｄ10－@200	5,400N/m 以下　注2)
	軽量コンクリート	ＱＬ９９－５０	2.7ｍ 以下	φ6－100×100	算出式 注5)Ａ 参照
		ＱＬ９９－７５	3.4ｍ 以下		算出式 注5)Ｂ 参照
			3.6ｍ 以下	Ｄ10－@200	5,400N/m 以下　注2)



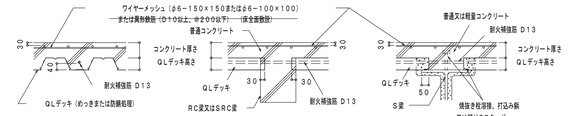
【単純支持合成スラブ】

支 持 梁 ：鉄骨(S)梁　　コンクリート：設計基準強度18Ｎ/mm²以上の普通コンクリート、及び、軽量コンクリート（1種・2種）
耐火補強筋 ：Ｄ13（デッキプレート各溝@300）

耐 火 時 間	コンクリート種類	品　名	支持スパン	コンクリート厚さ	溶接金網又は異形鉄筋（Ｄ10－@200）	許容積載荷重
床、1時間耐火 FP060FL-9101	普通コンクリート	ＱＬ９９－５０	2.7ｍ 以下	80mm 以上	φ6－150x150	算出式 注5)Ａ 参照
		ＱＬ９９－７５	3.4ｍ 以下			算出式 注5)Ｂ 参照
	軽量コンクリート	ＱＬ９９－５０	2.7ｍ 以下			算出式 注5)Ａ 参照
		ＱＬ９９－７５	3.4ｍ 以下			算出式 注5)Ｂ 参照
床、2時間耐火 FP120FL-9113	普通コンクリート	ＱＬ９９－５０	2.7ｍ 以下	95mm 以上	φ6－100x100	算出式 注5)Ａ 参照
		ＱＬ９９－７５	3.4ｍ 以下	90mm 以上		算出式 注5)Ｂ 参照
	軽量コンクリート	ＱＬ９９－５０	2.7ｍ 以下	85mm 以上		算出式 注5)Ａ 参照
		ＱＬ９９－７５	3.4ｍ 以下			算出式 注5)Ｂ 参照

支 持 梁：鉄筋コンクリート(RC)梁又は鉄骨鉄筋コンクリート(SRC)梁の場合　　コンクリート：設計基準強度18N/mm 以上の普通コンクリート
耐火補強筋：Ｄ13（デッキプレート各溝@300）

耐 火 時 間	コンクリート種類	品　名	支持スパン	コンクリート厚さ	溶接金網又は異形鉄筋（Ｄ10－@200）	許容積載荷重
床、1時間耐火 FP060FL-9101	普通コンクリート	ＱＬ９９－５０	2.7ｍ 以下	80mm 以上	φ6－150x150	算出式 注5)Ａ 参照
		ＱＬ９９－７５	3.4ｍ 以下			算出式 注5)Ｂ 参照
床、2時間耐火 FP120FL-9113	普通コンクリート	ＱＬ９９－５０	2.7ｍ 以下	95mm 以上	φ6－100x100	算出式 注5)Ａ 参照
		ＱＬ９９－７５	3.4ｍ 以下	90mm 以上		算出式 注5)Ｂ 参照



注1）スパンとは鉄骨梁の場合デッキプレートを支持する梁の中心間距離、鉄筋コンクリート梁の場合梁内法寸法をいう。
注2）スパンが3.4ｍを超える場合は、合成スラブと梁とは頭付きスタッド（軸径16mm以上、ピッチ300mm以下）で結合する。
注3）鉄骨梁の場合、梁との接合は焼抜き栓溶接、打込み鋲、または頭付きスタッドを用いる。
注4）梁の耐火被覆　梁に1、2または3時間の耐火性能が要求される場合は、それらに応じ耐火被覆を施す。
注5）許容積載荷重W　算出式

ℓ ：支持スパン（m）

[A] ＱＬ９９－５０	[B] ＱＬ９９－７５
$W = 5,400 \times \left(\frac{2.7}{\ell}\right)^2$ かつ9,800 N/m 以下	$W = 5,400 \times \left(\frac{3.4}{\ell}\right)^2$ かつ9,800 N/m 以下

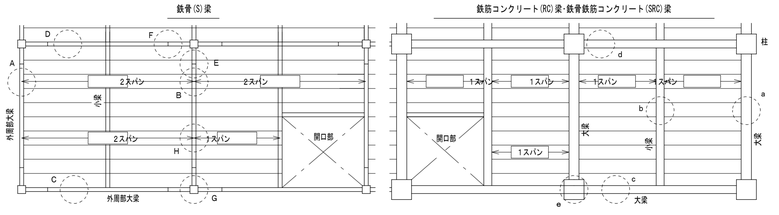
※許容積載荷重は、床にかかる全荷重(仕上げ荷重も含む)から採用重(デッキプレートとコンクリートの自重)を差し引いた値を示します。

付帯条件

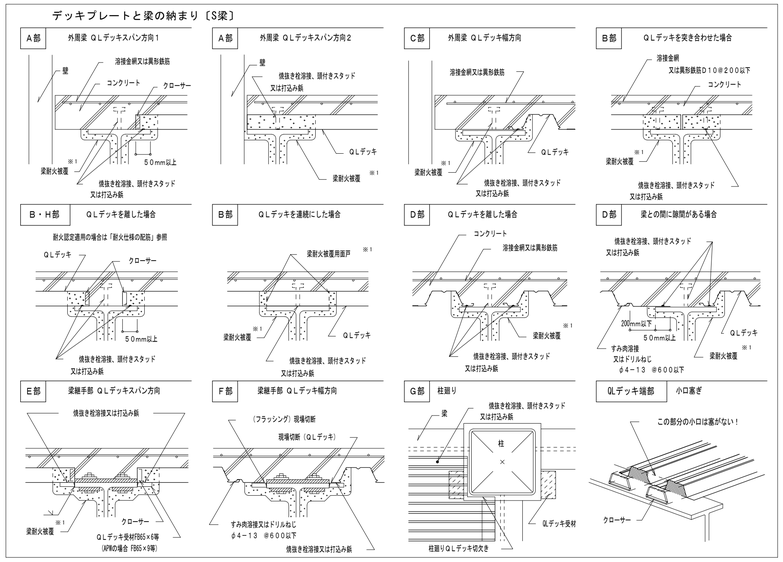
連続支持合成スラブの場合、デッキプレートは2スパン以上にわたって連続的に小げり等によって、ほぼ等間隔に支持されるものとする。

標　　準　　納　　ま　　り

図中※1は、梁に1、2または3時間の耐火性能が要求される場合のみ適用。　※2はＱＬデッキ耐火認定を適用する場合に必要。

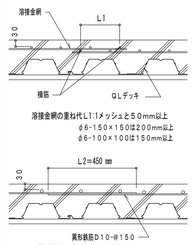


デッキプレートと梁の納まり〔S梁〕



スラブの配筋

コンクリート表面よりのかぶり厚さが30mm
になるようレベル保持し、全面に配筋する。

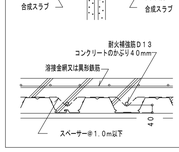


耐火仕様の配筋

・ＱＬデッキが単純支持となる場合、耐火補強筋を配筋する。配筋はＪＡＳＳ５鉄筋コンクリート工事による。
・耐火補強筋・端部補強筋が必要な場合、ＱＬデッキの各溝中央部にかぶり40mmで配筋する。
・耐火補強筋、端部補強筋共、梁へ150mm以上定着させる。梁上で定着が150mmとれない場合は、
Ｌ型に曲げて150mm以上を確保する。

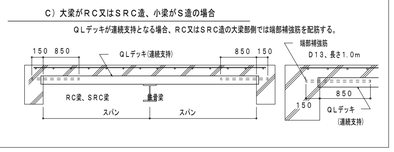
Ａ）大梁小梁共にＳ造の場合

ＱＬデッキが単純支持となる場合、
耐火補強筋が必要。



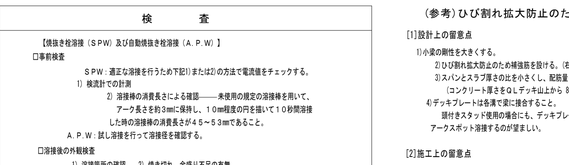
Ｂ）大梁小梁共にＲＣ又はＳＲＣ造の場合

ＱＬデッキは単純支持、耐火補強筋が必要。

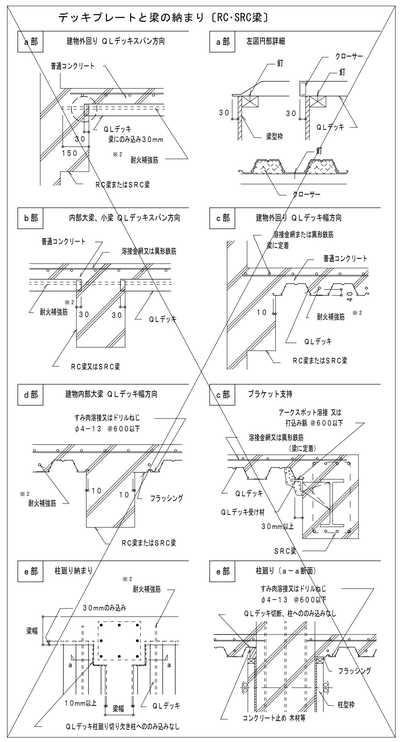


Ｃ）大梁がＲＣ又はＳＲＣ造、小梁がＳ造の場合

ＱＬデッキが連続支持となる場合、ＲＣ又はＳＲＣ造の大梁部側では端部補強筋を配筋する。



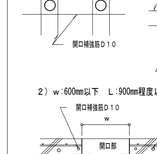
デッキプレートと梁の納まり〔RC・SRC梁〕



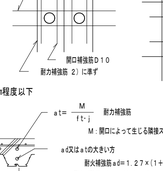
開口部補強

1）開口がφ150程度の場合

A）開口間隔2３×開口径

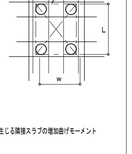


B）開口間隔<３×開口径

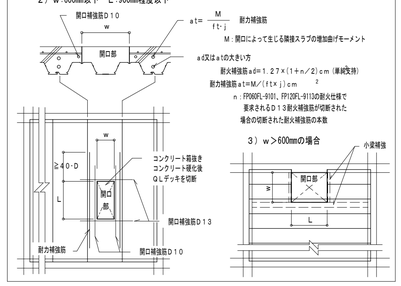


C）開口が連続している場合

連続する開口の開口径（仮想開口）と
見なし、その開口部の大きさにより、
2）又は3）に準じて補強を行う



2）w：600mm以下　L：900mm程度以下



施工

施工順序

墨　出　し
↓
敷込み仮止め溶接
↓
ＱＬデッキと梁との接合
1）頭付きスタッド
2）打込み鋲
3）焼抜き栓溶接
↓
溶接金網敷込み
↓
コンクリート打設
↓
検　　査

敷　込　み

鉄骨梁の場合

1）墨出し線に合わせて1枚目のデッキプレートを仮止め溶接した後、順次通当な枚数(5～10枚)ごとに仮止め溶接する。

2）各大梁上にデッキプレートの溝部が乗るように敷込む。

デッキプレート幅方向のかかり代は、
50mm以上あることを確認する。
（頭付きスタッドの場合は30mm以上）

3）デッキプレート長手方向の大梁のかかり代は、50mm以上あることを確認する。

ＲＣ梁またはＳＲＣ梁の場合

1）デッキプレートは梁型枠に打止めする。

2）デッキプレートの梁型枠へののみ込み代が幅方向10mm以上、長手方向が30mmあることを確認する。

デッキプレートと梁との接合

1）頭付きスタッド

施工は、JASS6「鉄骨工事」による。
デッキプレートと梁とはアークスポット溶接等で接合する。

2）打込み鋲

施工は打込み鋲製造業者の施工要領による。
施工の仕様等については別途製造業者へご確認下さい。
日本ヒルティ(株)、　日本ドライブイット(株)

3）焼抜き栓溶接

国土交通省告示第３２６号(平成14年4月16日制定)及び国土交通省告示第６０６号(平成19年6月20日改正)の
第２接合バ(4)焼抜き栓溶接に基づく下記仕様による。（梁フランジの表面処理条件：黒皮または一般錆止め塗装）

焼抜き栓溶接［ＳＰＷ］　―― アーク手溶接 ――

（1）溶接機
交流アーク溶接機 AW２５０Ａ以上　エンジン溶接機 ２３０Ａ以上

（2）溶接棒
JIS Z 3211のE4316、E4916 に定める低水素系被覆アーク溶接棒で
棒径4mmφのもの

（3）標準溶接条件

梁フランジ板厚	溶接電流 ：１９０～２３０Ａ(標準２１０Ａ)

（4）溶接工の資格
JIS Z 3801、JIS Z 3841 における基本級の有資格者

（5）手順・要領
右の1～4の順に行う。

	工　程	手　順・要　領
1	アーク発生	ＱＬデッキを変になじませ(隙間2mm以下)溶接棒を ＱＬデッキに垂直にしてアークを発生させる。
2	ＱＬデッキ焼抜き	溶接棒を若干引き上げてアークを飛ばし、 径10m程で"の"の字を描いてＱＬデッキを焼抜く。
3	押し込み・溶着	溶接棒を梁上まで押し込み、焼抜きの内側を なぞるように円中央へ2～3回転しながら溶着。
4	整　形	溶着金属を整え、中央部でそっと溶接棒を引き 上げる。スラグを除去して仕上がりを確認。

溶接時間の目安：電流値２１０Ａ(標準)の場合８秒程度

自動焼抜き栓溶接［Ａ．Ｐ．Ｗ］　―― CO_2アークスポット溶接 ――

（1）一次側電源の必要容量：仮設電力の場合　１８ＫＶＡ以上　３相　２００Ｖ
発電機の場合　３５ＫＶＡ以上　３相　２００Ｖ

（2）ワイヤの種類と直径　：ＹＧＷ　１１、１２　φ1.2mm

（3）標準溶接条件：下表

ＱＬデッキ板厚	梁フランジ板厚	電流（Ａ）	電圧（Ｖ）	アークタイム（秒）
1.2mm	6～9mm未満	３００～３２０	３３～３５	３.０～４.０×１度打ち
	9mm以上	３００～３２０	３３～３５	３.０～４.０×２度打ち
1.6mm	6～9mm未満	３００～３２０	３４～３６	３.５～４.５×１度打ち
	9mm以上	３００～３２０	３４～３６	４.０～４.５×２度打ち

注1．デッキプレート　板厚1.2、1.6mm　表面条件：Ｚ12、Ｚ27、裏面塗装
2．CO_2ガス流量：２０リットル／分以上

検　　査

【焼抜き栓溶接（ＳＰＷ）及び自動焼抜き栓溶接（Ａ．Ｐ．Ｗ）】

□事前検査

ＳＰＷ：適正な溶接を行うため下記1）または2）の方法で電流値をチェックする。
1）検査計での計測
2）溶接棒の消費長さによる確認――未使用の規定の溶接棒を用いて、
アーク長さを約3mに保持し、１０m程度の円を描いて１０秒間溶接
した時の溶接棒の消費長さが４５～５３mであること。
Ａ．Ｐ．Ｗ：試し溶接を行って溶接径を確認する。

□溶接後の外観検査

1）溶接箇所の確認　2）焼き切れ、余盛り不足の有無
3）標準余盛り径　ＳＰＷ：10mm以上　Ａ．Ｐ．Ｗ：25mm±3

□不良部の補修

ＳＰＷ　の場合：スラグ除去後、梁にデッキプレートを密着させて再溶接する。
不良合箇所に溶着金属を流し込む要領で補修。
Ａ．Ｐ．Ｗの場合：重ね溶接して補修する。

【そ　の　他】

(1)ＱＬデッキ相互の嵌合状況　(2)溶接金網の敷込み状況　(3)開口部の補強状況

（参考）ひび割れ拡大防止のための留意事項

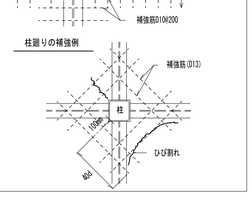
[1]設計上の留意点

1)小梁の剛性を大きくする。
2)ひび割れ拡大防止のため補強筋を設ける。(右図補強例参照)
3)スパンとスラブ厚さの比をかさくし、配筋量を大きくする。
（コンクリート厚さをＱＬデッキ山上から 80～90mmと厚くする。）
4)デッキプレートは各溝で梁に接合すること。
頭付きスタッド使用の場合にも、デッキプレートを溝全てを
アークスポット溶接するのが望ましい。

[2]施工上の留意点

1)水セメント比を小さくする。
単位水量　175リットル/m³ 以下
ベースコンクリートスランプ　10cm　スランプ 15cm
高性能ＡＥ減水剤
2)溶接金網の位置→かぶり厚さ30mm→を確保する。(補強筋は溶接金網より下に配筋する)
3)コンクリート打込み後1週間は振荷作業を行わない。歩行程度は可。
4)打込み後初期には散水や養生シート等で湿潤養生を行う。
直射日光が当たる屋上は、散水養生は必須。
5)打込み後４～７日間はスラブに振動や荷重を加えないようにし、充分な養生期間を設ける。

大梁上の補強例



柱回りの補強例

		設計番号	工事名称	縮尺	図面名称
		年 月 日 令和8年1月	新座市立東北小学校校舎長寿命化改修工事	Non	ＱＬデッキ合成スラブ設計・施工標準
				図番	Ｓ－０８
				承認	製図

ベースパック□ 型

角形鋼管
F値295N/mm²以下
□-150×150 ～ □-300×300 用

（一財）日本建築センターによる一般評定「BCJ評定-ST0093-18」（令和4年11月17日付）

ベースパック柱脚工法 設計施工標準図

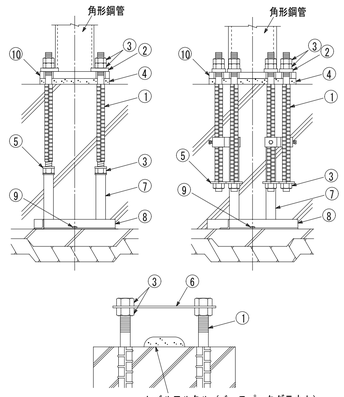
●ベースパック柱脚工法の設計は「ベースパック柱脚工法設計ハンドブック」による。

岡部株式会社 TEL03（3624）5336
旭化成建材株式会社 TEL03（3296）3515

2023年9月作成

1．工法概要

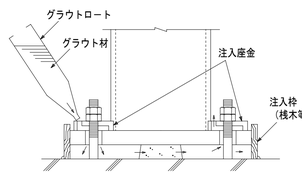
1．1 構成部材



①アンカーボルト
②注入座金
③Mナット
④ベースパックグラウト（グラウト材）
⑤定着座金
⑥テンプレート
⑦フレームポスト
⑧フレームベース
⑨ステコンアンカー（コンクリートアンカー）
⑩ベースプレート

（注）上記①～⑩の構成部材はベースパック構成部品として供給される。
（注）上記⑥～⑨は現場状況により仕様が異なる場合がある。

1．2 柱脚の定着方法概要



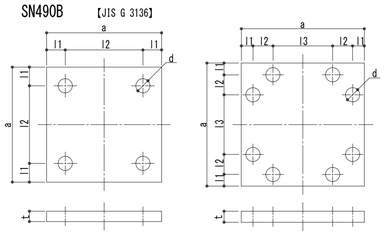
2．柱

F値(N/mm²)	鋼種	採用
235	BCP235	
	STKR400	
295	BCR295	●
	TSC295	

3．構成部材・寸法

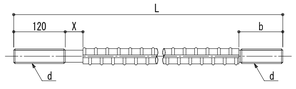
3．1 ベースプレート

●材質
SN490B 【JIS G 3136】



3．2 アンカーボルト（Mアンカーボルト）【建築基準法第３７条第二号に基づく国土交通大臣認定材料】

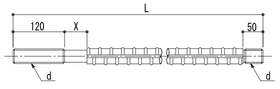
i）アンカーフレーム Aタイプの場合



単位 mm

呼び d	異形部呼び名	L 注1)	X	b 注1)	基準強度 (N/mm²)
M27	D29	650	45	128	490
M30	D32	695	45	133	490
M33	D35	690, 735	45	95, 140	490
M36	D38	770	60	130	490
M39	D41	770, 810	60	98, 135	490

ii）アンカーフレーム Cタイプ の場合



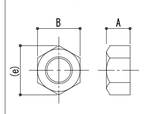
単位 mm

呼び d	異形部呼び名	L	X	基準強度 (N/mm²)
M30	D32	695	45	490
M33	D35	720	45	490
M36	D38	770	60	490

注1）据付け高さが低い場合に短いアンカーボルトを使用する。

3．3 Mナット

【建築基準法第３７条第二号に基づく国土交通大臣認定材料】

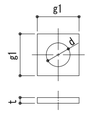


単位 mm

呼び	A	B	(e)
M27	22	41	47
M30	24	46	53
M33	26	50	58
M36	29	55	64
M39	31	60	69

3．4 定着座金

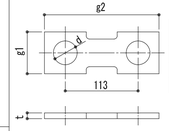
i）アンカーフレーム Aタイプの場合



単位 mm

適用アンカーボルト	g1	t	d	材質
M27	55	9	28	SS400
M30	55	9	31	
M33	60	9	34	
M36	65	12	37	
M39	80	12	40	

ii）アンカーフレーム Cタイプ の場合

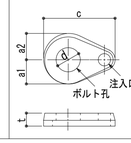


単位 mm

適用アンカーボルト	g1	g2	t	d	材質
M30	55	168	9	32	SS400
M33	60	173	9	35	
M36	65	178	9	38	

3．5 注入座金

【建築基準法第３７条第二号に基づく国土交通大臣認定材料】

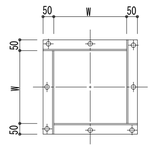


単位 mm

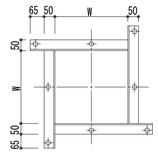
記号	適用アンカーボルト	a1	a2	c	t	d
PM27	M27	32	42	101	18	28
PM30	M30	32	42	101	18	31
PM33	M33	35	45	110	18	34
PM36	M36	35	45	110	18	37
PM39	M39	38	48	118	18	40

3．6 フレームベース

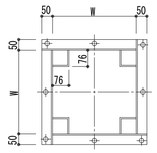
i）Aタイプ



ii）Cタイプ



iii）特Cタイプ

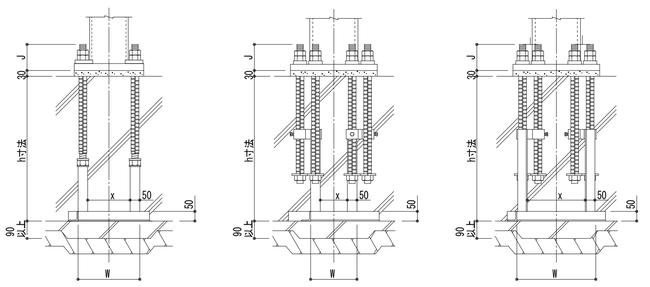


3．7 アンカーフレーム形状および据付け時諸寸法

●ベースパックの据付け高さ（h寸法）はフレームベース下端からコンクリート柱型天端までを示す。据付けに最低限必要な高さ（最低h寸法）は下表に記載の値とする。

〈 Aタイプ 〉 〈 Cタイプ ※ 〉 〈 特Cタイプ 〉

※杭頭納まり及び配筋状況に合わせて特Cタイプを選択できる。

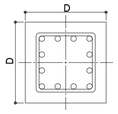


単位 mm

4．コンクリート柱型

4．1 形状・材質

●形状
形状は正方形とし、寸法は下表に記載の値とする。

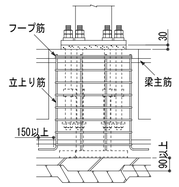


●コンクリート
普通コンクリートとし、設計基準強度は21N/mm 以上とする。

●鉄筋
SD295(D13, D16)
SD345(D19, D22)

4．2 配筋

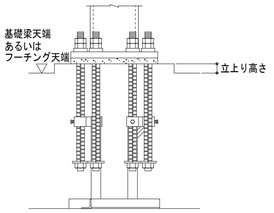
配筋仕様は下表による。



※立上り筋の頂部にはフックを設けなくてよい。
※トップフープはダブルとし、柱型上端近くに配置する。

4．3 基礎立上がり

●基礎立上がり高さは50mm以下とする。
※ただし基礎立上がり高さが50mmを超え300mm以下の場合、Lシリーズを使用することができる。



4．4 特記事項 上記内容によらない場合は下記による。

採用
□ 下表標準柱型寸法からの変更あり（「柱型寸法最大・最小値一覧」による）
□ 下表標準配筋仕様からの変更あり
□ 立上り筋に頂部フックが必要

5．工場製作（溶接）

■組立
●ベースプレートの中心線（ｹｶﾞｷ線）に柱材軸心を合わせる。
■溶接方法（完全溶込み溶接）
●完全溶込み溶接とする。(JASS 6 鉄骨工事による)

完全溶込み溶接の開先標準（JASS 6 鉄骨工事 2007年版より ）

図	溶接方法	適用板厚T(mm)	ルート間隔G(mm) 標準値	ルート間隔G(mm) 許容差	ルート面R(mm) 標準値	ルート面R(mm) 許容差	開先角度α1(°) 標準値	開先角度α1(°) 許容差	溶接姿勢
	被覆アーク溶接	6～	7	-2, +∞ (-3, +∞)	2	-2, +1 (-2, +2)	α1：45	-2.5, +∞ (-5, +∞)	下向き
			9	-2, +∞ (-3, +∞)	2	-2, +1 (-2, +2)	α1：35		
	ガスシールドアーク溶接 セルフシールドアーク溶接	6～	6	-2, +∞ (-3, +∞)	2	-2, +1 (-2, +2)	α1：45	-2.5, +∞ (-5, +∞)	下向き
			7	-2, +∞ (-3, +∞)	2	-2, +1 (-2, +2)	α1：35		

ベースプレート

許容差・記号+∞は制限無しを示す。
・2段書きは「鉄骨精度検査基準」に規定する許容差（上段：管理許容差、下段括弧内：限界許容差）を示す。

■ベースプレートの予熱
●気温（鋼材表面温度）が5°C以上でのベースプレートの予熱は次に示す予熱温度標準により行う。その他必要に応じて適切な予熱をする。

溶接方法	鋼種	板厚(mm) t<32	32≦t<40	40≦t≦50
低水素系被覆アーク溶接	SN490B	予熱なし	50 °C	50 °C
CO ガスシールドアーク溶接	SN490B	予熱なし	予熱なし	予熱なし

■検査方法：溶接部の検査は超音波探傷検査により行う。
■施工管理：７．本工法の施工及び施工管理参照。

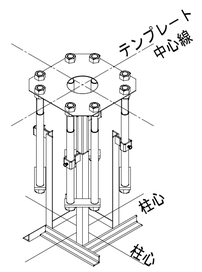
6．工事場施工

6．1 基礎工事

●柱脚部の捨コンの厚さは90mm以上とし、表面は平滑に仕上げる。

6．2 アンカーボルト据付け

●アンカーボルト（フレーム）の組立ては、4隅のアンカーボルト4本で組立てを行う。
●フレームベースはステコンアンカーにより水平に固定する。
●位置決めは、テンプレートの中心線と地墨等の柱心を合致させることにより行い、標準許容差は下図による。

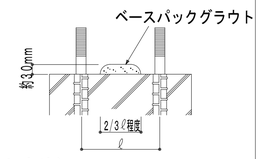


6．3 配筋およびコンクリート打設

●配筋はアンカーボルト（フレーム）との取り合いを考慮する。
●コンクリート打設前にテンプレート位置精度を確認する。

6．4 建方

●レベルモルタルはベースパックグラウト（グラウト材）を使用し大きさは右図による。



6．5 アンカーボルトの本締め（弛み止め）

●本締めはグラウト材の充填前に行い、ダブルナットを標準とする。

6．6 ベースパックグラウト(グラウト材)の注入

●グラウト材のカクハンは、グラウト材１袋（6kg）に対して、計量カップで1.0～1.1ℓの水を加え、電動カクハン機で混練することにより行う。
●グラウト材の注入は、グラウトロートを注入座金にセットし、グラウト材の自重圧により他の注入座金からグラウト材が噴き出るまで行う。

7．本工法の施工及び施工管理

●本工法は、管理者又は施工者（元請）の管理のもとで実施するものとする。
●本工法のうち６．２アンカーボルト据付け及び６．６ベースパックグラウトの注入は、ベースパック・セレクトベース施工技術委員会によって認定された有資格者（ベースパック施工管理技術者・施工技能者）が施工を実施し、チェックシート等により施工管理を行うものとする。
●ベースプレート溶接部の施工管理は、鉄骨製作業者に属する鉄骨製作管理技術者等による。

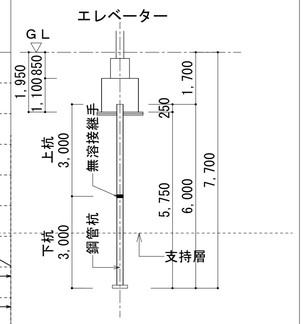
採用	ベースパック記号	柱 外径(mm)	柱 板厚(mm)	ベースプレート 材質	形状	寸法(mm) a	t	l1	l2	l3	d	アンカーボルト 本数-呼び	基準強度 (N/mm²)	アンカーフレームタイプ	コンクリート柱型 寸法D(mm) 標準フレーム	特C	配筋 立上り筋	フープ筋	設計基準強度 (N/mm²)	フレームベース 寸法W(mm) 標準フレーム	特C	フレームポスト間 寸法X(mm) 標準フレーム	特C	最低h寸法 (mm)	J寸法 (mm)
	15-12V	□-150×150	t≦12	SN490B	(イ)	300	28	50	200	-	φ45	4-M27	490	A	500	-	12-D16	D13@100	21以上	250	-	150	-	550	135
	17-12V	□-175×175	t≦12	SN490B	(イ)	320	32	45	230	-	φ45	4-M30	490	A	530	-	12-D19	D13@100	21以上	280	-	180	-	600	135
	20-09V	□-200×200	t≦9	SN490B	(イ)	360	28	50	260	-	φ45	4-M30	490	A	560	-	12-D16	D13@100	21以上	310	-	210	-	600	135
	20-12V	□-200×200	t≦12	SN490B	(イ)	360	32	50	260	-	φ50	4-M33	490	A	560	-	12-D19	D13@100	21以上	310	-	210	-	600	135
	25-09V	□-250×250	t≦9	SN490B	(イ)	420	32	55	310	-	φ55	4-M36	490	A	610	-	12-D19	D13@100	21以上	360	-	260	-	650	150
	25-12V	□-250×250	t≦12	SN490B	(イ)	420	36	55	310	-	φ55	4-M39	490	A	630	-	12-D19	D13@100	21以上	370	-	270	-	650	150
●	25-16V	□-250×250	t≦16	SN490B	(ハ)	450	32	50	80	190	φ50	8-M33	490	C	620	640	12-D19	D13@100	21以上	240	440	140	300	650	135
	30-09V	□-300×300	t≦9	SN490B	(イ)	480	36	60	360	-	φ55	4-M39	490	A	680	-	12-D22	D13@100	21以上	420	-	320	-	650	150
	30-12V	□-300×300	t≦12	SN490B	(ハ)	520	32	50	80	260	φ50	8-M30	490	C	700	710	12-D22	D13@100	21以上	310	510	210	370	650	135
	30-16V	□-300×300	t≦16	SN490B	(ハ)	520	40	50	80	260	φ55	8-M36	490	C	710	710	12-D22	D13@100	21以上	310	510	210	370	700	150
	30-19V	□-300×300	t≦19	SN490B	(ハ)	550	50	50	80	290	φ55	8-M36	490	C	740	740	12-D22	D13@100	21以上	340	540	240	400	700	150

		設計番号	工事名称 新座市立東北小学校校舎長寿命化改修工事	縮尺 Non	図面名称 ベースパック柱脚工法 標準図
		年 月 日 令和8年1月			図番 S－09
					承認 / 製図

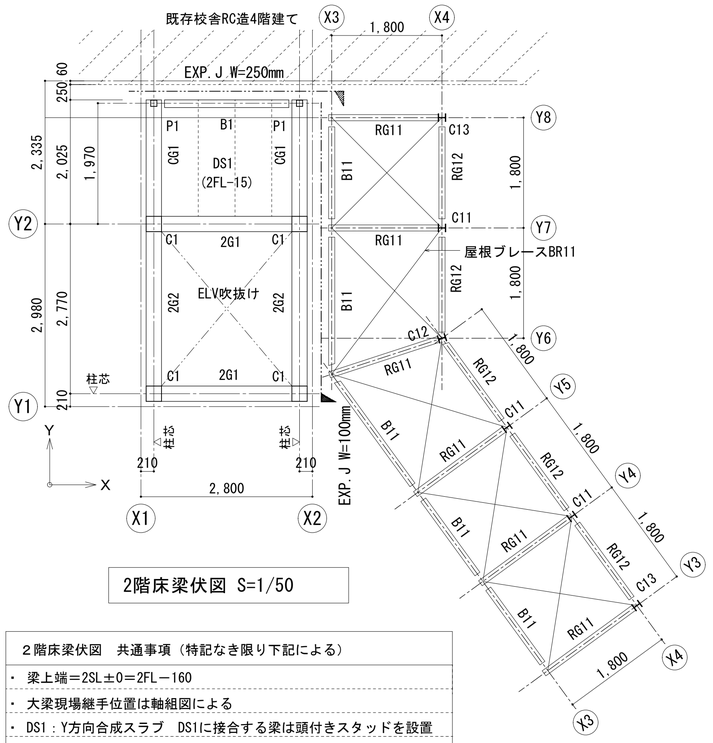
調査地点 本建物敷地内、ボーリング地点

調査年月日　令和7年6月9日～6月11日　　孔口標高 ： KBM+580mm　KBM+580＝GL±0

標尺（m）	層厚（m）	深度（m）	土質区分	標準貫入試験 N値
	0.65	0.65	埋土	
1				2
2				3
3			ローム	2
4				1
5	5.25	5.90		1
6				48
7				60/25
8			粘土混じり砂礫	60/19
9				60/28
10				60/24
11	6.10	12.00		60/28
12	0.65	12.65	砂質粘土	8
13				60/25
14			粘土混じり砂礫	60/20
15	2.70	15.35		60/20

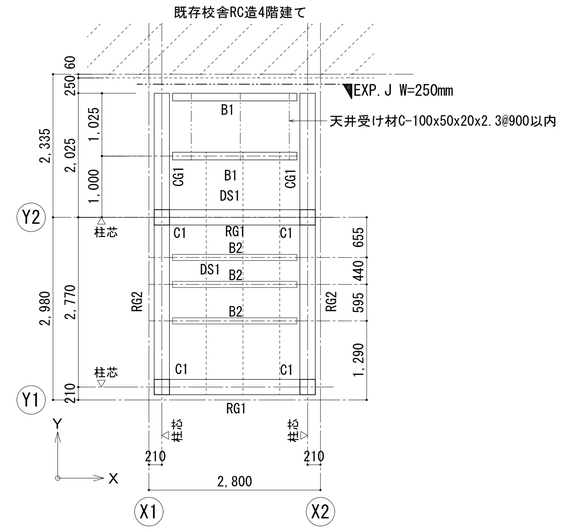


無溶接継手はS-16に示すECS-PJ工法とする



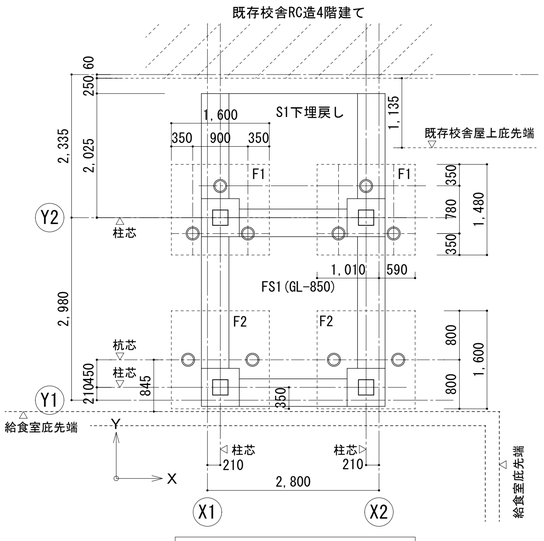
2階床梁伏図 S=1/50

2階床梁伏図　共通事項（特記なき限り下記による）
・ 梁上端＝2SL±0＝2FL－160
・ 大梁現場継手位置は軸組図による
・ DS1：Y方向合成スラブ　DS1に接合する梁は頭付きスタッドを設置



R階床梁伏図 S=1/50

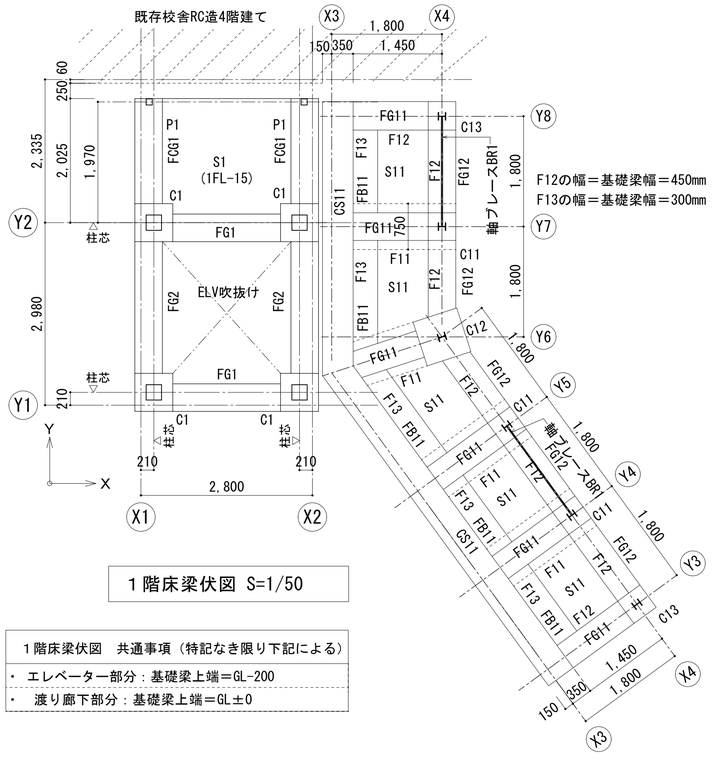
R階床梁伏図　共通事項（特記なき限り下記による）
・ 梁上端＝RFL－145
・ 大梁現場継手位置は軸組図による
・ DS1：Y方向合成スラブ　DS1に接合する梁は頭付きスタッドを設置



基礎・杭伏図 S=1/50　　杭は全てP1

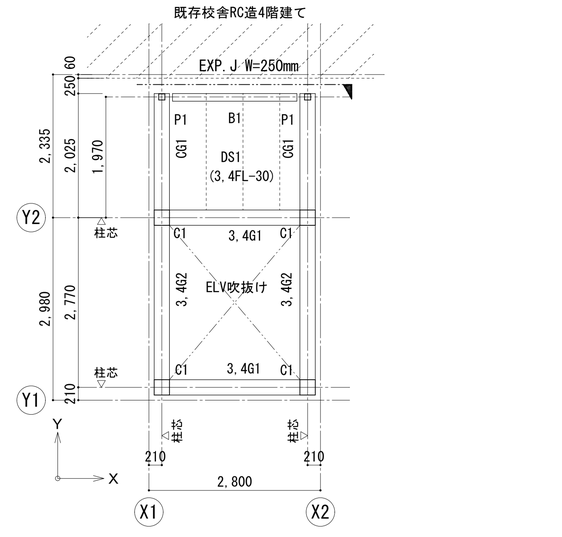
杭リスト　※施工偏心100mmの構造検討済であるが、杭施工後の偏心量を監督員に報告すること。
※監督員の指示位置を試験杭とし、支持層及び杭長の確認を行う。

・杭工法：G-ECSパイル回転圧入工法、認定番号TACP-0585号同等品以上				
・杭頭 GL－1,700 杭先端　GL－7,700 杭長さ3+3=6m				
符号	記号	鋼管外径×厚さ φ(mm)　t(mm)	本数 材質	長期支持力 Ra
P1	○	190.7×7.0	１０セット	470 kN/本
		等価羽根直径446mm	STK490	



１階床梁伏図 S=1/50

１階床梁伏図　共通事項（特記なき限り下記による）
・ エレベーター部分：基礎梁上端＝GL-200
・ 渡り廊下部分：基礎梁上端＝GL±0



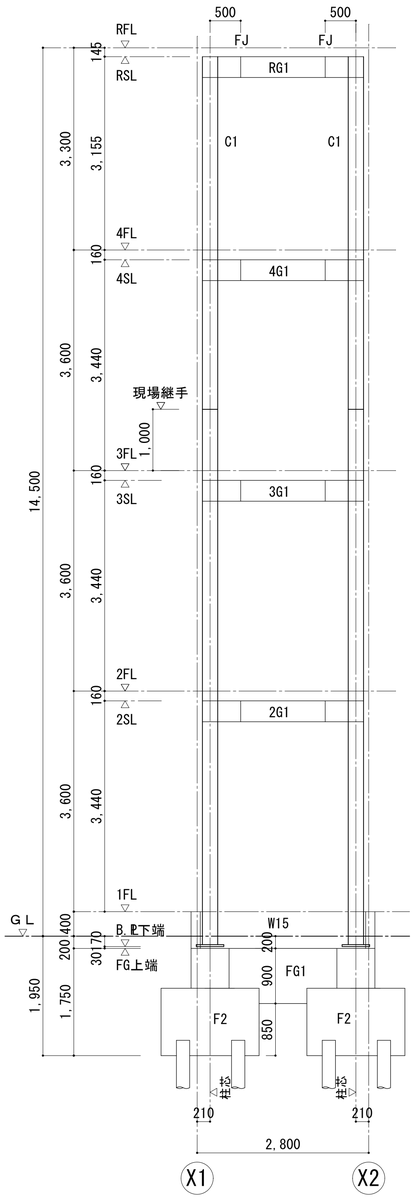
3,4階床梁伏図 S=1/50

3,4階床梁伏図　共通事項（特記なき限り下記による）
・ 梁上端＝nSL±0＝nFL－160　n=3,4
・ 大梁現場継手位置は軸組図による
・ DS1：Y方向合成スラブ　DS1に接合する梁は頭付きスタッドを設置

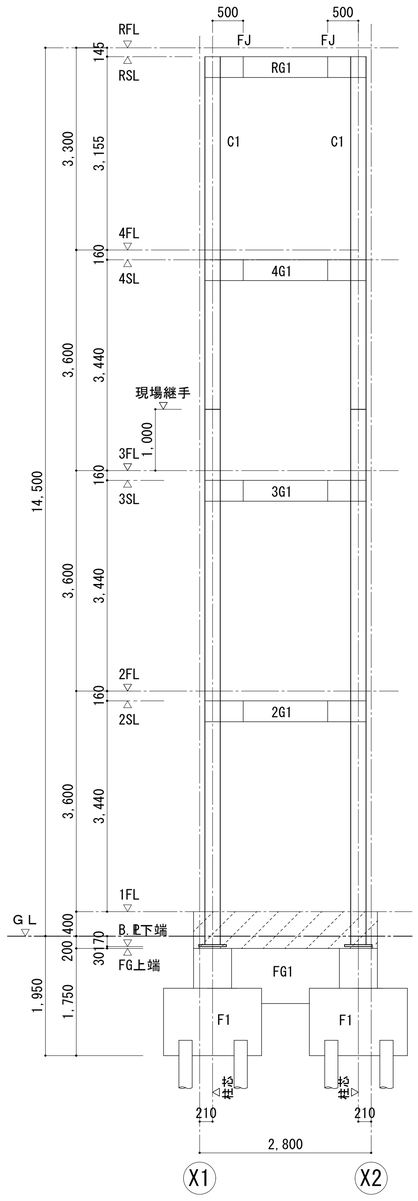
ボーリング地点

	設計番号	工事名称	縮尺	図面名称	図番
	年月日 令和8年1月	新座市立東北小学校校舎長寿命化改修工事	A1:1/50 A3:1/100	床梁伏図	S－１０
					承認 / 製図

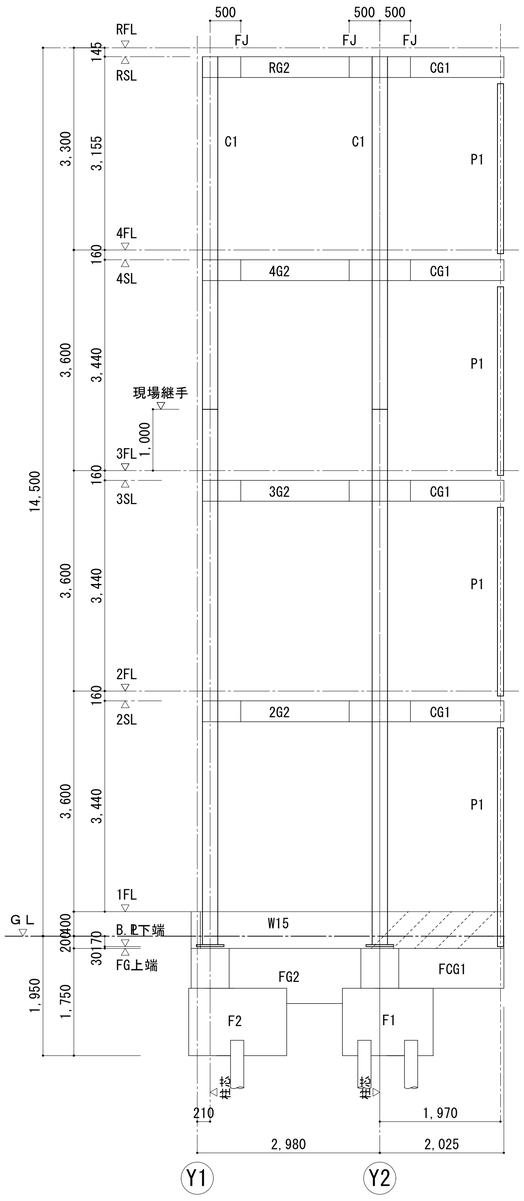
軸組図の共通事項（特記なき限り下記による）
・ 柱符号は下階に準ずる
・ FJ:現場継手を示す。
・ ー ＲＣ腰壁(W12天端＝1FL+100)
・ ー増打ちコンクリート



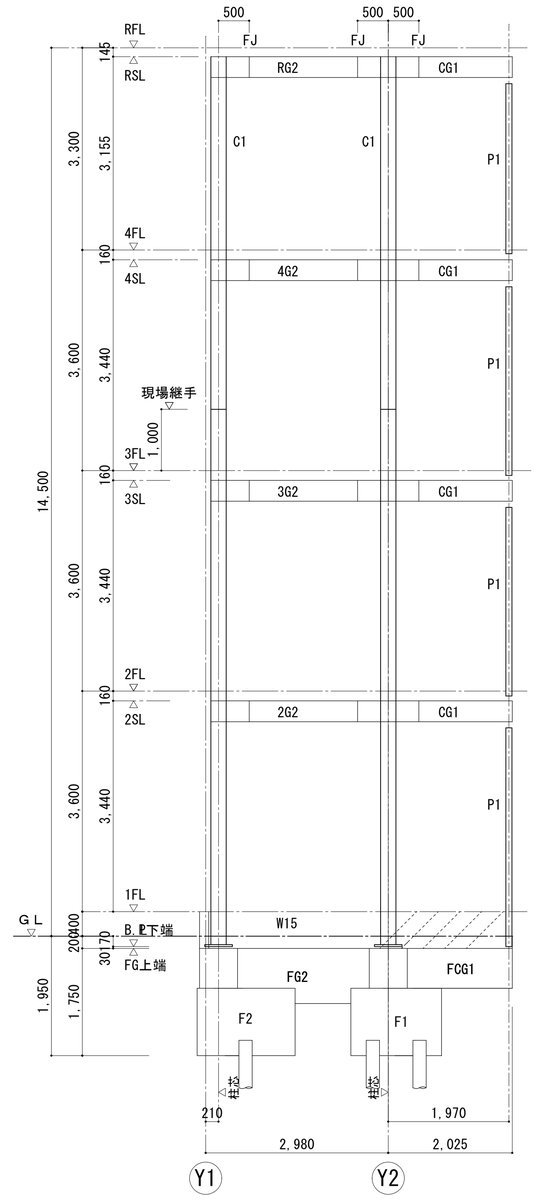
Y1通り軸組図 1/50



Y2通り軸組図 1/50



X1通り軸組図 1/50

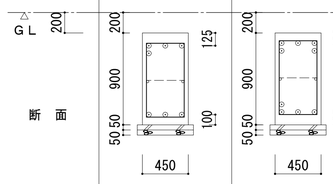
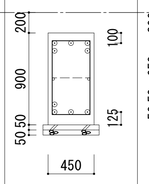
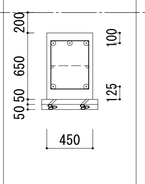
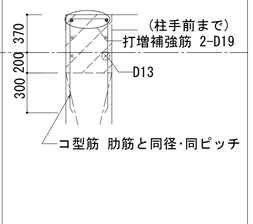


X2通り軸組図 1/50

		設計番号	工事名称	縮尺	図面名称	図番	
		年 月 日 令和8年1月	新座市立東北小学校校舎長寿命化改修工事	A1:1/50 A3:1/100	エレベーター　軸組図	S－１１	
						承認	製図

基礎梁リスト　S:1/30

特記なき限り、巾止筋　D10 @ 1000

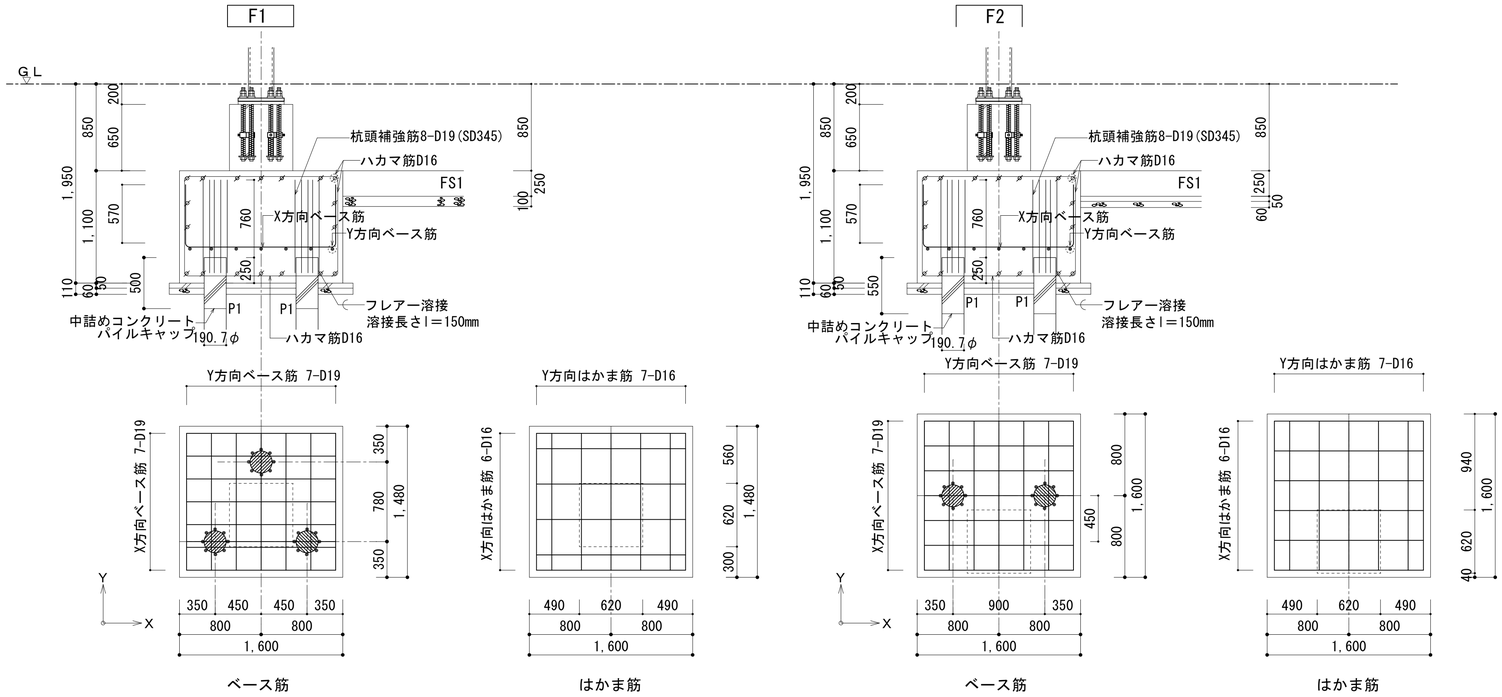
記　号	FG1	FG2	FCG1	打増し補強
位　置	全断面	全断面	全断面	全断面
断　面				
Ｂ ｘ Ｄ	450 x 900	450 x 900	450 x 650	
上 端 筋	4 - D25	5 - D25	3 - D25	
下 端 筋	3 - D25	4 - D25	2 - D25	
スターラップ	□ - D13 @ 200	□ - D13 @ 100	□ - D13 @ 200	
腹　筋	2 - D10	2 - D10	2 - D10	
備　考				

床スラブリスト

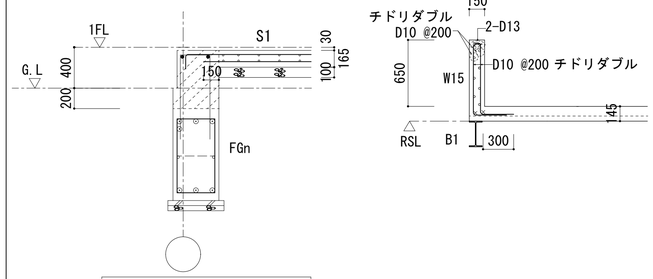
※　耐圧版FS1上部に埋戻しを行わないこと。

記　号	版　厚	位　置	短 辺 方 向	長 辺 方 向	備　考
S1	165	上 端 筋	D13 @ 200	D13 @ 200	砕石100㎜
		下 端 筋	D10 @ 200	D10 @ 200	
FS1	250	上 端 筋	D16 @ 200	D16 @ 200	砕石60㎜
		下 端 筋	D16 @ 200	D16 @ 200	捨てコンクリート50㎜

基礎リスト　S:1/30



RC壁リスト　S:1/30



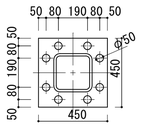
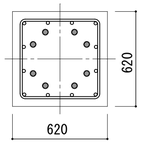
外周部断面図 S=1/30

符　号	W15
鉛直断面	
縦　筋	D10 @200チドリダブル
横　筋	D10 @200チドリダブル
開口補強筋	1 - D13
幅止め筋	——

		設計番号	工事名称	縮尺	図面名称	図番
		年 月 日 令和8年1月	新座市立東北小学校校舎長寿命化改修工事	A1:1/30 A3:1/60	エレベーター　部材リスト	Ｓ－１２
						承認 / 製図

柱リスト　S:1/20

材種　BCR295　通しダイアフラム SN490C

記　号	C1
4 階 3 階	
主　材	□ - 250 x 250 x 16
備　考	有効細長比λ＝49.7<200
2 階	
主　材	□ - 250 x 250 x 16
備　考	有効細長比λ＝58.0<200
1 階	
主　材	□ - 250 x 250 x 16
備　考	有効細長比λ＝46.9<200
ベースプレート	ベースパック　25-16V
アンカーボルト	8 - D38
基礎柱型	
主　筋	12 -D19(SD345)
帯　筋	D13 @100(SD295A)

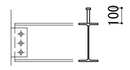
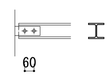
大梁・片持ち梁リスト S:1/20

材種　SN400B　ダイアフラム　SN490C

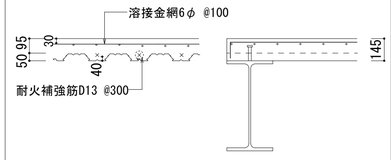
記　号	RG1, RG2, 4G1, 4G2	3G1, 3G2, 2G1, 2G2	CG1
位　置	全断面	全断面	全断面
断面			
主　材	H - 340 x 250 x 9 x 14	H - 340 x 250 x 9 x 14	H - 340 x 250 x 9 x 14
頭付きスタッド	16φ　@300 シングル	16φ　@300 シングル	16φ　@300 シングル
備　考			

小梁リスト S:1/20

特記なき限り、材種 SS400 HTB S10T はしあき・へりあき40mm ピッチ60mm

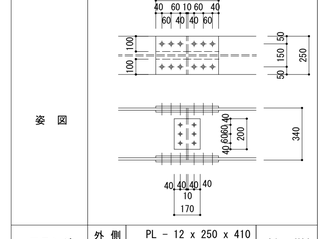
記　号	B1	B2
断　面		
主　材	H-250 x 125 x 6 x 9	H-100 x 100 x 6 x 8
頭付きスタッド	1 - 16φ @300 シングル	
接合部	G.PL - 9　HTB 3 - M16	G.PL - 6　HTB 2 - M16

合成スラブリスト S:1/20

記　号	DS1
断　面	
デッキプレート	QL99 - 50 - 12 （JFE建材）同等品以上
コンクリート	Fc = 24 N/mm² 山上 95 mm
ひび割防止筋	上図配筋参照
備　考	2時間耐火仕様（合成スラブ標準図参照）

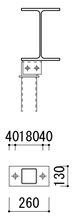
現場継手リスト S:1/20

材 種 ： SN400B 特記なき限り、高力ボルトはS10Tとする。
注）「鉄骨構造標準接合部・H形鋼編 SCSS-H97」の保有耐力接合

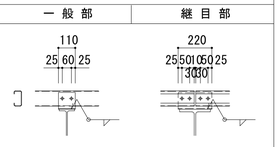
記　号	2, 3, 4, RG1　2, 3, 4, RG2　CG1		
主　材	H - 340 x 250 x 9 x 14		
姿　図			
フランジ	外 側	PL - 12 x 250 x 410	24 - M22
	内 側	2PL - 12 x 100 x 410	
ウェブ		2PL - 9 x 200 x 170	6 - M22

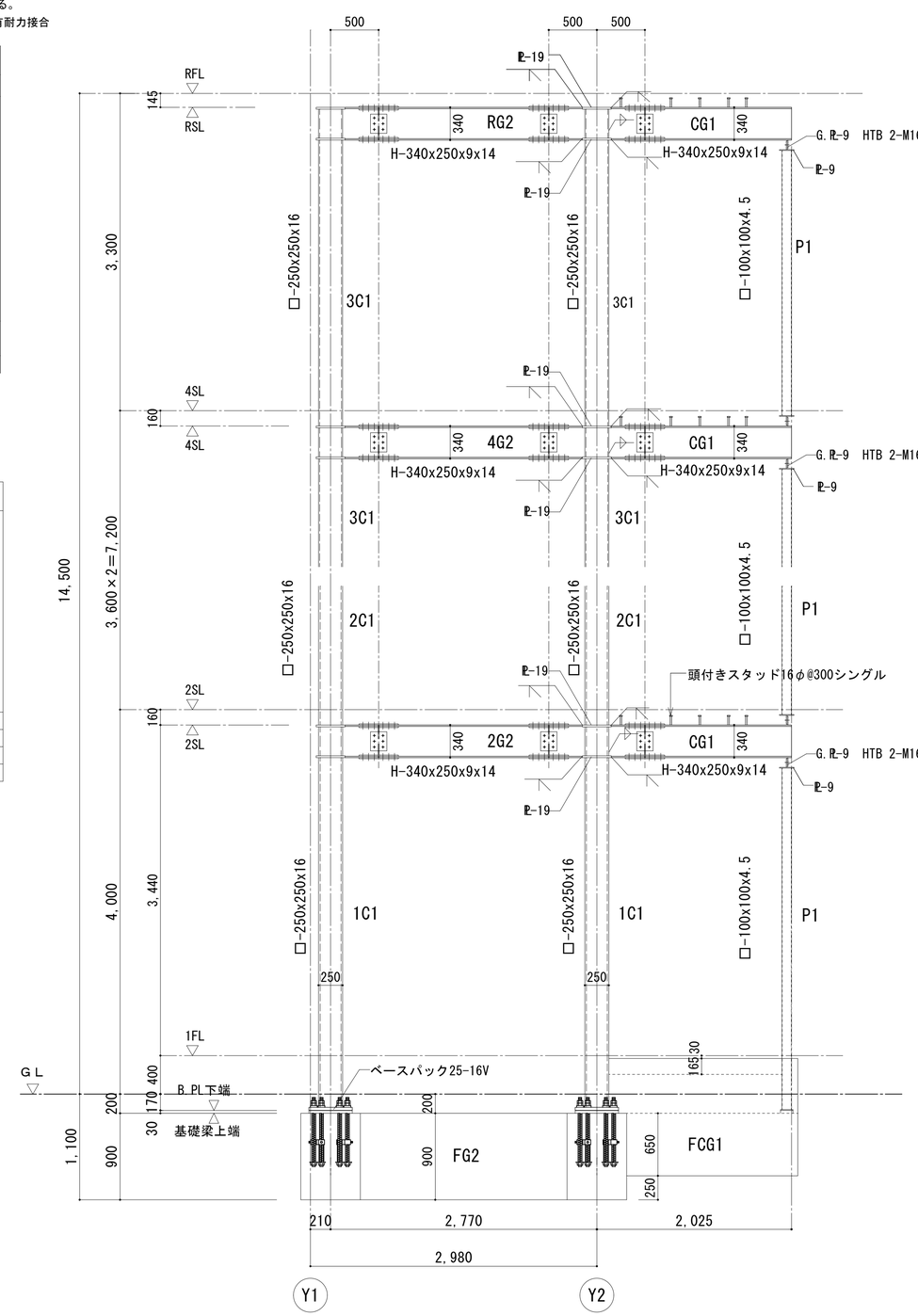
間柱リスト　S:1/20

特記なき材種は、SS400, HTB-S10Tとする。
アンカーボルトはJA型基礎ボルトとする。

記　号	P1　(STKR400)
断　面	
主　材	□ - 100 x 100 x 4.5
接 合 部	G.PL - 9　HTB 2 - M16
ベースプレート	B.PL - 12 x 260 x 130(SS400)
アンカーボルト	2 - M16(SS400)　JA型 L = 400mm

天井受け材リスト　S:1/20

記　号	天井受け材　(SSC400)	
	一 般 部	継 目 部
断　面		
主　材	C - 100 x 50 x 20 x 2.3	
接合部	G.PL - 4.5加工 2 - M12(中ボルト)	
備　考		



X1通り鉄骨詳細図　S:1/30

	設計番号	工事名称	縮尺	図面名称	図番	S－１３
	年 月 日 令和8年1月	新座市立東北小学校校舎長寿命化改修工事	A1:1/20, 1/30 A3:1/40, 1/60	エレベーター　鉄骨リスト・詳細図	承認	製図

G－ＥＣＳパイル工法設計施工標準

【 回転貫入鋼管杭　ジー・エクスパイル 】

2025.06.　改訂

【許容支持力および適用範囲】

1　件名

G-ECSパイル工法

（くい先端地盤：砂質地盤（礫質地盤含む）　TACP-0585）

（くい先端地盤：粘土質地盤　BGJ基評-FD0178-01）

2　地盤の許容支持力

本工法により施工される基礎ぐいの許容支持力を定める際に求める長期並びに短期に生ずる力に対する地盤の許容支持力

1）長期に生ずる力に対する地盤の許容支持力（kN）

$$Ra=\frac{1}{3}\left[\alpha\bar{N}Ap+(\beta\bar{N}sLs+\gamma\bar{q}uLc)\psi\right]$$

2）短期に生ずる力に対する地盤の許容支持力（kN）

$$Ra=\frac{2}{3}\left[\alpha\bar{N}Ap+(\beta\bar{N}sLs+\gamma\bar{q}uLc)\psi\right]$$

ここで、

α：くい先端支持力係数（砂質地盤（礫質地盤含む）　α=184）

（粘土質地盤　α=150）

β：砂質地盤におけるくいの周面摩擦力係数（β=0）

γ：粘土質地盤におけるくいの周面摩擦力係数（γ=0）

$\bar{N}$：基礎ぐいの先端付近（杭先端より下方に1Dw、上方に1Dwの範囲）の地盤の標準貫入試験による打撃回数（N値）の平均値（回）

（砂質地盤　$5\leqq\bar{N}\leqq60$）

（粘土質地盤　$10\leqq\bar{N}\leqq50$）

Dw：基礎ぐい先端の実断面積（Ag）と等価な円の直径（以下、等価円直径という）

Ap：基礎ぐいの先端の有効断面積（㎡）

Ap=e･Ag

e：有効率（くい径300mm未満で1.0、300mm以上で0.97）

Ag：基礎ぐい先端の実断面積（㎡）

$\bar{N}s$：基礎ぐい周囲の地盤のうち砂質地盤の標準貫入試験による打撃回数の平均値（回）

Ls：基礎ぐい周囲の地盤のうち砂質地盤に接する有効長さの合計（m）

$\bar{q}u$：基礎ぐい周囲の地盤のうち粘土質地盤の一軸圧縮強度の平均値（kN/㎡）

Lc：基礎ぐい周囲の地盤のうち粘土質地盤に接する有効長さの合計（m）

ψ：基礎ぐいの周囲の長さ（m）

基礎ぐい先端の有効断面積（Ap）、および等価円直径（Dw）

くい径 Dp（mm）	114.3	139.8	165.2	190.7	216.3	267.4	318.5	355.6	400.0 406.4
Ap（㎡）	0.0514	0.0780	0.1089	0.1562	0.1993	0.2884	0.4058	0.4228	0.5105
Dw（mm）	256.9	314.7	372.3	446.0	503.7	606.0	729.9	745.0	818.6

3　くい材から決まる許容支持力

1）くい材から決まる長期許容支持力

$$LNa=\frac{F^{*}}{1.5}Ae(1-\alpha1-\alpha2)$$

ただし、

$F^{*}=F\cdot(0.80+2.5\cdot te/r)$　　$(0.01\leqq te/r<0.08)$

$F^{*}=F$　　$(te/r\geqq0.08)$

ここで、

F^{*}：上記の式より計算した数値（N/mm²）　　Ae：腐食しろを除いた鋼管の断面積（mm²）

F：設計基準強度（N/mm²）　　α1：長さ径比による低減率

te：腐食しろを除いた鋼管の厚さ（mm）　　L＞100Dpの場合、$\alpha1=(L/Dp-100)/100$

r：鋼管の半径（mm）　　L≦100Dpの場合、$\alpha1=0$

2）くい材から決まる短期許容支持力　　α2：溶接継手による低減率（$\alpha2=0$）

SNa=1.5×LNa

4　引抜き方向の短期支持力　(GBRC性能証明第11-05号改2)

1）地盤から決まる引抜き方向の短期許容支持力

$$tRa=\frac{2}{3}\kappa\cdot\bar{N}t\cdot Atp+Wp$$

ここで、

κ：先端抵抗係数（砂質地盤（礫質地盤含む）　κ=56）

（粘土質地盤　κ=56）

$\bar{N}t$：基礎ぐいの先端付近（くい先端より上方に3Dwの範囲）の地盤の標準貫入試験による打撃回数（N値）の平均値（回）

（砂質地盤　$10\leqq\bar{N}t\leqq60$　$\bar{N}t$を算出する時の個々のN値は、N<5のときN=0、N>100のときN=100）

（粘土質地盤　$5\leqq\bar{N}t\leqq50$　$\bar{N}t$を算出する時の個々のN値は、N<2のときN=0、N>50のときN=50）

Atp：基礎ぐいの先端の有効断面積（㎡）

Wp：浮力を考慮したくいの有効自重（kN）

基礎ぐい先端の有効断面積（Atp）一覧表

くい径 Dp（mm）	等価円直径Dw（mm）	有効断面積 Atp（㎡）	適用地盤
114.3	256.9	0.0416	砂質地盤（礫質地盤含む）／粘土質地盤
139.8	314.7	0.0624	
165.2	372.3	0.0874	
190.7	446.0	0.1277	
216.3	503.7	0.1625	
267.4	606.0	0.2323	
318.5	729.9	0.3388	
355.6	745.0	0.3366	
400.0	818.6	0.4006	
406.4	818.6	0.3966	

2）くい材から決まる引抜き方向の短期支持力

tNa=F･Ae

5　適用範囲

1）適用する地盤の種類

a.くいの許容支持力（押込み方向）

くい先端地盤　：砂質地盤　（礫質地盤含む）

：粘土質地盤（φ267.4まで）

くいの周囲の地盤：砂質地盤、および粘土質地盤

b.引抜き方向の短期支持力

くい先端地盤　：砂質地盤　（礫質地盤含む）

：粘土質地盤（φ267.4まで）

くいの周囲の地盤：砂質地盤、および粘土質地盤

最小くい長　：砂質地盤　3mと10Dpの大きい方

：粘土質地盤　5m

2）最大施工深さ

くい径（Dp）の130倍とし下表による

くい径 Dp（mm）	114.3	139.8	165.2	190.7	216.3	267.4	318.5	355.6	400.0	406.4
最大施工深さ（m）※1	14.86	18.17	21.48	24.79	28.12	34.76※2	41.40	46.22	52.00	52.83

※1　最大施工深さは、施工地盤からくい先端までの施工深さ

※2　くい先端が粘土質地盤で引抜き方向支持力を使用する場合は31.70m

3）適用する建築物の規模

延べ面積が、500,000 ㎡以下の建築物

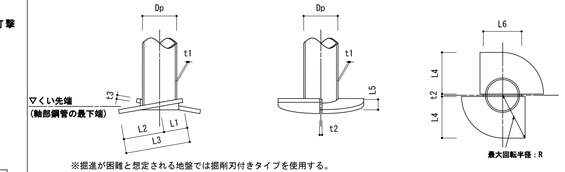
【G-ECSパイルの構造・規格】

1　G-ECSパイルの寸法

Dp（mm）	Dw（mm）	t1（mm）	t2（mm）	t3※1（mm）	L1（mm）	L2、L4（mm）	L3（mm）	L5（mm）	L6（mm）	R（mm）
114.3	256.9	4.5 6.0	12	16	70	140	210	52	135	162
139.8	314.7	4.5 6.6	12	19	90	170	260	60	165	198
165.2	372.3	5.0 7.1 9.3	12	19	110	200	310	65	185	234
190.7	446.0	5.3 7.0 8.2	16	22	130	240	370	80	225	280
216.3	503.7	8.2 10.3 12.7	16	22	150	270	420	90	250	316
267.4	606.0	8.0 9.3 12.7 16.0 19.0	19	28	180	325	505	110	305	380
318.5	729.9	6.9 7.9 10.3 12.7 16.0 19.0	22	32	220	390	610	115	360	457
355.6	745.0	9.5 12.7 16.0 19.0	22	32	220	400	620	120	390	466
(400.0)	818.6	9.0 12.0	25	36	240	440	680	135	440	512
406.4	818.6	7.9 9.5 12.7 16.0 19.0	25	36	240	440	680	135	440	512

※1　φ216.3の翼部のみ材質はSM490Aとし、これ以外はSS400とする

※　　寸法公差は性能評価書の内容に準じる



※掘進が困難と想定される地盤では掘削刃付きタイプを使用する。

2　G-ECSパイルの材質

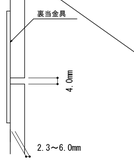
部位	使用材料
基礎ぐいの軸部	JIS G 3444（1994）に定めるSTK400、STK490、及びSTK540※ JIS A 5525（1994）に定めるSKK400、及びSKK490 JIS G 3475（1996）に定めるSTKN400W、STKN400B、及びSTKN490B
くい先端部の翼、及び組立版	JIS G 3101（1995）に定めるSS400 JIS G 3106（1999）に定めるSM400A、SM400B、SM400C、SM490A、SM490B、SM490C、SM490YA、及びSM490YB
キー材、及び裏当て金具	JIS G 3101（1995）に定めるSS400 JIS G 3106（1999）に定めるSM400A、SM400B、SM400C、SM490A、SM490B、SM490C、SM490YA、及びSM490YB

※　国住参建第2401号、2402号（令和3年12月20日）による基準強度の指定

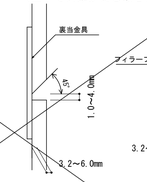
3　継手

1）溶接継手標準図

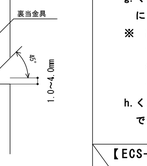
a.φ139.8以下の場合



b.φ165.2以上の場合（上下で肉厚が同じ場合）



（肉厚が異なる場合）



2）現場自動溶接ロボット工法（ECS-AW）を適用する場合

a.ロボット本体仕様

本体外形寸法：幅388mm、奥行120mm、高さ236mm

レール寸法：幅120mm、厚さ20mm

本体重量：約4.5kg

※上記数値は標準タイプの場合

b.溶接方法

セルフシールドアーク溶接

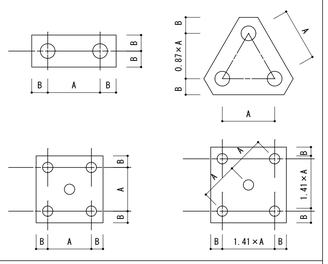
c.適用くい径

Dp=165.2～406.4mm

【くい芯間隔とへりあきの推奨値】

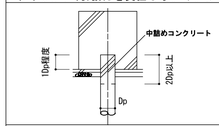
※　下表の推奨値は施工偏心を見込まない場合

呼称	くい径 Dp（mm）	くい芯間隔 A（mm）	へりあき B（mm）
114.3	114.3	440	140
139.8	139.8	540	150
165.2	165.2	640	175
190.7	190.7	760	210
216.3	216.3	850	240
267.4	267.4	1030	300
318.5	318.5	1250	400
355.6	355.6	1300	400
400.0	400.0	1500	500
406.4	406.4	1500	500

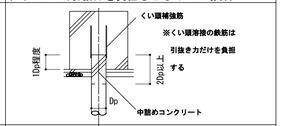


【くい頭部の接合例 】

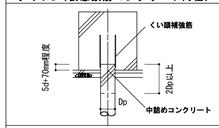
タイプA-1（引抜力を負担しないくいの場合）



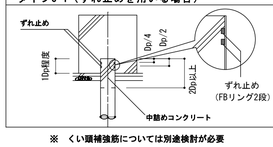
タイプA-2（引抜力を負担させるくいの場合）



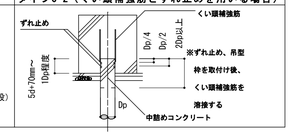
タイプB（仮想鉄筋コンクリート円柱）



タイプC-1（ずれ止めを用いる場合）



タイプC-2（くい頭補強筋とずれ止めを用いる場合）



※　くい頭補強筋については別途検討が必要

【施工管理方法】

G-ECSパイル工法では、以下の管理方法により現場ごとの「支持層確認管理値」を決定し、くいの先端が確実に支持層に到達していることを確認して、打ち止め管理を行う。

1）PR値

G-ECSパイル工法は「PR値」により施工管理を行う（PR値：くい1回転あたりの地中への貫入量（mm））

2）施工管理方法

a.本ぐいの施工に先立ち、地盤調査（標準貫入試験）位置または近傍にて試験ぐいの施工を行う。試験ぐいでは、地表面からくい先端所定位置まで全長に亘り、深度・PR値・トルクを測定し、地盤調査資料と比較して整合性を検証する。このとき、地盤調査位置近傍に本ぐいがある場合には、これを試験ぐいとすることができる。　※くい先端所定位置：設計上必要とされるN値の発現深度

b.試験ぐいに不整合が無ければ、試験ぐいの施工データと比較しながら本ぐいを3本施工し、支持層上端より1.0m上部（引抜き方向の支持力を負担するくいについては3Dwかつ1.0m上部）から試験ぐいと同一の押圧力でPR値を測定する。

c.試験ぐいを含めた管理値設定ぐい計4本について、支持層上端におけるPR値の平均値を求める。また、合わせてトルクの最小値を求める。

d.c.で求めた平均値の130%を当該現場における「支持層確認管理値」とする。また、トルクの最小値とバラつきの程度を考慮して打ち止め参考トルクを設定する。

e.本ぐいの施工時には、支持層上端と想定される深度より1.0m上部（引抜き方向の支持力を負担させるくいについては3Dwかつ1.0m上部）から試験ぐいと同一の押圧力でPR値・トルクを測定し、「支持層確認管理値」以下となった深度を支持層上端とする。

f.支持層上端より1Dp以上くいを根入れし、打ち止めとする。根入れの時はくいを正転させ、打ち止める。

※　PR値が「支持層確認管理値」以下となった後、根入れの際に施工トルクがくい体の短期許容ねじり強さを超える場合、またはPR値が「支持層確認管理値」の30%以下となる場合には、1Dpの根入れと同等として扱う。

g.くいの高止まり時の処置：打ち止め条件は満たしているが、貫入が困難な場合で支持層上端以深の地盤にN値の落ち込みがないことが確実な場合は、その位置で打ち止めとし、くい頭は地面で切断とする。

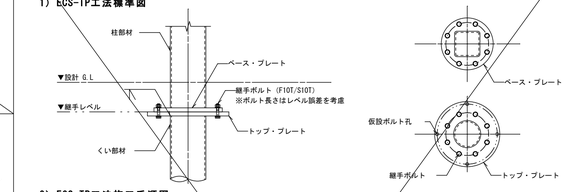
※　高止まり時の支持層上端より以深の地盤にN値の落ち込みが予想される場合には、くいに逆回転を与えて引抜き、アースオーガー等にて掘削して施工困難な層を打抜き後、再施工とする。アースオーガー等による先行掘削は支持層上端の1.0m程度上部（引抜き方向の支持力を適用するくいについては3Dwかつ1.0m上部）とする。

h.くい長不足の処置：打ち止め条件を満たさないくいは適宜継いで、「支持層確認管理値」以下になるまで施工する。ただし、最大施工深さを超える場合には、監理者・設計者と協議の上、指示による。

【ECS-TP工法】　(特許第6660446号)

ECS-TP（エクス・ティー・ピー）工法とは、回転貫入鋼管杭として大臣認定を取得したG-ECSパイル工法を用いた、柱統一体型の施工方法をいう

1）ECS-TP工法標準図



2）ECS-TP工法施工手順図

3）施工手順

a.～b.　逃げくいは、直角方向2か所設定する。基準は、地面に固定したもの（鉄板等）に印す。

c.～d.　くいの位置を固定し、回転埋設を行う。

e.　　くいの接続を行う。

f.～g.　TPくい（上くい）に、TP治具を取付け、回転埋設する。

h.　　G-ECSパイル工法打ち止め管理基準を満足していることを確認し、所定レベル0～-10mmで埋設完了とする。

i.　　テンプレートを用いてトップ・プレート上にボルト孔の墨出しを行い、位置再確認の後、ボルト孔あけドリルにより施工する。

j.　　レベル調整用フィラーを敷設し、柱の建方を行う（鉄骨建て入れ直しの前工程でくい頭周辺に捨てコンクリートを打設しておくことが望ましい）。

4）管理値

ECS-TP工法の水平方向施工管理許容値は±20mm以内、鉛直方向の施工管理許容値は0～-10mmとし、これを超える場合は対処方法について監理者・設計者と協議を行うものとする。

【国土交通省大臣認定、性能評価】

G-ECSパイル工法

（くい先端地盤：砂質地盤（礫質地盤含む））

認定番号　TACP-0585

認定書　国住指第755号

指定書　国住指第755-2号

性能評価書　BGJ基評-FD0124-04

G-ECSパイル工法

（くい先端地盤：粘土質地盤）

性能評価書　BCJ基評-FD0178-01

株式会社　三誠

本社　東京都中央区新川1-8-8アクロス新川ビル9F
Tel 03-3551-0211　/　Fax 03-3551-0217　/　https://sansei-inc.co.jp/

東京支店　東京都中央区新川1-8-8アクロス新川ビル9F
営業第一部・営業第二部　Tel 03-3551-0211　/　Fax 03-3551-0217
営業第三部（神奈川出張所）Tel 045-263-1625　/　Fax 045-263-1626
千葉出張所　Tel 03-3551-0211（本社転送）

東日本支店　埼玉県さいたま市南区南浦和2-40-2南浦和ガーデンビル6F
北関東営業所　Tel 048-813-6612　/　Fax 048-813-6615
東北営業所　Tel 022-217-8105　/　Fax 022-217-8137
新潟営業所　Tel 025-242-2180　/　Fax 025-242-2183
北陸出張所　Tel 076-231-0750　/　Fax 076-231-0751
北海道営業所　Tel 011-252-2556　/　Fax 011-252-2557

西日本支店　大阪府大阪市中央区今橋3-2-20洪庵日生ビル3F
関西営業所　Tel 06-6233-7300　/　Fax 06-6233-7310
中四国営業所　Tel 082-568-1310　/　Fax 082-568-1311
中部営業所　Tel 052-203-8551　/　Fax 052-203-8552

九州支店　福岡県福岡市中央区天神3-9-33KG天神ビル5F
九州営業所　Tel 092-303-3456　/　Fax 092-724-0156
沖縄営業所　Tel 098-860-6001　/　Fax 098-860-6002

		設計番号	工事名称	縮尺	図面名称
		年 月 日 令和8年1月	新座市立東北小学校校舎長寿命化改修工事	Non	G－ＥＣＳパイル工法設計施工標準
					図番 S－14
				承認	製図

機械式継手工法　設計施工標準

【 ECS-PJ（エクス・ピージェイ）

2025.07.　改訂

【ECS-PJ（小口径鋼管くい用無溶接継手）】

1　件名

ECS-PJ（小口径鋼管くい用無溶接継手）

BCJ評定-FD0426-05

2　適用範囲

1）本継手に使用するくい種は、小口径鋼管くいとし下表による

JIS規格	名称	材種
JIS G 3444	一般構造用炭素鋼鋼管	STK400、STK490
JIS G 3475	建築構造用炭素鋼鋼管	STKN400W、STKN400B、STKN490B

2）適用くい径、および板厚は下表の通りとし、本継手で接続する鋼管くいの一方の板厚をa、他方の板厚はbのいずれかとする

鋼管くい径（mm）	鋼管板厚 a（mm）	鋼管板厚 b（mm）
165.2	5.0、7.1	5.0、7.1
190.7	5.3、7.0	5.3、7.0
216.3	6.0、8.2、10.3（注1）、12.7（注1）	6.0、8.2、10.3、12.7
267.4	8.0、9.3、12.7（注2）	8.0、9.3、12.7

（注1）継手部の曲げ耐力、せん断耐力、軸耐力、及び施工時ねじり耐力は各試験により確認した鋼管板厚（8.2mm）の耐力を上限とする

（注2）継手部の曲げ耐力、せん断耐力、軸耐力、及び施工時ねじり耐力は各試験により確認した鋼管板厚（9.3mm）の耐力を上限とする

3）本継手は回転貫入くい工法に用いるものとし、杭支持力の計算の際は周面摩擦力を見込まないものとする

3　継手の性能

1）継手耐力のクライテリアは下表の通りとする

圧縮耐力（注1）	くい母材の短期許容圧縮力を確保
引張耐力（注1）	くい母材の短期許容引張力×α（注2）を確保
曲げ耐力（注1）	くい母材の短期許容曲げモーメントを確保
せん断耐力（注1）	くい母材の短期許容せん断力を確保
振り耐力（注1） （継手部の回転埋設 許容振りモーメント）	φ165.2は　50.9（kN･m） φ190.7は　68.3（kN･m） φ216.3は 108.6（kN･m） φ267.4は 160.7（kN･m）

※ 施工時の振り耐力は、継手部の回転埋設許容振りモーメントと鋼管くいの短期許容振りモーメントの何れか小さい値を採用する

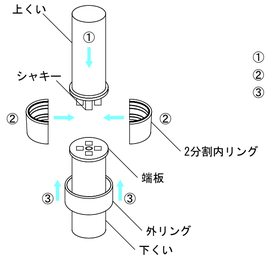
（注1）鋼管くい径216.3mmの継手耐力は、各試験により確認した鋼管板厚（8.2mm）を上限とし、鋼管くい径267.4mmの継手耐力は、各試験により確認した鋼管板厚（9.3mm）を上限とする

（注2）αはくい径毎の低減率で下表による

くい径（mm）	鋼管板厚（mm）	α
165.2	5.0	0.72
	7.1	0.48
190.7	5.3	0.66
	7.0	0.48
216.3	6.0	0.53
	8.2	0.37
267.4	8.0	0.37
	9.3	0.31

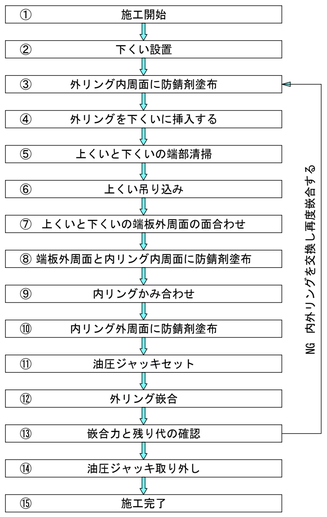
4　継手概要図

ECS-PJの概要図は下図のようなものであり、端板、シャキー、内リング、及び外リングによって構成されている



① 上くい建て込み
② 内リングかみ合わせ
③ 外リングはめ込み

5　施工要領



1）ECS-PJの施工方法は、下くい設置完了後、外リングを下くいに挿入して、上くいを吊り込み、上くいと下くいの継手部のくい違いをチェックした後、上くいと下くいの端板突起部に内リングをかみ合わせ、内リングの外面に外リングを油圧ジャッキではめ込んで完了する。

2）管理項目（嵌合力と残り代）
はめ込まれた外リングの上面と、内リングの上面の差を、スケール等により測定する。
測定箇所は嵌合ジャッキの際の4点を測定する。4点の測定結果の平均値が規格値以内（残り代が 2.0～18.5mm）であることを確認する。
測定結果が規格値から外れているならば、内外リングを交換し、フローチャート④から再度同じ手順で嵌合を行う。

くい径（mm）	嵌合力（kN）
165.2	133
190.7	133
216.3	168
267.4	168

【ECS-MJ（鋼管杭の機械式継手工法）】

1　件名

MJ工法（鋼管杭の機械式継手工法）

GBRC性能証明 第19-07号改1

2　適用範囲

1）本工法を採用できる鋼管の材質は、下表による
- JIS G 3444　一般構造用炭素鋼鋼管（STK400、STK490）
- JIS A 5525　鋼管ぐい（SKK400、SKK490）
- 建築基準法第37条第一号の国土交通大臣の指定する日本産業規格に適合する鋼材等に係る許容応力度等の基準強度について、平成12年建設省告示第2464号第一第二号、第二第二号、第三第二号及び第四第二号の規定に基づき、指定を受けたJIS G 3444　一般構造用炭素鋼鋼管（STK540）
- 建築基準法第37条第二号の規定に基づく大臣認定及び許容応力度の基準強度の大臣指定を受けた鋼材で例として以下に示すもの

認定番号	認定を受けた構造方法の名称
MSTL-0543	基礎ぐい用高張力鋼管（HU590）　Dangjin Plant
MSTL-0542	基礎ぐい用高張力鋼管（HU590）　Daebul　Plant
MSTL-0419	基礎ぐい用高張力鋼管（SEAH590）　POHANG PLANT

※ただし、指定建築材料で基準強度が325N/mm² 以下の鋼管も使用できる

2）本工法を採用できる鋼管の寸法を下表に示す

くい径（mm）	鋼管板厚（mm）	材質と適用範囲 STK400	材質と適用範囲 STK490
190.7	5.3	○	○
	7.0	○	○
	8.2	○	
216.3	8.2	○	○
	10.3	○	○
	12.7	○	
267.4	8.0	○	○
	9.3	○	○
	12.7	○	
318.5	6.9	○	○
	7.9	○	○
	10.3	○	○
	12.7	○	
355.6	9.5	○	○
	12.7	○	
406.4	7.9	○	○
	9.5	○	○
	12.7	○	
457.2	9.5	○	○
	12.7	○	
508.0	9.5		○
	12.7		

※ここで、○は適用範囲内であることを示しており、継手位置でくいの板厚、材質が変わる場合は耐力の小さい方に合わせて継手の適用可否を判断する

3　継手の性能

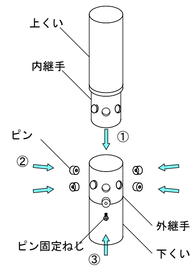
1）継手耐力のクライテリアは下表のとおりとする

圧縮耐力	くい母材の短期許容圧縮力を確保　※1
引張耐力	くい母材の短期許容引張力の60%を確保
曲げ耐力	くい母材の短期許容曲げモーメントを確保
せん断耐力	くい母材の短期許容せん断力を確保
振り耐力 （継手部の回転埋設 許容振りモーメント）	くい部材のねじり耐力を確保

※1　D=216.3の継手は、くい母材の短期許容圧縮力に対して93%相当を確保

4　継手概要図

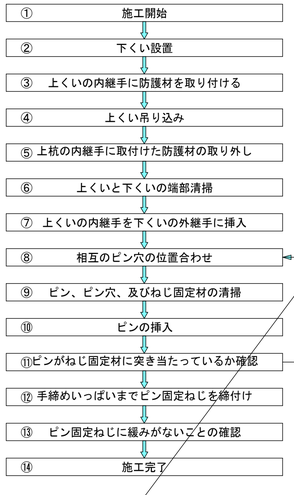
ECS-MJの概要図は下図のようなものであり、内継手、外継手、ピン、ピン固定ねじ、及びねじ固定材によって構成されている



① 上くい建て込み、内継手・外継手接続
② ピン挿入（ねじ固定材にあたる処まで）
③ ピン固定ねじ（係止ねじ）で固定

5　施工要領

1）ECS-MJの施工方法は、下くい設置完了後、上くいの内継手を下くいの外継手に挿入し、相互のピン穴の位置を合わせた後にピン、及びピン固定ねじを取付け、ピン固定ねじを手締めいっぱいまで締め付けることにより完了する



2）管理項目（ピン挿入状況、ピン固定ねじの緩み）
フローチャート⑪において、ピンが外継手外面から突出している量を目視によって確認し、明らかに大きな突出となっているものが無いかを確認する。ピンが入りにくい場合はハンマーを用いてピンがねじ固定材に突き当たるまで挿入する。
フローチャート⑬でピン固定ねじのトルクについては特段の基準は無いものの、手締めいっぱいまで締付けて、ピン固定ねじに緩みがないことを確認する。緩みが有る場合は追い締めを行うか、新しいピン固定ねじに取り替える。

【ECS-DJ（異径継手を有する縮管加工鋼管）】

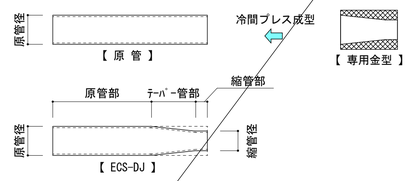
1　件名

ECS-DJ（異径継手を有する縮管加工鋼管）

GBRC性能証明 第25-12号

2　ECS-DJの概要

はじめに、縮管加工とは下図のようにJIS規格に規定された鋼管またはそれと同等の機械的性質を有する大臣認定を受けた鋼管（以下「原管」という）の端部に対して、原管の板厚を確保しつつ原管径を縮小させることができる加工技術である
縮管加工した鋼管端部を縮管、原管から縮管までの角度のある管をテーパー管といい、縮管加工で製作した鋼管全体をECS-DJ（「DJ」はDifferent diameter steel tubes Jointの略称）という



3　適用範囲

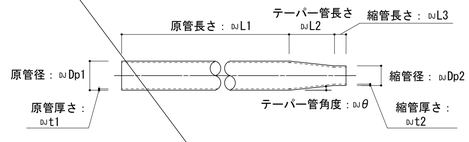
本技術の適用範囲は、以下の通りとする
1）圧縮・ねじり・曲げおよび引張が作用する場合でも長期・短期許容耐力の設計をした場合は使用できることとする
2）株式会社　三誠のくい工法に適用し、施工は圧入、回転圧入、もしくは回転貫入によることとする
3）本技術に使用する材料は、以下とする
- JIS G 3444（一般構造用炭素鋼鋼管）に規定された、STK490（基準強度 325N/mm²）
- JIS A 5525（鋼管ぐい）に規定された、SKK490（基準強度 325N/mm²）
- 上記のJIS規格に適合する鋼管又は、それと同等の機械的性質を有する大臣認定を受けた鋼管

2　ECS-DJの仕様

1）ECS-DJの形状および寸法記号を下に示す

呼称	原管径 DJDp1（mm）	原管厚さ DJt1（mm）	原管の径厚比 ※1	縮管径 DJDp2（mm）	縮管厚さ DJt2（mm）	縮管の径厚比 ※2	縮管率 ※3（%）	テーパー管長さ DJL2（mm）	縮管長さ DJL3（mm）	テーパー管角度 DJθ（° (R)）
318Y	318.5	12.7	25.1	216.3	12.7	17.0	32.1	303	83	9.5　(1/6)
318X				267.4	12.7	21.1	16.0	300	79	4.8　(1/12)
355Z	355.6	12.7	28.0	267.4	12.7	21.1	24.8	258	116	9.5　(1/6)
355X				318.5	12.7	25.1	10.4	168	113	5.9 (1/9.6)
406Z	406.4	12.7	32.0	267.4	12.7	21.1	34.2	411	116	9.5　(1/6)
406X				318.5	12.7	25.1	21.6	412	113	5.9 (1/9.6)

※1 原管の径厚比＝$_{DJ}$Dp1／$_{DJ}$t1　　※2 縮管の径厚比＝$_{DJ}$Dp2／$_{DJ}$t2
※3 縮管率＝（$_{DJ}$Dp1－$_{DJ}$Dp2）／$_{DJ}$Dp1×100（%）
※ $_{DJ}$t1≦$_{DJ}$t2（ただし規格は上表として扱う）



2）ECS-DJの短期許容耐力を下に示す
表中の耐力はECS-DJの変断面（原管から変化する断面）の耐力を示すものとし、長期許容耐力は短期許容耐力の1／1.5とする

呼称	原管径 DJDp1（mm）	原管厚さ DJt1（mm）	縮管径 DJDp2（mm）	縮管厚さ DJt2（mm）	短期許容耐力 圧縮耐力（kN）	短期許容耐力 引張耐力（kN）	短期許容耐力 ねじり耐力（kN・m）	短期許容耐力 曲げ耐力（kN・m）	短期許容耐力 せん断耐力（kN）
318Y	318.5	12.7	216.3	12.7	1796.8	1796.8	146.6	88.1	698.6
318X			267.4	12.7	2764.6	2764.6	231.8	169.0	874.8
355Z	355.6	12.7	267.4	12.7	2219.8	2219.8	231.8	137.3	874.8
355X			318.5	12.7	3117.5	3117.5	336.6	231.0	1051.0
406Z	406.4	12.7	267.4	12.7	2132.0	2132.0	231.8	132.0	874.8
406X			318.5	12.7	3040.4	3040.4	336.6	225.4	1051.0

5　ECS-DJと継手鋼管との接続

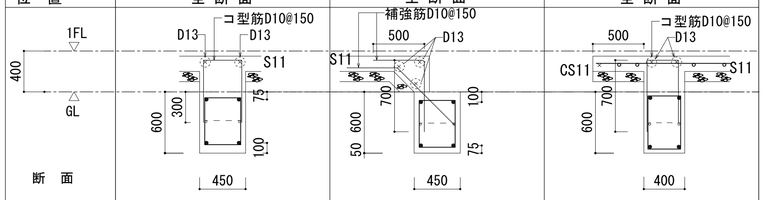
1）ECS-DJの原管側または縮管側に配置される鋼管との接続方法は溶接継手、機械式継手の何れかによる
2）溶接継手の施工は下記のいずれかの要件を満たすものが行う
- JIS Z 3801 の基本級または専門級の試験に合格したもの
- JIS Z 3841 の基本級または専門級の試験に合格したもの
- WES 8106 の試験に合格したもの

3）機械式継手は、評価機関等による評価・評定・技術評価等を得たものなど、継手の性能が明らかとなっているものとする
4）　ECS-DJの使用数と組み合わせに制限はないものとする

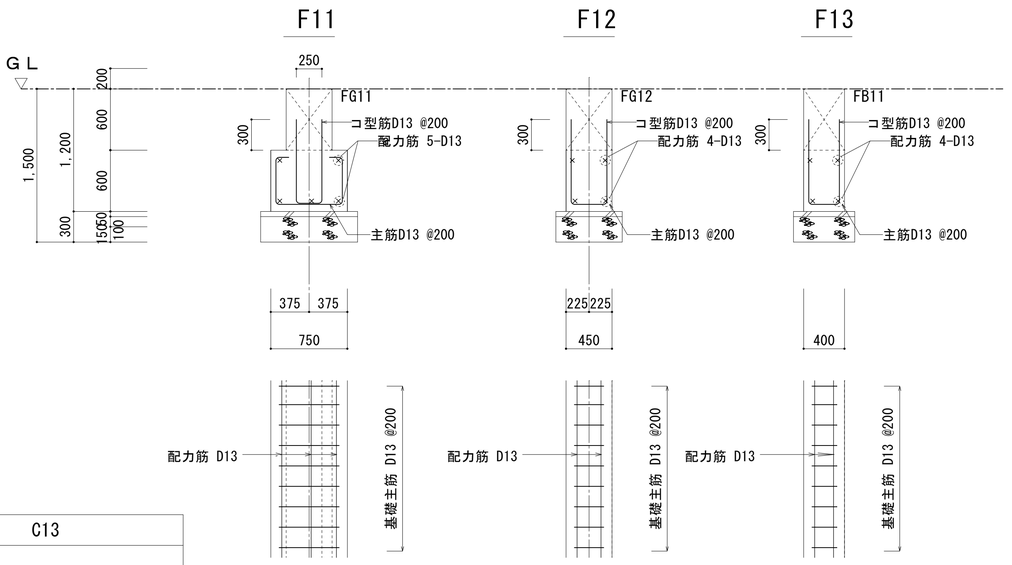
	設計番号	工事名称	縮尺	図面名称	図番
	年 月 日 令和8年1月	新座市立東北小学校校舎長寿命化改修工事	Non	機械式継手工法　設計施工標準	S－15
					承認 / 製図

基礎梁リスト 1/30

D19以上SD345 D16以下SD295A
幅止め筋　D10 @1,000以内
捨てコンクリートFc=18 N/mm²

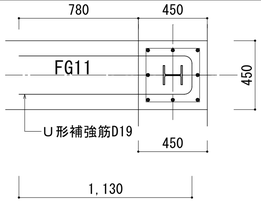
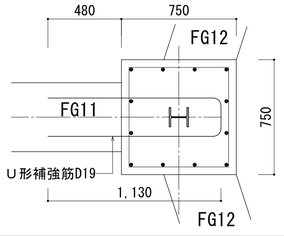
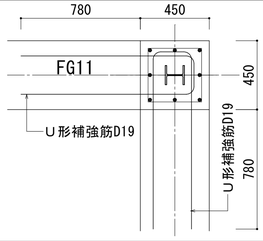
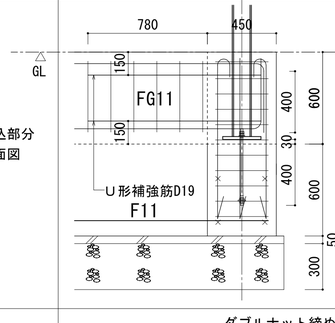
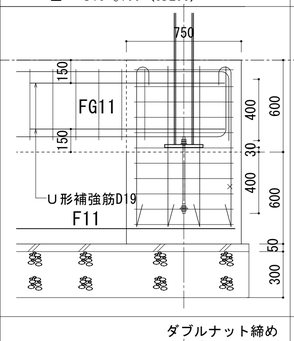
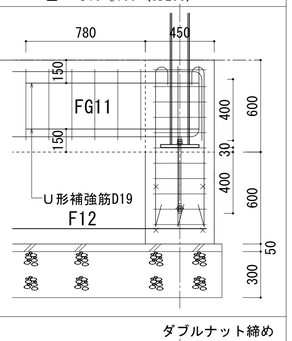
符　号	FG11	FG12	FB11
位　置	全 断 面	全 断 面	全 断 面
断　面			
幅ｂｘせいＤ	450 x 600	450 x 600	400 x 600
上 端 筋	2 - D19	2 - D19	2 - D19
下 端 筋	2 - D19	2 - D19	2 - D19
肋　筋	□ - D10 @150	□ - D10 @150	□ - D10 @150
腹　筋	2 - D10	2 - D10	2 - D10

基礎リスト 1/30



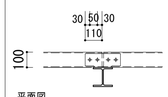
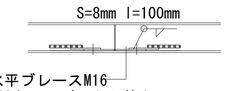
柱リスト 1/20

特記なき限り、鋼材はSS400とする。
Ｕ形補強筋は曲げ加工した１本物とすること
アンカーボルトはアンカーフレームを用い位置保持のこと

記　号	C11	C12	C13
１階	H	H	H
主　材	H - 125 x 125 x 6.5 x 9	H - 125 x 125 x 6.5 x 9	H - 125 x 125 x 6.5 x 9
備　考	有効細長比 λ＝106＜200	有効細長比 λ＝106＜200	有効細長比 λ＝106＜200
埋込部分 平面図			
柱型主筋	8 - D19(SD345)　４隅180° フック	12 - D19(SD345)　４隅180° フック	8 - D19(SD345)　４隅180° フック
柱型帯筋	□ - D10 @100 (SD295)	□ - D13 @100 (SD295)	□ - D10 @100 (SD295)
埋込部分 断面図			
柱　脚	ダブルナット締め 座金32φx4.5	ダブルナット締め 座金32φx4.5	ダブルナット締め 座金32φx4.5
ベースプレート	B.PL - 19 x 250 x 250	B.PL - 19 x 250 x 250	B.PL - 19 x 250 x 250
アンカーボルト	2 - M20(SNR400B) L＝500mm	2 - M20(SNR400B) L＝500mm	2 - M20(SNR400B) L＝500mm

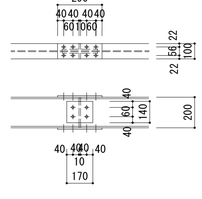
鉄骨リスト 1/20

特記なき限り、鋼材はSS400とする。
軸ブレースは、詳細図参照

記　号	RG11	RG12, B11	横胴縁 (SSC400)	屋根ブレースBR11
位　置	全断面	全断面		
断面				
主　材	H - 200 x 100 x 5.5 x 8	H - 200 x 100 x 5.5 x 8	C - 100 x 50 x 20 x 2.3	
接合部		G.R-6 HTB 2-M16	G.R-4.5　2-M12 (中ﾎﾞﾙﾄ)	
備　考		折板受けC-100x50x20x2.3	900mmピッチ	

梁継手リスト 1/20

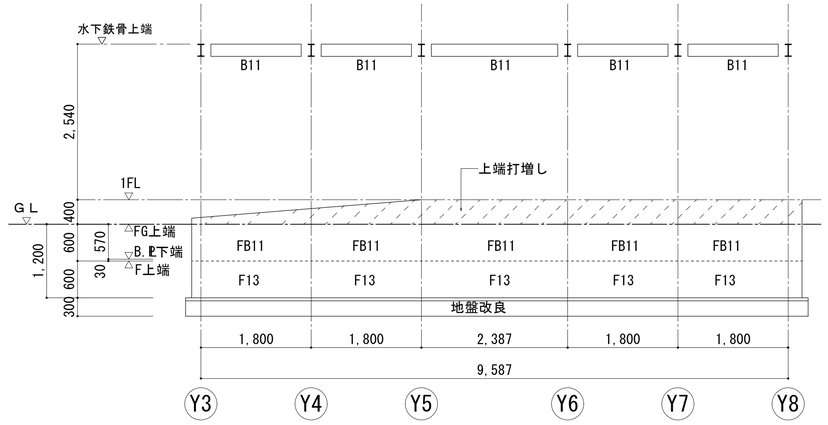
材 種 ： SS400 特記なき限り、高力ボルトはS10Tとする。
注）「鉄骨構造標準接合部・H形鋼編 SCSS-H97」
による保有耐力接合である。

記　号	RG11		
主　材	H - 200 x 100 x 5.5 x 8		
姿　図			
フランジ	外 側	PL - 16 x 100 x 290	16 - M16
	内 側		
ウェブ	2PL - 6 x 140 x 170		4 - M16

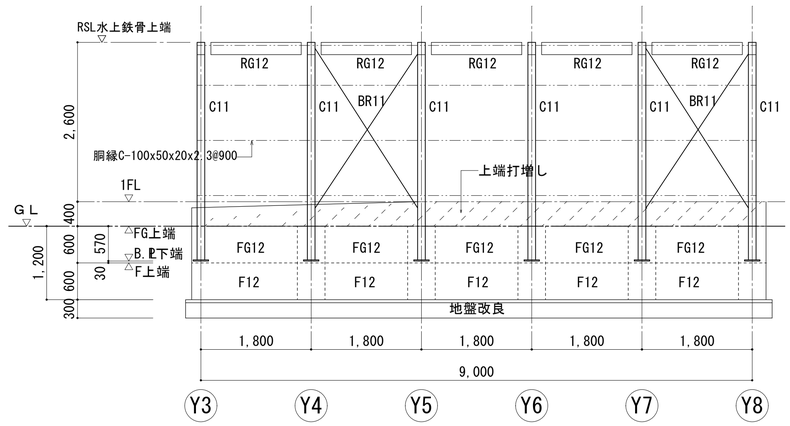
床スラブリスト

記号	厚さ		短辺方向	長辺方向	備　考
S11	150	シングル配筋	D13 @ 200	D10 @ 200	かぶり厚さ70mm 砕石厚さ100mm
CS11	150	シングル配筋	D13 @ 200	D10 @ 200	かぶり厚さ70mm 砕石厚さ100mm

		設計番号	工事名称	縮尺	図面名称	図番
		年 月 日 令和8年1月	新座市立東北小学校校舎長寿命化改修工事	A1:1/30, 1/20 A3:1/60, 1/40	渡り廊下　部材リスト	Ｓ－１６
						承認 / 製図



X3通り軸組図 1/50



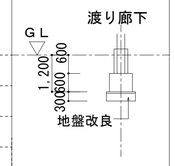
X4通り軸組図 1/50

調査地点 本建物敷地内、ボーリング地点

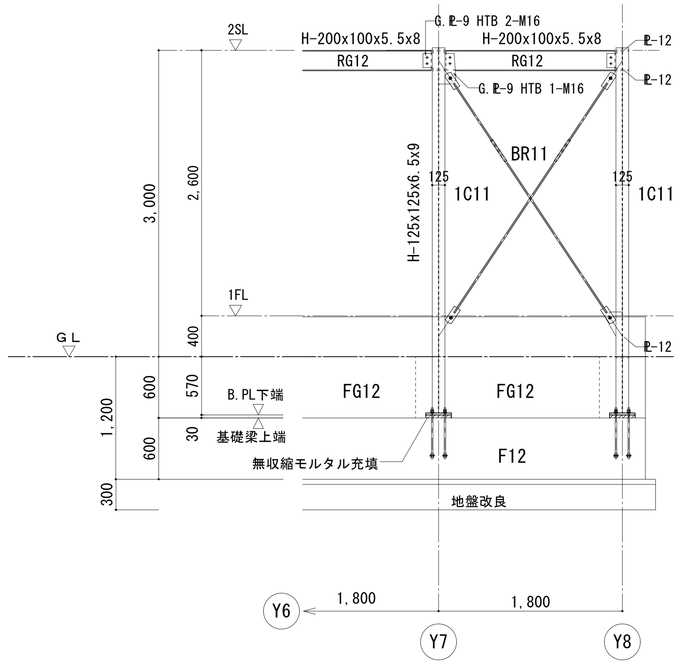
調査年月日　令和7年6月9日～6月11日　　孔口標高 ： KBM+580mm　GL=KBM＋

標尺（m）	層厚（m）	深度（m）	土質区分	標準貫入試験 N値
1	0.65	0.65	埋土	2
2				3
3			ローム	2
4				1
5	5.25	5.90		1
6				48
7			粘土	60/25
8			混じり	60/19
9			砂礫	60/28
10				60/24
11				60/28
12	6.10	12.00		
13	0.65	12.65	砂質粘土	8
14			粘土	60/25
15	2.70	15.35	混じり砂礫	60/20
				60/20

孔内水位4.8m



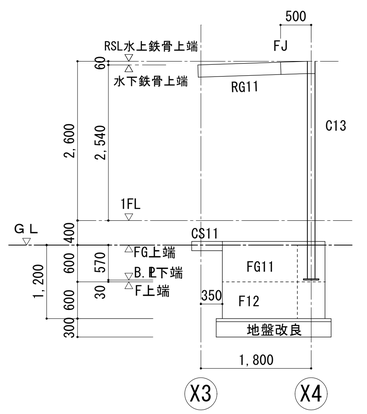
地盤改良は砕石置換工法とすること。
基礎底地盤の長期許容応力度qa＝40 kN/m²
砕石転圧後、砕石上端で平板載荷試験を１ヶ所行い、上記のqa値を確認すること。



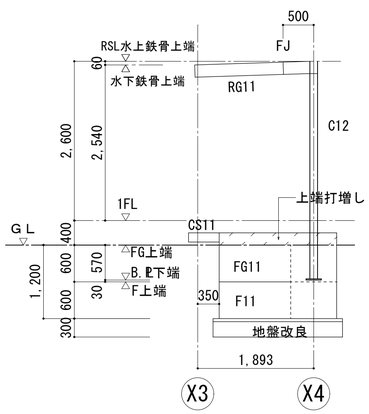
X4通り鉄骨詳細図　S:1/30

軸組図の共通事項（特記なき限り下記による）

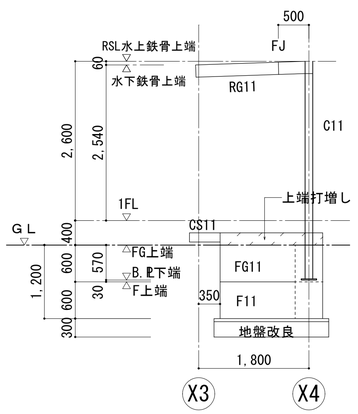
- 柱符号は下階に準ずる
- FJ:現場継手を示す。
- ▨ 一増打ちコンクリート



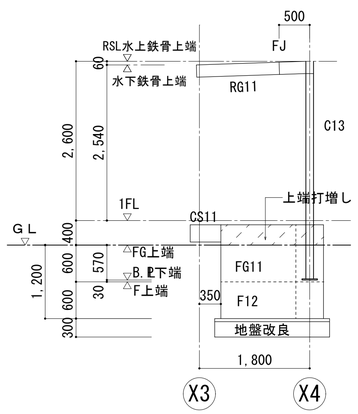
Y3通り軸組図 1/50



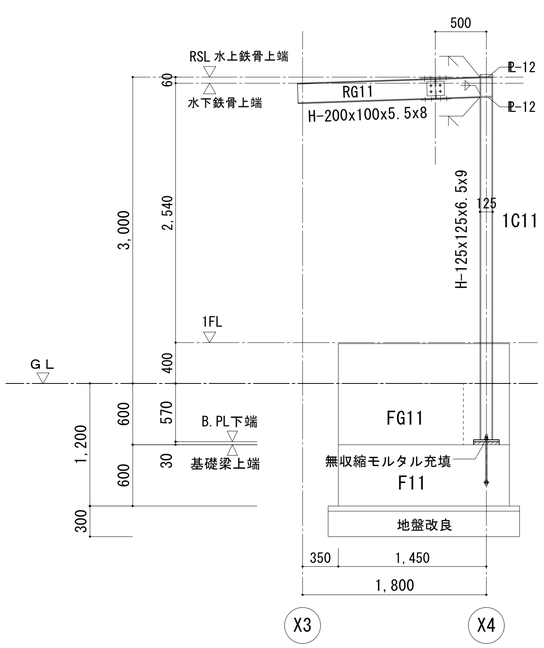
Y6通り軸組図 1/50



Y4, Y5, Y7通り軸組図 1/50

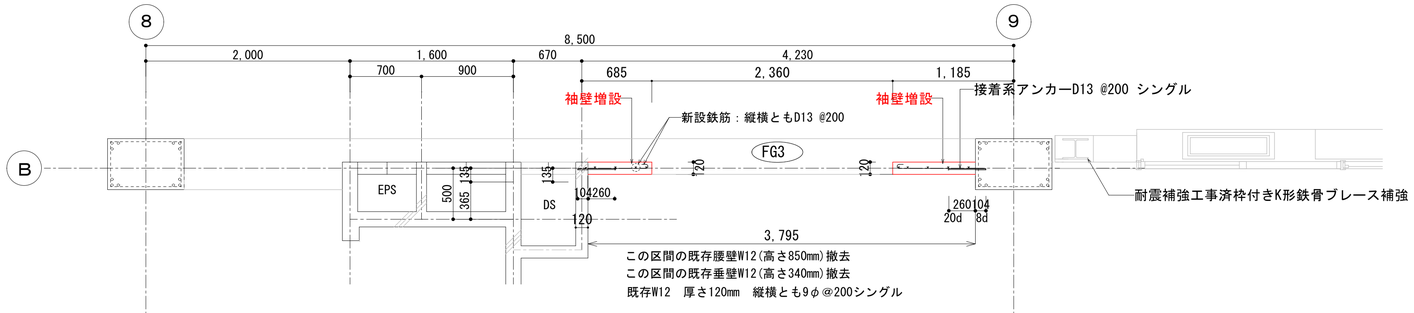


Y8通り軸組図 1/50

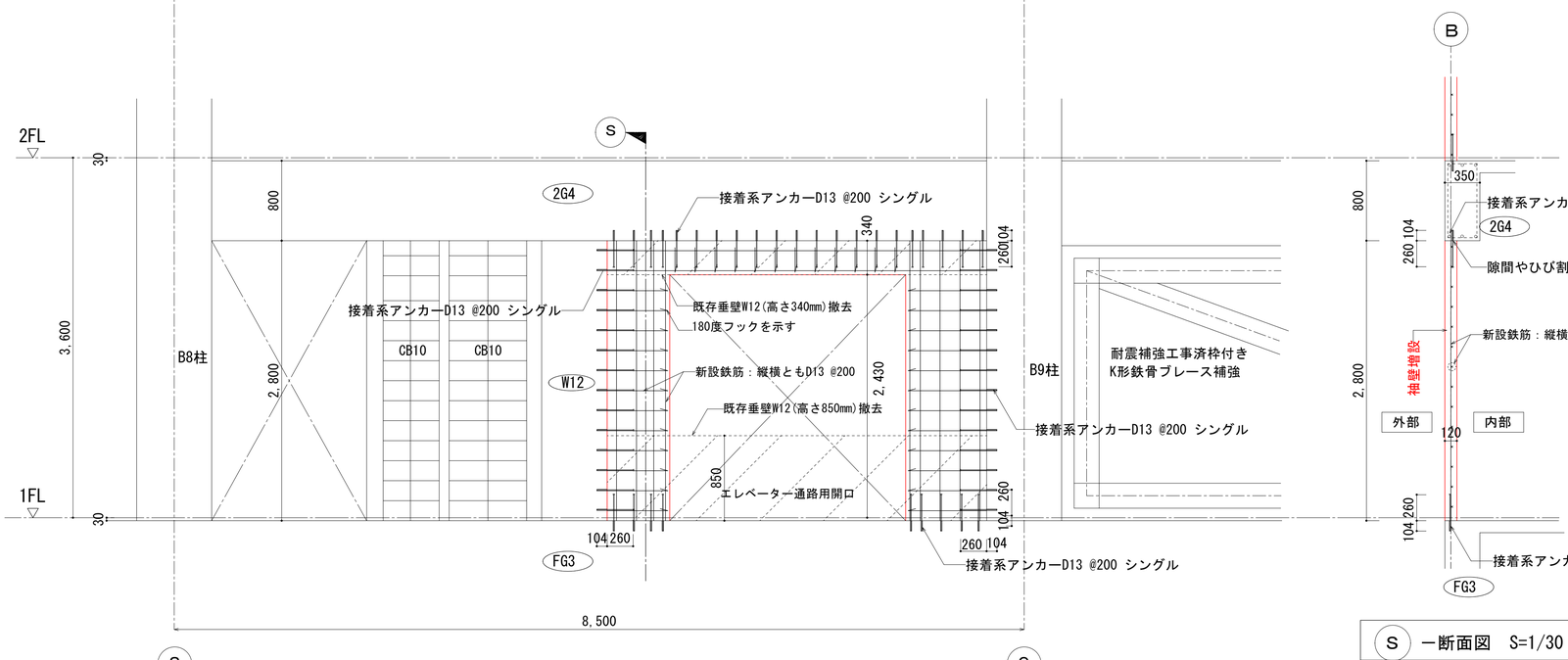


Y7通り鉄骨詳細図　S:1/30

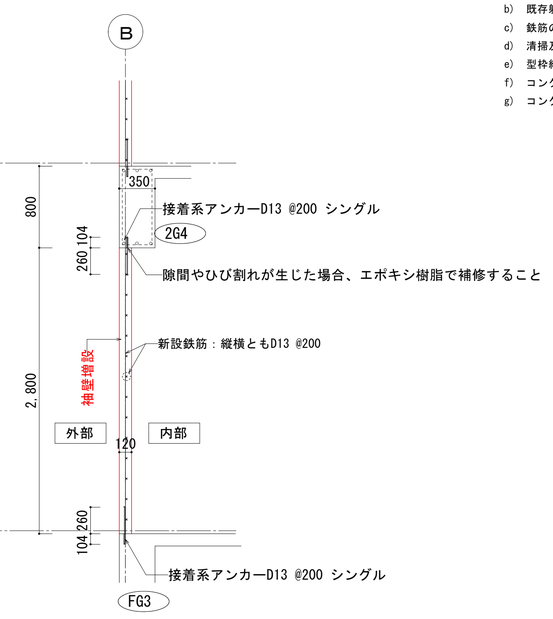
		設計番号	工事名称	縮尺	図面名称	図番
		年 月 日 令和8年1月	新座市立東北小学校校舎長寿命化改修工事	A1:1/50, 1/30 A3:1/100, 1/60	渡り廊下　軸組図、鉄骨詳細図	S－１７
						承認 / 製図



袖壁増設平面図 S=1/30



袖壁増設立面図 S=1/30



S 一断面図 S=1/30

使用材料 特記なき限り、下記による。

接着系アンカー	カプセル型樹脂接着系アンカー、ナット付き
異形鉄筋、接合筋	SD295
コンクリート	高流動コンクリート　Fc＝24N/mm²

既存校舎　RC袖壁増設改修工事構造仕様書

1．材　料　（1）使用材料及びメーカー指定

使用材料及びそれら材料のメーカー指定は、次の通りとする。

a)　鉄筋

鉄筋は、JIS G 3112（鉄筋コンクリート用棒鋼）に規定する熱間圧延異形棒鋼SD295規格品とする。

b)　高流動コンクリート

1）設計基準強度　Ｆｃ＝２４Ｎ／ｍｍ²

2）レディミクストコンクリート使用

3）粗骨材の最大寸法　１５ｍｍ以下

4）スランプフロー：55cm以上65cm以下

5）単位水量：175kg/m³以下

6）コンクリート主任技士が常駐する工場で製造すること。

7）日本建築学会JASS5最新版で配合計画を行い、配合計画書の承認を得ること。

c)　接着系アンカー

接着系アンカー（カプセル型樹脂アンカー）は、（社）日本建築あと施工アンカー（ＪＣＡＡ）に加盟する製造所の製品とし、ＪＣＡＡが規定する品質基準に適合しているものを用いる。

また、メーカーがその製品に対して品質を保証している期間内にあるものを用いる。

2．試験・確認等

使用材料の内、次のものは、施工業者の責任において工事検査・試験を行う。

a)　カプセル型樹脂接着系アンカー（全数打音確認）

b)　カプセル形樹脂接着系アンカー（引張試験）

c)　工事監理者が指定した位置で、以下に示す引張試験２本を行うこと。

径	引張力試験値	備　考
D13	0.6x31kN＝19 kN	両側袖壁で１本×２＝２本

※0.6は本設アンカーを損傷させない為の低減係数で、31kNは構造検討書の計算値

3．施工内容

a)　既存躯体の実測とスミ出し

b)　既存躯体にアンカー孔を施し、樹脂アンカー設置後、鉄筋を定着

c)　鉄筋の加工及び組立

d)　清掃及び水湿

e)　型枠組立

f)　コンクリート打設

g)　コンクリート養生

※２階、３階、４階の袖壁増設は、本図と同一とすること。

	設計番号	工事名称	縮尺	図面名称	図番	
	年 月 日 令和8年1月	新座市立東北小学校校舎長寿命化改修工事	A1:1/30 A3:1/60	既存校舎袖壁増設詳細図	Ｓ－１８	
					承認	製図